授　業　内　容

（シラバス）

令　和　７　年　度
ライフプランニング総合学科

香蘭女子短期大学

Koran Women's Junior College

目　　次

ライフプランニング総合学科1年

総合演習Ⅰ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
総合演習Ⅱ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
必修科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
教養科目　1期・2期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
教養科目　3期・4期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
一般事務指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
医療事務指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
事務系関連科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
ブライダル指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
観光指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
ファッション・ビューティー指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
サービス系関連科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
インテリア指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
CG・Webデザイン指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
資格・検定支援科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
地域創生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 100
チャレンジ科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 108

ライフプランニング総合学科2年

総合演習Ⅲ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 135
総合演習Ⅳ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 136
必修科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 137
教養科目　1期・2期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 139
教養科目　3期・4期 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 157
一般事務指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165
医療事務指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176
事務系関連科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 182
ブライダル指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 193
観光指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 197
ファッション・ビューティー指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204
サービス系関連科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 209
インテリア指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 220
CG・Webデザイン指定科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
クリエイティブデザイン系関連科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 235
資格・検定支援科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 243
地域創生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 249
チャレンジ科目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 253

香蘭女子短期大学　建学の精神・3つのポリシー

■ 香蘭女子短期大学建学の精神

「いかなる困難な場にあっても、創意・工夫を大切にし、人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

■ 教育理念としての学訓

「創意・自立・敬愛」

■ 本学の使命（教育目標）

「建学の精神のもと、社会の中堅として、指導的役割を果たす有為な女性の育成」

〇教育目的・目標

・自己をよりよく知ると同時に、他者との関係において自らの適性を見出し、豊かな未来の設計図（ライフプランニング）を描ける人材を育成する。

・地域の歴史や産業との関わりを理解し、地域で活躍するための知識や技能を磨き、様々な状況に応じてコミュニケーション力を発揮できる人材を育成する。

・多様な分野の学習から得られる幅広い教養をもとに、確固とした人生観を形成し、自らのキャリアについて認識を深め、社会において有益な情報を発信できる人材を育成する。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身につけ、所定の単位を修得し、各学科が定めたディプロマ・ポリシーを満たした人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

「創意・自立・敬愛」の学訓の精神を涵養し、専門知識および技能を身につける。学訓の精神は教養科目と専門科目に渡って涵養する。履修した授業科目の学習成果は、筆記試験、レポート、実技、作品、またはこれらの組み合わせにより評価・査定する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の学訓が「創意・自立・敬愛」であることを十分に理解したうえで、入学後、本学の学生としての教養と専門知識および技能を身につける意欲がある人の入学を求める。高等学校卒業までに修得した学習成果は、下記の表により判断・判定する。

	望まれる高等学校までの学習成果	判定指標	総合型選抜	学校推薦型選抜	一般選抜
基礎的な知識・技能	高等学校で履修した教科について基礎的な知識を有している	調査書または筆記試験・小論文、面接・面談	○	○	◎
思考力・判断力・表現力	自分の考えを他者に分かるように表現できる	面接・面談または筆記試験・小論文	◎	◎	△
	ある事象に対し多面的に考え、自分の考えをまとめ表現することができる	面接・面談または筆記試験・小論文	○	○	△
主体的に取り組む態度	身近な課題や問題に関心を持ち、解決しようとする意欲がある	面接・面談または筆記試験・小論文および調査書	◎	○	△

◎ ： 特に重視する、　○ ： やや重視する、　△ ： あまり重視しない

■ 短期大学としての学習成果

『建学の精神から導かれた「創意・自立・敬愛」の学訓を基に、専門知識と技能及び社会人としての基礎能力を身に付けている』

ライフプランニング総合学科　教育の基本方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する。
2. 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている。
3. 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる。
4. 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる。
5. 生涯学習に資する習慣を確立している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

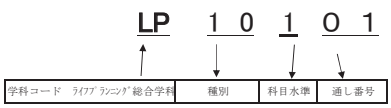
1. 初年次教育の一環として、基礎科目・総合演習において、本学の仕組み、学習方法、資料調査方法、チームでの作業などを学ぶ。
2. 選択したメジャーにおいて、専門的な知識や技能を学ぶ。
3. 情報リテラシーとメディア・リテラシーで、ITの知識と技能及びプレゼンテーションの方法を学ぶ。
4. 地域での活動、就業体験、短期留学、検定取得などができるように学期を配置している。
5. 基礎科目・総合演習や学科行事において、キャリア教育を実施する。就職についての意識を醸成すると同時に、実際の活動に必要な知識を学ぶ。また、早期退職防止のために社会人としてのマナーや企業文化も学ぶ。
6. 多くの教養科目や選択科目を学ぶことができる。
7. 学生が主体的に関わる授業を行う。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 本学の学訓と教育目標を理解し、その実践への意欲を持つ人
2. 学科の仕組みを理解し、4学期制での学習に勤しむ人
3. 選んだメジャーで専門科目を学び、知識と技能の向上を目指す人
4. 多くの人と関わり、社会についての見識を深めたい人

ライフプランニング総合学科科目ナンバリング　令和7年度入学生

（ナンバリングの構成）



ライフプランニング総合学科　学科コード　LP

ナンバリングの意味すること

種別	授業科目	ナンバー
総合	総合演習Ⅰ	10101
	総合演習Ⅱ	10102
	総合演習Ⅲ	10103
	総合演習Ⅳ	10104
必修	基礎科目Ⅰ	20101
	基礎科目Ⅱ	20102
	基礎科目Ⅲ	20103
	基礎科目Ⅳ	20104
	情報リテラシー	20105
	メディアリテラシー	20106
	卒業研究	20201
教養	文学	30101
	文化人類学	30102
	歴史	30103
	心理学	30104
	経済学(暮らしと経済)	30105
	くらしと金融（金融経済入門）	30106
	流通論(暮らしと商品流通)	30107
	社会福祉概論	30108
	数学	30110
	ビジネス統計	30111
	天文学(星と宇宙の不思議)	30112
	英語	30113
	韓国語	30114
	フランス語	30115
	企業論	30116
	経営分析	30117
	日本語文法の基礎	30118
	日本語語彙の基礎	30119
	日本語読解・作文の基礎	30120
	日常日本語会話の基礎	30121
	日本事情	30122
指定	メジャーガイド	40101
一般事務指定	ベーシック簿記	41201
	ビジネス実務演習Ⅰ	41203
	日商簿記Ⅰ	41204
	人的資源論	41206
	パーソナルファイナンス	41207
	経営概論	41208
	ビジネス実務演習Ⅱ	41209
	原価計算論	41210
医療事務指定	医療保障制度	42201
	医療の基礎知識	42202
	医療事務	42203
	医療概論	42204
	医療秘書実務	42205
	調剤報酬請求事務	42206
事務系関連	Excel演習	50201
	Word演習	50202
	ファイナンシャルプランナーⅠ(3級)	50203
	保険の基礎知識	50204
	日商簿記Ⅱ	50206
	ファイナンシャルプランナーⅡ(2級)	50207
	医療クラーク演習	50213
	コンピュータ会計	50208
	財務会計論	50209
	証券外務員Ⅰ（特別会員）	50210
	証券外務員Ⅱ（正会員）	50211
ブライダル指定	ブライダル概論	43201
	ホテルブライダル業務	43202
	ブライダル業務Ⅰ	43203
	ブライダル業務Ⅱ	43206
	ブライダル業務の実務Ⅰ	43204
	ブライダル業務の実務Ⅱ	43205
	ホテル業務概論	43207
	ブライダル業務Ⅲ	43208
	接客コミュニケーション論	43209
	ブライダル・セレモニー	43210
観光指定	ホテルビジネス概論	44201
	観光ビジネス論	44202
	ホテルビジネス実務	44203
	観光デザイン入門	44204
	エアラインビジネス論	44205
	観光デザイン演習	44206
	ホスピタリティー論	44207

種別	授業科目	ナンバー
ビューティー・ファッション指定	カラーコーディネート演習Ⅰ	45201
	ファッションビジネス論	45202
	ファッションコーディネート演習	45203
	ファッション情報分析	45204
	コスメティックサイエンス（美容の基礎知識）	45205
	カラーコーディネート演習Ⅱ	45206
	美容芸術演習A(メイク技法)	45207
	美容芸術演習B(ネイルアート)	45208
	美容芸術演習C(ヘアスタイル技法)	45209
サービス系関連	マーケティング論	51201
	英語コミュニケーション	51202
	英会話	51203
	人間環境心理学	51204
	グループ・プロセス	51205
	臨床心理学	51206
	ピアサポート	51207
	フラワーアレンジメント	51208
	ダイエット論	51209
	フィジカルトレーニング	51210
	和装コーディネート	51211
インテリア指定	インテリア入門	46201
	インテリア販売	46202
	インテリア製図	46203
	インテリアプレゼンテーション	46204
	インテリア計画	46205
	インテリア設計	46206
	インテリアコーディネート	46207
	インテリアグリーン	46208
CG・Webデザイン指定	CG演習A	47201
	CG演習B	47202
	Webデザイン論	47203
	Webクリエート演習	47204
	CGデザイン演習Ⅰ	47205
	CGデザイン演習Ⅱ	47206
	Webプログラミング演習	47207
クリエイティブデザイン系関連	データベース入門演習	52201
	雑貨製作	52202
	Webデータベース演習	52203
	福祉住環境Ⅰ	52204
	環境設計	52205
	福祉住環境Ⅱ	52206
	情報システム概論	52207
	芸術の世界	52208
資格・検定支援	TOEIC検定対策講座A	60201
	サービス接遇検定2級対策講座	60202
	社会人ホスピタリティ検定対策講座	60203
	Word検定対策講座A	60204
	秘書検定2級対策講座	60205
	TOEIC検定対策講座B	60206
	Word検定対策講座B	60207
	Excel検定対策講座	60208
地域創生	地域創生入門	61201
	地域創生演習	61202
	地域創生論	61203
チャレンジ	インターンシップ	62101
	海外研修	62102
	地域チャレンジⅠ	62103
	地域チャレンジⅡ	62104
	地域チャレンジⅢ	62105
	地域チャレンジⅣ	62106
	地域チャレンジⅤ	62107
	地域チャレンジⅥ	62108
	検定チャレンジⅠ	62209
	検定チャレンジⅡ	62210
	検定チャレンジⅢ	62211
	検定チャレンジⅣ	62212
	検定チャレンジⅤ	62213
	検定チャレンジⅥ	62214

〈種別〉

種別	
総合	10
必修	20
教養	30
専門	
指定科目	40
一般事務指定科目	41
医療事務指定科目	42
事務系関連科目	50
ブライダル指定科目	43
観光指定科目	44
ﾌｧｯｼｮﾝ･ﾋﾞｭｰﾃｨｰ指定科目	45
サービス系関連科目	51
インテリア指定科目	46
CG･Webデザイン指定科目	47
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ系関連科目	52
選択	
資格・検定支援	60
地域創生	61
チャレンジ	62

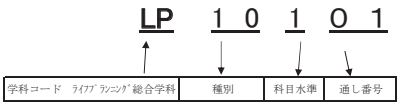
〈科目水準〉

基礎的科目	1
発展的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

ライフプランニング総合学科科目ナンバリング　令和6年度入学生

（ナンバリングの構成）



ライフプランニング総合学科　学科コード　LP

ナンバリングの意味すること

種別	科目水準	通し番号
1 0	1	0 1

種別	授業科目	ナンバー
総合	総合演習Ⅰ	10101
	総合演習Ⅱ	10102
	総合演習Ⅲ	10103
	総合演習Ⅳ	10104
必修	基礎科目Ⅰ	20101
	基礎科目Ⅱ	20102
	基礎科目Ⅲ	20103
	基礎科目Ⅳ	20104
	情報リテラシー	20105
	メディアリテラシー	20106
	卒業研究	20201
教養	文学	30101
	文化人類学	30102
	歴史	30103
	心理学	30104
	経済学(暮らしと経済)	30105
	くらしと金融（金融経済入門）	30106
	流通論(暮らしと商品流通)	30107
	社会福祉概論	30108
	数学	30110
	ビジネス統計	30111
	天文学(星と宇宙の不思議)	30112
	英語	30113
	韓国語	30114
	フランス語	30115
	企業論	30116
	経営分析	30117
	日本語文法の基礎	30118
	日本語語彙の基礎	30119
	日本語読解・作文の基礎	30120
	日常日本語会話の基礎	30121
	日本事情	30122
指定	メジャーガイド	40101
一般事務指定	ベーシック簿記	41201
	ビジネス実務演習Ⅰ	41203
	日商簿記Ⅰ	41204
	人的資源論	41206
	パーソナルファイナンス	41207
	経営概論	41208
	ビジネス実務演習Ⅱ	41209
	原価計算論	41210
医療事務指定	医療保障制度	42201
	医療の基礎知識	42202
	医療事務	42203
	医療概論	42204
	医療秘書実務	42205
	調剤報酬請求事務	42206
事務系関連	Excel演習	50201
	Word演習	50202
	ファイナンシャルプランナーⅠ(3級)	50203
	保険の基礎知識	50204
	日商簿記Ⅱ	50206
	ファイナンシャルプランナーⅡ(2級)	50207
	診療報酬請求事務演習	50212
	コンピュータ会計	50208
	財務会計論	50209
	証券外務員Ⅰ（特別会員）	50210
	証券外務員Ⅱ（正会員）	50211
ブライダル指定	ブライダル業務Ⅰ	43201
	ブライダル業務Ⅱ	43202
	ブライダル業務の実務Ⅰ	43203
	ブライダル業務の実務Ⅱ	43206
	ホテル業務概論	43204
	ブライダル業務Ⅲ	43205
	ブライダル・セレモニー	43207
観光指定	ホテルビジネス概論	44201
	観光ビジネス論	44202
	ホテルビジネス実務	44203
	観光デザイン入門	44204
	エアラインビジネス論	44205
	観光デザイン演習	44206
	ホスピタリティー論	44207

種別	授業科目	ナンバー
ビューティー・ファッション指定	カラーコーディネート演習Ⅰ	45201
	ファッションビジネス論	45202
	ファッションコーディネート演習	45203
	ファッション情報分析	45204
	カラーコーディネート演習Ⅱ	45205
	美容芸術演習A(メイク技法)	45206
	美容芸術演習B(ネイルアート)	45207
	美容芸術演習C(ヘアスタイル技法)	45208
サービス系関連	マーケティング論	51201
	英会話	51202
	人間環境心理学	51203
	グループ・プロセス	51204
	ピアサポート	51205
	臨床心理学	51206
	フラワーアレンジメント	51207
	英語コミュニケーション	51208
	ダイエット論	51209
	フィジカルトレーニング	51210
	和装コーディネート	51211
インテリア指定	インテリア入門	46201
	インテリア販売	46202
	インテリア製図	46203
	インテリアプレゼンテーション	46204
	インテリア計画	46205
	インテリア設計	46206
	インテリアコーディネート	46207
	インテリアグリーン	46208
CG・Web デザイン指定	CG演習A	47201
	CG演習B	47202
	Webデザイン論	47203
	Webクリエート演習	47204
	CGデザイン演習Ⅰ	47205
	CGデザイン演習Ⅱ	47206
	Webプログラミング演習	47207
クリエイティブデザイン系関連	データベース入門演習	52201
	雑貨製作	52202
	Webデータベース演習	52203
	福祉住環境Ⅰ	52204
	環境設計	52205
	福祉住環境Ⅱ	52206
	情報システム概論	52207
	芸術の世界	52208
資格・検定支援	英語検定対策講座A	60201
	サービス接遇検定2級対策講座	60202
	社会人ホスピタリティ検定対策講座	60203
	Word検定対策講座	60204
	秘書検定2級対策講座	60205
	英語検定対策講座B	60206
	Excel検定対策講座	60207
地域創生	地域創生入門	61201
	地域創生演習	61202
	地域創生論	61203
チャレンジ	インターンシップ	62101
	海外研修	62102
	地域チャレンジⅠ	62103
	地域チャレンジⅡ	62104
	地域チャレンジⅢ	62105
	地域チャレンジⅣ	62106
	地域チャレンジⅤ	62107
	地域チャレンジⅥ	62108
	検定チャレンジⅠ	62209
	検定チャレンジⅡ	62210
	検定チャレンジⅢ	62211
	検定チャレンジⅣ	62212
	検定チャレンジⅤ	62213
	検定チャレンジⅥ	62214

〈種別〉

種別	
総合	10
必修	20
教養	30
専門	
指定科目	40
一般事務指定科目	41
医療事務指定科目	42
事務系関連科目	50
ブライダル指定科目	43
観光指定科目	44
ﾌｧｯｼｮﾝ･ﾋﾞｭｰﾃｨｰ指定科目	45
サービス系関連科目	51
インテリア指定科目	46
CG・Webデザイン指定科目	47
ｸﾘｴｲﾃｨﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ系関連科目	52
選択	
資格・検定支援	60
地域創生	61
チャレンジ	62

〈科目水準〉

基礎的科目	1
発展的科目	2

〈通し番号〉カリキュラム表順

令和7年(2025年)度　行 事 予 定 表

※補講について
通常の補講日(補講期間)以外に土曜日や5限目に補講を行うことがある。このような場合は事前に学生支援課掲示板により連絡するので注意すること。

(後期授業開始を保育2年以外9／18、保育2年9／29開始とする)

4 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	火	2年生 OR設定日		
2	水	入 学 式		
3	木	全 学 科 オリエンテーション期間		
4	金			
5	土	OR予備日		
6	日			
7	月	全 学 科 オリエンテーション期間		
8	火	前期・1期授業開始		
9	水			
10	木			
11	金			
12	土			
13	日			
14	月		FA・専攻登録変更日	LP登録変更日
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			
19	土			
20	日			
21	月	食栄・保育登録変更日		
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			
26	土			
27	日			
28	月			
29	火	全学科火曜授業日		
30	水	休校日		

5 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	木	休校日		
2	金	休校日		
3	土	憲法記念日		
4	日	みどりの日		
5	月	こどもの日		
6	火	振替休日		
7	水			
8	木			
9	金			
10	土			
11	日			
12	月			
13	火	防災訓練		
14	水			
15	木			
16	金			
17	土	食2年月曜授業日		
18	日			
19	月	香蘭REDWEEK(5/23まで)		
20	火			
21	水			
22	木			
23	金			
24	土			
25	日			
26	月			
27	火	学生寮避難訓練		
28	水			
29	木			
30	金			
31	土	体育大会		

6 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	日			
2	月			
3	火			
4	水		FA・LP 1期 授業・補講 試験期間 6/3～6/9	
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	食2給食管理学外実習	1期 授業終了	
10	火		2期 授業開始	
11	水			
12	木			
13	金			
14	土			
15	日			
16	月		FA2期 登録変更日	LP2期 登録変更日
17	火			
18	水			
19	木			
20	金		1期 試験結果発表	
21	土			
22	日			
23	月		FA・LP1期 追再試験期間 23・24・25	
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			

7 月

学期		食1保育	食2	FA専	LP
1	火				
2	水				
3	木				
4	金				
5	土				
6	日				
7	月				
8	火				
9	水				
10	木				
11	金				
12	土				
13	日				
14	月				
15	火				
16	水				
17	木				
18	金				
19	土				
20	日				
21	月	全学科月曜授業日(海の日)			
22	火				
23	水				
24	木				
25	金				
26	土		補講		
27	日				
28	月	授業終了		セメスター科目授業終了	
29	火	補講		FA&LP クォーター科目 最終週・補講・試験	
30	水	補講		FA&LP クォーター科目 最終週・補講・試験	
31	木	補講		FA&LP クォーター科目 最終週・補講・試験	

8 月

学期		食1保育	食2	FA専	LP
1	金	試験	授業終了	FA&LP クォーター科目 最終週・補講・試験	
2	土		補講		
3	日				
4	月	試験	補講	FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
5	火	試験	試験	FA・専 試験期間 8/1～8/7	LP 試験予備日
6	水	試験	試験		LP 試験予備日
7	木	試験	試験		LP 試験予備日
8	金		試験		
9	土		試験		
10	日	閉寮			
11	月	山の日			
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土				
17	日	開寮			
18	月	保2保育実習Ⅱ(保育所)Ⅲ(施設)			
19	火				
20	水				
21	木				
22	金				
23	土				
24	日			Web発表	
25	月				
26	火			前期・2期結果発表(保2以外) 履修登録(Web:食・保1、LP、対面:FA・専)	
27	水			履修登録予備日(保2以外)	
28	木	Web実施		対面での追再試期間 FA・専、食、保1、LP	
29	金	保2前期結果発表・履修登録			
30	土				
31	日				

9 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	月			
2	火	保2追再試		
3	水			
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月			
9	火	保2教育実習・(幼稚園)		
10	水	食2病院給食実習		
11	木			
12	金	秋季入学式		
13	土			
14	日			
15	月	敬老の日		
16	火			
17	水			
18	木	後期・3期授業開始(保2以外)		
19	金	保2以外追再試結果発表		
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	全学科火曜授業日(秋分の日)		
24	水		FA・専攻・LP登録変更日	
25	木			
26	金			
27	土			
28	日			
29	月	保2後期開始		
30	火			

学科実習期間

10 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	水			
2	木	食栄・保1登録変更日	保2追再試結果発表	
3	金			
4	土			
5	日			
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金	保育2年登録変更日		
11	土			
12	日			
13	月	全学科月曜授業日(スポーツの日)		
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月			
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			
26	日			
27	月			
28	火			
29	水	香蘭祭週間 11/3まで		
30	木			
31	金			

11 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	土	香蘭祭週間	香 蘭 祭	
2	日		香 蘭 祭	
3	月		後片付け	
4	火		代休	
5	水			
6	木			
7	金			
8	土			
9	日			
10	月			
11	火			
12	水			
13	木		FA・LP3期 授業・補講・試験期間 11/13～11/19	
14	金			
15	土			
16	日			
17	月			
18	火			
19	水		3期授業終了	
20	木		4期 授業開始	
21	金			
22	土			
23	日	勤労感謝の日		
24	月	全学科月曜授業日(振替休日)		
25	火			
26	水		4期登録変更日	
27	木			
28	金			
29	土			
30	日			

12 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	月		3期 試験結果発表	
2	火			
3	水		FA・LP3期	
4	木			
5	金			
6	土			
7	日			
8	月			
9	火			
10	水			
11	木			
12	金			
13	土			
14	日			
15	月			
16	火			
17	水			
18	木			
19	金			
20	土			
21	日			
22	月			
23	火	冬季期間前授業終了		
24	水			
25	木			
26	金	閉寮		
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			

1 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	木	元 日		
2	金			
3	土			
4	日			
5	月	開寮		
6	火			
7	水	授業再開		
8	木			
9	金			
10	土			
11	日			
12	月	成人の日		
13	火			
14	水			
15	木			
16	金			
17	土	全学科月曜授業日		
18	日			
19	月			
20	火			
21	水	保1・食栄 授業終了	セメスター科目 授業終了	
22	木	保1・食栄 補講	FA&LP クォーター科目 最終週・補講・試験	
23	金	保1・食栄 補講	FA・専 試験期間 1/22～1/24	
24	土	保1・食栄 補講		
25	日		就職補講期間 1/26～30	
26	月	保1・食栄 試験開始		
27	火		FA&LP クォーター科目 授業・補講・試験終了	
28	水			
29	木		LP試験予備	
30	金	保2 授業終了	LP試験予備	
31	土	保2補講		

2 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	日			
2	月	保2補講		
3	火	保1保育実習Ⅰ(保育所・施設)①	保2試験 2/3～7	
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月			
10	火			
11	水		建国記念の日	
12	木		Web発表	
13	金	FA卒業制作展予定日	保1以外本試結果発表	
14	土			
15	日			
16	月	保1保育実習Ⅰ(保育所施設)②	追再試験期間(対面) 食栄・保2・L P (16～19日) FA・専攻科 (17日～19日)	
17	火			
18	水			
19	木			
20	金			
21	土			
22	日			
23	月		天皇誕生日	
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			

3 月

学期		保育食栄	FA専	LP
1	日			Web発表
2	月	保1本試、保1以外追再試結果発表		
3	火			
4	水	保1追再		
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	保1保育実習Ⅰ(保育所施設)③		
10	火			
11	水			
12	木			
13	金	卒業パーティー(未定)		
14	土	卒業証書・学位記授与式		
15	日			
16	月			
17	火			
18	水			
19	木	閉寮		
20	金	春分の日		
21	土			
22	日			
23	月			
24	火			
25	水			
26	木			
27	金			
28	土	閉寮		
29	日			
30	月			
31	火			

学生の皆さんへ

オフィスアワーについて

◆本学では学生の皆さんの質問や相談などに先生方が対応するため、“オフィスアワー”を設けています。

先生方に質問や相談があれば“オフィスアワー”を利用してください。

- 専任教員についての“オフィスアワー”の対応時間は各先生方の研究室入口に掲示してあります。
- 非常勤教員についての“オフィスアワー”については、授業前・後の休み時間等を利用して教室等で相談してください。

（本学のホームページでも案内しています。：ホームページのトップページ⇒“在学生の方へ”⇒ “オフィスアワー”を参考にしてください。）

総　合　演　習

必　修　科　目

1　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅰ	LP10101	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

香蘭女子短期大学での勉学を開始するために必要となる初年次教育(レポート等の書き方、学生生活における時間管理、プレゼンテーション等の技法、図書館の効果的な利用法、その他学問修得に向けた動機付け等の取組)を行う。
本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。
これから始まる2年間のために基本的なことを学び、短大や地域社会で必要とされる力(コミュニケーション力)を身につける。

Ⅲ. 学習成果

1自分が通う短大につて知り、これからの2年間の学びについて考え、ポートフォリオを作成する。
2.クラスメートとの交流を図り、コミュニケーションスキルを身につける
3.行事への参加を通して企画力や協調性を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:1期の学びについて(個人時間割確認)係について/履修指導	役割を知り、自分にできる係を見つけ、係の内容を考える。
2:入学時調査・1期ポートフォリオ作成 チャレンジについて	1期の学びについてまとめる。挑戦したいチャレンジについて調べる。
3:香蘭について知ろう(建学の精神・学訓・歴史、LP学科3つのポリシー)	学生便覧(教育の基本方針)をまとめる
4:歓迎会	上級生や同級生との交流を図るために必要なスキルを考える
5:避難訓練・消火訓練	避難経路を調べる
6:クラスミーティング(体育大会準備①)	種目を調べ、参加したいものを考えておく
7:2年生との交流会(メジャー紹介)	現在の興味や将来の夢についてまとめ、メジャーを考える
8:クラスミーティング(体育大会振り返り・2期について)	
9:人権学習	資料を読み課題を提出する
10:クラスミーティング(メジャー紹介)	自分の所属するメジャーについてまとめる
11:クラスミーティング(メジャー紹介)	現在受けているメジャーの指定科目について内容をまとめ発表する
12:香蘭祭について	メジャーでの活動のために必要な力を考える
13:香蘭祭の準備(1・2年生合同)	企画案についてまとめ、準備のスケジュールを立てる
14:クラスミーティング(2期試験について)	夏休みの過ごし方についてスケジュールを立てる
15:3・4期履修登録準備(時間割の確認・注意事項の確認)	自分が学びたいメジャーについて理由をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60% 課題の提出30% 行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替えや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
総合演習Ⅱ	LP10102	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学生が学ぶ学問分野を真に生かして、これからの人生を過ごすための基本的な力を身につけることを目的とする総合的な科目である。
ここではクラス単位での行事や研修を通して社会人基礎力の獲得を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

1.短大や学科の行事への参加を通して社会で役立つ力(協調性、働きかけ力、柔軟性)を養う
2.プレゼンテーションスキルを身につけ、効果的なプレゼンテーションを行うことができる
3.短大での1年間の学びを振り返り、ポートフォリオの作成を通して将来について考える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(3・4期のスケジュールについて)	3・4期のスケジュールを立てる
2:全体集会	内容をまとめる
3:香蘭祭の準備①(1・2年合同)	2期の試験結果を踏まえて自分の学びを振り返る
4:香蘭祭の準備②(1・2年生合同)	香蘭祭に向けて自分の役割を確認し準備する
5:香蘭祭準備③(1・2年生合同)	見やすい展示の方法について調べる
6:クラスミーティング(香蘭祭週間スケジュール確認、香蘭祭にむけて)	香蘭祭の流れについて確認し、準備を行う
7:香蘭祭振り返り	現在の社会人基礎力を確認する
8:キャリアデザインブックを使いこなそう①(スケジュールの管理)	香蘭祭を通して身についた社会人基礎力をまとめる
9:キャリアデザインブックを使いこなそう②(履歴書・ESの書き方)	キャリアデザインブックの内容を確認し、使いやすいように工夫する
10:履歴書指導	自身の特徴をまとめる
11:クラスミーティング(マナー調査・2年生を送る会について)	キャリアデザインブックをみながら履歴書を書く
12:クラスミーティング(マナー調査・2年生を送る会準備)	2年生を送る会について案をつくる
13:2年生を送る会	上級生とのコミュニケーションスキルを考える
14:2年生を送る会振り返り・4期試験について	1年次の学びをまとめ、2年次の予定を立てる
15:2年生へ向けて(春休みの過ごし方)ポートフォリオによる振り返り	春休みの生活や就活についてスケジュールを立てる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する
参考書:プレゼンテーション入門－学生のためのプレゼン上達術－(アカデミックスキルズ) 直江健介著 慶応義塾大学出版会
よくわかる自信がつくプレゼンテーション 富士通エフオーエム著 富士通エフオーエム

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60% 課題の提出30% 行事への関わり方10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語やスマートホンの使用は禁じる。
一部の授業順序の入れ替わりや変更になる場合には事前に連絡を行う。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅰ	LP20101	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅰでは、大学での学びに必要な知識や技術の獲得、人間関係の早期形成のための基本的なコミュニケーション・スキルの獲得、青年期の適切な食生活に関する知識を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 キャンパスにおいて自分の居場所を確保できる
2 授業を受講するための知識と技能を身につけ、能動的に利用できる
3 教員や仲間と良好な関係を構築できる
4 食に関する正しい知識を身につけ、実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション/キャリアについて	大学の学びの特徴について整理してまとめる
2:学びの基本(チャレンジ・地域創生について)	地域貢献やボランティアについて調べる
3:コミュニケーションスキル① 自己紹介・話してみよう	コミュニケーションの方法についてまとめる
4:コミュニケーションスキル② グループで活動する	グループでのコミュニケーションで得たことをまとめる
5:自己分析 PROGテスト①	PROGテストの内容について振り返りまとめる
6:自己分析 PROGテスト②	PROGテストの内容について振り返りまとめる
7:キャンパス生活 キャンパスの中での人間関係づくり(面談)	教員および他のメンバーとの交流内容をまとめる
8:キャンパス生活 図書館オリエンテーション	実際に図書館から図書を借りて図書館の利用方法についてまとめる
9:キャンパス生活 KORAN RED WEEKについて	KORAN RED WEEKについてまとめ、飾りつけの提案をする
10:キャリア形成 インターンシップ・就職情報サイトの登録	インターンシップの種類・申し込み方法についてまとめる
11:自己管理 1週間の食の記録をとる	自分の1週間分の食生活を記録しまとめる
12:社会文化 美術館・博物館に親しむ①	観覧のルールを確認し、観覧後感想を提出する
13:社会・文化 博多座研修	観劇のルールを確認し、観劇後感想を提出する
14:キャリア形成 Job Tagで自分に合った職業を探そう	業種や職種をまとめる
15:キャリア形成 職業適性検査	職種・業種の違いを理解し、自分の将来について考える。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「大学生のキャリアデザイントレーニング」(晃洋書房) その他教員作成資料を配布する
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業への意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅱ	LP20102	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅱでは、大学での学びに必要なさらなる知識や技術の獲得、自己管理(青年期の女性のからだの特徴を知り健康管理ができる、マネーマネジメントができる、ストレスへの対処方法)を学ぶ。さらに防災や文化といった視点からの地域理解とプレゼンテーション等を中心に学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自己管理(体調管理、マネーマネジメント)を行うことができる。
2 目的に従った適切な情報収集を行うことができる
3 プレゼンテーション能力を身につけ、人前で堂々と話すことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:ｷｬﾝﾊﾟｽ生活 オリエンテーション 女性のからだアンケート	ポートフォリオをもとに、今後の学びの計画を立てる
2:自己分析 PROGテスト解説 留学生 外国人防災サポーター講座	PROGテストの結果を把握し、今後の生活に活かすことができるようにする
3:自己管理 食生活を振り返る	自分の生活習慣や食生活について振り返りまとめる
4:自己管理 食と心理 摂食障害について	学んだことについてまとめる
5:キャリア形成 職業適性検査の見方	自分の性格について違った見方ができるか考え、まとめる
6:キャリア形成 社会を知る 働くとは何か	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
7:キャリア形成 夏期インターンシップ・オープンカンパニーについて	夏休みの就活の計画を立てる
8:キャリア形成 企業研究	興味のある会社のインターンやオープンカンパニーの情報を集める
9:自己管理 抗ストレス講座	ストレスについて理解し、自分自身の対処方法をまとめる
10:キャリア形成 社会人基礎力について	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
11:自己管理 女性のからだ	自分の普段の体調の変化について、女性特有の症状がないか記録をとる
12:学びの基本 大学生活の目標	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
13:学びの基本 3・4期登録準備	メジャーの2年間の学びについてカリキュラムツリーを確認し計画を立てる
14:学びの基本 好感を持たれる人「第一印象」	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
15:学びの基本 3・4期の登録について	メジャーの学びについてまとめる(ポートフォリオ)

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「大学生のキャリアデザイントレーニング」(晃洋書房) その他教員作成資料を配布する
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅲ	LP20103	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

基礎科目では高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育へ橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。
基礎科目Ⅲでは、進路探索を含むキャリア形成に関する内容を中心に、課題解決型学習(PBL)として地域の課題発見とその解決策の提案、さらにDVについて学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1.自らの進路について現実的・具体的に考え、説明することができる
2.自分のからだについて理解し、体調管理ができる
3.就活のためのプレゼンテーション技術を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション	これからの学びについてまとめる
2:コミュニケーションスキル 言葉遣い	自分の職業適性の結果と希望の職種とを比べ将来について考える
3:キャリア形成 就職ガイダンス①(心構えと行動スケジュール)	就活のスケジュールを知り、自分の行動スケジュールを立てる
4:コミュニケーションスキル 「聴く、話す、話し合う」	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
5:コミュニケーションスキル 電話応対	講師の話をまとめ自己分析をおこなってみる
6:キャリア形成 就職ガイダンス②(就職サイトの見方・情報収集の仕方)	興味のある企業について情報収集を行う
7:コミュニケーションスキル 訪問のマナー	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
8:キャリア形成 学内企業説明会①	参加した企業についてまとめる
9:キャリア形成 文書作成	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
10:キャリア形成 学内企業説明会②	参加した企業についてまとめる
11:キャリア形成 自己分析	自己PRを書くための材料を探す
12:キャリア形成 就職ガイダンス③(進路登録カード・履歴書記入方法ほか)	履歴書やエントリーシートの書き方についてまとめる
13:キャリア形成 就活マナー	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
14:キャリア形成 学内企業説明会③	参加した企業についてまとめる
15:キャリア形成 就職試験について	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「大学生のキャリアデザイントレーニング」(晃洋書房) その他教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
基礎科目Ⅳ	LP20104	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

高校から大学への接続において新入生が抱く様々な不安を解消し、キャンパス生活を豊かにする力を育成し、その後の専門教育への橋渡しとなる基礎的な力をつけることを目的とする。基礎科目Ⅳでは、基礎科目Ⅲに引き続きキャリア形成に関する内容を中心に、グループ・ワークを通したチーム・ワーク形成につても学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1 自らのキャリアプランを実現するための情報収集ができる
2 グループ・ワークへの自らの関わり方の特徴を理解し、チームワーク力を高めることができる
3 ストレスとメンタルヘルスに関する正しい知識を身につけ活用できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:社会文化 美術館博物館に親しむ②準備	現在開催されている展覧会を調べ、どの展覧会を見学するか決める
2:キャリア形成 リクルートスーツの着こなし講座	就職活動の際によい印象を与えるリクルートスーツの選び方についてまとめる
3:キャリア形成 SPI対策①言語・非言語	問題を解き、できなかった問題の復習を行う
4:キャリア形成 SPI対策②言語・非言語	参加した企業の求人票をみて必要な情報をまとめる
5:キャリア形成 リクルートメイク講座①基本をまなぶ講座	第一印象についてまとめる
6:キャリア形成 リクルートメイク講座②リクルートメイクをやってみる	普段のメイクとの違いをまとめる
7:キャリア形成 就活準備(履歴書・ESの書き方)	テキストを読んでおく。授業の後振り返りシートにまとめと感想を記入する
8:キャリア形成 就活準備 企業研究	選考の種類についてまとめる
9:キャリア形成 就活準備 SPI対策③言語・非言語	授業後自分自身について振り返りを提出し、本番に備える
10:キャリア形成 就活準備 卒業生の話を聞く①	先輩の就活の状況や仕事の内容についてまとめる
11:キャリア形成 卒業生の話を聞く②	先輩の就活の状況や仕事の内容についてまとめる
12:キャリア形成 キャリア面談	自身の就活のスケジュールについてまとめておく
13:社会文化 美術館博物館に親しむ②見学	選んだ展覧会を見学し、展覧会の内容・感想をまとめる
14:自己管理 ストレスとメンタルヘルス	自分自身のストレスの感じ方について対処法を考える
15:キャンパス生活 2年生へ向けて	一年間の学びを振り返り成果をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「大学生のキャリアデザイントレーニング」(晃洋書房) その他教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(授業貢献度を含む)60%、レポート等提出物40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業時に配布されるプリントや実習資料は、各自整理して授業に臨むこと。
一部の授業順序が入れ替わったり変更になる場合がある。
課題については全体で講評し、個別にコメントを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
情報リテラシー	LP20105	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
復本　寅之介					
伊藤　るり		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

必修科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネスソフトや電子メール、インターネットを使いこなす能力である情報リテラシーは、短大生や社会人が身に付けるべき基礎スキルです。
短大生活において、授業課題への取り組みや自主学習、就職・進学活動での情報収集や連絡手段、書類作成など、様々な活動を効率化してくれます。
また、Word や Excel の技能は就職活動で求められる主要な資格であり、社会人になってからの業務とその効率化に不可欠です。
この科目では情報リテラシーを基礎から学び、授業内容の復習と出題される課題に各自が取り組むことで、実用的なレベルに高めることを目標とします。

Ⅲ. 学習成果

・データの作成や管理が責任を持ってできるようになる。
・タッチタイピング(ブラインドタッチ)で文字入力ができるようになる。
・電子メールや検索サイト等の Webサービスが日常的に使いこなせるようになる。
・Word や Excel、PowerPoint の初歩的な機能を用いて、資料作成や表計算処理などができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: コンピュータの基本操作1(Windows) ウィンドウ操作、文字の入力と編集、ファイルとフォルダ管理、USBメモリの使い方	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること キーボード記号の読みを覚える、情報モラルとセキュリティ1～2
2: コンピュータの基本操作2(Windows) 情報検索、ファンクションキーの活用、署名の設定、メール転送、圧縮ファイル	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ3～5
3: 文書作成ソフトの活用1(Word) Wordの基礎、Google Drive、Google Classroom、Google Calendar	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ6～8
4: 文書作成ソフトの活用2(Word) 各書式の利用、文字の配置、文字の装飾、検索と置換、印刷	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ9～11
5: 文書作成ソフトの活用3(Word) デザイン機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ12～14
6: 文書作成ソフトの活用4(Word) 罫線の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ15～17
7: 文書作成ソフトの活用5(Word) 図形描画、テキストボックス、画像、スクリーンショット、SmartArt	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ18～20
8: 表計算ソフトの活用1(Excel) 各種名称、四則演算、座標、罫線	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ21～23
9: 表計算ソフトの活用2(Excel) 関数:SUM、AVERAGE、MAX、MIN	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ24～26
10: 表計算ソフトの活用3(Excel) オートフィル、絶対参照、相対参照、複合参照	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ27～29
11: 表計算ソフトの活用4(Excel) 関数:COUNT、RANK、関数とオートフィルの利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ30～32
12: 表計算ソフトの活用5(Excel) グラフ機能、データベース機能	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習、情報モラルとセキュリティ33～34
13: プレゼンテーションソフトの活用1(PowerPoint) スライド作成、レイアウトの変更、プレゼンテーション、タイピング測定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること プレゼンテーション資料の準備
14: プレゼンテーションソフトの活用2(PowerPoint) アニメーション機能、情報検索(画像、動画、地図、他)、タイピング測定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること プレゼンテーション資料の準備
15: プレゼンテーションソフトの活用3(PowerPoint) 【プレゼンテーション】課題作成したプレゼン資料の発表、タイピング測定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 授業で指示された課題の提出

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「情報リテラシー 入門編 Windows 11/Office 2021対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格1,100円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出　45%　確認問題　35%　タイピング評価　20%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
課題提出の期限に遅れた場合、2回目の提出期限を定めます。そこで提出できれば、減点の扱いで提出を受け付けます。
2回目の提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
情報リテラシー(留学生)	LP20105	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネスソフトや電子メール，インターネットを使いこなすスキルやその周辺知識は，社会人が身に付けておくべき基礎的なスキルの1つです．本科目で学ぶ内容は，授業課題への取り組みや，就職・進学活動での情報収集，書類作成などの様々な活動で役立ちます．授業では，これらのスキルを基礎から学びながら，実用的な技術と知識の習得を目指します．

Ⅲ. 学習成果

・データの作成・管理ができる
・タッチタイピングで文字入力ができる
・Gmail，Google Drive，Google Classroomを利活用できる
・Word，Excel，PowerPointの初歩的な機能を用いて，資料作成や表計算処理ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 授業内容紹介，本学パソコンの基本操作，Googleの各種サービス紹介	パソコンの基礎的な作業について復習すること
2:文字入力 pp.01 – 28 Windowsの基本，文字の様々な入力方法	日本語を正しく入力できるように復習すること タイピング練習01
3:Word(文書作成) pp.29 –38	Wordの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習02
4:Word(表の作成) pp.39 – 58	Wordの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習03
5:Word(最終調整) pp.29 – 58 Wordの課題を全員が提出できるように調整回として設けます	Wordの課題作成を完了すること タイピング練習04
6:Excel(基本操作，数式の利用)pp. 59 – 72	Excelの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習05
7:Excel(SUMとオートフィル)pp. 73 – 80	Excelの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習06
8:Excel(表の作成)pp. 81 – 94	Excelの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習07
9:Excel(グラフの作成)pp. 95 – 104	Excelの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習08
10:PowerPoint(基本操作とスライド作成の前半)pp. 105 – 119	PowerPointの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習09
11:PowerPoint(スライド作成の後半)pp. 120 – 130	PowerPointの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習10
12:PowerPoint(スライドの編集)pp. 121 – 148	PowerPointの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習(終わっていない場合)
13:PowerPoint(スライドショーの実行)pp. 149 – 162	PowerPointの各操作・機能を利用できるように復習すること タイピング練習(終わっていない場合)
14:情報モラルpp. 163 – 172 情報モラルに関する問題にグループで回答するグループワークを実施する	授業中に学んだ各操作・機能を利用できるように復習すること
15:総括 Word，Excel，PowerPoint，Googleの各種サービスのまとめ	すべての課題を提出すること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
学習内容の理解不足を解消するために、タイピング練習を60分以上の時間をかけて実施すること.

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:留学生のためのパソコン入門(インフォテック・サーブ)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回における課題:60%(課題の提出状況，提出内容を評価)
TypeQuick:30%(指示した練習をすべて実施しているか，タイピング精度・タイピングスピードを評価)
授業姿勢・態度:10%(発言量や授業中の取り組み状況を評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題のフィードバックはClassroomを用いて行う
・タイピングソフトとしてTypeQuickを用いる

必修科目

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
メディアリテラシー	LP20106	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
須藤　信		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，多様なメディアを読解・解釈し，適切に活用する能力を身につけることを目的とする．はじめに，多様なメディアの歴史やその特性についての理解を深める．その後，メディア特性・批判的思考・情報発信をテーマとしてグループ課題に取り組むことで，多様なメディアを受信者・発信者双方の視点で読解・解釈し，適切なメディアを選択して情報を発信する能力を涵養する．

Ⅲ. 学習成果

・各種メディアの位置づけやメディア史を説明できる
・メディアを読解・解釈する能力を身につける
・メディアを批判的に分析する能力を身につける
・メディア特性を理解し，適切なメディアを選択して情報を発信する能力を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:メディアとAI グループワークを実施します.	映像の文法について理解を深めるために，テレビや映画，インターネット動画等の映像を自分なりに解釈する練習をすること.
2:映像メディア グループワークを実施します.	各メディアの歴史を授業外でも調査して理解を深めること.
3:プリントメディア グループワークを実施します.	各メディアの歴史を授業外でも調査して理解を深めること.
4:Webメディア グループワークを実施します.	各メディアの歴史を授業外でも調査して理解を深めること.
5:VRメディア，メタバース，AI グループワークを実施します.	各メディアの歴史を授業外でも調査して理解を深めること.
6:メディア分類とその特性 グループワークを実施します.	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は，授業外時間を用いて実施すること.
7:発信者と受信者の関係 グループワークを実施します.	グループ学習にて検討できなかった箇所がある場合は，授業外時間を用いて実施すること.
8:メディアと批判的思考(情報の批判的な解釈) グループワークを実施します.	授業外時間において情報を批判的に解釈する練習を行っておくこと.
9:メディアと批判的思考(情報検索) グループワークを実施します.	図書館にてOPAC検索を行い，指定の書籍を探しておくこと.
10:メディアと批判的思考(情報を解釈する方法のまとめ) グループワークを実施します.	グループでのレポート課題を作成するために，授業外時間を利用して執筆を進めること.
11:メディアによる情報発信(テーマの検討) グループワークを実施します.	発表テーマを決定して，配布プリントにすべて記載すること.
12:メディアによる情報発信(内容の検討) グループワークを実施します.	発表テーマの根拠資料を調査しておくこと.
13:メディアによる情報発信(プレゼンテーションの作成) グループワークを実施します.	次回発表できるようにプレゼンデータを完成させて，発表練習をしておくこと．また，作業分担しておくこと.
14:発表と講評	各受講生の発表に対する評価や感想をまとめること.
15:発表と講評	各受講生の発表に対する評価や感想をまとめること.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・出題した課題には十分時間をかけて取り組むこと
・授業内容を理解するために，180分以上の時間を設けて各自で予習・復習すると共に，関連する社会問題について調べることで理解を深めること

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず，配布資料にて授業を進める．
参考図書:「メディア・リテラシーの教育論，中橋　雄編著」については授業内容理解の参考になるため，この欄にて紹介する．

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終発表:30%(メディアを読解・解釈する能力，メディアを批判的に分析する能力，メディアを扱う能力を総合的に評価)
授業姿勢・態度:30%(第1回～第13回における作業量・発言量・努力量を総合的に評価)
各回における課題:40%(最終レポート以外の提出物や発表の評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業中に出題する課題について，授業担当者から適宜フィードバックを行う
・授業ではClassroom, DriveなどのGoogleのサービスを積極的に利用する
・担当者は結婚式やイベント，広告の映像や写真の撮影・編集業務を行っていた経験があり，本科目に関連する実務経験を有します

教　養　科　目

1　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
文学	LP30101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
村上　舞		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	○
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

フランス文学を代表する偉大な作家のミューズとなった女性たちをテーマにし、様々な作品を日本語の翻訳で読みます。女性たちの人生を取り上げ、その女性たちと深い関係になった男性作家たちの作品、またその作品が生まれた時代背景、社会また文化などにも触れます。

Ⅲ. 学習成果

1. 歴史や文化などの作品の背景的知識を得る。
2. 文章を分析する論理的思考が身につく。
3. 自分の考えや意見をまとめる文章力や言葉の運用能力を高める。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション＋ルイーズ・ド・ヴィルモラン(1):ルイーズと時代背景について	授業の内容について、自分が興味をもったこと、疑問に思ったことをまとめておくこと。
2:ルイーズ・ド・ヴィルモラン(2):サン＝テグジュペリ『星の王子さま』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
3:ルイーズ・ド・ヴィルモラン(3):アンドレ・マルロー『人間の条件』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
4:リー・ミラー(1):リー・ミラーと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
5:リー・ミラー(2):マン・レイ『マン・レイ自伝 セルフ・ポートレイト』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
6:リー・ミラー(3):コクトー『詩人の血』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
7:ルー・アンドレアス＝ザロメ(1):ルー・ザロメと時代背景	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
8:ルー・アンドレアス＝ザロメ(2):ニーチェ『ツァトゥストラはかく語りき』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
9:ルー・アンドレアス＝ザロメ(3):詩人、ルネ＝マリア・リルケ	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
10:マリ・ド・エレディア(1):エレディアと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
11:マリ・ド・エレディア(2):ポール・ヴァレリーとアンドレ・ジッド	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
12:マリ・ド・エレディア(3):ピエール・ルイス『ビリチスの歌』、『アフロディテ』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
13:ガラ(1):ガラと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
14: ガラ(1):詩人、ポール・エリュアール	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
15: ガラ(1):スペイン人画家、サルバドール・ダリ	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、毎回のポートフォリオシートの提出など授業への積極的参加(50%)
遅刻、居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
歴史	LP30103	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　由利子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代は、過去の積み重ねでできている。現代の「日本」に最も大きな影響を与えたのが江戸時代である。
江戸時代は幕藩制という体制概念で表現され、国や社会が成り立っていた。授業では、江戸時代の福岡藩や佐賀藩で起こったいくつかの出来事を取り上げ、現代がいかに江戸時代の影響を受けているかを探っていく。

Ⅲ. 学習成果

1　江戸時代の制度の特徴について説明できる
2　江戸時代の身分について説明できる
3　江戸時代の暮らしと暦について説明できる
4　江戸時代の宗教や思想について説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本の近世という時代	日本の近世という概念の最新の捉え方についてまとめる
2: 江戸時代の幕藩体制と身分	江戸時代の政治体制における身分についてまとめる
3: 江戸時代の女性と化粧	身分による女性の衣服や化粧や髪型の違いについてまとめる
4: 江戸時代の村人の暮らし	江戸時代の村人の一年の過ごし方についてまとめる
5: 江戸時代の暦と度量衡	江戸時代の人々が使用した暦や尺度や重さについてまとめる
6: 江戸時代の文字と言葉	江戸時代の文字(くずし字)や、言い回しについてまとめる
7: 江戸時代の教育(藩校について)	主に支配者階級の藩校についてまとめる
8: 江戸時代の教育(私塾と寺子屋について)	私塾や子供が学ぶ寺子屋についてまとめる
9: 江戸時代の思想としての儒学	江戸時代の「武士道と倫理観」などの思想をまとめる
10: 近世における佐賀藩と福岡藩	佐賀藩と福岡藩の特異性などをまとめる
11: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(1) 近世武家「家訓」と鍋島直茂について	「直茂様御教訓ヶ条覚書」について新見解をまとめる
12: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(2) 山本常朝「葉隠」と鍋島直茂・勝茂との関係	「直茂様御教訓ヶ条覚書」と「葉隠」の関連性についてまとめる
13: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(1) 黒田長政の神格化と春日神社について	福岡藩初代藩主黒田長政を祀った神社についてまとめる
14: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(2) 春日神社の由緒書についての検証	長政を祀った神社の由緒書を読み解き新しい解釈をみつける
15: ディスカッション　江戸時代の特徴及び現代への影響について	江戸時代の特徴及び現代への影響をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回45分以上行うこと。毎回感想文を提出してもらいます。内容については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。レジュメやプリントを毎回配布します。
参考文献や論文等は授業中に紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%　　学習の意欲　50%(毎回の感想、授業態度)で評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回授業の最後に、質問や感想を書いて提出してもらいます。質問の回答は次回の授業時にします。
素晴らしい質問や新しい視点での感想を書いた人には加点します。
他人の受講を妨げる行為(私語、スマートフォンの使用、理由のない中途退室)は厳禁とし、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
心理学	LP30104	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
松村　恭平		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，日常生活に関連した心理学についてさまざまなトピックを広く取り扱う。心理学的視点を持つことは自己や他者に対する理解を深めることや日常生活を適応的に過ごすことに役立つと考えられるため，これら学ぶことにより，日常生活に活かせるような学びを得ることを目的とする。その中でも，臨床心理学領域で用いられる技法について重点的に取り扱い，様々な状態を呈する方々とコミュニケーションを行う際の工夫や配慮についての理解を深めることも目的とする。本講義ではこの目的を達成するために，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における現象や発達について，心理学的用語を用いて説明ができる
・日常におけるストレスとそれらに対する対処法について，自身の言葉で説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 授業の進め方の説明や自己紹介を用いたワーク	心理学について学んでみたいことを考える
2: 心とは ～日常の中で体験することを心理ではどう説明するのか～	生活の中での「心」に関する体験を探す
3: 日常に潜む心理学 ～錯視を中心に～	生活の中での錯視を探す
4: 記憶・学習について ～人はものをどう覚えるのか～	生活の中での記憶に関する体験について整理する
5: 感情について ～気持ちが心理学でどのように扱われているか～	生活の中で生じる感情に関する理論を整理する
6: 性格について ～パーソナリティ理論と性格検査～	性格の考え方や検査を通して考えたことをまとめる
7: 発達について ～赤ちゃんから子どもへ～	様々な力を新生児たちが身につけていく過程について整理する
8: 発達障害について ～ASD・ADHDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
9: 発達段階とアイデンティティ	発達段階に関するワークシートの作成
10: ストレス理論について	日常生活でのストレス体験について，自身の体験と対処法略について考える
11: 臨床心理学について ～様々な立場から～	カウンセリングで行われている基礎的なことについて理解する
12: 臨床心理学におけるイメージについて ～描画法を通して～	カウンセリングの場で用いられる，イメージを活用した技法についての理解を深める
13: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについて調べる～	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる
14: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについてまとめる～	これまでの授業を通して考えたことをまとめ，グループ内で意見を共有する。
15: 日常における心理学 ～まとめた日常にある心理学について発表する～	他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については各授業で指示を行う。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくはパワーポイントの資料を共有する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポートまたは試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。質問等が授業中にできなかった場合には，小レポートに質問を書いてもらい，次の授業で回答します。小レポートに関しては次回の授業でフィードバックを行います。
適宜グループワークも含めながら授業を進めていきます。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
経済学	LP30105	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの暮らしは、「市場経済」の働きと「財政」による支援によって成立している。本講座では、後者の「財政」の仕組みに焦点を当て、「市場経済」との違いを理解することを当面の目標とする。また、指定したテキストを使いながら、私たちが住んでいる「地域」の経済について理解を深め、「財政」と「市場経済」のどちらの仕組みも私たちの暮らしにとって欠かせないものであることを理論的に把握することが本講座の最終目標である。同時に、私たちが住んでいる地域の経済についても関心を高め、生活実感を伴う講義を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①財政の仕組みと市場経済の働きの違いを理解し、経済学的な考えで世の事象を説明できる。
②税制や社会保障問題と私たちの暮らしのつながりを理解することで、一社会人としての生活に困らない程度の準備を行える。
③グローバルとローカルという横の広がりと、過去と現在と未来という時間軸に沿った縦のつながりを意識することで、地域の経済について深く理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:テキストの「はじめに」を再読しておくこと。
2: 第1章　社会保障の系譜	予習:テキストの第1章読んでおくこと。 復習:テキストの第1章を復習しておくこと。
3: 第2章　社会保障の基本哲学を知る	予習:テキストの第2章読んでおくこと。 復習:テキストの第2章を復習しておくこと。
4: 第3章　日本の社会保障の特徴	予習:テキストの第3章読んでおくこと。 復習:テキストの第3章を復習しておくこと。
5: 第4章　人口減少社会　※課題1の説明	予習:テキストの第4章読んでおくこと。 復習:テキストの第4章を復習しておくこと。
6: 第5章　産業としての社会保障	予習:テキストの第5章読んでおくこと。 復習:テキストの第5章を復習しておくこと。
7: 第6章　財政赤字	予習:テキストの第6章読んでおくこと。 復習:テキストの第6章を復習しておくこと。
8: 第7章　日本社会が抱える課題 課題1の回収	予習:テキストの第7章読んでおくこと。 復習:テキストの第7章を復習しておくこと。
9: 第8章　北欧との比較 ※グループワークの実施	予習:テキストの第8章読んでおくこと。 復習:テキストの第8章を復習しておくこと。
10: 第9章　持続可能な社会をつくる ※グループワークの実施	予習:テキストの第9章読んでおくこと。 復習:テキストの第9章を復習しておくこと。
11: 社会保険の仕組み①　※課題2の説明 公的年金保険について	予習:年金制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに年金制度をまとめておくこと。
12: 社会保険の仕組み② 公的医療保険について	予習:医療保険制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに医療保険制度をまとめておくこと。
13: 社会保険の仕組み③ 公的介護保険について	予習:介護制度について調べておくこと。 復習:配布資料をもとに介護保険制度をまとめておくこと。
14: ビデオ学習 ※　社会保障制度の行き詰まりをテーマとした映像を見せる予定。	予習:第11～13回の内容の復習を行っておくこと。 復習:ビデオの内容を思いだし、
15: 総括 課題2の回収	予習:課題2の完成 復習:テキストを中心に、自分の考えをまとめておくこと。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「教養としての社会保障」 東洋経済新報社　香取照幸著
参考書 「新しい地方財政論」 有斐閣　中井英雄他著
「マクロ経済学入門　第2版」 日経文庫　中谷巌著
「ミクロ経済学」 東京大学出版会　奥野正寛編著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験(上記1～14回の内容から出題)50%、レポート(2回)20%、学習の意欲　30%。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収する資料およびレポートは必要に応じてコメントをつけて返却する。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象(受講態度の評価の対象)とする。
・シラバスの内容を変更する際は、事前に授業中にお知らせする。
・Google Classroomについては、授業外の学習を促進するために使用することもある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
くらしと金融	LP30106	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2022年度より、高校の家庭科において、金融教育が必修になりました。また、金融庁が金融リテラシー調査を始め、日本人の金融知識の無さを複数回指摘しています。21世紀の中盤に向けて生きていく皆さんたちにとって、金融知識の重要度は増すことはあっても、低くなることはないでしょう。現在、日本は貿易ではなく、世界各国へ投資し、そこからあがってくるリターンによってビジネスを行っている以上、金融の知識は絶対不可欠な状況です。
そこで、本講座では、金融の基礎的な学びをしっかり行い、後期以降の金融の学びにつなげる予定です。

Ⅲ. 学習成果

① 身近な素材を例に、お金についての基本的な知識を獲得し、普段の生活に役立てられるようになる。
② 「お金」にも働いてもらうことで、投資から得られるリターンとリスクに関する知識を獲得する。
③ ライフイベント表の作り方を理解し、自分自身のライフプランを作る際の参考とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:金融リテラシーについて、再度考えてみる。
2: お金の基本①　景気について	予習:インフレ・デフレについて調べておく。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
3: お金の基本②　キャッシュレス決済について	予習:電子マネーについて調べておく。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
4: お金の基本③　日本銀行について	予習:日本銀行について調べておく。 復習:授業内容を再度自分でも確かめる。
5: お金とライフプラン①　人生の三大支出について	予習:将来何がしたいか考えてみよう。 復習:お金の管理方法を考えてみよう。
6: お金とライフプラン②　金利について	予習:保険について考えてみよう。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
7: お金とライフプラン③　株式投資について	予習:NISA、iDeCoについて調べておく。 復習:株式投資について再度考えてみよう。
8: グループワーク　※課題1の提示	予習:ライフイベント表を作成してみよう。 復習:課題1に取り組む。
9: 税と社会保障①　給与明細の見方について	予習:給与明細表について調べておく。 復習:税金について再度考えてみよう。
10: 税と社会保障②　社会保障制度について	予習:社会保険について調べておく。 復習:ケガや病気の時の保障について調べておく。
11: 税と社会保障③　保険と公的年金について　※課題1の回収	予習:年金について調べておく。 復習:他の人の意見をまとめる。
12: お金のトラブル①　クレジットカードについて　※課題2の提示	予習:PART3の復習をしておく。 復習:課題2に取り組む。
13: お金のトラブル②　お金の借入れについて	予習:リボ払いについて調べておく。 復習:FXについて確認しておく。
14: ビデオ学習「人生100年時代の生き方」 課題2の回収	予習:リンダ・グラッドストン氏のLife Shiftについて調べておく。 復習:人生100年時代について考える。
15: まとめ　※課題2の答え合わせ	予習:これまでの資料をまとめる。 復習:試験に向けて、自分の金融リテラシーを高める。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

(教科書)14歳からの金融リテラシー　太田出版　一般社団法人社会応援ネットワーク著
(参考書)金融入門　第3版　日経文庫　日本経済新聞社(編)
入門金融(第5版)　東洋経済新報社　黒田晁生著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出2回　30%(15%、15%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用する。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
流通論	LP30107	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達の暮らしの中で存在している商品は、世界中の生産現場から集められたモノ・サービスです。それらは、時間・場所・人の隔たりを越えて、私達のもとへたどり着いたと言えます。この授業では、流通論の基本と流通業界について学びます。前半は流通の基礎知識、小売業の特徴を学び、後半は百貨店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、専門店などの、具体的な業態について学びます。また、卸売機構についても学びます。

Ⅲ. 学習成果

・基本的な流通のしくみが理解できる。
・基本的な流通用語が説明できる。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの業態を理解し、説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 生産と消費とのギャップをどう考えるか この世界で流通はどれほど重要なのか	流通がなければ、世界はどのような状況になると思われますか？ 50字程度でのべてください。
2: 生活者にとって流通とは何なのか いま流通はどう変化しているのか	業種別流通と業態別流通の違いを、100字程度にまとめる。
3: 流通とはいったい何をどうすることなのか 流通の基本的な基本的な役割とは何なのか、流通機構について	流通機構の6つの機能について、100字程度にまとめる。
4: 流通機構はどのようにとらえればいいのか 流通チャネルの特徴を種類別にみてみる	直接流通と間接流通について、さらに排他的・選択的・開放的流通について説明しなさい。
5: 効率を追求する「垂直的流通システム」について 日本の伝統的流通システムの特徴	垂直的流通システムの3つのパターンにはどんな特徴がありますか？ 100字程度にまとめる。
6: 流通革命は進み、結果はどうなったのか 流通の変化は消費者行動のどこをみればよいのか	探索時間の長い商品と短い商品、家庭内在庫と出向頻度、計画買いと当用買いの買い物のパターンについて調べる。
7: 小売業の基本的な役割とは何か 購買行動を決める「アソートメント」とは何か	比較購買集合と関連購買集合について100字程度で説明する。
8: 小売業をわかりやすく分類してみる 小売業の業態を詳しく分類してみる	小売業の販売方法や店舗集積パターンについて分類してみる。
9: 日本の百貨店にはどんな特徴があるのか 百貨店は厳しいい競争にどう生き残るのか	資料をみて、百貨店の8つの特徴を挙げて、これからの百貨店にあったらいいなと思うものを100字程度で説明してください。
10: スーパーマーケットは顧客をどのように増やすのか コンビニエンスストアはどう進化していくのか	スーパーとコンビエンスストアの違いや共通点を、自分なりに説明してください。
11: ディスカウント・ストアにもいろいろある 専門店は特定顧客にどこまで食い込めるのか	自分が利用したことのあるディスカウントストアはどこですか？またそれはアウトサイダー型かインサイダー型のどちらだと思いますか？
12: 通信販売はインターネットでどう変わるのか 化粧品業界について調べてみよう	自分が購入したことのある化粧品のメーカーはどこですか？どこで買いましたか？
13: 物流って何？	ロジスティクスと単なる物流とはどう違いますか？100字程度にまとめる。
14: 授業のまとめ グループワーク（ これまでの授業から、現代の流通について考える）	現代の流通業態の特徴を200字程度にまとめる。 グループで意見を共有する。
15: ふりかえり	試験範囲を確認し、これまでの学習の内容をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回、資料とプリントを配布します。

参考書:「手にとるように小売・流通がわかる本」上原征彦他著　かんき出版。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・流通業界の発展の鍵を握るのは、女性の視点が重要であるといわれています。私達の身近に存在する流通業態について、自分自身の目線や女性の目線を大切にしながら授業を進めたいと思います。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
社会福祉概論	LP30108	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
郡嶋　かおる		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人口減少時代に生きる私たちにとって社会福祉を学ぶことは必須であることについて考える。
社会福祉の基本理念および人権について、歴史的発展の経緯などから学ぶ。
社会保障制度、社会福祉制度、福祉行政制度についての概要を学び、地域社会のなかで生じているさまざまな課題について考える。

Ⅲ. 学習成果

社会福祉の多種多様な取り組みを理解するため、基本的な知識を身につけることができる。
地域社会の一員として、社会福祉の活動について具体的なイメージをもつことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 現代社会の動向と社会福祉 新聞記事を配布。	現代社会にどのような福祉的課題があるかまとめる。
2: 社会福祉のあゆみ イギリスと日本	社会福祉の歴史を学ぶ意義についてまとめる。
3: こんにちの社会福祉の仕組み 社会福祉とは何か、	次回の授業を考えるに当たって、自分の家族から考える 「私にとって家族とは」を記入してくる
4: 家族と社会福祉 こんにちの家族の姿、現代家族が抱える福祉的課題	「私にとって家族とは」を提出すること
5: 医療サービス－適切な医療を受けるために 医療保険制度、高額療養費など	自分の医療保険を見て、保険の所管、負担割合を書き出してくる
6: 生活費と仕事　公的扶助、生活困窮者自立支援制度、貸付制度 相談するところ、最低賃金制度、雇用保険制度、労働基準法等	
7: 高齢社会を生きること　高齢者とは　介護保険のしくみと手続き 相談するところ、介護保険のしくみと手続き、私たちがこれからできること	私たちができることについてまとめてくる。
8: 障がいのある人と生きること 障害者とは誰か、障がい者とその家族、多様性を認め合える社会	あなたの住む地域にどのような福祉施設があるか調べてみる。 13回目までに略図を描いて、感想を提出する。
9: 過疎地域での暮らしと福祉の役割 過疎地域とは、過疎地域での生活、過疎地域の行政サービス等	過疎地域とは、インターネットで調べてノートにまとめる。
10: 公的扶助(生活保護の原理・原則)と低所得者支援	生活保護を受けている人へのイメージをまとめること。
11: 子ども・家庭のために 相談するところ、医療費助成制度、子育てサポート、保育所、里親制度など	子ども子育て支援の必要性についてまとめる どうして子ども虐待は起きるのか考えてまとめる。
12: 子ども・家庭のために ② ひとり親家庭支援、育児をしながら働くために、DV対応と支援、困難女性支援法	「困難女性とは」誰か、ノートにまとめる。
13: 地域社会と福祉 地域社会の現状、新たなつながり、地域で生きることを支えるなど	インターネットで社会福祉協議会について調べ、ノートにまとめる。
14: 自然災害にあった人のために 大規模自然災害等の保障、被災したときの生活保護、被災者生活支援制度	災害ボランティアについてノートにまとめる。
15: ボランティア・NPOの果たす役割 まとめ	ボランティアについてノートにまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回20～25分は教科書を読むこと。課題はプリントまたはGoogle Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 参考図書:『はじめて学ぶ人のための社会福祉』誠信書房 『医療福祉総合ガイドブック』2023年度医学書院を中心として
必要に応じて、新聞記事等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前学習で調べたことは、授業中に発表し、学びを共有できるようにします。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テスト(2回程度)を行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語	LP30113	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
瀑布川　由理		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・基礎英語、英文法のやり直しをします。
・英語での発話力は、基礎的な英語の知識が欠かせません。また、発話力は、日頃から鍛える必要が有るので、授業内での積極的な発話が必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法を身につけ、活用し、発話力の向上が期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・効果的なプレゼン方法を知ることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Introduce your classmate and yourself クラスメートと自分のことを紹介してみよう (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
2: (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
3: (Unit 2) What do you do after school? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
4: (Unit 2) What do you do after school? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
5: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
6: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
7: Review1 復習 1 – Interview Test / Exercises Prepare for PRESENTATION プレゼン準備	プレゼンテーションをするための準備。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
8: (Unit 4) What are you into these days? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
9: (Unit 4) What are you into these days? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
12: PRESENTATION プレゼン発表	プレゼンテーション各自発表。
13: PRESENTATION プレゼン発表(予備日) (Unit 6) What are your family members like? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
14: (Unit 6) What are your family members like? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
15: Review2 復習 2 – Interview Test / Exercises Preparing for Final Test 期末に向けて	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習に必要な時間は各回1時間程度。授業のはじめに小テストを実施(内容は前回の復習)。期末に英語による発表があるので、計画的に準備をすすめること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:【 Basic Communication Strategies Ⅰ 】ベーシック・コミュニケーション　ブック 1　(SANSHUSHA 三修社・￥2,200)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Class work / Positiveness 学習意欲 (発話・聞き手の対応/積極性) ... 20%　(授業中の居眠り、スマホ扱い、私語等が過ぎる場合は評価ゼロとなる場合がある)
Work on Speech Presentation　プレゼンテーションへの取り組み ... 20%
Review Mini Test 復習ミニテスト ... 10%
Final Test 期末の単位認定試験(1 回) ... 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題や小テストについては、授業内または個別にフィードバックする。
・授業の予習復習、授業への積極的な参加も不可欠。
・授業には必ず教科書と英語辞書を持参の事 (電子辞書可)。
・状況に応じて授業内容を変更する場合がある。
・英語の基礎文法力を復習し身につけ、また発話力に活用したい者、それに向けて努力する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
韓国語	LP30114	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、韓国語の文字であるハングルの起源と構成を学び文字の読み書きと初歩的な会話を学びます。
日・韓の言語表現の共通性や相違点を学び両国の文化理解に繋げます。

Ⅲ. 学習成果

1、ハングル文字の発音のコツを覚え楽しく読むことができます。
2、毎講義始まりの「あいさつ語録」の練習により韓国語の抑揚や音の響きを理解できます。
3、目標とした単語や語彙の習得と会話の達成により自信と意欲が向上します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴と文字の構成 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)登録されていること ハングル文字の起源や由来の事前検索をする。
2:第2課　基本子音字	ハングル文字の構成を理解して「ハングル表①」を繰り返し読む。 課題の単語をノートに書きフリガナを書く。そして、単語の暗記。
3:発音のルール　有声音化	例題の単語をノートに書きフリガナをつけて繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4:濃音	例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解し声を 出しながら練習する。
5:合成母音	「ハングル表②」口の形を確認しながら発音の練習をする。 例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解する。
6:終声子音字(パッチム)	テキストと配布のプリントの内容をしっかり読み理解する。 用例の単語をノートに書きフリガナをつけて読む練習をする。
7:発音のルール　連音化(リエゾン)	テキストと配布プリントの発音ルールの内容をしっかり理解する。 配布プリントの練習問題を解く。
8:会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストの文法と解説を読み内容を理解する。 練習問題を解く。
9:初対面の挨拶	実際の場面を想定して初対面の挨拶の練習をする。
10:自己紹介 (対面で、人数が多い場合は数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して自己紹介の練習をする。
11:代名詞(事物)	物の代名詞を覚える。講義で学んだ質問のフレーズを覚える。 単語を置き換えて答える練習をする。
12:代名詞(場所) 疑問詞(いつ、どこ、だれ、なに、いくら、なぜ. . .)	場所の代名詞を覚える。 それぞれの疑問詞を覚える。
13:漢数詞　(日付、電話番号、価格. . .)	漢数詞を覚える。 日付や電話番号を言える練習をする。
14:曜日	月曜日から日曜日を覚える。 曜日の質問フレーズを覚えて練習する。
15:固有数詞　(時間、助数詞. . .)	固有数詞を覚える。 時間と年齢の質問フレーズと答え方を練習し習得する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふりフリガナをつけて提出します。正しい読み方の指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

配布資料プリント:　1, ハングル表①②　2, あいさつ語録①②　3, ハングル年表　4, ハングルの成り立ち
テキストプリント一式　・　練習問題プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)課題の提出(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語、居眠り、許可のないスマートフォンの使用は禁止です。
毎講義は「あいさつ語録」の会話から始めます。日常の簡単で便利なあいさつを習得するため、毎回、学び覚えたフレーズを書いて提出します。
提出課題は添削し次回の講義で答合わせをし解説します。場合に応じて、個別に発音の指導を行います。
繰り返しの読みの練習がおのずとスラスラと読めることを実感します。楽しく意欲をもって韓国語の習得に取り組みましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
企業論	LP30116	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では社会人となって必要となる経済・経営・ビジネスに関する基本的な知識を学びます。ビジネスの現場で役に立つ知識や働き方も学びます。
また、様々な企業の実例(ケース)を学び、理論と実務の両方の観点から物事を見ます。

Ⅲ. 学習成果

幅広い分野で役に立つ社会人基礎力を向上させることを目標とします。特に事務系の能力の確認・育成のために授業の最後に毎回事務能力検査の問題を解きます。ビジネスは答えがないので、物事を一方的な見方だけでなく様々な視点から考える能力を向上し、社会人として物事を柔軟に考えることができることを目標とします。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 会社とは	予習:シラバスを読むこと 復習:プリントの課題に沿って、ビジネスにおける理解度を深めること
2:会社とは 株式会社の概要	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、株式会社の理解度を深めること
3:競争の方法① 外食産業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、戦略への理解度を深めること
4:競争の方法② アパレル業界を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、アパレル業界の理解度を深めること
5:様々な商売の形態 フランチャイズ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、FCの理解度を深めること
6:ニーズとブランド プライベートブランドとナショナルブランド	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、ニーズの理解度を深めること
7:0円ビジネス 低価格戦略と0円ビジネス	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、0円ビジネスの理解度を深めること
8:会社や商品の寿命 プロダクトライフサイクルの考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、PLCの理解度を深めること
9:損益分岐点計算① 基本的な考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、損益分岐点の理解度を深めること
10:損益分岐点計算② 応用・さまざまな業種での考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、費用構造の理解度を深めること
11:日本的経営と成果主義 終身雇用制度と年功序列制度(ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む)	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、日本的経営の理解度を深めること
12:商店街の課題と取り組み	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、商店街の理解度を深めること
13:様々な業界の収益構造	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、業界ごとの特徴の理解度を深めること
14:競争の方法 テーマパークを例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、戦略の理解度を深めること
15:まとめ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題として、これまでの内容をまとめること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的には予習は必要ありませんが、毎日のニュースを見て課題シートを提出すること。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した時間(目安180分)を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、授業ごとにプリントを配布します
なお、多岐にわたる内容であるため、参考図書に関しては授業内で別途案内します

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目での課題は主に毎日のニュースを見る習慣をつけることです。興味のあるニュースをピックアップし、感想を書きます。それに対して担当者よりコメントを付けて返却します。また、重要なニュースや珍しいニュースなどが書かれていた場合、内容を他の学生にも話をし、意見等を共有します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎 【中級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
廣田　千絵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3: 進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5: 仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6: 限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7: 傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8: 列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9:「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10: 可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11: 模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13: 総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14: 総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15: 総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	1年
日本語文法の基礎 【上級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて日本語文法をマスターしましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解できる。
2)多様なテーマの文章を通じて文法構造や用法などを覚えて日本語能力試験N1を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して 課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	課題提出は、Google classroomを使用する シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 健康法①～体重 (文法・語彙・クイズ) 一人ランチ (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート①課題に取り組む
3:Lesson2 健康法②～ウォーキング (文法・語彙・クイズ) 日本文化を生んだ道具 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート①フィードバックを確認する ワークシート②課題に取り組む
4:Lesson3 お礼の手紙 (文法・語彙・クイズ) アレルギーの危険性 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート②フィードバックを確認する ワークシート③課題に取り組む
5:Lesson4 おわびのメール (文法・語彙・クイズ) 苦しいときほど笑え (文法・語彙・クイズ)	ワークシート③フィードバックを確認する ワークシート④課題に取り組む
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 (文法・語彙・クイズ) お風呂入ってもいいですか。 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート④フィードバックを確認する ワークシート⑤課題に取り組む
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 (文法・語彙・クイズ) 学び直し休暇 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑤フィードバックを確認する ワークシート⑥課題に取り組む
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テストの予習を行う
9:Lesson7 自然の世界①～天気 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない① (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート⑦課題に取り組む
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない② (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑦フィードバックを確認する ワークシート⑧課題に取り組む
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き (文法・語彙・クイズ) 花 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑧フィードバックを確認する ワークシート⑨課題に取り組む
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 (文法・語彙・クイズ) 河童 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑨フィードバックを確認する ワークシート⑩課題に取り組む
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバックを確認する
14:Lesson12 大衆文化 ※アクティブラーニング 大衆文化について各自調べたことを発表する	ワークシート⑪ フィードバックを確認する
15:Lesson13 復習 (Lesson7～Lesson10)のワークシート及び小テスト 日本語文法の基礎まとめ	小テストの予習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N2 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
参考図書:朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定レポート60%、小テスト20%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートは学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合はコメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【中級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

JLPT N2レベルの語彙や、生活の中での頻出語彙を中心に、正しく聞き取り使用できるように練習する。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション、JLPT模試	JLPTN2対策問題を解く 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
2: 自動詞・他動詞、ドリル1 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	自動詞・他動詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
3: 小テスト①、複合動詞(1)、ドリル2 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	複合動詞①を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
4: 小テスト②、複合動詞(2)、ドリル3 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	複合動詞②を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
5: 小テスト③、いろいろな意味のある動詞、ドリル4 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	いろいろな意味のある動詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
6: 小テスト④、い形容詞、ドリル5 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	い形容詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
7: 小テスト⑤、な形容詞、ドリル6 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	な形容詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
8: 小テスト⑥、副詞、ドリル7 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	副詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
9: 小テスト⑦、対義語(1)、ドリル8 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	対義語①を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
10: 小テスト⑧、対義語②、ドリル9 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	対義語②を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
11: 小テスト⑨、同義語、ドリル10 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	同義語を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
12: 小テスト⑩、擬音語・擬態語、ドリル11 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	擬音語・擬態語を覚えてくる(次回小テスト)
13: 小テスト⑪、カタカナ語(1)、ドリル模試①	カタカナ語①を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試①の間違えたところをやり直す
14: 小テスト⑫、カタカナ語(2)、ドリル模試②	カタカナ語②を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試②の間違えたところをやり直す
15: 小テスト⑬、慣用句、ドリル模試③	慣用句を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試③の間違えたところをやり直す

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『日本語能力試験 N2直前対策ドリル＆模試』 Jリサーチ出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 小テスト25% 課題25%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は毎回GoogleClassroomに提出してもらい評価の対象とします。 GoogleClassroomの使い方は初回オリエンテーションで説明します。
その日習った内容は、次回授業で毎回小テストをします。 必ず復習して覚えてきてください。
語彙のドリルは授業内でフィードバックをします。
毎回、新しく覚えたことばをグループでシェアして、例文とともに紹介してもらいます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語語彙の基礎 【上級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
香月　智恵		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス プレイスメントテスト	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【中級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
廣田　千絵		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
11: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成させる
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本語読解・作文の基礎 【上級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて苦手で読解・作文のコツをつかみ克服してみましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。
2)多様なテーマの文章を通じて語彙力アップにつなげ、自由自在に作文ができる。
日本語能力試験N1をめざすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画で授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	課題提出は、Google classroomを使用する シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 旅行先からの絵はがき(読解・語彙・作文・クイズ) 一人ランチ(読解・語彙・作文・クイズ)	 ワークシート①課題に取り組む
3:Lesson2 今日の出来事①～おもてなし (読解・語彙・作文・クイズ) 日本文化を生んだ道具(読解・語彙・作文・クイズ)	ワークシート①フィードバックを確認する ワークシート②課題に取り組む
4:Lesson3 お礼の手紙-棚田 天声人語	ワークシート②フィードバックを確認する ワークシート③課題に取り組む
5:Lesson4 おわびのメール- 絵の楽しみ方(語彙単語と読解予習) 天声人語	ワークシート③フィードバックを確認する ワークシート④課題に取り組む
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話-航空券を安く買う方法 天声人語	ワークシート④フィードバックを確認する ワークシート⑤課題に取り組む
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦- 日々の生活～予約 天声人語	ワークシート⑤フィードバックを確認する ワークシート⑥課題に取り組む
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)の予習を行う
9:Lesson7 自然の世界①～天気-カプセルホテル 天声人語	 ワークシート⑦課題に取り組む
10:Lesson8 今日の出来事③～番号-子供とケータイ 天声人語	ワークシート⑦フィードバックを確認する ワークシート⑧課題に取り組む
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き-ペットと飼い主の名前 天声人語	ワークシート⑧フィードバックを確認する ワークシート⑨課題に取り組む
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故-自転車の車道通行 天声人語	ワークシート⑨フィードバックを確認する ワークシート⑩課題に取り組む
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバックを確認する
14:Lesson12 大衆文化 ※アクティブラーニング 大衆文化について各自調べたことを発表する	ワークシート⑪ フィードバックを確認する
15:Lesson13 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テスト(四択式)の予習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N1 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
参考図書:朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定レポート60%、小テスト20%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートについて一学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合は、コメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【中級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
川野 さやか		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「説明する」、「伝える」、「語り合う」日本語力を身につけることを目的に 発音・アクセント練習、ロールプレイなどを行う。

Ⅲ. 学習成果

・ 生活において問題なくコミュニケーションを取ることができる。
・ 自分の考えを述べたり、状況を説明したりすることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション、発音テスト、自己紹介スピーチ	自己紹介スピーチの練習をして録音する
2: リズム・発音練習、パーティーで初対面の人と話す(グループワーク)	会話するための表現について復習する
3: 初対面の人とスモールトークをする(発表) 理由を述べる練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
4: 自分の国の料理について説明する(グループワーク) 小テスト①	会話するための表現について復習する
5: 自分の国の料理の作り方を教える(発表) タイトルを考える練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
6: 慰めたり、励ましたりする表現を練習する(グループワーク) 小テスト②	会話するための表現について復習する
7: 友達を慰める・励ます(発表) 結論をまとめる練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
8: 伝言を伝える時の表現を練習する(グループワーク) 小テスト③	会話するための表現について復習する
9: 伝言を伝える練習(発表) 文章で理屈を説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
10: 友達と意見を出し合う練習(グループワーク) 小テスト④	会話するための表現について復習する
11: ディスカッション (発表) 自分の意見を伝える練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
12: 自分の持ち物について説明する(グループワーク) 小テスト⑤	会話するための表現について復習する
13: 自分の持ち物をなくして説明する(発表) 絵を見て説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
14: 言いにくいことを伝える(グループワーク) 小テスト⑥	会話するための表現について復習する
15: 注文の間違いを伝える(発表) 場面を説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『会話に挑戦！日本語ロールプレイ』中居順子，近藤扶美，鈴木真理子，小野恵久子，荒巻朋子，森井哲也 著 スリーエーネットワーク
『日本語ロジカルトレーニング』西隈俊哉 著 アルク

その他、発音・ディスカッションの教材や資料は担当教員が準備してプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表40% 小テスト・課題40% 学習意欲20%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

音声課題をGoogleClassroomに提出してもらい評価の対象とします。GoogleClassroomの使い方は初回オリエンテーションで説明します。
原稿の添削やフィードバックなどもGoogleClassroomで個別に行います。
他の学生の参考になるものは、フィードバックの際に全体でシェアすることがあります。
(基本匿名でシェアしますが、音声データなどは事前に本人の了承を得ます。)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日常日本語会話の基礎 【上級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月 智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ
・場面に合わせた待遇表現を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる
・場面に適した待遇表現を用いて会話を進めることができるようになる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・力試し	必要に応じて指示する。
2: 聴解 課題理解① 書類申請①(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 聴解 課題理解② 書類申請②(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: 聴解 ポイント理解① 情報の読み取り①(カジュアルな会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: 聴解 ポイント理解② 情報の読み取り②(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 聴解 概要理解① トラブルへの対応	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 聴解 概要理解② 依頼表現(待遇表現)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
8: 聴解 即時応答 ロールプレイ発表	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 聴解 統合理解① メモを取る練習、意見を述べる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す ディベートに向けての準備
10: 聴解 統合理解② ディベート	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 聴解 模擬試験1回目 発表の構成、表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 聴解 模擬試験2回目 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 データの提示、説明、解説	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)
「留学生のためのアカデミックジャパニーズ 聴解(中上級)」東京外国語大学留学生日本語教育センター編著(スリーエーネットワーク)
「大学で学ぶためのアカデミックジャパニーズ」佐々木瑞枝他(The Japan Times)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
文化人類学	LP30102	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
大田　千波留		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

文化人類学とはフィールドワークから得られる知見に基づいて、さまざまな人間現象をとらえる方法的学問である。本講義では世界のいろいろな現象や「伝統」や「文化」を参照し、それらを比較し、これまでなされてきた分析や解釈の検証を通して、我々の常識や価値観、世界のあり方を改めて見直すことを目的としている。我々と異なったロジックで生きる人々の文化を、我々に理解可能な言葉で説明するということではなく、異文化を生きている人々の日々の生活や思いとの出会いを通して、我々が生きている「あたりまえ」の現実を別の視点から見直し、生の多様な可能性を見出すための営みである。 本講義では、文化人類学の基礎的な主要な考え方や概念を、異文化からの事例だけでなく私たちが日常的によく知る事例を通して学んでいく。まずは文化人類学とは何か、その歴史、方法論を学び、続けて、具体的な人類学的トピックを通して、人類学的な考え方や概念を、私たちが生きる社会やその現実を別の視点から見直す道具として使いこなせるように考えていく。

人類学的なものの考え方をとおして、履修者それぞれが、「自らの常識を疑うことや、他者や異文化を理解することは、どのようにしたら可能か」という問いの回答にたどりつくことが目標である。

Ⅲ. 学習成果

文化人類学の基本的な知識と概念を理解し、簡単に説明できる。
世界の様々な事例について文化人類学的視点や文化の多様性を向き合う柔軟な態度を培い、それをふまえて自分の意見を述べることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文化人類学とは何だろう 文化人類学とその歴史について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
2: 文化人類学の方法論 フィールドワークについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
3: 文化人類学からみる生業と人々 世界を見渡してどのような人々がいるかについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
4: 文化人類学からみる未開／文明 未開／文明という見方について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
5: 文化人類学からみる婚姻 社会システムという視点から婚姻を考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
6: 文化人類学からみる家族 ウチとソトという視点から家族について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
7: 文化人類学からみる儀礼 境界という視点から死の儀礼について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
8: 文化人類学からみる贈与と交換 豊かな社会という視点から贈与と交換について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
9: 文化人類学からみる宗教① 世界観という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
10: 文化人類学からみる宗教② 呪術という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
11: 文化人類学からみる宗教③ 民間信仰という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
12: アクティブラーニング① グループごとに生まれ育った地域の文化について議論し、発表する	各グループで「文化」について調べ、調べた内容を5分以上の内容をまとめ、発表する。
13: アクティブラーニング② グループごとに生まれ育った地域の文化について議論し、小レポートを作成する	各グループで「文化」について調べ発表した内容を2000字程度のレポートにまとめる。
14: 文化人類学の実践現場を知る フィールドワークから得られた知見をもとに中国社会を知る	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
15: まとめ 現代社会における文化人類学の位置づけについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習に関しては、講義終了時に次のテーマのキーワードを挙げるので、それについて調べて考えておくこと。復習に関しては、各回1時間程度使ってまとめておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書なし。講義時にプリント・資料を配布する。
参考書(購入義務なし):綾部恒雄編『文化人類学最新述語100』弘文堂、2002年／関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004年／
綾部恒雄・桑山敬己編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年／内堀基光・奥野克己編『改定新版 文化人類学』放送大学教育振興会、2014年
※関心あれば大学・公共図書館で探してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(55%)、グループワーク・発表・小レポート(35%)、授業態度・リアクションペーパーによる学習の意欲(10%)
試験は記述式で正解か不正解かで客観的に点数が出るものに加えて論述問題を出題します。
教室で講義が行えない場合は別途指示する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

私語や居眠りは論外ですが、講義を妨害するほどの態度の者には退室を命じることがあります。そうした人は学びたい学生の権利を侵害していることを自覚してください。また、講義を漫然と聞き、ノートをとるだけでも不十分です。紹介された参考図書を読むなど積極的に学ぶことを望みます。学生の本分として全ての講義に出席することが当然ですので、「何回まで休める」といった態度で臨んだとしても学習効果は期待できないでしょう。講義の理解を深める質問は翌週配布するプリントにも記載し補足説明を行う。試験で不合格の者には成績の講評を伝え、追再試験の指示も行う。提出物を課した場合はコメントを付して返却する。

※履修を希望する留学生へ:講義内容は能力試験N2でも難解だと思いますが、外国人だからといって特別扱いはできないことを念頭において履修して下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
数学	LP30110	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
本井　碧		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は多くの企業の採用選考で利用されている適性検査SPIの非言語分野対策を目的とします。
計算問題、割合、図形、順列組合せなど出題頻度の高い様々な問題に繰り返しチャレンジすることで、問題形式に慣れ
SPIで要求される出題された問題を「速く」「正確に」処理する実力を身につけることをねらいとします。

Ⅲ. 学習成果

1. SPI非言語分野の問題を自分の力である程度解くことができる。
2. SPI非言語分野の頻出・重要問題の解き方について十分に理解し、他者に説明ができる。

◎アクティブラーニング: 毎回、担当学生が例題の解き方・考え方をまとめてクラス全体にプレゼンテーションし、その他解法の可能性についてディスカッションする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス・実力チェックテスト	予習:シラバスの確認 復習:実力チェックで不正解の問題・その類題を復習
2: 計算問題の基本～割合／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 14-37の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 14-37の授業内で正答出来なかった問題を解く
3: 速さ・距離・時間～通過算／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 42-57の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 42-57の授業内で正答出来なかった問題を解く
4: 濃度算／例題の解説プレゼンテーション	予習:教科書pp. 59-63の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 59-63の授業内で正答出来なかった問題を解く
5: 仕事算・虫食い算・n進法／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 38-41, 64-71の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 38-41, 64-71の授業内で正答出来なかった問題を解く
6: これまでのまとめ・演習問題①・解説	予習:教科書pp. 14-71の例題および演習を解く 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
7: 順列・組み合わせ／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 72-83の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 72-83の授業内で正答出来なかった問題を解く
8: 資料解釈・表の読み取り／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 84-97の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 84-97の授業内で正答出来なかった問題を解く
9: 推論・命題と論証・集合／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 100-125の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 100-125の授業内で正答出来なかった問題を解く
10: 図形の展開図・空間図形・軌道と回転／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 128-147の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 128-147の授業内で正答出来なかった問題を解く
11: これまでのまとめ・演習問題②・解説	予習:教科書pp. 72-147の例題および演習を解く 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
13: 一次関数・二次関数／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 148-159の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 148-159の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: モノの流れと比率・復習／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 160-167の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 160-167の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: 演習問題③	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
15: 演習問題③の解説と全体のまとめ	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
特に復習を重要視します。毎回の予復習に必要な時間は1時間程度です。講義でよく理解できなかった時は担当者に直接質問をしてください。
授業内で紹介する参考資料・教材も活用してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「最新! SPI3 完全版 (「就活も高橋」高橋の就職シリーズ)」 柳本 新二著 (高橋書店)

参考図書・教育リソースは適宜授業で紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(30%)、毎回の提出課題(30%)、演習問題(40%)
私語は減点対象です。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題はGoogleClassroomで点数をフィードバックし、解説を加えますので、 講義時間内に必ず提出すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ビジネス統計	LP30111	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
須藤　信		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法を学ぶ．はじめに，統計学の利活用について理解を深めるためにグループワークを行う．その後，データの種類や要約方法について課題をこなしながら理解を深める．授業後半では，データ分析の実践的な手法とデータサイエンスに用いられる用語を学習する．

Ⅲ. 学習成果

・基礎的なデータの扱い方を理解し，その解釈方法を説明できる
・平均値，中央値，標準偏差，相関係数などを計算・説明できる
・データサイエンスに関連する基礎的な用語を理解し，説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:あなたは味の違いが分かるか　:ランダム化比較実験 グループワークを実施します.	数Ⅰの内容，特に順列と組み合わせ，確率の計算について事前に復習しておくこと
2:その数字は数値データ？　:量的変数と質的変数	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
3:データの特徴を表そう　:グラフの種類	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
4:データのばらつき　:ヒストグラム、度数分布	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
5:点数の価値を考える　:平均値、中央値、標準偏差，偏差値	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
6:2つの変数に関連はあるか　:散布図と相関	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
7:データを予測する方法　:回帰分析と予測	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
8:ある事柄の起こりやすさの程度　:確率	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
9:デザインに差はあるのか？　:確率分布と調査デザイン	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
10:差を明らかにする方法　:t検定と結果の解釈	結果をまとめて，次回までに提出すること.
11:様々な問題解決や謎の解明 1(問題と目的，方法) グループワークを実施します.	グループで調査テーマを検討し，次回までに提出すること.
12:様々な問題解決や謎の解明 2(実験・調査) グループワークを実施します.	調査が完了しなかったグループは，次回までに実施しておくこと.
13:様々な問題解決や謎の解明 3(分析と結果，結論) グループワークを実施します.	結果をまとめて，次回までに提出すること.
14:様々な問題解決や謎の解明 4(発表) グループワークを実施します.	発表原稿を作成して，発表の練習をしておくこと.
15:データサイエンス	テスト範囲について説明するため，テスト勉強をすること.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・授業中に学んだことを復習し，分からないことは次回の授業で積極的に質問すること.
・授業1回に対して，60分以上の予習・復習を行うこと．単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします.

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず，配布資料にて授業を進める.
参考図書:日本統計学会公式認定書籍である「データの分析，日本統計学会編」については授業内容理解の参考になるため，この欄にて紹介する.

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:50%(全授業内容をテスト範囲としてテスト結果に基づき評価する)
課題提出:30%(各回に課す小課題への取り組み状況を評価する)
受講姿勢:20%(グループワークでの発言量，授業中の態度から総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・出題した練習問題等について，授業中もしくは課題返却時に適宜フィードバックを行います.
・本科目は主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法の入門科目です．数学が苦手な方でも興味をもってもらえるように授業内容を工夫して運用しますので，コンピュータサイエンスやデータサイエンスに興味がある方は是非受講してください.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
天文学	LP30112	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
河野　徹也		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

自然科学の分野のひとつ天文学が身近な事柄である暦が天体(惑星など)の動きから発展してきたことを理解し
自分たちの周りの環境が天文学への理解を通して宇宙の一部であることを学ぶ
季節の星座の見つけ方を体得し、星座の歴史的話題や神話を通して興味を促す案内役を目指す
星や宇宙についての基礎的な知識を習得する

Ⅲ. 学習成果

季節の星座の見つけ方を体得し、子供たちに案内できる技能が得られる
身の回りの自然現象として星や天体の運動を正しく理解できる知識が習得できる
観察や実験を通して事象調べることの大切さを理解し、科学的なものの見方を育てることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1.北斗の水くみ 星空の運動(日周・年周)を理解する	身近な九州北部海岸の独特の天文現象を観察してみる
2:星座や惑星を観察しよう 惑星や太陽の年周運動を理解する	自分の誕生星座を知る、黄道十二宮を順序に注意して覚える ホロスコープについて調べる
3:太陽・月・星はカレンダー 暦のもとになる天体の動きや月の動きの動きを理解する	天文にまつわる社会の年間行事・暦を調べる 月の満ち欠けをしらべる
4:星の明るさと色について 星座の探し方　　秋編	秋に四辺形、秋の星座、惑星、星座線、 土星についての学習　観察
5:星々の輝きの違いを生じさせているしくみを理解する 星の色　スペクトル	夜空の星の輝きや色の違いを観察する
6:流れ星について(原因、観察方法) 星座の探し方　　夏編	星座絵、星座線、神話の学習 身の回りの星座早見ソフトについて調べる
7:星座の探し方　黄道12星座 星座にまつわる神話について	黄道12星座占いでの自分の星座の特徴を調べる ホロスコープについて調べる
8:太陽系の惑星について 最新の惑星情報、探査状況を学ぶ	最近の宇宙開発について調べる
9:星座の探し方　冬編 星雲や星団、銀河などについての学習	宇宙の広がりを理解する
10:星の誕生から死にいたる進化の過程を学ぶ スペクトル型と星の進化	夜空の星の色の観察
11:星座の探し方　　冬編 一般的な天文基礎知識の確認	天文クイズを作ってみる
12、ブラックホールについて	最新の天体写真について調べる
13:星座の探し方　　春編	星座絵、星座線、神話の学習
14:天文学史と人類の歩み 古代からの現代にいたる、それぞれの時代の宇宙観を学習する	身の回りの物で宇宙や星をモチーフとしたものを探す
15:季節の代表的な星座とプラネタリウム 最後の星座学習まとめとして　プラネタリウムの内容アイデア(相互議論)	新しいタイプのプラネタリウムを考える

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回自作の「星座学習」のプリントを配布、
教科書『星座を探しに行こう』 平井正則　書肆侃侃房

Ⅵ. 評価方法と評価基準

季節の星座学習の中間点(後期後半、冬休み)で近在のプラネタリウム館訪問によるレポートや
習った知識を生かした自分の生まれた月のカレンダーを制作し最終レポートとし、学習効果(80%)を判定。テーマへの関心度、熱心さを重く評価する
日常的な講義での関心度、熱心さを踏まえて評価し、最終評価に加える(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日常的に簡単なアンケートを行ったり、それまでの星座学習の記憶検査、レポートの感想を講義の合間や講義前後に時間をみつけて学生にアドバイスする
講義取得後は”星のソムリエ”など資格取得講座の基礎が得られ社会的活動が可能になる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語	LP30113	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
瀑布川　由理		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・基礎英語、英文法のやり直しをします。
・英語での発話力は、基礎的な英語の知識が欠かせません。また、発話力は、日頃から鍛える必要が有るので、授業内での積極的な発話が必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法を身につけ、活用し、発話力の向上が期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・効果的なプレゼン方法を知ることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Introduce your classmate and yourself クラスメートと自分のことを紹介してみよう (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
2: (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
3: (Unit 2) What do you do after school? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
4: (Unit 2) What do you do after school? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
5: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
6: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
7: Review1 復習 1 – Interview Test / Exercises Prepare for PRESENTATION プレゼン準備	プレゼンテーションをするための準備。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
8: (Unit 4) What are you into these days? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
9: (Unit 4) What are you into these days? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
12: PRESENTATION プレゼン発表	プレゼンテーション各自発表。
13: PRESENTATION プレゼン発表(予備日) (Unit 6) What are your family members like? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
14: (Unit 6) What are your family members like? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
15: Review2 復習 2 – Interview Test / Exercises Preparing for Final Test 期末に向けて	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習に必要な時間は各回1時間程度。授業のはじめに小テストを実施(内容は前回の復習)。期末に英語による発表があるので、計画的に準備をすすめること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:【 Basic Communication Strategies Ⅰ】ベーシック・コミュニケーション　ブック 1　(SANSHUSHA 三修社・￥2,200)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Class work / Positiveness 学習意欲 (発話・聞き手の対応/積極性) ... 20%　(授業中の居眠り、スマホ扱い、私語等が過ぎる場合は評価ゼロとなる場合がある)
Work on Speech Presentation　プレゼンテーションへの取り組み ... 20%
Review Mini Test 復習ミニテスト ... 10%
Final Test 期末の単位認定試験(1 回) ... 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題や小テストについては、授業内または個別にフィードバック方法する。
・授業の予習復習、授業への積極的な参加も不可欠。
・授業には必ず教科書と英語辞書を持参の事 (電子辞書可)。
・状況に応じて授業内容を変更する場合がある。
・英語の基礎文法力を復習し身につけ、また発話力に活用したい者、それに向けて努力する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
韓国語	LP30114	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、韓国語の文字であるハングルの起源と構成を学び文字の読み書きと初歩的な会話を学びます。
日・韓の言語表現の共通性や相違点を学び両国の文化理解に繋げます。

Ⅲ. 学習成果

1、ハングル文字の発音のコツを覚え楽しく読むことができます。
2、毎講義始まりの「あいさつ語録」の練習により韓国語の抑揚や音の響きを理解できます。
3、目標とした単語や語彙の習得と会話の達成により自信と意欲が向上します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴と文字の構成 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)登録されていること ハングル文字の起源や由来の事前検索をする。
2:第2課　基本子音字	ハングル文字の構成を理解して「ハングル表①」を繰り返し読む。 課題の単語をノートに書きフリガナを書く。そして、単語の暗記。
3:発音のルール　有声音化	例題の単語をノートに書きフリガナをつけて繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4:濃音	例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解し声を 出しながら練習する。
5:合成母音	「ハングル表②」口の形を確認しながら発音の練習をする。 例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解する。
6:終声子音字(パッチム)	テキストと配布のプリントの内容をしっかり読み理解する。 用例の単語をノートに書きフリガナをつけて読む練習をする。
7:発音のルール　連音化(リエゾン)	テキストと配布プリントの発音ルールの内容をしっかり理解する。 配布プリントの練習問題を解く。
8:会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストの文法と解説を読み内容を理解する。 練習問題を解く。
9:初対面の挨拶	実際の場面を想定して初対面の挨拶の練習をする。
10:自己紹介 (対面で、人数が多い場合は数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して自己紹介の練習をする。
11:代名詞(事物)	物の代名詞を覚える。講義で学んだ質問のフレーズを覚える。 単語を置き換えて答える練習をする。
12:代名詞(場所) 疑問詞(いつ、どこ、だれ、なに、いくら、なぜ. . .)	場所の代名詞を覚える。 それぞれの疑問詞を覚える。
13:漢数詞　(日付、電話番号、価格. . .)	漢数詞を覚える。 日付や電話番号を言える練習をする。
14:曜日	月曜日から日曜日を覚える。 曜日の質問フレーズを覚えて練習する。
15:固有数詞　(時間、助数詞. . .)	固有数詞を覚える。 時間と年齢の質問フレーズと答え方を練習し習得する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふりフリガナをつけて提出します。正しい読み方の指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

配布資料プリント:　1, ハングル表①②　2, あいさつ語録①②　3, ハングル年表　4, ハングルの成り立ち
テキストプリント一式　・　練習問題プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)課題の提出(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語、居眠り、許可のないスマートフォンの使用は禁止です。
毎講義は「あいさつ語録」の会話から始めます。日常の簡単で便利なあいさつを習得するため、毎回、学び覚えたフレーズを書いて提出します。
提出課題は添削し次回の講義で答合わせをし解説します。場合に応じて、個別に発音の指導を行います。
繰り返しの読みの練習がおのずとスラスラと読めることを実感します。楽しく意欲をもって韓国語の習得に取り組みましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
フランス語	LP30115	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
村上　舞		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP 2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3 学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	○
DP 4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP 5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

フランス語を初めて学ぶ学生を対象に、フランス語の基礎を学びます。フランス語の会話の聞き取り、文法学習、ペアやグループでの学習などを通して、フランスの日常生活のさまざまなシーンにおけるコミュニケーションの仕方を総合的に学びます。また、フランス語圏の文化についても触れます。各課にあるdialogueの理解、関連した文法事項の学習、口頭練習、練習問題を通して、フランス語の基礎となる知識と基本的な表現を確実に身につけます。

Ⅲ. 学習成果

①フランス語の簡単な会話ができる
②フランスの文化や社会について知識を得る
③ペア・グループワークを通して、学びを共有し深めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: フランス語の基礎(フランス語のアルファベ・フランス語の発音)	フランス語のアルファベを使って、自分の名前のスペルを言えるように発音練習する。
2:自己紹介をする	動詞êreの活用を覚えて、自己紹介をする。
3: 今住んでいるところや出身地について話す	規則動詞の作り方を覚えて、今住んでいるところや出身地について話す練習する。
4: 交通手段について話す	疑問詞を使った疑問文の作り方を覚えて、発音する。
5: アルバイトについて話す	願望の表現を覚えて、自分の様々な願望を表現する。
6: 1-5課までの文法の復習	1-5課までの文法の復習をする。
7:ペットなどについて話す	動詞avoirを使って、ペットなどについて話す練習をする。
8: 家族について話す	数字や職業名を覚えて、家族について話す練習をする。
9: 家事について話す	動詞faireを使って、家事について話す練習をする。
10: 食べ物について話す	動詞mangerを使って、食べ物について話す練習をする。
11: パリで遊ぶ	時間をあらわす単語を覚えて、発音する。
12: 7-11課までの文法の復習	7-11課までの文法の復習をする。
13: 科目・先生について話す	動詞aimerを使って、科目・先生について話す練習をする。
14: クラブ活動について話す	課外活動の単語を覚えて、クラブ活動について話す練習をする。
15: これまでの総復習	これまでに学んできた文法事項を復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テキストのわからない単語は調べておくこと。毎回の授業に関して45分の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『Moi, je… コミュニケーション A1』(アルマ出版)、著者:Bruno Vannieuwenhuyse 他

Ⅵ. 評価方法と評価基準

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
到達度を測るためのテスト(定期テスト・小テスト)50%＋学習の意欲(授業への参加度、課題など)50%、を対象に総合的に評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・教科書に沿って授業を進めます。教科書は必ず購入してください。
・ペアやグループでのロールプレイに対するコメントはその場で行い、課題は授業中または添削をし個別に返却するなど、課題の出題方法に応じて対応します。
・初めて学ぶ外国語の場合、継続的な学習が必要不可欠です。毎回の出席を心がけ、発音練習にも積極的に取り組んでください。また、日頃からインターネット、音楽や映画などで、フランス語圏に関する情報に親しんでください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
経営分析	LP30117	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

就職活動で一番重要なのは、「企業分析・経営分析」です。なぜなら、企業の側に選ぶ権利があり、その企業に雇われる能力が皆さんに備わっていることを示すことが就活では求められるので、その企業のことを知らなければ、どこをアピールしたらよいのか、どこを評価してくれているのかがわかりません。この講座では、間もなく始まる就職活動への支援を念頭に、主に「企業分析・経営分析」の方法をお伝えし、スムーズに就活に迎えることができるようになることを当面の目標としています。

Ⅲ. 学習成果

①基本的な企業分析・経営分析の方法を理解し、ネット上で手に入る会社データの分析に応用できるようになる。
②就職活動の際の履歴書の書き方を理解し、本番用の志望動機などを書けるようになる。
③面接練習等のより実践的な就活支援(例. 業界研修を踏まえた自己アピールの仕方など)を通して、各学生の就活スキルが向上する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 就職活動において求められる能力について	予習:シラバスをよく読む。 復習:就活時をイメージし、用意するものを考える。
2: 企業分析・経営分析の基礎	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:企業分析・経営分析とは何かについて、再度まとめる。
3: 貸借対照表・損益計算書について①　貸借対照表について	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:B/Sとは何かについて、自分で説明できるようにまとめる。
4: 貸借対照表・損益計算書について②　損益計算書について	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:P/Lとは何かについて、自分で説明できるようにまとめる。
5: 比率分析	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:比率分析の計算の仕方を再度確認する。
6: EDINETを使ってみよう！	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:EDINETへ再度アクセスし、情報を検索する。
7: 経営分析をやってみよう！①　トヨタ自動車	予習:前回配布した資料をよく読んでおくこと。 復習:Excelファイルを使って復習を行う。
8: 経営分析をやってみよう！②　資生堂	予習:これまでの復習 復習:Excelファイルを使って復習を行う。
9: 経営分析をやってみよう！③　ファーストリテイリング	予習:前回の復習 復習:Excelファイルを使って復習を行う。
10: 経営分析をやってみよう！④　ウエルシアHD	予習:これまでの復習 復習:Excelファイルを使って復習を行う。
11: 志望動機を書いてみよう！①　実践編　新生堂薬局　課題1の提示 ※グループワークを含む	予習:前回の復習 復習:志望動機の書き方について再度確認する。
12: 志望動機を書いてみよう！②　実践編　日本マクドナルド ※グループワークを含む	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:志望動機の書き方について再度確認する。
13: 志望動機を書いてみよう！③　実践編　ABCマート ※グループワークを含む	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:志望動機の書き方について再度確認する。
14: 実践編の振り返り及び課題1の添削結果の開示 ※グループワークを含む	予習:制限時間内に各社の分析を行う。 復習:パワーポイントの資料を再度確認する。
15: まとめ	予習:これまでの復習 復習:全体のまとめ

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:　会社四季報　業界地図　2026年度版　東洋経済新報社
参考書:「アナリストのための財務諸表分析とバリュエーション 原書第5版」 S.H.ペンマン著　有斐閣
「新・現代会計入門 第5版」伊藤邦雄著　日本経済新聞出版社
「採用学」服部 泰宏著　新潮新書

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回の授業後に回収するプリントと課題と単位認定試験の結果によって総合的に評価します。
割合は、授業30%、課題20%、試験50%、となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・就活での応用を念頭にこの授業を展開しますが、一般的な経営分析の話ももちろん行いますので、中小企業診断士等の試験の際にも役立つ口座になっています。
・毎回の授業ではその日の授業ノートを回収し、次回返却し、課題も同様に返却します。
・希望者が多く、パソコン室に入りきれない場合は、抽選にて受講者を決定することもありますので、予め了承ください。
・Google Classroomについては、授業外学習を促進するために使用することもあります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日本事情	LP30122	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
大田　精一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

留学生が日本で気になる伝統文化、サブカルチャー、知っておきたい歴史をやさしい日本語でわかりやすく紹介。
教科書は用いず、毎回PowerPointの資料を用意。YouTubeの画像や動画など多様な情報と関連付け、なるべく視覚的に理解できるよう講義する。
今年は「戦後80年」ということもあり戦時中の日本の子どもと女性の生活を当時の絵本など実物を使った「さわれる授業」を行う。

Ⅲ. 学習成果

日本での日常生活の中で遭遇する独特の習慣やマナー、日本人特有の言語表現の意味を正しく把握できるようにする。
日本のおおまかな歴史や文化、感性について、自国と比較しながら説明できるようにする。
自分が暮らす地域の歴史や出来事に関心を持つことで、周囲の日本人との関係を円滑にする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション＝アジアの中の福岡・福岡の中のアジア	日本語で簡単な自己紹介をしてもらうので、準備すること
2: 「いつも大変お世話になっています」＝変？な言葉に見る日本人の心	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
3: 花火と浴衣・ディスコとボディコン＝ファッションと娯楽の歴史	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
4: 侍と忍者　将軍と天皇＝歴史的人物の伝説と実像	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
5: 菅原道真と太宰府天満宮＝「呪術廻戦・五条悟」の祖先・怨霊から神様へ	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
6: 茶道と茶菓子＝「抹茶好き」のルーツを探る	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
7: 風呂・トイレ・ゴミ分別＝日本人と「清潔」の歴史	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
8: 妖怪と来訪神＝見えない物を見る日本人の想像力	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
9: お正月の「鏡もち」・2月14日の「義理チョコ」＝日本の食と生活文化	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
10: 浮世絵から「ワンピース」へ＝漫画・アニメの歴史	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
11: フェイクニュースと闇バイト＝「正義」と「まじめ」の落とし穴	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
12: 【戦後80年】①戦争と子どもたち＝絵本に見る「将来の夢」	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
13: 【戦後80年】②戦争と女性たち＝千人針という「感情労働」	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
14: 日本の未来　アジアと共存するためにやるべきことは？	次回のレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
15: 自国と日本の未来、日本人への提言などを発表(アクティブラーニング)	事前に自身の見解をまとめ、各自簡単なプレゼンテーションを行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

講義の各項目ごとにレジュメをプリントしてテキストとする。
理解を深めるため、画像や動画を多用する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

講義への理解度をみる文章表現力　40%　自分の意見を発表・表現する力20%　学習の意欲・授業態度40%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

成績評価に当たっては、日本語能力は評価の対象としない。学習態度と参加意欲を重視する。
15回中で学生に課題を与え、レポートとして提出してもらい後日講師の意見を付与してフィードバックする。

専　門　科　目

１　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
メジャーガイド	LP40101	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択　指定科目		
担当者		免許・資格など			
河野　洋子		履修要件他:			
中濵　雄一郎/青柳　薫子/井野　智一郎/坂根　潤樹/岩本　久美子/須藤　信		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:○(一部)	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メジャーガイドでは、3期からはじまる「メジャー(専攻)」の選択をよりスムーズに行うための授業である。
各メジャー責任者より、カリキュラムツリーを使い2年間の学びやカリキュラム関連する資格・検定試験について説明を行う。
また、卒業後の進路や他のメジャーとの関連についても説明する。

Ⅲ. 学習成果

①各「メジャー(専攻)」の特徴を理解し、3期以降の「メジャー(専攻)」の選択に役立てられる。
②2期から始まる専門科目の選択のための情報を収集し、本学科での勉強の方向性を決める。
③自分自身のライフプラン(人生設計)をよく考え、進路決定に役立てられる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション	・現在興味のあるメジャーについてカリキュラムツリーを確認する
2: 一般事務/観光	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
3: 観光/ブライダル	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
4: ブライダル/ファッション	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
5: ファッション/インテリア	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
6: インテリア/一般事務	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
7: CGWEB/医療事務	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
8: 医療事務/CGWEB	・各担当者の指示に従い準備・復習を行うこと。
9: 自己の選択理由を考える(グループワーク)	・グループワークの内容をまとめ、自分の選択理由を再考する
10: 2年間の計画を立てる。メジャーガイド(2)希望調査	・カリキュラムツリーをもとに、指定科目のシラバスを読み、2年間の予定を立てる
11:　履修規定の確認	・履修規定(学生便覧)を確認し、間違いがないように登録の準備を行う。
12: メジャーガイド(2)	・自分が希望するメジャーの職業についてまとめる
13: メジャー仮登録・2期時間割作成	・メジャーの指定科目以外の科目についてシラバスを読み、2期の予定を立てる
14: 2期登録・仮登録メジャーの選択理由をまとめる	・他のメジャーの指定科目について調べ、興味があるものをピックアップする
15: 仮登録選択理由のまとめ・振り返り	・ポートフォリオを記入し、今後の計画を立てる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・各授業担当者の指示に従い、受講すること。なお、筆記用具は必ず持参すること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・各担当者より指示があるので、配布物はきちんと保管しておくこと。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・各担当者が評価を行い、すべての評価を合計して最終評価とする。
・各メジャー(10%×7)、課題の提出ほか(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・各担当者でフィードバックの方法が異なるため、詳細は授業中に各担当者から説明を行う。
・この授業は、学科の指定科目となっているため1年生は全員受講しなければならない。
・なお、上記の内容に変更がある場合は、授業の中で再度連絡する。
・Google Classroomの使用については、授業開始後伝達する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ベーシック簿記	LP41201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学びます。複式簿記は、日常の経営活動によって生じる現金や商品売買、貸借関係などを、貨幣額としてとらえて計算を行うところに特徴があります。簿記は企業の財産管理に役立てたり、簿記で計算した数値を企業外部の人たちに情報を開示する役割もあります。
このような背景も考えて、基礎的な商業簿記の内容を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる
・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる修正記入前の貸借対照表・損益計算書が作成できる
・日商簿記3級の前半の内容が理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:企業の簿記 簿記の目的	予習:シラバスを読むこと 復習:指定の問題集の問題を解くこと(p4-6)
2:簿記の要素 貸借対照表、損益計算書	予習:教科書の範囲を確認すること(P7) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P8-10)
3:取引と勘定	予習:教科書の範囲を確認すること(P11) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P12-13)
4:仕訳と転記	予習:教科書の範囲を確認すること(P14) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P14-16)
5:仕訳帳と元帳	予習:教科書の範囲を確認すること(P17) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P17-21)
6:復習問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を確認すること 復習:間違っている部分の理解をすること
7:試算表	予習:教科書の範囲を確認すること(P22) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P23-25)
8:決算手続きと意味 決算の意味と考え方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P27-29)
9:決算手続き 損益勘定を用いた締め切り方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P28-29)
10:損益計算書・貸借対照表	予習:教科書の範囲を確認すること(P30) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P30-32)
11:元帳の締め切り 演習問題(グループワーク)	予習:教科書の範囲を確認すること(P26-30) 復習:収益と費用の締め切りの手順のプリント課題
12:現金・現金過不足	予習:教科書の範囲を確認すること(P33) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P34-37)
13:当座預金・当座借越	予習:教科書の範囲を確認すること(P38) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P39-42)
14:総合問題① 仕訳をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること
15:総合問題② 試算表をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的に予習は必要ないが、授業内で行ったことは復習として問題を解くこと。準備学習の時間は60分程度を目安としています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　授業の参加態度や発言等により構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内で問題を解く時間を作るため、その際に質問を受け付ける。また、その際に課題のチェックも行う。
高等学校で簿記会計を学んで、3級以上の以上の内容を学び、仕訳ができる人は、ベーシック簿記(青柳先生)を受講すること。
毎時間電卓を持ってくること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ベーシック簿記	LP41202	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記の科目を学んだ学生や1年次に簿記を学んだ内容の復習を行い、仕訳を中心に授業を進めます。
毎回の授業では、テーマを決めて行いますが、場合によっては、個人の進度に応じて、問題を解く時間を取り、在学中に
日商簿記検定2級・3級の受験を視野に入れた基礎固めを行います。

Ⅲ. 学習成果

・簿記の計算構造が理解できる。
・日商簿記検定が受験できるように、2級、3級の基礎固めを行う。
・仕訳を理解し、財務諸表が作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業のガイダンス 簿記の基本問題(高校時代の復習)	高校時代に取得した簿記検定試験があれば、調べてくる。
2: 商品売買取引(仕訳) 分記法と3分法(仕訳)、商品有高帳	基本の仕訳のプリント課題に取り組む。
3: 商品有高帳 掛け取引、人名勘定(仕訳)	練習用の仕訳のプリント課題に取り組む。
4: クレジット売掛金 手形取引、電子記録債権、電子記録債務	現金出納帳・当座預金・当座借越の問題を解く。
5: 有形固定資産取引 その他の債権債務①	現金過不足の問題をを解く。
6: その他の債権債務② 税金の処理	通貨代用証券について調べる。
7: 訂正仕訳 期中取引の集計(問題を教えあう)	商品売買の問題を解く。
8: 株式会社の設立　剰余金の配当 貸倒引当金	電子記録債権・電子記録債務の仕訳の問題を解く。
9: 有形固定資産の減価償却 有形固定資産の売却	固定資産の取得と売却の仕訳の問題を解く。
10: 租税公課と引出金、差入保証金 グループワーク(問題を解き、答え合わせをしよう)	差入保証金の仕訳の問題を解いてくる。
11: 決算　一連の流れ	減価償却の間接法による減価償却費の計算の問題を解く。
12: 収益費用の見越しについて グループワーク(問題を解いて答え合わせをしよう)	金銭債権から貸倒引当金を計算してくる。 決算時に行う、見越しの簿記処理を練習する。
13: 収益・費用の繰延べ グループワーク(解らないところを確認しよう)	収益・費用の繰延の仕訳を解く。
14: これまでの復習問題	配付した課題の問題を解く。
15: まとめ	試験範囲の確認し、仕訳を中心に問題を解く。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回教材やプリントを配付する。
(すでに日商簿記3級を取得している学生には、日商簿記2級の教材を使用します。)
参考文献:日商簿記ゼミ 3級 問題演習 改訂版 実教出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業時には毎回電卓を持参してください。
・高等学校で簿記を学んでいると思いますが、仕訳ができれば大丈夫ですので安心して受講してください。また、各自の進度に応じて授業を進めていきます。
・提出された課題をチェックしたり、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

挨拶ができることや、名前を呼ばれたらしっかり返事するなど、人間関係の基本をまずマスターします。
そのあとは授業計画のとおり進めますが、中心は、話し方と言葉づかい、接遇、電話応対等の基本です。
「実際にできる」ことに重点を置き、ロールプレイで実践することで知識や技能を定着させることができます。

Ⅲ. 学習成果

・誰にでも自分から挨拶ができ、きちんとした返事ができる。
・正しい敬語を使い、感じのよい応対ができる。
・授業内でコミュニケーションをとって、ロールプレイを積極的に行うことができる
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション　授業の進め方・評価方法　ビジネス実務を学ぶにあたって 第一印象の重要性①(挨拶・立ち振る舞い)　ビジネスマナーについてのDVD視聴	シラバスの内容を事前に確認しておく。 DVDを見ての感想をまとめてGoogleフォームで提出する。
2:第一印象の重要性②(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキストP32　ポイント学習の問題を解く。
3:企業とビジネス活動／学生と社会人との違い	テキストP12～P17を読んで、わからない用語を調べる。 テキストP24　ポイント学習の問題を解く。
4:人間関係と話し方、聞き方 ペアで聞き方の実習をする	聞き方についてのプリントを読み、授業で行うワークの準備をする。 聞き方についてのポイントを整理する。
5:話し方と敬語①(話し方、敬称などさまざまな敬語 (話し方、敬称などさまざまな敬語(敬意)表現について	テキストP34～P36を読む。発音に関するプリントを使用し、練習する。 敬語・接遇用語演習問題に取り組む。
6:話し方と敬語②(尊敬語、謙譲語、丁寧語、美化語) 場面による敬語の使い分けなど	ビジネスマナー基礎実習　P9　言葉遣いの問題を解く。 ビジネスマナー基礎実習　P11 敬語問題を解く。
7:話し方と敬語③(応対用語) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	応対用語のプリントを使用して、練習をする。 敬語・接遇用語小テストに向けて準備をする。
8:指示の受け方と報告の仕方(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う　◆小テスト実施	秘書検定準1級報告課題のプリント問題で報告の練習をする。 指示を受ける、報告をする際のポイントを整理する。
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの基本的流れを覚えてくる。 基本事例を口頭練習し覚える。
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる。 応用事例を口頭練習する。
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる。 テキストP80　第4章のポイント学習の問題を解いておく。
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題に取り組む。 電話応対・来客応対　小テストに向けて準備する。
13:訪問のマナー　◆小テスト実施 他社訪問、就職活動についての訪問・説明会参加のマナー	マイナビの指定サイトの動画を視聴しておく。 テキストの該当ページを読んで、シートを記入しておく。
14:交際の業務①(冠婚葬祭-慶事、贈答、表書き)	交際業務　テキストP122～P124を読んでおく。 適切な上書きができるようポイントを整理する。
15:交際の業務②(冠婚葬祭-弔事、表書き)　まとめ　◆実技テスト実施	来客応対の実技テストに向けて準備する。 単位認定試験に向けた学習を行う。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと
・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

(教科書)
1. 新ビジネスとオフィスワーク　水原 道子監修　宮田篤　編著　㈱樹村房　1,900円(税別)
2. ビジネスマナー基礎演習＜新版＞　早稲田教育出版　500円(税別)　3.プリント
(参考図書)　・日本で働くための本-就活生から社会人まで-　㈱アスク出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(50%)　2. 課題、ポートフォリオ提出、小テスト(20%)　3. 実技テスト(15%)　4. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、積極的に参加し、互いに協力することが求められる。
3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. プリントを配布するので、ファイリングをすること。(ポートフォリオの提出有)
5. 提出課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。小テストについては、実施後、解答用紙を回収後に解答・解説を行う。次の授業で返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

顧客満足(CS)を高める要素の一つに、人によるサービスがある。これは、顧客との円滑なコミュニケーションを図り良好な人間関係を築くことで、企業に対する良い印象を形成し、顧客に満足してもらうことである。ビジネスマナーはコミュニケーション力ともいえる。この科目では、ビジネスでの基本的なマナーを学び、身につける。

Ⅲ. 学習成果

・CSにおける、ビジネスマナーの重要性を説明できる。
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:CSとマナー(授業科目の目的・目標)	テキスト第Ⅱ部　第5章「ホスピタリティとサービス」を読んで課題をGoogleClassroomに提出する
2:人間関係と印象(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(5)動作」までを読んでおく
3:人間関係と話し方、聞き方① ペアで聞き方の実習をする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(6)話し方(7)聞き方」を読んでおく 身だしなみ・基本姿勢等のチェックリストと聞き方実習のコメント表を完成させる
4:人間関係と話し方、聞き方② 自分の声を録音し、チェックする	発音に関するプリントを使用して、練習をする。
5:ことば遣い①(敬語) 敬語の種類・作り方・陥りやすい間違いなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」55ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.1の課題をGoogleClassroomに提出する
6:ことば遣い②(敬語、接遇用語) 場面による敬語の使い分けなど	敬語・接遇用語演習問題No.2の課題をGoogleClassroomに提出する 敬語演習問題(2)のテスト準備をする
7:指示の受け方と報告の仕方①(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 敬語・接遇用語演習問題のテスト準備をする
8:指示の受け方と報告の仕方②(複数の指示の受け方・報告の仕方など) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	指示を受ける、報告をする際の基本的な用語を覚えてくる
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	電話応対に関する課題をGoogleClassroomに提出する 基本事例を口頭練習し覚えてくる
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる 応用事例を口頭練習する
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題・席次課題をGoogleClassroomに提出する
13:訪問のマナー	GoogleClassroomに提示された追加記入を、テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問に関するページに記入する。
14:交際の業務(贈答など)	テキスト第Ⅲ部　第6章 第2項「贈答の知識」の課題をGoogleClassroomに提出する 贈答の金品の包み方のポイントを覚えてくる
15:まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「ビジネス実務　―信頼を得ることの大切さ―」　藤村やよい編著　㈱樹村房　　￥2，000＋税
2. 自作配付資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物、小テスト(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。
「実務経験教員科目」特記事項:銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日商簿記Ⅰ	LP41204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目は「ベーシック簿記」で学んだ簿記の知識に基づき、日商簿記3級程度の知識と処理能力を身に付ける。11月および2月に開催(予定)される日商簿記3級に向けて焦点を当て、解説と問題を解くことを中心に行う。

Ⅲ. 学習成果

日商簿記3級程度の知識を身に付け、検定試験に合格する水準まで簿記を理解できる。
ビジネスの場面においても日商簿記3級の範囲内の用語の理解と簡単な説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:小口現金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P43-47)
2:商品売買(3分法)	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P48-56)
3:商品有高帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P62-68)
4:売掛金・買掛金、貸倒引当金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P69-75)
5:受取手形・支払手形	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P76-81)
6:クレジット売掛金・その他債権・債務	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P82-88)
7:固定資産の減価償却・売買	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P89-92)
8:営業費・税金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P93-98)
9:決算整理①費用の前払い・収益の前受け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P100-102)
10:決算整理②費用の未払い・収益の未収	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P103-107)
11:試算表の作成①合計残高試算表の作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P108-111)
12:試算表の作成②仕訳から試算表の作成手続き	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P112-119)
13:精算表の作成①修正記入と作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P120-125)
14:精算表の作成②損益計算書と貸借対照表の振り分け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P126-129)
15:帳簿の締め切り	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P130-133)
16:損益計算書・貸借対照表	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P134-140)
17:伝票会計①3伝票制・5伝票制の処理	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P141-146)
18:伝票会計②仕訳から伝票へ	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P147-149)
19:総合問題1	復習:間違った問題の理解をすること
20:総合問題2	復習:間違った問題の理解をすること
21:総合問題3	復習:間違った問題の理解をすること
22:総合問題4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
23:精算表問題1	復習:間違った問題の理解をすること
24:精算表問題2	復習:間違った問題の理解をすること
25:精算表問題3　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
26:過去問題演習1	復習:間違った問題の理解をすること
27:過去問題演習2	復習:間違った問題の理解をすること
28:過去問題演習3	復習:間違った問題の理解をすること
29:過去問題演習4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
30:過去問題演習5　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的に予習は不要である。復習として毎時間、問題集の問題を指示する。復習にかかる時間は毎時間1時間程度の分量である。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ベーシック簿記で使用した教科書及び問題集を使用する(持っている場合は追加で購入する必要なし)
『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言などにより構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内での質問に答える形とする。その時間は毎時間設ける。
積み重ねの授業のため、原則欠席はしないこと。
原則として2期の「ベーシック簿記」を受講したもの、簿記の経験があるものが対象となる。
22回、25回、29回、30回の問題演習では、グループワークの形式をとり、学生間での教えあいをすることによって学習効果の向上を図る。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
日商簿記Ⅰ	LP41205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	一般事務指定科目		
担当者		履修要件他:			
青柳　薫子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記会計の科目を学んだ学生を対象に、2期のベーシック簿記(経験者クラス)に引き続き授業を行う。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。この授業では、主に11月又は2月の日商簿記検定の受験へ向けて準備を進めます。高校時代の学びと短大との学びをリンクさせながら、疑問点や出題頻度の高い箇所は、重点的に説明することがありますが、基本的に、授業内では問題を解きます。
また、2級の受験者に対しては、商業簿記を中心に行います。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級・3級の基礎的な問題が解けるようになる。
・問題を解くスピードを身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス	シラバスを確認する。自分の受験する時期を決定する。
2: 日商簿記2級又は3級の復習問題①	復習問題①の中で、間違った問題を解く。
3: 復習問題①の解説を行う。	復習問題①に関する練習問題を解いて提出する。
4: 日商簿記2級又は3級復習問題②	復習問題②の中で、間違った問題を解く。
5: 復習問題②解説を行う	復習問題②に関する練習問題を解いて提出する。
6: 日商簿記2級又は3級の復習問題③	復習問題③の中で、間違った問題を解く。
7: 復習問題③の解説を行う。	復習問題③に関する練習問題を解いて提出する。
8: 日商簿記2級又は3級の復習問題④	復習問題④の中で、間違った問題を解く。
9: 復習問題④の解説を行う。	復習問題④に関する練習問題を解いて提出する
10: 日商簿記2級又は3級の復習問題⑤	復習問題⑤の中で、間違った問題を解く。
11: 復習問題⑤の解説を行う。	復習問題⑤に関する練習問題を解いて提出する。
12: 授業前半のまとめ・振り返り	これまで解けなかった問題をもう一度解く。
13: 模擬問題①	模擬問題①の中で間違った問題を解く。
14: 模擬問題①の解説を行う。	模擬問題①に関する練習問題を解く。
15: 模擬問題②	模擬問題①の中で間違った問題を解く。
16: 模擬問題②の解説を行う。	模擬問題②に関する練習問題を解く。
17: 模擬問題③	模擬問題③の中で間違った問題を解く。
18: 模擬問題③の解説を行う。	模擬問題③に関する練習問題を解く。
19: 模擬問題④	模擬問題④の中で間違った問題を解く。
20: 模擬問題④の解説を行う。	模擬問題④に関する練習問題を解く。
21: 模擬問題⑤	模擬問題⑤の中で間違った問題を解く。
22: 模擬問題⑤の解説を行う。	模擬問題⑤に関する練習問題を解く。
23: 模擬問題⑥	模擬問題⑥の中で間違った問題を解く。
24: 模擬問題⑥の解説を行う。	模擬問題⑥に関する練習問題を解く。
25: 模擬問題⑦	過去問題集の中で間違った問題を解く。
26: 模擬問題⑦の解説を行う。	過去問題集に関する練習問題を解く。
27: これまでの復習問題を解く	ワークブックの問題で間違った問題を解く。
28: 精算表、貸借対照表、損益計算書の作成問題	ワークブックに出た問題に関連する練習問題を解く。
29: まとめ	これまで解いた問題をチェックし仕訳を行う。
30: 振り返り　グループワーク	これまでに解いた問題を見直す。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・毎回の授業の時間で解けなかった問題は、準備学習の時間の中で解いてください。準備学習は、各回30分以上行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『 25年度　まるっと完全予想問題集　3級　TAC出版　』
2級を学ぶ場合は、別途問題集を購入することがあります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習への意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・日商簿記検定の受験を前提に授業を進めていきます。分からないところは、どんな些細なことでも質問してください。
・授業では、予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
人的資源論	LP41206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では会社での働き方や様々な制度などを学びます。
また自分にとって働くことはどのようなことか、また会社(業界)と組織の両方を知ることで、自分がどのような仕事に向いているかを確認します。
そのために様々な業界についても学習します。

Ⅲ. 学習成果

会社(業界)、人事・報酬制度や人材マネジメントを理解し、どのような会社に就職したいかということに自分の意見を持って選択できるようになることを目標とします。また、会社での働き方やトラブルについて学ぶことで社会人になって苦境に陥った時に自分で対処できる知識を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 自分の現状と社会の現状を知る	予習:シラバスを読むこと 復習:自分の現状を表にする課題シートの完成
2:ブラック企業とは 劣悪な労働条件を考える	予習: 復習:自分にとってのブラック企業をリスト化するシートの完成
3:様々な雇用の形態 正規雇用と非正規雇用	予習: 復習:正規雇用などの働き方に関する課題の完成
4:労働問題に関する政府の対応 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:身近な労働問題をまとめる課題シートの完成
5:会社でやってはならないこと 会社の懲罰	予習: 復習:懲罰に関する課題シートの完成
6:アパレル業界の働き方 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:アパレル業界とその働き方の課題シートの完成
7:企業努力と賃金	予習: 復習:賃金の状況に関する課題の完成
8:小売業界の働き方① スーパーを例として	予習: 復習:小売業界に関する課題の完成
9:小売業界の働き方② 家具メーカーを例として	予習: 復習:小売業界に関する課題の完成
10:様々な働き方 限定社員や一般職	予習: 復習:働き方を考えるための課題シートの完成
11:旅行業界の働き方	予習: 復習:旅行業界に関する課題の完成
12:報酬と福利厚生	予習: 復習:福利厚生に関する課題の完成
13:金融業界の働き方	予習: 復習:金融業界に関する課題の完成
14:セカンドキャリア	予習: 復習:セカンドキャリアに関する課題の完成
15:職場環境とまとめ	予習: 復習:職場環境に関する課題の完成

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テーマに沿った課題を課します。ほとんどが事後課題となります。課題にかける時間は30分から1時間程度を予定しています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート課題(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、点数や評価を付けて返却します。また、良い課題は全員で共有するため授業内で報告します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
パーソナルファイナンス	LP41207	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パーソナルファイナンスとは、個人のお金周りの管理に関する知識や技能を指す。人は企業とは異なり、ライフサイクルを持ち、人生における各ステージで考えるべき内容は当然異なる。将来の老齢年金の受取額が現在の高齢者より少なくなることが確実な中、自らのライフスタイルを考え、世の中にある金融商品をうまく活用し、豊かなライフプランを描く能力が必要とされている。本講座では、教養の「くらしと金融」の話を土台として、今後の人生の中で必要となる、投資についての話をメインにお伝えする。新NISAが始まる前にしっかり制度の内容と自身の生活について、考えましょう。

Ⅲ. 学習成果

①自分自身のライフプランを描き、自らのお金周りと合わせて検討できるようになる。具体的には、キャッシュフロー表を自ら作成できるようになる。
②人生の「貯め時」、「耐え時」を理解し、世の中の金融商品をうまく使うことで、自分の人生をより豊かにできることを理解する。
③老後資金を準備するために、投資を若いうちから理解し、早く投資を始めたほうが有利になることを理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション パーソナルファイナンスとは何か？	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料の要点をまとめておくこと。
2: 人生100年時代に備える グループワークの実施	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:「貯め時」と「耐え時」を理解し、自分の人生のお金周りを考えてみる。
3: 複利計算と現在価値	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:複利計算の特徴を理解すること。
4: キャッシュフロー表の作成① ※課題1の解説　パソコン室を利用	予習:自分のライフイベントを考えておくこと。 復習:課題1に取り組む
5: キャッシュフロー表の作成② パソコン室を利用	予習:課題1の完成。 復習:課題1の仕上げ
6: 金融リテラシー① 金融商品の種類 ※課題1の回収	予習:課題1の確認 復習:作成したキャッシュフロー表の特徴をまとめておくこと。
7: 金融リテラシー② 金融市場の機能	予習:前回資料の復習 復習:金融市場の機能の復習
8: 債券投資① 金利と債券 ※課題2の提示	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:課題2の取り組み
9: 債券投資② 利回り計算	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:利回り計算の復習
10: 債券投資③ 債券のリスク及び代表的債券について	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:債券の復習
11: 株式投資① 配当還元モデル、PER、PBR	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:配当還元モデルの復習
12: 株式投資② 分散投資について 課題2の回収	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:分散投資の重要性を確認すること。
13: 投資信託	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:配布資料を元に、投資信託の特徴をまとめておくこと。
14: iDeCo、NiSA等	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:iDeCo、NISAの特徴をまとめておくこと。
15: まとめ	予習:課題3の完成。 復習:5期からの学びに向けて、再度全体を振り返ること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・求める準備学習は各回異なるので、担当者の指示に従い、予復習及び課題の作成を行うこと。 ・為替レート、金利、株価なども定期的に尋ねる。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「投資の超基本」 朝日新聞出版　泉美智子著
参考書 「ファイナンス論」 有斐閣　大村敬一著
「'24-'25年版みんなが欲しかった！ FPの教科書 3級」 TAC出版　滝澤ななみ著
「これでわかった！ファイナンス」 PHP新書　永野良佑著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験 50%、課題3回 30%、学習の意欲 20%
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指定されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・定期的に、為替レート、金利、株価について尋ねるので、新聞やネットで日々確認する習慣を身につけて欲しい。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収するプリントは、次回の講義の際に返却を行う。
・毎回回収するプリントおよび課題は、必要に応じてコメントをつけて返却する。
・私語・スマートフォンの私的利用は禁止しており、減点の対象とする。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・Google Classroomの利用については、主として授業外学習の促進のために活用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療保障制度	LP42201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療保障制度の基本的なしくみや診療報酬の請求、支払いの流れなどの知識の習得を目標とする。
医療事務職にとって必要な医療制度にかかわる関係法規について学び、医療事務職としての業務を遂行するために必要な基礎づくりを行う。
3・4期に学習する「医療事務」や2年次1・2期に学習する「調剤報酬請求事務」の授業に必要な基本知識が定着し、活用できるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・医療保障制度や診療報酬のしくみ、医療事務の流れを理解できるようになる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の授業への導入となる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・医療保障制度①②　医療事務メジャーの学習について (医療機関の分類／医療機関と薬局との関係)	シラバスの内容を事前に確認しておく。 指定された練習問題を解く。
2:医療保障制度③ (医療機関の組織／医療保障制度の体系／療養担当規則／健康保険法)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 療養担当規則のプリントを読んで、大切な箇所に線を引く。
3:医療保障制度④、医療保険の種類① (医療保険のしくみ／75歳未満の医療保険／社会保険、国民健康保険の種類)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 指定された練習問題を解く。
4:医療保険の種類②③ (75歳以上の保険／被保険者証とその見方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 授業のプリントの内容を確認する。自分の保険証を調べてみよう。
5:保険給付のしくみ　保険給付①②、その他の保険給付①②　病院研究について (保険給付の範囲と種類／給付割合と患者負担割合／高額療養費制度)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 現物支給と現金支給について整理する。
6:保険外併用療養費、その他の医療保障制度①②(公費負担医療制度) (保険外併用療養費と種類／公費負担医療制度と種類・しくみ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 指定された練習問題を解く。
7:その他の医療保障制度③④⑤⑥ (生活保護法／難病法／感染症法／労災保険)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 授業で配布されたプリント1回～7回までのポイントを整理する。
8:その他の医療保障制度⑦　◆小テスト実施 (介護保険／自賠責保険)	小テストに向けて範囲を学習して準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
9:医療事務の業務内容① (医療従事者としての心構え／医事課の窓口業務／日常業務と請求業務)	次回講義内容のプリントを読み、わからないことを書きだす。
10:医療事務の業務内容② (会計・請求業務／レセプトの基礎知識と上書き／負担金の計算)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 診療録(カルテ)を見て、レセプトの上書きを書いてみよう。
11:歯科事務・調剤事務の業務内容 (レセプトの基礎知識／調剤薬局の業務の流れ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 小テスト範囲の要点を整理する。負担金の練習問題を解く。
12:診療報酬の算定方法　(点数表の見方・読み方)　◆小テスト実施	小テストに向けて範囲を学習して準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
13:病院研究　調査 グループワーク:発表する病院をグループで決定し、情報収集しまとめる。	各自で興味のある病院を1施設ピックアップして情報収集する。 情報収集したものを整理し、スライドを作成する。
14:病院研究　発表 グループワーク:情報収集し、まとめた病院についてグループで発表する	スライドを完成させ、発表に向けて準備する。 他グループの発表を聞いて、情報を整理する。
15:まとめ　ポートフォリオ提出	ポートフォリオ提出に向けてプリント類を確認し、整理する。 定期試験に向けて範囲を学習し、準備する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1. 医療事務講座　テキスト1「医療保障制度」(ソラスト)
　　2. 配布プリント
参考書:「最新　医療関連法の完全知識　2025年版」(医学通信社)
　　「公衆衛生がみえる 2024-2025」(メディックメディア)　「最新・医療事務入門　2025年版」(医学通信社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(50%)　2. 小テスト・提出物・発表(35%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
3.授業中の私語・居眠り・携帯電話の使用、テキスト忘れは減点の対象とします。
4.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療の基礎知識	LP42202	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
原田　景太		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、医療事務従事者に求められる知識として、人体の基本的な構造と機能、代表的な疾患および、その検査・治療法について解説します。
各器官系の役割と正常な状態から、それぞれの病状を説明します。また、医療倫理をはじめ、多職種と連携が取れるよう理解を深めます。

Ⅲ. 学習成果

基本的な医学の専門用語について説明できる。
代表的な疾患の概要、検査・治療方法について理解し、医療事務検定試験に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 人体の基本的構造と機能について	指定教科書の学習内容を確認し、人体の構造について調べてくる。 1回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
2: 疾病の成り立ちについて	指定教科書の学習内容を確認し、疾病の成り立ちについて調べてくる。 2回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
3: 運動器(全身の筋・骨格)	事前学習(運動器(全身の筋・骨格)) 3回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
4: 脳・神経疾患	事前学習(脳・神経) 4回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
5: 呼吸器疾患	事前学習(呼吸器) 5回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
6: 循環器疾患	事前学習(循環器) 6回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
7: 消化器疾患(上・下部消化管)	事前学習(消化管) 7回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
8: 消化器疾患(肝臓・胆道・膵臓疾患)	事前学習(肝臓・胆道・膵臓) 8回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
9: 腎・泌尿器疾患	事前学習(腎・泌尿器) 9回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
10: 血液疾患	事前学習(血液・造血器) 10回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
11: 感染症について(生体防御・免疫) グループワーク:感染症予防について	事前学習(感染・免疫機能) 11回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
12: 内分泌・代謝疾患	事前学習(内分泌) 12回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
13: 性・生殖器	事前学習(乳房・女性生殖器) 13回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
14: 感覚器(眼・耳鼻・皮膚)	事前学習(感覚器) 14回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
15: 体温調節について グループワーク・発表:感染症予防について(アクティブラーニング)	事前学習(皮膚・体温調節) 15回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回45分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『しくみと病気がわかる　からだの事典』田沼久美子ほか (監修)　成美堂出版　1,760円
常日頃から、現在の医療を取り巻く問題について、新聞やテレビ、インターネット等の情報に関心を持つよう心がけてください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　課題レポート・小テスト(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。
課題については、講義内および Google Classroomで説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療事務	LP42203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は、医療事務職として業務に従事できるよう基本的な知識と技能を修得することを目的としています。医療機関において重要な業務に、診療報酬請求業務があります。そのために必要となる診療報酬の点数計算について、診療行為別の算定方法とルール、レセプトと会計欄の書き方を学びます。
技能認定振興協会主催　医科 医療事務管理士技能認定試験の受験をすることができます。(別途検定対策を実施します)

Ⅲ. 学習成果

1.診療報酬請求の事務のしくみを理解することができる。
2.診療行為別の点数算定方法とそのルールを理解し、点数計算ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　オリエンテーション　(授業の進め方・評価方法)/医療保障制度授業内容復習	シラバスの内容を事前に確認しておく/テキストの指定ページを復習する。
2:　基本診療料　初診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
3:　基本診療料　初診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
4:　基本診療料　再診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
5:　基本診療料　再診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
6:　特掲診療料　医学管理料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
7:　特掲診療料　医学管理料②　算定演習　確認テスト①(初診料・再診料)	確認テストに向けて、初診料・再診料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
8:　特掲診療料　在宅管理料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
9:　特掲診療料　医学管理料、在宅管理料　まとめ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
10:　投薬料1　薬剤の区分とカルテ上の見分け方	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
11:　投薬料2　薬剤料の計算単位と薬価計算	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
12:　投薬料3　処方料、調剤料等の技術料	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
13:　投薬料4　まとめ　確認テスト②(投薬料)　グループワーク	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
14:　注射料1　算定のルール	確認テストに向けて、投薬料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
15:　注射料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
16:　1回～15回　まとめ・算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
17:　処置料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
18:　処置料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
19:　リハビリ料　算定のルール・算定演習　確認テスト③(注射料、処置料)	確認テストに向けて、注射料・処置料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
20:　手術・麻酔料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
21:　手術・麻酔料　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
22:　検査料1　検査料全般	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
23:　検査料2　検体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
24:　検査料3　生体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
25:　病理検査・画像診断1(単純撮影)	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
26:　画像診断2　特殊撮影、造影剤使用撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
27:　画像診断3　コンピュータ断層撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
28:　入院料1　入院の費用、入院時食事療養費	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
29:　入院料2　外来と入院との算定方法の違い	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
30:　入院料3　まとめ　単位認定試験範囲について　グループワーク	苦手分野をピックアップしておく/単位認定試験に向けて準備する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・目安として予習30分、復習時間は60分程度です。授業だけでは算定練習の時間が限られます。復習をして、理解を深めるようにしてください。・確認テスト で間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて 、確実に算定できるようにしましょう。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.医療事務講座(医科)テキスト2、3、資料ブック、薬価表、レセプト記載ルール　ソラスト　2.診療点数早見表2025年4月増補版　医学通信社
3.医科医療事務管理士模擬問題集　4.配布プリント
参考図書:レセプト作成テキストブック(医科) 令和7年4月版　社会保険研究所
診療報酬・完全マスタードリル　2025年版　内芝修子　医学通信社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.確認テスト(30%)　3.授業への取組み姿勢(20%)(課題作成状況・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
2.ポートフォリオを30回目の授業終了時に提出していただくので、配布プリントや課題、自己学習したものなどをファイリングするようにしてください。
3.受講するにあたり、電卓・マーカー・インデックスが必要です。電卓は毎回持参してください。メモリ機能「M＋」「M−」「MRC」がついたものが望ましいです。
4.確認テストについては実施授業回の2回前の授業で範囲等を伝えます。5.提出物は期限を守って提出してください。次回授業時に添削して返却します。
6.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療概論	LP42204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本における医療機関の機能と現状を把握し、実際に医療事務職が行う業務や取り組み、医療倫理などについて学ぶ。
また、医療事務職にとって必要な「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の知識を深めることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

・医療機関や医療事務職の特性を理解できる。
・医療機関での基本的な事務職の業務の心得を身につけることができる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」に必要となる薬の知識を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:医療概論の授業の進め方と評価方法について 患者(家族)は医療機関に何を望んでいるのかを考える	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の心理を理解する。
2:医療機関とは 医療機関の定義、組織とチーム医療、医の倫理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の種類とその特徴やさまざま職種を調べる。
3:医療機関の経営と管理 診療情報管理、医療関係法規	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療関係法規の内容を理解する。
4:医療機関の環境整備 グループワーク:待合室の環境整備について考え、発表する	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の環境整備について考える。
5:医療の基礎知識 患者の移動、体位、診察介助、緊急時の対応、車いすの対応実習	医療事務職として行わなければならない緊急時の対応を考える。
6:医療機関の医療・患者サービス	医療機関で実際に行われているサービスについて調べ、まとめる。
7:健康管理とストレスコントロール	貴女自身のストレスコントロール方法を考える。
8:医療事故の実例と防止対策	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関で実際に起こる事故について考える。
9:情報管理 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	医療に関する情報を収集して、要点をまとめる。
10:医療情報の理解	医療情報にはどのような物があるか考える。
11:医療文書の知識	診療情報提供書を作成する。
12:医薬品の基礎知識① 医薬品の定義、医薬品の種類、医薬品の名称	身近な医薬品からその名称や種類を調べ、まとめる。
13:医薬品の基礎知識② 薬価基準表の見方、薬の剤形、薬の投与方法	身近な医薬品から剤形、投与方法を調べ、まとめる。
14:薬物治療の概要 薬の作用と適用	身近な医薬品から効能などを調べ、まとめる。 今までの配布資料などを見て、まとめる。
15:まとめ、医療機関の現状と今後の課題	医療機関で働くうえで必要とされる心得をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 教科書:現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　西文社　￥2，200
2. 参考図書:医療機器安全実践必携ガイド　医療概論編　一般社団法人　日本医療機器学会
3. 教員作成のプリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定に係わるレポート提出(40%)　2. 通常授業の提出物(45%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. 授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
医療秘書実務	LP42205	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療秘書して社会で貢献するために、医療秘書の役割や使命を理解し、常に新しい知識や技能を取得に意欲を持ち、医療現場で一人一人に応じた援助する力が力が必要となります。患者への感じの良い接遇を見につけ、院内で時・場所・機会に応じた医療秘書の業務が行えるようになることを目的とします。本講義では、医療機関における医療秘書の仕事内容や役割、求められる資質・能力についてまず学びます。次に医療機関での身だしなみ、接遇や電話応対、受付・会計業務、環境整備などについて学びます。グループワークやペアワークなどを行い、自分の理解度を明確にすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.医療秘書の役割・業務内容を理解し、説明することができる。
2.医療秘書に関する基本知識や技能を修得し、実践できる。
3.医療機関での接遇(身だしなみ、マナー、適切な言葉遣いなど)を理解し、患者や医師、職員の方に相応しい対応ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション:(授業の進め方・評価方法) 医療秘書の定義、仕事内容と役割、求められる資質・能力について	シラバスの内容を事前に確認しておく。該当ページを読んでおく。 医療秘書の仕事内容、求められる資質・能力について、整理する。
2:医療現場での基本的マナー① 挨拶の重要性と職場の人間関係／患者、スタッフ間のコミュニケーション	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者・スタッフ間のコミュニケーションに必要なことを考える。
3:医療現場での基本的マナー② 就業中のマナー、身だしなみ、挨拶、立ち居振る舞い	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 医療秘書として適切な言葉遣いを考える。
4:敬語、指示と報告	仕事の指示の受け方と報告の仕方を考える。 敬語の問題プリントに解答する。
5:接遇①:医師のサポート　来客応対 接遇の基本と実際　　案内・茶菓接待	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 来客応対について授業内容を復習し、練習する。
6:接遇②:患者応対の心構えと窓口業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者応対の流れについてポイントを整理する。
7:接遇③:患者応対会計業務　　◆小テスト実施 ロールプレイングとケーススタディ	小テストに向けて、準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
8:接遇④:様々な患者への対応 グループワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 様々な患者への対応のポイントを整理する。
9:電話応対①　電話の基本・患者応対 ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 基本的な電話応対についての流れを確認する。
10:電話応対②患者の家族、院内での電話応対 ペアワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者の家族・院内の電話応対のポイントを整理し、練習する。
11:接遇・電話応対:クレーム対応 クレーム対応の基本と実習　　グループワーク	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者役をするためのクレーム内容を考えておく。
12:文書処理 医療機関における文書、文書作成、文書の受発信	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 文書作成の課題を行う。
13:医師のスケジュール管理と出張業務 スケジュール表の作成と管理、出張に伴う業務　　◆小テスト実施	小テストに向けて、準備する。 週間スケジュール表を作成する。小テストの結果を確認、復習する。
14:慶弔・贈答①	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 表書きについてポイントをまとめる。
15:慶弔・贈答 ②　　◆実技テスト	患者対応で課題がある点を整理し、実技テストに向けて練習する。 15回の授業を復習し、レポートを作成する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してきてください。テキストの該当ページは授業時に指定します。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。

小テストで間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて確実に理解するようにしてください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「現代医療秘書　役割と実務」 中村健壽 監修(西文社) 2,000円(税別)
　　2.配布プリント
参考図書:「現代医療秘書　ワークブック」 中村健壽 監修(西文社) 1,700円(税別)
　　「医療事務職員のためのコミュニケーション・スキル」 中村健壽　監修1, 800円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.小テスト　30%　　2.実技試験(窓口対応)25%　　3.レポート　20%
4.授業への取り組み(積極性、貢献度、挨拶・返事、発表、課題作成、ポートフォリオ)25%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
2.実技テスト(第15回実施)については、第10回の授業時に内容等について説明します。
3.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。
4.講義、ワーク問題確認後、ペア・グループワークのロールプレイを行い、医療秘書・医療事務として感じがよく、適切な対応について実践できる力を積上げていきます。授業で身につけたことを学校生活や就職後に活かしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Excel演習	LP50201	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般(表作成、関数の理解と使用、テーブルの作成とデータの検索、種々の書式設定、種々のグラフ作成)をマスターし、見た目にもわかりやすい数表やグラフを作成できるようにする。

Ⅲ. 学習成果

Excelの基本オプションの設定や印刷の為の諸設定ができるようにする。
表計算ソフトの基本機能--データの入力、集計、検索、グラフ作成などが、完全にできるようにする。
Excelで使う数式の作成や、主要な関数の意味を理解し、適切に使用できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Excelの基本操作、ショートカットキーの使い方、ワークシートとブックの作成	Excel基本操作、ショートカットキーの使い方、 教科書1-1、1-2の内容の復習
2: ワークシートやブックのオプション設定とカスタマイズ、印刷設定、保存等	教科書1-3、1-4、1-5の内容の復習
3: 表示形式、入力規則	表示形式と入力規則の内容の復習
4: シートのデータ操作、セルやセル範囲の書式設定、名前の定義	教科書2-1、2-2、2-3の復習
5: スパークライン、条件付き書式	教科書2-4の内容の復習
6: テーブルの作成と設定、抽出・並び替え	教科書3-1、3-2、3-3の内容の復習
7: 数式の作成(四則演算、絶対参照、基本関数)	教科書4-1、4-2の内容の復習
8: 論理関数(IF)、検索/行列関数(SORT、UNIQUE)、統計関数(RANK.EQ)	教科書4-2の内容の復習、RANK.EQ関数の復習
9: 文字列関数 (RIGHT、LEFT、MID、UPPER、LOWER、LEN、CONCAT、TEXT JOIN)	教科書4-3の内容の復習
10: 検索/行列関数(VLOOKUP)	VLOOKUP関数、関数ネスト(IFとIF)の復習
11: 関数ネスト(IFとAND、IFとOR、IFとVLOOKUP)	関数ネスト(IFとAND、IFとOR、IFとVLOOKUP)の復習
12: グラフ作成	教科書5-1、5-2、5-3の内容の復習
13: マクロの記録と保存	マクロの記録と保存の復習
14: オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の作成	オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の内容の復習
15: 【プレゼンテーション】ポスター又はカレンダーを作成し、どのようなテクニックを使ったかクラスで披露し解説する。	作成するポスターやカレンダーについて、教科書を参照し、事前にある程度考えておく。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業中で理解が不十分な内容があれば、居残り、又は、空き時間に、同じPC室で練習する事。長くても、1時間程度で完了できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.教科書:FOM出版　Excel 365対策テキスト&問題集　¥2,310(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:40%　単位認定試験(実技):60%
居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業で演習をした後、次回の授業の前に、復習をしておく。また、教科書に載せられている各機能の解説を、予習としてよく読んでおく(授業時は、演習が中心なので、機能説明を授業時だけで完全に理解するのは、難しいことがある)。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word演習	LP50202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

文書作成ソフトである Word を使いこなす能力は、短大生・社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
短大生活において、授業レポートや書類作成を効率化してくれます。
Word の技能は就職活動で求められる主要な資格のひとつであり、社会人になってからの業務とその効率化に不可欠です。
この科目では Word の基礎から応用までを学び、より実用的なレベルにスキルを高めることを目標とします。

Ⅲ. 学習成果

・Word の応用的な機能を用いて、ビジネス文書や身の回りで役に立つ文書が作成できるようになる。
・タッチタイピング(ブラインドタッチ)で文字入力が、より正確かつ早くできるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: コンピュータの基本操作1 ウィンドウ操作、文字の入力と編集、ファイルとフォルダ管理、USBメモリの使い方	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
2: コンピュータの基本操作2 情報検索、ファンクションキーの活用、署名の設定、メール転送、圧縮ファイル	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
3: Wordの基礎1 Wordの基礎、Google Drive、Google Classroom、Google Calendar	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
4: Wordの基礎2 各書式の利用、文字の配置、文字の装飾、検索と置換、印刷	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
5: Wordの基礎3 デザイン機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
6: Wordの基礎4 罫線の利用、履歴書作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
7: Wordの基礎5 図形描画、テキストボックス、画像、スクリーンショット、SmartArt	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第1章 図形や図表を使った文書の作成)
8: Wordの応用1 図形や図表を使った文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第2章 写真を使った文書の作成)
9: Wordの応用2 写真を使った文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第3章 差し込み印刷)
10: Wordの応用3 差し込み印刷	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第4章 長文の作成)
11: Wordの応用4 長文の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第5章 文書の校閲)
12: Wordの応用5 文書の校閲	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第6章 Excelデータを利用した文書の作成)
13: Wordの応用6 Excelデータを利用した文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 総合問題 プレゼンテーションの準備
14: Wordの応用7 総合問題	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 総合問題 プレゼンテーションの準備
15: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Word の応用機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかる Microsoft Word 2021 応用 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310円
教科書:「情報リテラシー 入門編 Windows 11/Office 2021対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版) ※1年次の必修「情報リテラシー」で購入済
参考図書:「よくわかる Microsoft Word 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　40%　　課題提出　60%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
課題提出の期限に遅れた場合、2回目の提出期限を定めます。そこで提出できれば、減点の扱いで提出を受け付けます。
2回目の提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファイナンシャルプランナーⅠ	LP50203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、ファイナンシャルプランニング技能士3級(日本FP協会主催)を取得することを目標とします。ライフプランニングから資産設計やリスクマネジメントまで幅広い知識を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

ファイナンシャルプランニング技能士3級程度の知識を身に付いている。また、お金に関する基本的な知識を身に付いている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:ライフプランニングと資産形成① キャッシュフロー表(CHAPTER01)	予習:シラバスを読むこと 復習:指定された問題を解くこと
2:ライフプランニングと資産形成② 社会保険(CHAPTER01)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC8) 復習:指定された過去問題を解くこと
3:リスクマネジメント① 保険の基本、生命保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
4:リスクマネジメント② 損害保険、その他保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
5:金融資産運用① 金融・経済の基本(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
6:金融資産運用② 債権、投資信託(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
7:金融資産運用③ 金融商品(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC6～SEC9) 復習:指定された過去問題を解くこと
8:タックスプランニング① 所得税(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
9:タックスプランニング② その他税金(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC7) 復習:指定された過去問題を解くこと
10:不動産① 不動産の基本と取引(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
11:不動産② 不動産の税金(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
12:相続・事業承継① 相続(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
13:相続・事業承継② 贈与(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
14:総合問題① 学科問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること
15:総合問題② 実技問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

基本的には決められた範囲の教科書を読むこと。また、復習も重要なため、問題を解くこと。復習に関しては、日本FP協会の試験問題(過去問題)とする。準備学習の時間は60分程度を目安としています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業で必要となるため購入が必要な教科書

「みんなが欲しかった！FP3級の教科書2025-26年版」 滝澤ななみ TAC出版 1,500円＋税

※毎年改定されるため、予習の範囲は授業内容のCHAPTERのセクション(SEC)で表記している

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)

学習の意欲(30%) 授業の参加態度による加点と私語などによる減点

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

問題の答えを配布するとともに、授業内で問題を解く時間を設ける。その際に、間違えた箇所などの質問に応じる。

受講者は、原則として日本FP協会主催のFP3級を受検すること。留学生の受講も可であるが、検定を取得するための科目であるため、基本的にはルビをつけない。また、漢字が多いため、受講する際はよく検討すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル概論	LP43201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

最初にブライダル産業の現状と課題について考察していきます。そして、ブライダル産業を構成する様々なマーケットについて学びます。ブライダルビジネスは、結婚式・披露宴を行う会場や関連業種だけでなく、結婚前のお見合いパーティや婚活ビジネス、新婚旅行、新生活準備など幅広いマーケットが含まれているため、それぞれの業界の会社や仕事の内容について研究します。また、ブライダル会社では冠婚葬祭に関わる幅広い事業を展開しているところも多いため、葬儀の仕事やマナーについても学びます。

Ⅲ. 学習成果

・ブライダル産業の現状と課題について説明ができる。
・ブライダル産業を構成するマーケットについて説明ができる。
・結婚式と葬儀のマナーを身につけ、実践できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス ブライダル業界への就職について	ブライダル業界への就職について調べる
2: ブライダル産業の現状と課題 グループワーク:ディスカッション	ブライダル業界の現状と課題について調べ、自分の意見をまとめる
3: ブライダル産業(プレ・ブライダルマーケット①) 結婚相談業、結納品専門店、ジュエリー業	結婚相談業、結納品専門店、ジュエリー業の会社について調べる
4: ブライダル産業(プレ・ブライダルマーケット②) ブライダルエージェント、ブライダルエステティック業	ブライダルエージェント、ブライダルエステティック業の会社について調べる
5: ブライダル産業(ブライダル・セレモニーマーケット①) ホテル、結婚専門式場	ホテル、結婚専門式場の会社について調べる
6: ブライダル産業(ブライダル・セレモニーマーケット②) 旅館、神社・仏閣・教会、レストラン、ゲストハウス、その他公共式場	旅館、神社・仏閣・教会、レストラン、ゲストハウスの会社について調べる
7: ブライダル産業(ブライダル・セレモニーマーケット③) ブライダルプロデュース会社、衣装会社、フラワー会社、ギフト会社など	ブライダルプロデュース、衣装、フラワー、ギフトの会社について調べる
8: ブライダル産業(ハネムーンマーケット) 旅行業	ハネムーンを取り扱っている会社について調べる
9: ブライダル産業(新生活準備マーケット) 家電業界、家具業界、保険	家電業界、家具業界、保険の会社について調べる
10: 日本の冠婚葬祭	子供の成長の祝い事、大人の祝い事について調べる
11: 葬儀・法事(宗教による分類、葬儀の形態・時期・主宰者による分類、種類)	葬儀・法事ついて調べる
12: 結婚式と葬儀のマナー	結婚式と葬儀のマナーについて調べる
13: ブライダルプランナーの仕事① 見学に訪れたお客様に営業して成約するまでの業務	ブライダルセールスの業務について調べる
14: ブライダルプランナーの仕事② 成約したお客様と結婚式のプランニングを行う業務	結婚当日までのスケジュールの事例を調べる
15: ブライダルプランナーの仕事③ 当日の指揮を担当する業務	最新のブライダル進行事例を調べる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホテルブライダル業務	LP43202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ブライダル産業は大変すそ野が広い産業であり、様々な商品やサービスが企業や各種団体などによって提供されています。なかでもホテルは結婚式と披露宴をいち早くから商品化し、ブライダル産業の発展に寄与してきました。ホテルのブライダル商品は、ホテル内の多くのセクションが関わりながら提供されていますが、その窓口となるのは一般に"宴会部門"という名称で呼ばれるセクションでブライダルコーディネーターもここに所属しています。
本授業では、ホテルの宴会部門、そして多くの関わりがある調理部門の組織と業務役割、実務に関する知識やスキルについて学びます。

Ⅲ. 学習成果

・ホテル産業における宴会・婚礼部門、調理部門の業務内容を理解し、説明ができる
・将来ホテル、ブライダルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる
・お客様のニーズを把握し、ブライダル商品を企画し、来館を促す活動ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス	シラバスの内容を確認し、自分なりに学習スケジュールを立てる
2: 宴会部門の概要 宴会商品の特性、組織と業務役割	テキストの132ページから136ページまで読み、要点をまとめる 宴会部門の組織や仕事に関する課題
3: 宴会部門の実務① 宴会の種類、施設・設備・備品の知識	テキストの137ページから141ページまで読み、要点をまとめる 宴会の種類、施設・設備・備品に関する課題
4: 宴会部門の実務② サービス方法	テキストの141ページから144ページまで読み、要点をまとめる 宴会部門のサービス方法に関する課題
5: 宴会部門の実務③ 挙式までの業務内容と当日のサービス例	テキストの147ページから148ページまで読み、要点をまとめる 挙式までの業務内容と当日のサービスに関する課題
6: 宴会部門の実務④ プロトコール	テキストの149ページから150ページまで読み、要点をまとめる プロトコールに関する課題
7: 宴会部門の実務⑤ 宴会部門の主な担当者の業務	テキストの153ページから157ページまで読み、要点まとめる 宴会部門の主な業務に関する課題
8: 調理部門の概要 調理部門の特性、組織と業務役割	テキストの162ページから166ページまで読み、要点をまとめる 調理部門の組織や仕事に関する課題
9: 調理部門の実務① 調理の種類と特徴(フランス、イタリア、ドイツ、その他の欧州、中国、日本料理)	テキストの167ページから170ページまで読み、要点をまとめる 調理の種類と特徴に関する課題
10: 調理部門の実務② 西洋料理の基礎知識(ソース、スープ、魚介、肉、鳥、ジビエ、サラダ料理など)	テキストの175ページから186ページまで読み、要点をまとめる 西洋料理に関する課題
11: ブライダルプランナーの仕事① プランナーとお客様の立場になり、ブライダルセールスのロールプレイを行う	ブライダルセールスの業務について調べる
12: ブライダルプランナーの仕事② プランナーとお客様の立場になり、当日までの流れについてロールプレイを行う	結婚式当日までのスケジュールの事例を調べる
13: ブライダルプランナーの仕事③-1 グループワーク:オリジナル・ウェディングプランの企画・提案	企画・提案書の作成準備
14: ブライダルプランナーの仕事③-2 グループワーク:オリジナル・ウェディングプランの企画・提案	企画・提案書の作成準備
15 発表(プレゼンテーション) 授業の振り返り	各グループの評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回ともテキストの指定されたページを読んでおいてください。また、事後課題については毎回提出をお願いします。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター
※この教科書は本授業のほかに「ホテルビジネス概論」と「ホテルビジネス実務」の授業でも使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・学外授業として、ホテルにて「宴会サービス実習」を行います。(任意参加・実費)
・理論を一方的に伝えるだけでなく、ロールプレイングやグループ活動を通して学びを深めていきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル業務Ⅰ	LP43203	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣“”食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1. 婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解できる。
2. 2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Lesson1　結婚とは 第1章　結婚の定義～第2章　日本の結婚式:歴史と文化	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 結婚の定義や日本の結婚式について理解を深める
2:Lesson1　結婚とは 第3章　欧米の結婚式:歴史と文化	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 欧米の結婚式について理解を深める
3:Lesson2　ブライダルビジネス 第1章　ブライダルビジネス～第3章　ブライダル業種	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく ブライダルビジネスやブライダル業種について理解を深める
4:Lesson2　ブライダルビジネス 第4章　ブライダル関連業種～第6章　ブライダル業界の1年と集客システム	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく ブライダル関連業種や業界の1年と集客システムについて理解を深める
5:Lessno3　ブライダルの基礎 第1章　見合いと婚約～第2章　結納・婚約式	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 見合いと婚約から結納・婚約式について理解を深める
6:Lesson3　ブライダルの基礎 第3章　ブライダル準備	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく ブライダルの準備について理解を深める
7:Lesson3　ブライダルの基礎 第4章　キリスト教式	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく キリスト教式について理解を深める
8:Lesson3　ブライダルの基礎 第5章　神前式	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 神前式について理解を深める
9:Lesson3　ブライダルの基礎 第6章　仏前式～第8章　シビルマリッジ	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 仏前式、シビルマリッジについて理解を深める
10:Lesson3　ブライダルの基礎 第9章　披露宴	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 披露宴について理解を深める
11:Lesson3　ブライダルの基礎 第10章　海外ウェディングと新婚旅行～第12章　二次会	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 海外ウェディングと新婚旅行や二次会について理解を深める
12:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約まで) 第1章　コーディネーター業務とは	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく コーディネーター業務について理解を深める
13:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約まで) 第2章　新規業務	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 新規業務について理解を深める
14:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約まで) 第3章　ブライダルセールスの特徴～第4章　ホスピタリティ営業	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく ブライダルセールスの特徴やホスピタリティ営業について理解を深める
15:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約まで) 第5章　プランニング～第6章　プレゼンテーションの手法	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく プランニング～プレゼンテーションの手法について理解を深める

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。(毎回30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:BIA(公社)日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード》

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル業務Ⅱ	LP43206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

婚礼は人生の通過儀礼の中でも最も重要なものの一つであり、その儀礼には伝統、文化や“衣”“食”も深く関わっています。
更に近年では結婚式・披露宴が個性化、多様化し、結婚準備が非常に煩雑になっている事実を鑑みて正しくきちんとした基礎知識を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1. 婚礼の歴史や成り立ち、業務を総合的に理解できる。
2. 2018年度より国家資格となった《ブライダルコーディネート技能検定》の取得を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Lesson4　コーディネーター業務(新規～成約) 第7章　新規アフターフォロー～第9章　ペーパーワーク	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 新規アフターフォローからペーパーワークについて理解を深める
2:Lesson5　打合せ業務 第1章　成約時から初回打合せまで～第2章　成約後の第1回打合せ	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 成約時から成約後の第1回打合せについて理解を深める
3:Lesson5　打合せ業務 第3章　成約後の第2回打合せ～第4章　成約後の第3回打合せ～当日まで	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 成約後の第2回打合せから当日までについて理解を深める
4:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第1章　コーディネート～第2章　衣装選定	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく コーディネートから衣装選定について理解を深める
5:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第2章　衣装選定～第4章　ヘアメイク、ネイルアート	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 衣装選定からヘアメイク、ネイルアートについて理解を深める
6:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第5章　会場コーディネート～第7章　ペーパーアイテム	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 会場コーディネートからペーパーアイテムについて理解を深める
7:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第8章　料理・飲物	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 料理・飲物について理解を深める
8:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第9章　披露宴の基本演出～第10章　披露宴の演出プラン	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 披露宴の基本演出から披露宴の演出プランについて理解を深める
9:Lesson6　コンセプトシートに基づいたブライダルアイテムの選定 第11章　引出物・引菓子～第12章　記録・記念アイテム	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 引出物・引菓子～記録・記念アイテムについて理解を深める
10:Lesson7　手配業務 第1章　ペーパーアイテムの手配	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく ペーパーアイテムについて理解を深める
11:Lesson7　手配業務 第2章　衣装、ヘアメイク、着付けの手配～第3章　挙式・披露宴の演出手配	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 衣装、ヘアメイク、着付けの手配から挙式・披露宴の演出手配について理解を深める
12:Lesson7　手配業務 第4章　引出物・引菓子の手配～第6章　装花の手配	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 引出物・引菓子の手配～装花の手配について理解を深める
13:Lesson8　当日業務 第1章　結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割～第3章　当日のアテンド(介添え)業務	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく 結婚式・披露宴当日のコーディネーターの役割～当日のアテンド業務について理解を深める
14:Lesson8　当日業務 第4章　テーブルセッティング～第6章　花の管理と出回り時期	音読があるので事前にテキストを読み難読漢字等があれば調べておく テーブルセッティング～花の管理と出回り時期について理解を深める
15:まとめ 質疑応答	今迄のノートの整理や振り返りを行い、分からない事などをまとめておく

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テキストには日頃あまり使わない漢字が多くあるので、読みや意味は事前に調べておきましょう。(毎回30分程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:BIA(公社)日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード》

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼、自己紹介、テキストの音読があります。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ブライダル業務の実務Ⅰ	LP43204	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

国家資格となったブライダルコーディネーターの技能検定試験の全員合格を目指して、学科(筆記)試験、実技試験について、深く掘り下げて細かく指導します。
実際に挙式のプランニング～施行が出来る様、色々な会場の映像等を観ながら指導します。

Ⅲ. 学習成果

3級ブライダルコーディネート技能士の資格が取得できる。
市内のホテルにて実際の挙式のプランニング～施行を円滑に行うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ブライダルコーディネート技能検定について(1) ヒアリング(1)受け付け	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
2:ブライダルコーディネート技能検定について(2) ヒアリング(2)アンケート	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
3:ブライダルコーディネート技能検定について(3) ヒアリング(3)会場案内	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
4:ブライダルコーディネート技能検定について(4) ヒアリング(4)成約	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
5:ブライダルコーディネート技能検定について(5) プランニング及びプレゼンテーション(1)衣裳	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
6:ブライダルコーディネート技能検定について(6) プランニング及びプレゼンテーション(2)演出等	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
7:ブライダルコーディネート技能検定について(7) プランニング及びプレゼンテーション(3)打ち合わせ	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
8:ブライダルコーディネート技能検定について(8) 手配業務及び当日業務(1)結納	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
9:ブライダルコーディネート技能検定について(9) 手配業務及び当日業務(2)挙式	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
10:ブライダルコーディネート技能検定について(10) 手配業務及び当日業務(3)披露宴	過去問題を配布しますので繰り返し取り組んで下さい
11:ブライダルコーディネート技能検定について(11) 実技試験の解説	協会のHPにあるサンプル動画を確認して下さい
12:ブライダルコーディネート技能検定について(12) 実技試験の解説	協会のHPにあるサンプル動画と配布資料を確認して下さい
13:ブライダルコーディネート技能検定について(13) 実技試験の解説	協会のHPにあるサンプル動画と配布資料を確認して下さい
14:ブライダルコーディネート技能検定について(14) 実技試験の解説	協会のHPにあるサンプル動画と配布資料を確認して下さい
15:ブライダルコーディネート技能検定について(15) 実技試験の解説	協会のHPにあるサンプル動画と配布資料を確認して下さい

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各単元ごとにブライダル業務Ⅰ,Ⅱで学習した事を復習しておいて下さい。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:BIA(公社)日本ブライダル振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード》
配布資料等

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲　80%
過去問題の正答率　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ブライダルコーディネート技能検定の資格取得は自身の為ですが、挙式の施行は新郎新婦や御両家にとって一生に一度の事ですので、それなりの覚悟を持って受講して下さい。
「実務経験教員科目特記事項」:
現職のブライダルコーディネーター、ブライダルエージェントで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホテルビジネス概論	LP44201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光産業の市場概況を理解し、宿泊産業の歴史やホテル産業の分類、国内外のホテル業界の動向などについて最新の情報をもとに幅広く学んでいきます。
また、ホテルの実務者として必要な知識とホテル英語についても学びます。
ホテルビジネス実務検定試験(H検)のベーシックレベル2級の取得を目指した授業内容でもあります。

Ⅲ. 学習成果

・宿泊産業の歴史、ホテル業界についての基礎知識を修得し、説明ができる
・ホテルを含むホスピタリティ産業(旅行業界、航空業界)の仕組みを説明できる
・ホテル業界の動向について説明ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス	シラバスの内容を確認し、自分なりに学習スケジュールを立てる
2: ホスピタリティ産業とは	ホスピタリティ産業で興味を持った業界について調べる
3: ホテルと旅行業界、航空業界	日本の観光動向について調べ、まとめる
4: 世界と日本の観光動向	テキストの2ページから4ページまで読み、要点をまとめる
5: 世界と日本の宿泊産業の歴史	テキストの5ページから21ページまで読み、要点をまとめる 宿泊産業の歴史に関する課題
6: ホテル産業の概要① ホテルの定義、ホテル産業の分類(体系的な分類、変化するトレンド)	テキストの22ページから26ページまで読み、要点をまとめる ホテル産業の分類に関する課題
7: ホテル産業の概要② ホテルの組織、主なホテルの紹介	テキストの27ページから28ページまで読み、要点をまとめる
8: ホテル産業の概要③ 主なホテルの紹介	福岡県内のホテルについて調べる
9: 実務者として必要な基礎知識 国際的な習慣、ホスピタリティ、関連知識	テキストの29ページから38ページまで読み、要点をまとめる
10: ホテル英語の基本	テキストの39ページから60ページまで読み、要点をまとめる
11: インターンシップ(ホテル・テーマパーク・旅行会社)の紹介	夏季期間中に実施されるインターンシップについて調べる
12: 講演:リゾートホテルの仕事について	講師が所属されているホテルについて調べる リゾートホテルに関する課題
13: 講演:旅館の仕事について	講師が所属されている旅館について調べる 旅館に関する課題
14: 講演:シティホテルの仕事について	講師が所属されているホテルについて調べる シティホテルに関する課題
15: 振り返り・単位認定試験について	テキストの内容でわからないところをチェックし、まとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回ともテキストの指定されたページを読んでおいてください。また、事後課題については毎回提出をお願いします。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター
※この教科書は本授業のほかに「ホテルビジネス実務」と「ホテルブライダル業務」の授業でも使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・本授業で紹介する夏季インターンシップは受講者のみ参加することができます。事前と事後に研修を予定しているので、必ず参加してください。
　インターンシップの参加は任意です。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
観光ビジネス論	LP44202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光は、現代人の生活になくてはならないものである。また、地域の活性化や雇用をもたらす産業としても注目されている。
本講義では、21世紀のリーディング産業のひとつである「観光」の基本的な概念について学び、現代社会におけるより良い観光のあり方について考える。

Ⅲ. 学習成果

観光の現代的意味を説明できる。
観光の現状、観光対象と観光資源、観光振興について学び、観光が内包する課題に対して、自分の考えを表現できる。
観光と国際経済の関わり、観光と国際社会・文化の関わりについて説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:観光の意味と現代的意義 観光と言う社会現象について研究する	観光に関連する用語を調べる 観光の意義についてまとめる
2:観光が人間にもたらす効果 観光の経済効果	観光消費の地域波及効果の具体例を調べる 観光の経済効果についてまとめる
3:観光を構成する要素 観光者・観光対象・観光者と観光対象を結ぶモノやコト	観光者と観光対象を結ぶもので、特に重要なものは何か考える 観光媒体についてまとめる
4:観光資源と観光対象 観光対象の特徴	自分の身の回りの「観光資源」を考える 観光対象の特徴をまとめる
5:観光資源と保護 エコツーリズム	エコ・ツアーの情報を調べる エコ・ツーリズムについてまとめる
6:様々なツーリズム マスツーリズムからサステナブル・ツーリズムへ	「サステナブル・ツーリズム」の考え方が出てきた背景について考える　新しい観光の例をまとめる
7: 観光資源 世界遺産など	世界遺産を調べる 日本の世界遺産についてまとめる
8:観光資源　発表の資料作成 プレゼンテーションのリハーサルをする	旅行パンフレットや旅行ガイドブックを読む 発表準備のために地図や写真を準備する
9:調べた観光地を発表する　第1回(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	観光地の見どころについてまとめる 他の発表者の観光地について整理する
10:調べた観光地を発表する　第2回(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	観光地の見どころについてまとめる 他の発表者の観光地について整理する
11:観光振興 開発と保護	「観光まちづくり」とはどのようなことをいうのか考える 観光地の成立条件を整理する
12:観光と旅行業 旅行業の役割	消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える 旅行会社の機能をまとめる
13:観光と情報 観光情報の媒体	観光客が求める観光情報をを考える 情報を発信する方法をまとめる
14:観光の歴史 観光の発展の条件、阻害要因を考える	旅行が大衆化した要因について考える 旅の歴史をまとめる
15:観光業界の人材 ミニレポート	ホスピタリティとは何かを考え、自分がホスピタリティに接した経験をレポートにまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
日頃から、新聞・テレビなどの観光関連の情報を収集する。
事前学習は毎回45分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　プレゼンテーション(10%)　小テスト(毎回)(15%)　ミニレポート(5%)　学習の意欲(10%)
いねむり、私語、スマートフォン等の使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業内容の具体例などを自分で考えてもらいます。
小テストは翌週、解説・講評をします。
「実務経験教員科目」特記事項:旅行会社勤務経験あり　授業第1回より第15回まで、旅行業の実務経験から得た事例を紹介している。
第12回では、旅行会社の業務内容を詳細に学び、観光業界に必要な資質や知識について考えさせる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ホテルビジネス実務	LP44203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業ではホテルの宿泊・料飲部門で必要とされる知識とスキルについて学び、ロールプレイなど演習的な要素を取り入れながら理解を深めていきます。
また、福岡県内で自分が泊まってホテルをひとつ選び、該当ホテルの施設・設備、商品について調べ、今後ホテルに求められる宿泊商品を学生目線で企画・提案していきます。

Ⅲ. 学習成果

・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる
・お客様のニーズを把握し、催事や商品を企画し来館を促す活動ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明、ホテルビジネス実務検定試験の案内	ホテル業界の企業について調べる
2: ホテル業界の企業研究 ホームページ、就職支援サイトなどを活用して企業研究を行う	企業研究シートを作成する
3: 自分が泊まってみたいホテルについて	自分が泊まってみたいホテルについて調べる
4: 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性、組織と業務役割	テキストの64ページから67ページまで読み、要点をまとめる 宿泊商品の特性、組織と業務役割に関する課題
5: 宿泊部門の実務① 基本知識	テキストの68ページから77ページまで読み、要点をまとめる 宿泊部門の基本知識に関する課題
6: 宿泊部門の実務② 主な担当者の業務	テキストの78ページから89ページまで読み、要点をまとめる 宿泊部門の主な担当者の業務に関する課題
7: 料飲部門の概要 料飲商品の特性、組織と業務役割	テキストの94ページから99ページまで読み、要点をまとめる 料飲商品の特性、組織と業務役割に関する課題
8: 料飲部門の実務① 基本知識(業種・業態、施設・設備・備品)	テキストの100ページから106ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
9: 料飲部門の実務② 基本知識(食材・飲材、メニュー)	テキストの106ページから115ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
10: 料飲部門の実務③ 基本知識(サービス方法)	テキストの115ページから122ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
11: 料飲部門の実務④ 主な担当者の業務	テキストの122ページから127ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の主な担当者の業務に関する課題
12: 自分が泊まってみたいホテルの客室 客室の構造・眺望、客室の設備・備品	自分が泊まってみたいホテルの客室について調べ、まとめる
13: 自分が泊まってみたいホテルのレストラン 料飲施設の種類・プラン・メニュー	自分が泊まってみたいホテルのレストランについて調べ、まとめる
14: 自分が泊まってみたいホテルの1泊2日の滞在プラン	ホテルの宿泊商品を探し、自身の企画提案の参考にする
15 発表(プレゼンテーション) 授業の振り返り	発表の準備をする

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回ともテキストの指定されたページを読んでおいてください。
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター
※この教科書は本授業のほかに「ホテルビジネス概論」と「ホテルブライダル業務」の授業でも使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・学外授業として、ホテル見学を行います。(任意参加・実費)
・理論を一方的に伝えるだけでなく、ロールプレイングやグループ活動を通して学びを深めていきます。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
観光デザイン入門	LP44204	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

地域の特色を活かせる「観光」で地場産業や地域コミュニティを活性化していこうとする試みが全国各地で行われています。
本授業では、地域の新しい魅力を創造するための手法、「観光デザイン」についてまず学びます。
そして、地域の課題を解決するプロジェクトの企画・提案を行います。

Ⅲ. 学習成果

・観光を軸に地域社会の課題を発掘し、解決に向けた独創的なプロジェクトを創出することができる
・自ら地域の観光素材を発掘し、独自の観光デザインを描くことができる
・地域貢献につながる活動を計画・実行できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 観光デザインとは	福岡市の観光PR動画を視聴し、感想をまとめる
2: 地域の魅力を活かした観光デザインの事例	地方創生政策アイデアの動画を視聴し、感想をまとめる
3: インバウンド(訪日外国人旅行客)の現状と課題	インバウンドに関するニュース動画を視聴し、感想をまとめる
4: インバウンドによる福岡観光活性化プロジェクトについて グループワーク ターゲットとする国を選び、特徴を調べる	インバウンドに関するニュース動画を視聴し、感想をまとめる
5: 地域データの収集① 地域経済分析システム(RESAS)、GoogleEarthの活用	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
6: 地域データの収集② 福岡市魅力紹介(福岡市のサイト)、福岡市観光統計	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
7: 地域の魅力と課題を見つける グループワーク 福岡市の観光SWOT分析	地域の魅力と課題をまとめる
8: 課題解決のフレームワーク① グループワーク ブレインストーミング	ブレインストーミングを活用して、魅力と課題をまとめる
9: 課題解決のフレームワーク② グループワーク イメージマップの作成	イメージマップを活用して、アイデアをまとめてくる
10: 課題解決のフレームワーク③ グループワーク アイデアを整理し、検証する	ワークシートに企画をまとめる
11: 企画書の作成 グループワーク タイトル、地域の魅力・課題、問題提起	担当する役割における作成の準備を進める
12: 企画書の作成 グループワーク アイデアの説明・実現方法と効果、結論	担当する役割における作成の準備を進める
13: 企画書の作成 グループワーク 企画書の仕上げ	担当する役割における作成の準備を進める
14: 発表(プレゼンテーション)の準備 グループワーク 発表練習	担当する役割における発表の準備を進める
15: 発表(プレゼンテーション)とまとめ	各グループの評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%、課題(提出物)30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
エアラインビジネス論	LP44205	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光立国を目指す日本では、航空業界が果たす役割が大変重視されています。航空会社がインバウンドのお客様を地域に呼び込むことで地域の活性化にもつながります。女性が働く場として人気のある航空業界ではありますが、「安全性」「定時運行」、そして「ホスピタリティマインドを発揮する質の高いサービスの提供」というのが重要な任務となります。本授業では、航空業界の最新動向を研究し、航空会社の仕事や航空業界の基礎知識について学び、航空機を利用した海外旅行を企画・提案する。

Ⅲ. 学習成果

・エアラインビジネスの基本的な知識と専門用語を習得し、説明できる
・エアラインビジネスを支える航空会社の仕事全般(特に空港業務)について説明できる
・グローバルに活躍するための知識やスキルについて説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明	エアラインビジネス論で身に付けたい知識とスキルを考える
2: 航空業界の動向 就職活動の進め方	航空業界に関するニュースや記事で最近の動向を調べる
3: 航空会社の仕事① キャビンアテンダント、パイロット	キャビンアテンダントの仕事について調べる
4: 航空会社の仕事② グランドスタッフ、グランドハンドリング、その他	グランドスタッフの仕事について調べる
5: 航空業界の基礎知識① エアライン・空港のコードや専門用語など	世界のエアライン・空港のコードを調べる
6: 航空業界の基礎知識② 空港でのチェックイン	空港チェックイン時の流れについて調べる
7: 航空業界の基礎知識③ 安全とリスクマネジメント　グループディスカッション:空の安全について	過去の航空機事故の事例をインターネットで調べる
8: 航空業界の基礎知識④ 世界地図と時刻表の見方、フライト時間、時差、CIQ	CIQとは何かを具体的に調べる
9: 航空機を利用した海外旅行商品の企画① 企画の一例紹介(ハワイ)　グループワーク:旅行先、航空会社、概要を決める	行ってみたい海外の旅行先と航空会社について調べる(TC1・TC2)
10: 航空機を利用した海外旅行商品の企画① グループワーク:プレゼンテーション資料作成	行ってみたい海外の旅行先と航空会社について調べる(TC1・TC2)
11: 航空機を利用した海外旅行商品の企画② グループワーク:出発空港のチェックイン、航空会社、手荷物について	出発空港のチェックイン方法、航空会社、手荷物について調べる
12: 航空機を利用した海外旅行商品の企画② グループワーク:プレゼンテーション資料作成	出発空港のチェックイン方法、航空会社、手荷物について調べる
13: 航空機を利用した海外旅行商品の企画③ グループワーク:現地の基本情報、旅の準備、おすすめの観光地について	現地の基本情報、旅の準備、観光地について調べる
14: 航空機を利用した海外旅行商品の企画③ グループワーク:プレゼンテーション資料作成	現地の基本情報、旅の準備、観光地について調べる
15: 発表(プレゼンテーション) 授業の振り返り	発表の評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・希望者に対しては、学外研修(福岡空港見学)を行います。
・厳しいと一般的に言われる航空会社への就職活動を授業外でも全面的に支援してまいります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
カラーコーディネート演習Ⅰ	LP45201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
上村　未由		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

色の基礎、色の組み合わせ方、専門分野における利用などを幅広く学習し、暮らしを豊かにするための色の知識を身につける。

Ⅲ. 学習成果

色の理論や法則を理解し、自分が好きではない色や普段使わないような色も自由に使いこなすことができる。
AFT文部科学省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色のはたらき 色はなぜ見えるのか（色を見るための三要素）	身のまわりにあるさまざまな色の役割やはたらきについて調べる 色が見える仕組みについてまとめる
2: 混色 色の三属性	加法混色と減法混色についてまとめる 色を分類したり数字で表すときの基本について覚える
3: 慣用色名(1)和色名	和色名の慣用色名を表にまとめる
4: 慣用色名(2)外来色名	外来色名の慣用色名を表にまとめる
5:　PCCS表色系(1)　色相	PCCSの色相について表にまとめる
6:　PCCS表色系(2)　明度、彩度	トーン表のトーンの位置を覚える
7: 三属性による色の表示 ヒュートーンシステムによる色の表示	色の三属性で色を表示する方法とヒュートーンシステムを使用した色の表示方法を比較して覚える
8: 純色、清色、中間色 色の心理効果(1)　基本的な印象への効果	色の心理効果が働いている身近な事例を調べる
9:　色の心理効果(2)　色の連想と象徴 グループワーク:色が表す象徴性について調べる	各国の国旗や企業のロゴに込められた色の意味を調べる
10: 色の視覚効果	色の対比や同化についてまとめる
11:　色彩調和(1)色相を手がかりにした配色	色相を手がかりにした配色のルールを覚える
12: 色彩調和(2)トーンを手がかりにした配色 配色の基本的な技法	トーンを手がかりにした配色のルールを覚える 配色の基本的な技法を覚える
13: 配色イメージ	イメージを表すのに相応しい色使いを覚える
14: ファッションと色彩	ファッションならではの色彩の考え方を覚える
15: インテリアと色彩	インテリアにおけるカラーコーディネーションや色の心理効果についてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文部科学省後援　色彩検定公式テキスト3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験、小テスト　60%　　提出物　20%　　学習の意欲　20%
授業中の私語、居眠り、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点の対象とします

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199a」を使用します。ハサミ、のり、定規を準備してください。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルも持参してください。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求めます。また、理解度を確認するための小テストを行います。
小テストを実施した場合は、次の講義で解説を行います。提出した課題はコメントをつけて返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッションビジネス論	LP45202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
手嶋　康則		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門知識と技術を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションビジネス業界の現状はコロナ禍で生活者のライフスタイルが変化し、さらにSNS、アプリなどのテクノロジーが進化したことで、新しいショップや

Ⅲ. 学習成果

1. ファッション業界の特徴を説明することができる。
2. アパレルショップの接客プロセスを理解し具体的に対応することができる。
3. 洋服の魅力についてアパレル業界側の視点から考察できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションビジネスの変化について	シラバスを読んで確認しておく
2: ファッションブランドについて **アクティブラーニング**①ブランド・ポジションマップの作製	好きなブランドベスト5をリストアップし理由をノートに書く ブランドマップを完成させる
3: アパレルメーカーの研究	ユニクロの魅力を3つ、その理由を詳しくノートに書く 自分が好きなアパレルブランドの情報をまとめる
4: アパレルショップのリサーチについて **アクティブラーニング**②ショップリサーチの報告	ファッションボードを完成させる ショップリサーチの要点をノートに整理する
5: アパレル業界の仕組みについて	どんなアパレル会社があるか3社内容を具体的にノートに書く 製造・アパレル・小売業別に特徴をノートに整理する
6: ファストファッションビジネスについて **アクティブラーニング**③発表	ファストファッションについて調べノートに書く 感想文を作成する
7: これからのファッションビジネスについて ◇参考資料配布	事前資料を読み分からない箇所はノートに書きだしておく 新しい流通構造についてノートに整理しておく
8: 洋装の歴史～西洋と日本～ ◇参考資料配布	事前資料を読み分からない箇所はノートに書きだしておく 2000年代のファッションの実態をノートにまとめる
9: 洋服の要素について ◇参考資料配布　◈実力テスト配布	事前資料を読み分からない箇所はノートに書きだしておく 実力テストの問題を解く
10: 流行の予測について ◇参考資料配布	2023年秋冬のトレンドをネットで検索しポイントを書く 配布資料のポイントをノートにまとめる
11: 接遇について	配布資料「接客テスト」問題を解く ほめ言葉を100項目ノートに書きだす
12: 接客販売の基本	接客販売のポイントを3つ探しノートに書きだす 接客のプロセスごとに要点をノートにまとめる
13: 接客販売の応用	課題の接客販売をノートに書きだしてくる 接客販売で重要なポイントをノートに整理する
14: 接客販売の実践 ◇参考資料配布	事前資料「雇用・法律」を読み分からないところはノートに書きだしておく 配布資料「SNS関連」のポイントをノートに整理しておく
15: まとめと予習復習の達成度の確認 ※アンケート	配布資料の用語・公式を暗記する テストで間違った箇所を復習して完全に覚える

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

□予習(1.5時間):次回の授業テーマの予習項目を調べてノートに書きだしておく。

□復習(1.5時間):課題の作製や授業のキーワードをノートにまとめる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

□教科書:ありません。

□参考図書:「ファッション販売」(発行所　アール・アイ・シー)

□参考資料:適宜配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

□理解度を確認する試験　60%

□アクテブラーニングの評価　30%

□予習・復習の達成度　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◇アクテブラーニングや課題、テストのフィードバックは授業の中で行う。

◈百貨店でメンズ・レディースファッションの販売・企画・店舗開発の実務経験が約20年あります。

※この授業は対面授業ですが、新型コロナウイルスの感染状況によって授業計画・内容等に変更が生じる場合があります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッションコーディネート演習	LP45203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
金子　恭子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションはその人の生き方やライフスタイルの多様化で、様々な流行が見られる。自分らしい装いの表現はT・P・Oを意識し、シルエット・色・素材などをバランスよく組み合わせ、統一したイメージを創り出すプレゼンテーション力が大切である。最近では、東京福岡ファッション業界のコレクションが地元でも開催され、トレンドをいち早く楽しむ事ができる。本授業では、日常着を通しての素材やシルエット、様々なファッションアイテムを理解し、コーディネートの楽しさを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

今季のファッショントレンドを意識しながら、コーディネートテクニックや基本素材などが詳しく理解できる。日常の服装で失敗しないための着回しの法則などを学ぶことができる。また、自分の好きなブランドや今季のカラー・シルエット・素材などが理解できる。
また、販売士3級に対応した問題にもトライする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ファッションとコーディネーション	ファッション雑誌を準備する(古くても可)。
2: ファッションイメージの分類　(8大感性)	作製した8大感性表を次回提出
3: コーディネートテクニック　(シルエット・ライン)	新しいファッションの様々なシルエットを見ておく。
4: 今期のファッショントレンドについて	新しいシルエット・カラー・素材についてまとめる。
5: 素材について	素材の種類と繊維になるまでの過程をまとめる。
6: 基本素材について (天然繊維・化学繊維・その他)	基本素材のサンプルを添付し、実物に触れてみる。
7: 新素材と柄について	サンプルを添付し、実物に触れてみる。
8: ニットについて	織物とニットとの違いを考える。
9: サイズ表示の知識と品質表示の必要性	自分の服に添付されているサイズ表示や品質表示を調べておく。
10: 繊維製品の取扱い表示記号	自分の服の取扱い表示から、取扱い方を学ぶ。
11: トータルコーディネート (装身具・アクセサリー等)	トータルコーディネートをオケージョン別に組み立ててみる。
12: ネックウェア・ハンカチーフテクニック	コーディネートにスカーフを取り入れてみる。
13: 各自のコーディネートを発表、学生同士で批評会(アクティブラーニング)	他の学生のコーディネートから気付いた事やステキな部分等をまとめる。
14: 様々な服種の中から一点を選び詳しく調べる	選んだアイテムの起源や歴史等から現在の状況まで深く調べまとめる。
15: まとめ　　レポート内容について	課題のレポートを作成する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習(50分)は次週提出。詳しくは授業で説明します。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　。 教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:コーディネートテクニック(文化出版局)　・販売士3級問題
スタイリングブック(グラフィック社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験はしない。 授業での試験問題(販売士3級問題)・課題(70%)・レポート(20%)・学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題はコメントをつけて返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ファッション情報分析	LP45204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
曽根　ゆかり		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファッションビジネスにおいては、次シーズンのトレンドを予測し、お客様が期待している商品やサービスを提供し続けなければなりません。その為に、マーケットに発信されている数多くの情報収集・分析を行い、トレンドの変化や特徴を見定めることが重要です。本科目では、ファッショントレンドを分析する上でファッション情報の取り方やマーケット変化の読み方など、様々な手法を学んでいきます。そして、次シーズンのファッショントレンドを予測し、自ら施策立案が出来るようになります。

Ⅲ. 学習成果

・ファッションの情報収集や分析方法をつかって、ショップやブランドのトレンドが説明できる
・情報分析を根拠に、次シーズンのトレンド予測を自ら立案することができる
・ファッションビジネスにおいて、トレンドの重要性を理解し、施策に盛り込むことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション シラバスの確認・目標の設定・成績評価・課題取組などの説明	(予習)ファッション業界で希望する仕事、本講義で調査するファッションブランドを2つ(アパレル・ビューティー)選択しておく
2: 日本人のライフスタイルとファッショントレンドの変遷 時代ごとのファッションと私たちの生活との関わり	(復習)日本と海外の生活様式とファッショントレンド変化の年表をまとめる
3: ファッション要素とは カラー・アイテム・素材・シルエット・デザイン・テイストの基本	(復習)ファッション要素を整理し、学んだ専門用語を理解し暗記する
4: ファッション業界のトレンド情報発信 ファッション業界におけるトレンドの流れ	(復習)ファッション情報発信している企業・団体・発表時期を表にまとめる
5: 2024年　秋冬ファッショントレンド分析 ファッション業界・企業研究　：　トレンドキーワードと比較・検証	(予習)ファッション業界の情報源から2024年秋冬ファッショントレンドを調べる (復習)調査した内容を業界別・ブランド別にまとめ、傾向を理解する
6: 2024年　秋冬リアルファッショントレンド分析(市場調査) 市場調査　：　トレンドキーワードと対象者のリアルファッションを比較・検証	(予習)各自選択ブランドの対象顧客を市場で観察、ファションの実態を調査する (復習)市場調査でわかったことや気付いたことを整理し、ポイントをまとめる
7: 中間プレゼンテーション・ディスカッション 今秋ファッショントレンドの分析・まとめをグループで共有	(予習)2024年業界発信情報と市場調査の結果をビジュアルを活用して、パワーポイントで資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする
8: 情報をビジネスにする事例研究(学外授業・企業訪問) 市場の見方・生活へのに影響度　：　事例の共有	(予習)訪問する企業を事前リサーチを行い、担当者への質問を考えておく (復習)学習後の感想をまとめる
9: 未来を予測するマーケティングリサーチ 市場における消費者のニーズや意見・要望などの認識の重要性	(予習)2023年のヒット商品を3つ挙げ、何故ヒットしたか理由をまとめる
10: デジタルによるトレンド情報収集 デジタルマーケティングの基本を学ぶ	(復習)今のファッショントレンドをSNSを使って、情報収集し、今を予測する
11: ファッショントレンドの分析方法 市場に展開された商品の動向から情報分析をする手法を学ぶ	(復習)商品動向分析方法を理解・まとめる
12: 2025年ファッショントレンドの予測(市場分析) 次シーズンの市場分析する方法を学ぶ	(復習)予測する為、市場分析方法を理解・まとめる
13: 2025年ファッショントレンド情報・発信方法の策定 情報発信ツールと発信方法のディスカッションとプレゼンテーション準備	(復習)配布する情報発信ツールと発信方法をまとめ、パワーポイントで資料を作成・レゼンテーションの準備をする
14: プレゼンテーション・ディスカッション 2024年春夏トレンド予測・販売計画のプレゼンテーションの実施	(復習)受講生のプレゼンテーションを聴き、評価・感想をまとめる
15: 未来を予測するということ・マーケティングの重要性 広い視点から未来のファッションを考える	(復習)ファッション情報分析まとめのA4レポート1枚以上で作成・提出する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
市場調査や課題作成に要する時間は、週に30分は必要です。
課題は、期限までに出来上がってなければ評価の対象になりません

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しません。適時資料を配布します。各自、ファイリングをしてください。
・参考図書:ファッションビジネス能力検定試験テキスト

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(30%)、プレゼンテーション(30%)、レポート・調査(25%)、学習の意欲(15%)
＊学習意欲として、提出物期限や受講態度も評価に反映します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・ノートと筆記具を持参してください。・座席指定をします。・学外授業を予定しています。
・プレゼンテーションのためのパワーポイントでの資料作成・USBメモリーが必要です。
・情報収集において、各種ファッション雑誌、業界レポート等の準備が必要となります。
・予習、復習は提出して頂きます。質問については、コメントを添えて返却します。
「実務経験教員科目」特記事項:百貨店でのバイヤー、MD,店舗プランニング経験あり。実務経験に基づき各回の授業を行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
コスメティックサイエンス	LP45205	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
林　美喜		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では、日本化粧品検定2級の受験を目指し、肌や化粧品の正しい知識や美容皮膚科学の基礎を学びます。三面美容「外面・内面・精神面」について「美」を追求します。外面の美を整えるために必要不可欠です。また健康を維持する内面の美。心を穏やかに過ごすために精神面についても考えていく必要があります。そのために肌悩みに合わせたスキンケア、メイクアップ、生活習慣美容(睡眠・食事と飲み物・運動・入浴)、マッサージなど私達が日常の中で知っておくべきトータルビューティについて、テキストに沿ってを学び、化粧品についてのスペシャリストを目指します。

Ⅲ. 学習成果

・正しい美容や化粧品の知識を学ぶ。化粧品とはなにかを理解する。(化粧品検定1級範囲含む)
・日本化粧品検定2級の知識を習得する。
・日々の生活習慣を見直し、日常生活を豊かにする。(化粧品検定3級・準2級範囲含む)
・美容についての正しい情報を人に伝えたり、人とコミュニケーションを円滑にとれるようになるためにグループワークを都度実施する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 皮膚の構造としくみ 目標:皮膚図を書けるようになる	皮膚の構造(名称)を覚える テキストpart1確認(予習)問題集を解く(復習)
2: 肌タイプの見分け方とお手入れ 目標:自分や周りの人の肌分析ができるようになる	肌タイプ別の特徴を理解する テキストpart2確認(予習)問題集を解く(復習)
3: 肌悩みの原因とお手入れ 目標:なぜ乾燥をするのか。乾燥したときのお手入れが理解できる。	乾燥・シミ・くすみなどの肌悩みの仕組みを理解する テキストpart3確認(予習)問題集を解く(復習)
4: 骨格に合わせたメイクアップ 目標:美しさの基準をしることで、欠点の修正ができるようになる。	プロポーションを理解し上手に修正が出来るようになる テキストpart4確認(予習)問題集を解く(復習)
5: 肌を劣化させる要因 目標:肌老化の原因である紫外線を知ることで予防ができるようになる。	老化の原因を知ることで若々しさを保つことができる テキストpart5確認(予習)問題集を解く(復習)
6: 生活習慣美容 目標:日常生活での知識をつけることで健康に過ごすことができる。	美しさを保つための食事・睡眠・運動・入浴方法を学ぶ テキストpart6確認(予習)問題集を解く(復習)
7: 筋肉・ツボ・リンパ 目標:からだの仕組みをしることで健康を意識することができる。	自分の身体に触れてみる テキストpart7確認(予習)問題集を解く(復習)
8: 総まとめ・検定対策 目標:化粧品検定2級に合格する。	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・準備学習は、各回30分以上行うこと。詳細については毎回の授業で説明します。
・単位修得のためには、上記の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「 コスメの教科書　日本化粧品検定2級テキスト」(一般社団法人日本化粧品検定協会)」、「日本化粧品検定　2級対策問題集」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　80%　　提出物　10%　　学習の意欲　10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業では、日本化粧品検定2級の受験を前提に授業を進めます。わからない所は気軽に質問してください。
・授業では事前に予習をして、授業で習ったことは問題集を解いて、その都度復習しましょう。
・学んだ知識は、日頃の生活に取り入れ理解を深めていきましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
カラーコーディネート演習Ⅱ	LP45206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
上村　未由		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

より効果的な配色をするために配色カードを用いた実演、色の特性や色彩調和などの色彩学の応用、パーソナルカラーといった実践的なカラーコーディネートを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色彩学を応用し、様々なシーンにおいて意図したカラーコーディネートができる。
パーソナルカラーを利用したカラーコーディネートができる。
AFT　文部科学省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: PCCS表色系 配色	2期授業内容を振り返り、要点をまとめる
2: 色彩調和(1) ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー	ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニーの特徴をまとめる
3: 色彩調和(2) ドミナント配色、トーンオントーン配色、トーンイントーン配色	ドミナント配色、トーンオントーン配色、トーンイントーン配色の特徴をまとめる
4: 色彩調和(3) トーナル配色、カマイユ・フォカマイユ配色、ビコロール、トリコロール配色	トーナル配色、カマイユ・フォカマイユ配色、ビコロール、トリコロール配色の特徴をまとめる
5: 色相の分割による変化の配色	色相の分割による配色のルールを覚える
6: パーソナリティーカラー	嗜好色についてまとめる
7: コマーシャルカラー	商品パッケージの配色について調べる
8: フードカラー テーブルカラー	食の五原色について調べてまとめる テーブルコーディネート例を探し、配色の分析をする
9: パーソナルカラー(1) イエローベース、ブルーベース	カラーカードを使用して、イエローベースとブルーベースの色を仕分けする
10: パーソナルカラー(2) 4シーズン分類	パーソナルカラーの4シーズンそれぞれの特徴をまとめる
11: パーソナルカラー　コラージュ作成(1) スプリングタイプ	スプリングタイプの特徴を調べてまとめる
12: パーソナルカラー　コラージュ作成(2) オータムタイプ	オータムタイプの特徴を調べてまとめる
13: パーソナルカラー　コラージュ作成(3) サマータイプ	サマータイプの特徴を調べてまとめる
14: パーソナルカラー　コラージュ作成(4) ウィンタータイプ	ウインタータイプの特徴を調べてまとめる
15: パーソナルカラー診断 グループディスカッション:診断結果について	カラー診断をする際のポイントをまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文部科学省後援　色彩検定公式テキスト3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験、小テスト　40%　提出物　40%　学習の意欲　20%
授業中の私語、居眠り、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点の対象とします

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199a」を使用します。ハサミ、のり、定規、色鉛筆を準備してください。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルも持参してください。授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求めます。また、理解度を確認するための小テストを行います。
小テストを実施した場合は、次の講義で解説を行います。提出した課題はコメントをつけて返却します。
※2期にカラーコーディネート演習Ⅰを受講していること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
美容芸術演習A	LP45207	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
伊藤　恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メイクアップとは顔に単純に色をのせるものではなく、又、表面的な特徴だけを見て色付けするものではありません 。
顔の骨格や筋肉を考え、印象をつかさどるカテゴリー(形・サイズ・色・質感等)を理解しそれぞれの顔に合ったメイクについて考える。

Ⅲ. 学習成果

メイクの基本的な知識、さらに目的やテーマに合ったメイクバリエーションの修得
TPOに合わせたメイクバリエーションが身に付く

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 肌について(皮膚の構造、仕組みなど)	肌について(皮膚の構造、仕組みなど)授業で学んだ事をまとめる
2: スキンケア (クレンジング・化粧水・クリームの種類、選び方、使い方)	スキンケアの注意点をまとめる
3: ベースメイク (ファンデーションの種類、選び方、使い方)	ベースメイクについてまとめる
4: アイメイク (色の入れ方、ブラシの使い方)	アイメイクについてまとめる
5: アイブロウ(眉) (眉の形、描き方)	アイブロウについてまとめる
6: チーク (色の入れ方、ブラシの使い方)	チークの入れ方についてまとめる
7: リップ (ブラシの使い方)	リップブラシの使い方についてまとめる
8: フルメイク	フルメイク復習
9: ソフトメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	ソフトメイク基礎についてまとめる
10: シャープメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	シャープメイク基礎についてまとめる
11: ソフトメイク応用 (色味による印象操作)	ソフトメイク応用についてまとめる
12: シャープメイク応用 (色味による印象操作)	シャープメイク応用についてまとめる
13: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
14: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
15: 実技チェック　作品のポイントについて技術者発表	総合メイクについてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

TonyTanaka's Make-up　TEXT

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実技チェック(50%)、学習意欲(50%)【上手い下手ではなく、積極的な姿勢で授業に取り組んでいるかという点】

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
マーケティング論	LP51201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

マーケティング論は応用範囲の広い学問で、企業のみならず、自治体や病院等でも活用されている。本講座では営利会社に注目しつつ、「売れる仕組み」について幅広く学習する予定である。また従来型の講義形式を中心とした授業ではなく、グループワークを主体とした授業展開を考えており、マーケティング論の基礎的考え方を押さえつつ、日常生活で行われている企業活動に着目し、各企業はどのように皆さんたちに「後一つ」商品やサービスを購入してもらうために努力しているのかについて多くの具体例を提供する予定である。自分の頭で考え、アウトプットを行い、全体で情報をシェアしながら講義を進める。

Ⅲ. 学習成果

①マーケティングの基礎的な考え(差別化、ポジショニング等)を理解する。
②企業が行っているブランディングに関して理論的に理解し、応用事例も把握する。
③サービス業全盛の時代におけるマーケティングの在り方について理解し、3期から始まる各メジャーの学びに備える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:教科書のはじめにを読むこと
2: マーケティングとは ブランディングの重要性	予習:教科書第1章を読むこと 復習:身近なブランディングの事例を考えておく。
3: 自分たちの強みを見つける	予習:教科書第2章を読むこと 復習:自分が好きなブランドの強みを考えておく
4: 顧客の本音を探す① マーケティング・リサーチ	予習:教科書第3章を読むこと 復習:顧客の本音を知るためにすべきことを考えておく
5: 顧客の本音を探す② ビデオ学習	予習:ペルソナについて調べてみる 復習:ターゲッティングについて調べてみる
6: 競合との最大の違いはなにか① 課題1の提示	予習:教科書第4章を読むこと 復習:差別化の事例を集めておくこと
7: 競合との最大の違いはなにか② グループワークの実施	予習:ポジショニングの事例を集めておくこと 復習:課題1に取り組む
8: 価値あるブランドについて①	予習:教科書第5章を読むこと 復習:自分が好きなブランドについて調べてみる
9: 価値あるブランドについて② ビデオ学習	予習:自分が好きなブランドの「らしさ」を検討してみる 復習:自分がなぜそのブランドが好きなのか、もう一度考えてみる
10: ブランディングの要素について① 課題2の提示	予習:教科書第6章を読むこと 復習:課題2に取り組む
11: ブランディングの要素について② グループワークの実施	予習:課題2を完成させる 復習:グループワークの仕方を再度調べる
12: 成功が続くブランドの育て方①	予習:教科書第7章を読む 復習:インナーブランディングの価値について再度確認する
13: 成功が続くブランドの育て方② ビデオ学習　※課題2回収	予習:関係重視のマーケティングについて調べておく。 復習:TDLについて再度調べておく。
14: 成功が続くブランドの育て方③ グループワーク	予習:AIDAモデルを中心に調べておく。 復習:自身の消費行動とAIDAモデルを比較する。
15: まとめ	予習:これまでの学習を振り返り、要点をまとめておく。 復習:第1～14回を振り返り、3期以降の学びに備えること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　ブランディングが9割　青春出版社　乙幡　満男著
参考書「マーケティング入門」 日本経済新聞社　小川孔輔著
「企業を高めるブランド戦略」 講談社　田中洋著
「現代広告論」 有斐閣　岸志津江他著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出2回　30%(15%、15%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用する。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英語コミュニケーション	LP51202	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
コリーン・マシュー (Colleen Mathieu)		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English for everyday situations and daily conversation.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English in several topics.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will be given.
2:1.1 "What's your name?" and "How do you spell it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:1.2 "Are you a student?" and Names and jobs	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:2.1 "Where are you from?" and "What's your email address?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:2.2 Family and Family and friends	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:3.1 "Is that your notebook?" and "What's this called in English?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:3.2 Clothing and Favorite things	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:4.1 Getting around and "What time is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:4.2 My routine and My weekend	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
10:5.1 Online habits and "How much is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:5.2 "What do you do for fun?" and Online fun	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:6.1 "What does she do?" and "Can I speak to...?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:6.2 "Can you sing?" and Work and study	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14:Special activities.	The special activities will be explained in class.
15:Review	Review lesson content.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Please prepare and review each unit. Keep a notebook and write new words or write and practice reading the dialogues from the book.
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and your cell phone.単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2/e 1 | Student's Book A with Digital Pack ISBN: 9781009286107

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
英会話	LP51203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English in various situations.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will be given.
2:7.1 "Breakfast, lunch and dinner" and "I like Chinese food!"	Preview Lessons A and B in the text. FOOD
	3 Meals & Ethnic Food – Vocabulary Practice
3:7.2 "Meals" and "Favorite food"	Preview Lessons C and D in the text. FOOD
	Meals & Favorite Food – Grammar/Pronunciation
4:8.1 "Around town" and "How do I get to...?"	Preview Lessons A and B in the text. NEIGHBORHOOD
	Around Town & Directions – Role Playing
5:8.2 "Fun in the city" and "A great place to visit"	Preview Lessons C and D in the text. NEIGHBORHOOD
	City Fun & Visiting – Short Passages
6:9.1 "I'm looking for you." and "I can't talk right now."	Preview Lessons A and B in the text. WHAT'S UP?
	Where are You? & Busy Now – Vocabulary Practice
7:9.2 "These days" and "What's new?"	Preview Lessons C and D in the text. WHAT'S UP?
	Recently & What's New? – Grammar/Pronunciation
8:10.1 "Lost weekend" and "You're kidding!"	Preview Lessons A and B in the text. IN THE PAST
	Last Weekend and You're Kidding! – Role Playing
9:10.2 "Did you make dinner?" and "I saw a great movie."	Preview Lessons C and D in the text. IN THE PAST
	Last Night's Dinner & Nice Movie – Short Passages
10:11.1 "Where were you?" and "That's great!"	Preview Lessons A and B in the text. GETTING AWAY
	Where were You? & That's Great! – Vocabulary Practice
11:11.2 "My vacation" and "Travel experiences"	Preview Lessons C and D in the text. GETTING AWAY
	My Vacation & Travel – Grammar/Pronunciation
12:12.1 "I'm going to get married." and "Sure. I'd love to."	Preview Lessons A and B in the text. CELEBRATE
	Ceremonies & Let's Do It – Role Playing
13:12.2 "Planning a party" and "Birthdays"	Preview Lessons C and D in the text. CELEBRATE
	Planning Events & Happy Birthday – Short Passages
14: Special activities	The special activities will be explained in class.
15: Review	Review lesson content.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and your cell phone.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1B Student Book with Online Self-Study (Cambridge University Press) ISBN: 9781108649360

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!
All students will get feedback on assignments by email as soon as the assignments are checked by the teacher.

関連 サービス系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
人間環境心理学	LP51204	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
立岡　沙珠		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，人を取り巻く環境と人の行動，発達や心理との関連について幅広く学習することを目的としている。心理学的な観点から自身の行動や他者との関係性について理解を深めることは，これまでの対人関係が大きく変化する短大生にとって役立つと考えられる。そのため，本講義においては，日常生活の場面を取り上げつつ，環境と自身の行動の関係を理解するのに役立つ学びを得ることを目指す。本講義ではこの目的を達成するため，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における自身の行動について，環境との関連という観点から，心理学的な用語を用いて説明することができる。
・他者と関わりながら社会生活を送るうえでの目標や課題を考え，行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学についての説明，自己紹介ワーク	心理学について学んでみたいことを考える。 環境や社会とのあり方から「自己」について考える。
2: 認知スタイルについて	自身の認知スタイルを振り返り，考えたことをまとめる。
3: バイアスについて	自身の中にあるバイアスや自動思考に気づく。
4: 判断と意思決定	自身の判断や意思決定と，他者の存在の関係についてまとめる。
5: 「自己」と「発達」について	自己に関するワークシートの作成，振り返り
6: 対人魅力について	これまでの経験と対人魅力の関係について振り返る。 必要に応じてワークシートの作成。
7: 原因帰属について	自身の中の原因帰属の傾向を知る。 原因帰属に関するワークシートの作成。
8: 二者関係の親密化過程について	他者との関係とのあり方や，二者関係が親密化する過程について考える。
9:　援助要請について	自身の援助要請スタイルについて振り返る 日常生活における援助要請について考えたことをまとめる。
10: 他者の存在や行動が自身の行動に及ぼす影響	授業を通して考えたことについて振り返り，まとめる。
11: 集団意思決定について	集団の決定と，集団の中での自己の意思決定についてまとめる。
12: 集団内における個人のパフォーマンスについて	集団内にいる自身のパフォーマンスが変化したと思われる例についてまとめる。
13: リーダーシップ理論	リーダーシップに関する論文の抄読。
14: 心理学に関する論文抄読	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる。 論文を選択し，その内容を理解する。
15: 心理学に関する論文抄読　発表，ディスカッション 選択した論文の内容をまとめ，グループごとに発表する。	論文の内容をまとめ，グループとして発表する。 他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
グループ・プロセス	LP51205	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義では、まず、対人的コミュニケーションの基本的な特性について学ぶ。
次に、私たちが誰でも陥りやすい対人関係の躓きや不適応についてケース研究を通して学び、より効果的な支援のあり方について学習し身につける。
さらに、アサーションに関する学びを通して自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につけ、集団の特性およびリーダーシップについて他者の影響性の観点から理解を深める。

Ⅲ. 学習成果

1　対人的コミュニケーションにおけるバーバル・コミュニケーションとノンバーバル・コミュニケーションの役割について説明できる
2　対人関係の躓きや不適応を、これまでとは違った視点から捉え、効果的に支援する方法を学び身につける
3　自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につける
4　集団の特性について理解し、リーダーシップについて説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:コミュニケーション「話す」「聞く」	自分のコミュニケーションの特徴についてまとめる
2:コミュニケーションのチャネル	コミュニケーションのチャネルの種類についてまとめる
3:対人魅力①　対人魅力の要素(グループ・ワーク)	対人魅力の要素についてまとめる
4:対人魅力②　対人魅力を決める規定因	自分たちで考えた人の魅力一覧にその他の要因も加えてまとめる
5:対人魅力③　自分の対人魅力の特徴について知る	LETS2の結果をまとめて振り返りレポートを作成する
6:アサーション①　アサーションについて知る	他者に対する4つの反応パターンの具体例についてまとめる
7:アサーション②　アサーティブに振舞うためのポイント	自分も相手も大事にしたメッセージの伝え方についてまとめる
8:不適応に対する支援　ケース研究①　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
9:不適応に対する支援　ケース研究②　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
10:不適応に対する支援　ケース研究③　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
11:共感的理解について考える	共感、同情、同意の違いについてまとめる
12:①集団の中での他者の影響性①　集団の特性	集団の特性についてキーワードを使ってまとめる
13:集団の中での他者の影響性②　リーダーシップ	様々なリーダーシップのとらえ方について学んだ内容をまとめる
14:自己発見実習　交流分析	エゴグラムの結果について考察する
15:まとめ	本講義内容について総復習し、試験に向けた学習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、各回について上の準備学習時間に自主学習を足した180分を必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 60%　各授業後の振り返り表 20%　学習の意欲 20%
グループ・ワークおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義は「ピアヘルパー」認定資格取得に役立つ内容である。
多様なグループ・ワークや意見交換の場が準備されているため、積極的参加が求められる。
各時間の学習内容について振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
ピアサポート	LP51206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本演習は、『ピアヘルパー』認定資格取得のために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。『ピアヘルパー』は、直訳すれば「仲間を助ける人」であり、自分と自分の身近な人々の日常的なサポートに活かせる資格である。本演習では、心理学の理論と方法に基づいて適切な自己表現の仕方や友人の悩みに聞き方についてきちんと学習することで、自らのスキルアップをはかるとともに身近な人々をサポートする力を養う。

Ⅲ. 学習成果

1　カウンセリングの諸理論について基礎的な内容を説明できる
2　ヘルピングに必要な言語的技法および非言語的技法を説明できる
3　学んだ知識と技法を日常生活で適切に応用できる
4　ピアヘルパー認定試験に合格する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:構成的グループエンカウンターについて学ぶ	ピアヘルパーハンドブックのPp.12-17を読んで要点をまとめる
2:構成的グループエンカウンター・エクササイズ	実習後に振り返りレポートを作成する
3:カウンセリングの定義と略史	ピアヘルパーハンドブックのPp.18-24を読んで要点をまとめる
4:カウンセリングの種類	ピアヘルパーハンドブックのPp.25-30を読んで要点をまとめる
5:自己理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.24を読んで要点をまとめる
6:精神分析について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.25を読んで要点をまとめる
7:行動理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.26を読んで要点をまとめる
8:論理療法について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.27を読んで要点をまとめる
9:ピアヘルピングの関連領域とプロセス	ピアヘルパーハンドブックのPp.31-43を読んで要点をまとめる
10:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向	ピアヘルパーハンドブックのPp.44-54を読んで要点をまとめる
11:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向の確認	ピアヘルパーワークブックのPp.8-9に記入し復習する
12:ピアヘルピングの言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.56-61を読んで要点をまとめる
13:ピアヘルピングの言語的技法②	8ピアヘルパーハンドブックのPp.62-69を読んで要点をまとめる
14:ピアヘルピングの非言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.70-76を読んで要点をまとめる
15:ピアヘルピングの非言語的技法②	ピアヘルパーワークブックのPp.41-42に記入し復習する
16:対話上の諸問題への対処法	ピアヘルパーハンドブックのPp.77-83を読んで要点をまとめる
17:問題への対処法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.84-91を読んで要点をまとめる
18:問題への対処法②	ピアヘルパーワークブックP.34を読んでそれぞれの違いを復習する
19:ピアヘルパーの心がまえとヘルピングスキルの上達法	ピアヘルパーハンドブックのPp.92-104を読んで要点をまとめる
20:ピアヘルパーの活動許容範囲と留意点	ピアヘルパーハンドブックのPp.106-112を読んで要点をまとめる
21:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　学業領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.113-118を読んで要点をまとめる
22:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験①(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
23:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　進路領域　友人領域　グループ領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.119-137を読んで要点をまとめる
24:カウンセリングスキルのまとめ	ピアヘルパーワークドブックのPp.32-33に記入し復習する
25:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　関係修復領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.138-144を読んで要点をまとめる
26:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　心理領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.145-152を読んで要点をまとめる
27:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験②(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
28:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験③(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
29:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験④(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
30:ピアヘルパー認定試験直前総復習	資格認定試験に向けてテキストの復習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、各回について上の準備学習時間に自主学習を足した45分を必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ピアヘルパーハンドブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税
ピアヘルパーワークブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

グループ実習後の振り返りレポート 10%　模擬試験結果 40%　学習の意欲 50%
テキストの読み合わせおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ピアヘルパー資格認定試験を受験を推奨する。
複数回実施するピアヘルパー認定試験対策模擬試験では、全体の正答・誤答傾向のフィードバックを行った上で個人の誤答の確認と修正を行う。
さらに、個人の成績の変化もフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
フラワーアレンジメント	LP51208	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
石井　康子		履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

花と暮らすことは心が和み、その空間はパッと華やぎます。授業では花を素敵に活けるための基礎知識を学び、季節、行事に合わせた作品を作ります。
植物の歴史、芸術性を学びます。課外学習により自然の素晴らしさ、活用法など学びます。
植物と触れ合うことの楽しさ、そして想像力が培われます。

Ⅲ. 学習成果

「花を活ける」ことにより、日常の暮らしに笑顔と感謝の気持ちが培われます。
花を通して表現力を磨き、プレゼンテーション力を学習することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英国「チェルシーフラワーショー2023」に参加したスライドショー。花壇見学 実習:グラスにアレンジ。必要な道具。水あげの基本。	(予習)テキストを読んで、確認する
2: 花の扱いに慣れよう。 実習:スプレーバラを4通りにアレンジ。吸水性スポンジを使った簡単アレンジ	(復習)作品を長く楽しむ工夫をする
3: 大切な人に想いを伝えるフラワーギフトの贈り方の学習をする 実習:ハロウィーンのアレンジ＋プレゼンテーション	(予習)テキストを読んで、花を贈る時のルールやマナーを確認する
4: アレンジメントの基本の形について　花留めについて 実習:生花のフラワーボックス	(復習)作品を長く楽しむ工夫をする
5: アレンジの見せ方、三方見、四方見について 実習:吸水性スポンジのカット、四方見のテーブル生花＋プレゼンテーション	(予習)アレンジメント用語を読む
6: アレンジ用語について　花言葉について 実習:多肉植物の寄せ植えアレンジ	(予習)花言葉を調べる
7: スライドショー:イベント、フラワーショーなど 実習:器の中も美しく見せる水中花	(予習)水中花の項目を読む
8: ブーケについて 実習:ブーケ＋ラッピング	(予習)花言葉を調べる
9: 季節の行事を花と緑で演出する方法について 実習:クリスマスの寄せ植え	(予習)クリスマスの演出方法を考え、ピックなど持参する
10: 三方見について 実習:吸水性スポンジを使い三方見アレンジ	(予習)花言葉を調べる
11: 課外授業　西南学院大学聖書植物園、博物館見学、 レポート提出	(復習)自然の植物の姿を認識する。植物の歴史、文化を学ぶ
12: 西洋の伝統文化、クリスマスについて 実習:リース	(復習)作品の飾り方を工夫する
13: 課外授業　商業施設のクリスマスなどの花飾り、花屋さん見学 レポート提出	(予習)見学したい目的を考える
14: 日本の伝統文化、 お正月、門松、しめ縄について 実習:しめ縄アレンジ	(復習)日本の伝統文化である新年の準備をする
15: 実習:作品のテーマを決めて吸水性スポンジを使いアレンジメントを自由に制作 ★制作作品について、プレゼンテーションをする	(予習)アレンジ作品のテーマを決め、生花を調達して持参する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習については、事前にお知らせします
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本のフラワーアレンジ　森　美保　成美堂出版　¥1300＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

作品(60%)、学習意欲(20%)、確認ワーク(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英国「チェルシーフラワーショー2023」に福岡市より3週間派遣　・福岡市「一人一花運動」に参加
・令和4年度都市緑化功労者国土交通大臣賞表彰　・2025年福岡フラワーショー「花の祭典」ショーガーデン受賞　・「NHK趣味の園芸」出演
・花の入荷状況により授業内容や順番が変更になることがあります
・授業で作った作品は、自宅に持ち帰りその後の管理を学習できます

関連 サービス系

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
臨床心理学	LP51207	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
立岡　沙珠		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では，臨床心理学という観点から精神障害，発達障害を中心に理解を深める。また，授業では関連する諸理論も紹介するとともに，心理学的視点から障害のある人の気持ちや出会う社会的障壁に気づくことを目的とする。その中で，障害に関する理解を深め，共生社会実現のために，社会を構成する一員として自身にどのようなことができるか，考えることとする。なお，この授業では障害に関する基礎的知識の教授だけでなく，体験的動画の視聴に加え，それらに対して抱いた思いや感情などを，グループディスカッションを行う。

Ⅲ. 学習成果

・いくつかの精神障害や発達障害に関する基礎的な知識を習得しており，障害に関する正しい理解をすることができる。
・それぞれの精神障害や発達障害に関して，社会的障壁という視点から物事を捉え，その障壁の除去のために考えて行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学について，ワークを通じた心理学的現象の紹介	臨床心理学という視点から学んでみたいことを考える。
2: パーソナリティに関する基礎知識	自身の「性格」について振り返る。 様々なパーソナリティのとらえ方について考える。
3: 心理療法に関する諸理論	心理療法に関する諸理論を自身でまとめ，どのような考え方があるかを理解する。
4: 心理査定，傾聴法に関する諸理論 ～傾聴法の体験とグループディスカッション～	自身の話の聞き方の癖を振りかえり，自身の考えをまとめる。
5: 統合失調症に関する基礎的知識，治療 統合失調症の世界の体験的理解	統合失調症体験に関するミニレポートの作成。 統合失調症者が日常で出会う社会的障壁について考える。
6: 双極性障害に関する基礎知識，治療	双極性障害に関するTEDトークの視聴。 双極性障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
7: うつ病性障害に関する基礎的知識，治療	うつ病に関するTEDトークの視聴。 自身の落ち込みの状態と「うつ」の状態の違いについて考える。
8: 不安障害群に関する基礎的知識	不安障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
9: 強迫性障害に関する基礎的知識	強迫的行動の背景について考える。 強迫性障害者が日常生活でどのように困るかを考える。
10: 神経性拒食症，過食症に関する基礎的知識	自身のこれまでの「食」に関する体験を振り返る。
11: 心的外傷後ストレス障害(PTSD)に関する基礎知識	トラウマ体験による心理的な変化について考える。
12: 発達障害に関する基礎的知識	発達障害に関するTEDトークの視聴。 発達障害をもつ人が日常生活で体験する困りごとについて考える。
13: 「障害」の社会モデルについて ～「障害」に関するディスカッション～	自身の中での障害の捉え方を整理する。 社会モデルという視点からこれまでの授業を振り返る。
14: 日常に潜む社会的障壁について	これまで取り上げた障害のうち1つを選び，その障害がある人がどのような社会的障壁に出会うか，考える。
15: 合理的配慮について ～事例をもとに，考えられる合理的配慮についてのディスカッション～	精神障害，発達障害のある人に対する合理的配慮として，何が考えられるか，自分の考えを整理する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での特別な配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア入門	LP46201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートを行う際に必要な基礎知識(人間工学・動線・心理特性・色彩計画)について学ぶ。
住宅各室に求められている機能を理解し、適切な家具のレイアウトについて学び、考えていく。

Ⅲ. 学習成果

1.人体寸法とインテリアや建物の関係を正しく理解する。
2.動線と部屋の使いやすさの関係を理解し、家具のレイアウトが行えるようになる。
3.カラースキームの基本を理解し、応用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・日本と西洋の違い	気候や文化がインテリアに与える影響についてまとめる
2:インテリアの歴史(家具の歴史～素材と技術の進歩～)	現在使っている家具の素材について調べる
3:カラースキーム①(色の基本)	色の3要素についてまとめる
4:カラースキーム②(色の組み合わせ) イメージに合わせたカラースキームを行い、グループ内で発表する。	色の組み合わせの基本に従ってカラースキームを行い発表の準備をする
5:人間工学①(人体寸法と動作領域)	自分の人体寸法の概算値を計算する
6:人間工学②(家具への応用)	使いやすい家具のチェック項目に従って家具を調べる
7:人間工学③(家具の使用空間、単位空間、動線)	家具の種類と人間の関わりについてまとめる
8:心理特性と家具のレイアウト	人の動きと住宅内での動きを調べる
9:感覚と知覚	錯覚(錯視)についてまとめる
10:室内環境①(採光と照明、温熱環境)	体感温度について調べる
11:室内環境②(通風と換気、音)	効率のいい換気を実験してみる　騒音の基準について調べる
12:居室の機能①(公的空間) 公的空間(LDK)の家具のレイアウトを行い発表する	パブリック空間に求められる機能についてまとめ、家具リストを作成する
13:居室の機能②(私的空間と収納) 私的空間(個室)の家具のレイアウトを行い発表する	プライベート空間に必要な家具のリストを作りレイアウトする
14:住宅の家具レイアウト(平面と立体の違いを理解する) 平面図に簡単な家具の立体模型のレイアウトを行う	収納家具の種類を調べ、居室に必要な収納家具のリストを作成する
15:まとめ	新しく部屋を選ぶときに重要と思う項目をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うことが望ましい。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を授業中に配布する
参考図書:「インテリアの計画と設計」(彰国社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記の内容について、学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は、全体に対して講評を行い、個別にはコメントを渡す。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア販売	LP46202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリア商品(家具・照明・インテリアファブリック・インテリアアクセサリ等)は多く私たちの周りにあふれており、容易に手に入れることが可能になってきました。
インテリア商品の基礎知識を学び、お客様に対して適切なアドバイスや提案ができることを目指して学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリア商品の種類を知る
2.インテリア商品の基礎知識を持つ
3コミュニケーションをとるための表現方法を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:リビングスタイリストの仕事	インテリア業界の販売職として必要な知識や技能についてまとめる
2:インテリア商品の流通	流通について身の回りの例を取り上げまとめる
3:情報・店舗演出	情報の種類と販売の際に必要な情報についてまとめる
4:接客販売　購買心理　自分の購買のパターンについて発表する	接客の際に必要なマインドについてまとめる 自分の購買行動について振り返る
5:ビジネスマナー	言葉使い(敬語)についてよく使う語句と場面についてまとめる
6:商品知識　家具①(脚物家具) 家具のサイトから提案すべき家具を選び発表する。	自分の部屋にある家具リストを作成する
7:商品知識　家具②(箱物家具)	脚物家具・箱物家具の種類と特徴をまとめる
8:商品知識　窓装飾①(カーテン、シェード)	カーテンの部材の名称と役割についてまとめる
9:商品知識　窓装飾②(ブラインド　スクリーン) カーテン・ブラインドのコーディネートを行い発表する	ブラインドの特徴について調べる
10:商品知識　照明	光源の種類とその特徴についてまとめる
11:住宅設備①(キッチン)	キッチンのレイアウト例と住宅の広さについてまとめる
12:住宅設備②(バス、トイレ)	トイレ・洗面・浴室が求められる機能についてまとめる
13:インテリアアクセサリー①(インテリアグリーン、テーブルウェア・テーブルリネン)	テーブルコーディネートの例を挙げリネンの使い方をまとめる
14:インテリアアクセサリー②(スリーピングリネン、バスリネン)	自分の持っているスリーピングリネンについてまとめる
15:まとめ	インテリア商品の販売時に必要な知識と技術についてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する
参考書:「リビングスタイリスト資格試験　公式テキスト」(社)日本ライフスタイル協会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の講評は全体に対して行う。個別にはコメントを渡す

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリア製図	LP46203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
酒井　律子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

見本の住宅インテリア図面や模型を使って、製図の基礎を学びます。
また、家具の配置や住宅各所の寸法などインテリアプランニングの基礎を学び、自分で考えたプランを製図で表現します。

Ⅲ. 学習成果

1. 基本の住宅インテリア図面を理解し、描けるようになる。
2. 自分が置かれているインテリア環境を寸法で把握できるようになり、より住みやすくなるよう工夫やプランを考えられるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:製図の基礎1 製図道具の使い方と線の引き方	広告・雑誌・PCなどを利用して、いろいろなタイプの住宅インテリアプランを比較する
2:製図の基礎2 基本となる寸法値・和室の観察	身近な住まい(自宅や友人・親戚宅など)を再確認する
3:平面図1 模型の平面図	自室の平面図(フリーハンド)を作成する いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
4:平面図2 模型の平面図に家具を配置	自室の平面図(フリーハンド)に家具を配置する
5:展開図1 模型の展開図(北・東面)	自室の展開図(フリーハンド)北･東面を作成する
6:展開図2 模型の展開図(南・西面)	自室の展開図(フリーハンド)南・西面を作成する
7:家具図1 家具図の描き方	いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
8:家具図2 家具のスケッチを家具図におこす	家具がどのように造られているか細部を観察しスケッチする 日本や海外の家具デザインの事例を調べる
9:電気設備図・その他の図面(天井伏図)1	どのような照明器具があるか調べる
10:電気設備図・その他の図面(天井伏図)2	自宅におけるスイッチやコンセントの位置・数などを調べる
11:自分の部屋をプランしてみよう1 設計条件とプランの検討	インテリアデザインの事例を調べて、作品づくりに取り入れる
12:自分の部屋をプランしてみよう2　プレゼンテーション 平面図	平面図の描き方を確認する
13:自分の部屋をプランしてみよう3　プレゼンテーション 展開図	展開図の描き方を確認する
14:自分の部屋をプランしてみよう4　プレゼンテーション 家具図・電気設備図	家具図・電気設備図の描き方を確認する
15:レポート(住宅のリフォーム案) 全体のまとめと作品集のプレゼンテーション	作品集の表紙のデザインを検討する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか照らし合わせてみる(毎回1時間程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出80%・学習の意欲(作品づくりへの意欲・工夫など)20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回、製図作品を提出します。作品は、次回に全体講評し、個別に対応しながら演習を進めます。
配付資料は整理して、毎回忘れずに持参すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インテリアプレゼンテーション	LP46204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
入江　明美		履修要件他:			
中川路　美和		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネーターはどこで活躍しているのか、どのような仕事をしているのか、現役インテリアコーディネーターのリアルを学ぶ。
インテリアエレメント＝「室内」を構成するための「要素」として、家具やカーテン・建具・壁、床、天井・照明器具・CGパースなどの基礎を学び
ロールプレイングでヒアリングし、プレゼンテーションへの流れを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネーターが活躍する職場は多く、その職種・必要スキルを学び、インテリアプレゼンテーションの基礎を学び知ることで
自らの可能性を広げ、自信への一歩とすることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 自己PR　人間工学の基礎	自己紹介を考える スケールで体の部位を測り寸法を知る
2: インテリアコーディネーターの仕事	インテリアコーディネーターとその周辺の仕事で、どのような職種があるか、調べてみる
3: 家具・カーテンの基礎	家具・カーテンの種類と効果について
4: 床・壁・天井の基礎	床・壁・天井の種類と効果について
5: 照明器具の基礎	照明器具の種類と効果について
6:間取り図と建具の基礎	間取り図の読み取りと建具の種類
7: 3DCGパース作成①	3DCGパース作成技術 基本動作と外観パース
8: 3DCGパース作成②	3DCGパース作成技術 応用動作と室内パースの基本入力
9: 3DCGパース作成③	3DCGパース作成技術 オリジナルなインテリアパースの作成
10: 学外授業　「しあげギャラリー」見学、ワークショップ	タイル、塗り壁等のショールーム見学とタイル貼り、塗り壁の体験
11: ヒアリング	プレゼンするために、クライアントから必要な情報を聴きとる 2人一組で交互にIC役、クライアント役になり相手（クライアント）に行う
12: プレゼンテーション①	クライアントに提案するインテリアエレメントをセレクトする
13: プレゼンテーション②	プレゼンボードに使用する家具を3DCGパースに落とし込む
14: プレゼンテーション③	クライアントに提案するプレゼンテーションシート作成
15: プレゼンテーション　発表	クライアントにプレゼンテーションする 2人一組で交互にIC役、クライアント役になり相手（クライアント）に行う

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
事前・事後学習については30分～1時間必要。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出（70%）　学習への意欲（30%）

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

最終のプレゼンテーションにむかって1回目から学び重ねていくため毎回の出席を評価する。提出課題は、最後の日に各人にコメントをつけて返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:

技能の基礎を学びながら、現役インテリアコーディネーターとしてリアルな活きた情報と体験談とその職種の魅力を伝えたい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CG演習A	LP47201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
岡崎　富美		履修要件他:	インテリア関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	◎
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

ベクトル画像処理ソフトAdobe　Illustratorを使用し、コンピュータグラフィックスの基本的な技術を習得することを目的としています。
ベクトル画像の特徴であるベジエ曲線による作画と加工、多様な効果について段階的に学んでいきます。

Ⅲ. 学習成果

1.ベクトル画像の特徴を理解
2.ベクトル画像の作画と加工をIllustratorを使用し作成
3.印刷や適切なファイル形式への保存

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Illustratorの基本操作を学びます。 起動や終了方法及び各ツールの操作方法について学びます。	授業中に学んだ基本操作を復習しておくこと。
2: 図形・線・色の変更のツールを使用して、イラストを描きます。	学んだ操作方法を教科書や配布資料等で復習しておくこと。
3: オブジェクトの作成を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(1)	ロゴマーク・アイコン等どのような物が事前確認しておくこと。
4: オブジェクトの編集方法を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(2)	ロゴマークやアイコン等の役割を考えまとめておくこと。
5: 文字の入力方法を学びます。 名刺の作成(1)	名刺に記入すべき内容を事前確認しておくこと。
6: 様々な文字の入力方法(エリア内入力・パス上入力)を学びます。 名刺の作成(2)	名刺作成
7: オブジェクトの作成に関する操作方法を学びます。 ラッピングペーパーの作成(1)	様々なお店のラッピングペーパーを事前確認しておくこと。
8: オブジェクト作成の操作方法を使用してラッピングペーパーを作成します。 ラッピングペーパーの作成(2)	ラッピングペーパー作成
9: Illustratorに搭載されている効果・機能を学びます。 ポストカード・グリーティングカードの作成(1)	季節感のあるカード・絵葉書等を事前確認しておくこと。
10: 効果・機能を使用してカードを作成します。 ポストカード・グリーティングカードの作成(2)	グリーティングカード作成
11: 図形の効果・一括編集の方法を学びます。 冊子「ZINE」の作成(1)	自分が好きな事をテーマに「ZINE」で使用する素材を 準備しておくこと。
12: スウォッチの作成・登録を学びます。 冊子「ZINE」の作成(2)	「ZINE」作成
13: 画像とマスクを学びます。 冊子「ZINE」の作成(3)	「ZINE」を出力し、準備しておくこと。
14: 各自作成した冊子「ZINE」に関するプレゼンテーションを実施します。 ※アクティブラーニング	発表がスムーズに出来るよう内容(皆に見せれるように作品や資料等) をまとめて用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと。
15: Illustratorの出力データの管理・まとめ 環境設定の操作方法	復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

課題の提出や授業で必要な資料配布等をGoogleclassroomにて実施することもあるため、Googleclassroomの授業登録をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書「これからはじめるIllustratorの本」を使用します。
参考図書:「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」(技術評論社)
参考図書:「Illustratorしっかり入門」(SBクリエイティブ株式会社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(60%)、授業への意欲(40%)を総合的な評価をします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物のうち他の学生の参考になるものは、授業内で紹介します。Googleclassroomにて提出された課題は、個別にコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CG演習B	LP47202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:	インテリア関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・画像編集ソフト「Adobe Photoshop」の基本操作を習得しグラフィックデザインへの応用などビジュアルコミュニケーションにおける基礎的な表現手法を学習する。
・プレゼンテーション（課題発表）の準備や実践を行い、発想を形にして他者に伝達する手法を学習する。

Ⅲ. 学習成果

1　Adobe Photoshopの基本的な操作を習得し、画像編集の基礎知識を理解できる
2　WEB用と印刷用の画像形式の違いについて理解できる
3　デザインの法則などを学習し、グラフィックデザイン、ブランディングの基礎知識を理解できる
4　プレゼンテーション（課題発表）を実践し、情報伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 講義：デザインの分野や職種について、デジタルツールを習得する利点など	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
2:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 フォトショップの基本的な機能と使用法について	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
3:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 画像合成の仕方、色の塗り方、保存の仕方等	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
4:【課題1：WEBバナー広告デザイン】 文字ツールを使用したロゴデザイン制作、WEB用画像の書き出し	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
5:【課題2：gifアニメーション】 講義：WEB用の画像について、拡張子の比較、画像形式の歴史	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
6:【課題2：gifアニメーション】 アニメーションフレームの編集方法、gifアニメーションの書き出し	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
7:【課題3：WEBバナー広告デザイン】 イラストレーターデータとの互換性、自動生成AIを使用した画像作成	【予習】WEBサイトのバナー広告を収集しUSBに保存するなど 既存のバナー広告をリサーチして準備する(30分程度)
8:【課題4：アロマオイルラベルデザイン】 講義：商品企画とマーケティングについて	【予習】オリジナルのボトルデザイン検討の為に、ボトルの画像などの 資料を集めUSBに保存しておくこと(30分程度)
9:【課題4：アロマオイルラベルデザイン】 モックアップ（試作品）CG合成方法、文字の編集及び加工について	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
10:【課題5：アロマオイルWEBデザインカンプ】 講義：視線誘導・フォントの基礎知識・ロゴデザインについて	【予習】WEBデザインカンプ（WEBサイトデザイン）の構想を練る
11:【課題5：アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習（自動生成AIを使用した画像作成）	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題5：アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:【課題5：アロマオイルプレゼンボード】 デザイン実習	【予習】プレゼンボードで使用する背景画像などをWEBのフリー素材 などから収集しUSBに保存してくること
14:【課題5：アロマオイルプレゼンボード】 デザイン実習	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:最終日プレゼンテーション（作品発表）**※アクティブラーニング要素** 1人5分程度の発表・質疑応答あり。プレゼンテーション後、講師が講評します。	【予習】発表がスムーズにできるよう台本（テキスト）を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと（10～30分程度）

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内とGoogledriveで伝達し、プリントやデータを配布します。課題の作業は授業内で完結するよう計画されていますが、課題の遅れを解消する為の作業時間については各自の学習意欲によって課外での時間を確保してください。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と指定の教科書（下記参照）を併用。自習・復習に使用できる動画を用意しています。
「グラフィックデザイン Illustrator & Photoshop（デジタルハリウッドの本）」
出版社：技術評論社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。
全ての課題を提出し課題5のプレゼンテーションの内容をもって評価します。課題5ではプレゼンテーション後に各生徒の講評を即時行います。
デザイン作業に必要な会話は推奨しますが、過度の私語・不要なスマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・画像加工の基本操作を習得しながら、課題後半は受講生の個性を発揮できるように各生徒のオリジナルデザインを個別指導します。
・「モノを作ること」に興味がある人を受講対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項：
教員はイラストレーター、ジュエリーデザイン、生活雑貨の企画開発、小中学生向けデジタル教育の監修などマルチに活動する実務経験20年の現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Webデザイン論	LP47203	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
砥上　奈美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Webサイトの受注から納品までの一連の流れについて学ぶと共に、実際にWebページのデザインと素材作成を行うことを目的としてはじめに、クライアントの要望に沿ったデザインを起こすために必要な実務内容や、デザインするために必要なPhotoshopやIllsutratorの基礎スキます。その後、実際にWebページのデザインを行い、素材の作成を行っています。
授業の終盤では、Webデザイナーとして、今後必要な勉強の仕方や就職活動の仕方についても触れます。

Ⅲ. 学習成果

Webデザイン制作時に必須となるPhotoshop・Illustratorの基礎的な操作の習得。
Webサイトが完成するまでの一連の流れ(クライアントとの関係や案件を通しての他職種との関わり)の理解。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webデザイナーの魅力とやりがい、Webデザイナーを目指すために必要なスキル 受注からの納品までの工程、この授業で学習する内容、受講上の注意点	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
2:ヒアリング・情報設計～デザインをおこすまで サイトマップとワイヤーフレーム	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
3:グループワーク「業種別Webサイトデザインの調査・発表」	業種・ジャンルごとにどのような色、フォント、レイアウトが使われているか調査。
4:写真の切り抜き Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 【中間課題】写真の切り抜き課題
5:簡単なイラスト作成 Illustratorを使い図形を作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
6:トップページデザイン(1)ヘッダー／フッターの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
7:トップページデザイン(2)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
8:トップページデザイン(3)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
9:トップページデザイン(4)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
10:レスポンシブデザインについて Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
11:下層ページデザイン(1) Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
12:中間課題について Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
13:最終課題について 概要・テーマ決め、色やフォントの選び方について	【単位認定試験課題】
14:最終課題について 書き出し・URL共有について	【単位認定試験課題】
15:最終課題発表と講評 今後の学習の仕方、ポートフォリオ作成について	【単位認定試験課題】

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各自の理解不足を解消するため、教科書や授業中に配布する資料を利用して、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

後日アナウンスします。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:70%(締め切り厳守)　発表:30%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebクリエート演習と一緒に受講すること。パソコンの基礎的な操作(キーボード入力・マウス操作)ができること。
・各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします
「実務経験教員科目」特記事項:フリーランスWebデザイナー。Webデザインを専門学校で学んだ後、Webデザイナーとして起業。複数のWebチームに所属して福岡を中心に幅広
Webスクールでトレーナーとしてデザイン指導をおこなう。企業のウェブ・ロゴ・グラフィックデザインやランディングページの制作、Webサイトの構築・管理、Web広告の運用などに
教育/創業支援/人材・企業開発/貿易/金融/医療・健康・福祉/美容/理容/ファッション/不動産/建築/内装/ソフトウエアなど多ジャンルで実績あり。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Webクリエート演習	LP47204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，Web（World Wide Web）ページ構築に広く利用されているHTML・CSSの基礎的な知識と技術習得を目的とする．はじめに，Webとインターネットの概要を説明して，スクリプトをWebブラウザに表示する方法を学ぶ．その後，HTMLとCSSを用いたコーディング手法を学ぶことで，Webページを作成する方法を学ぶ．授業後半では，メディアクエリやハンバーガーメニューを実装する方法を学び，レスポンシブなWebページを制作・発表する．

Ⅲ. 学習成果

・Webとインターネットの仕組みを説明できる
・HTML，CSSを用いた基礎的なコーディング技術を習得する
・メディアクエリ，ハンバーガーメニューを実装するための技術を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:イントロダクション，Webとインターネット	教科書pp. 01-30までを読んでおくこと.
2:Webページの実装技術と知識	教科書pp. 31-98までを読んでおくこと.
3:HTMLの実装方法	教科書pp. 99-107までを読んでおくこと.
4:HTML（見出しと改行）	教科書pp. 108-122までを読んでおくこと.
5:HTML（リンクと画像）	教科書pp. 123-130までを読んでおくこと.
6:HTML（箇条書きと表）	教科書pp. 131-139までを読んでおくこと.
7:HTML（フッターのタグとフォーム）	教科書pp. 140-148までを読んでおくこと.
8:HTML（情報整理用のタグとHTML課題）	教科書pp. 149-152までを読んでおくこと.
9:CSSの基本	教科書pp. 153-159までを読んでおくこと.
10:HTML+CSS（classとid）	教科書pp. 160-171までを読んでおくこと.
11:HTML+CSS（文字と装飾）	教科書pp. 172-181までを読んでおくこと.
12:HTML+CSS（リンクの設定，擬似要素）	教科書pp. 182-187までを読んでおくこと.
13:HTML+CSS（ボックスモデル）	教科書pp. 188-199までを読んでおくこと.
14:HTML+CSS（背景画像の設定とflexbox）	教科書pp. 200-215までを読んでおくこと.
15:HTML+CSS（positionとCSS Grid）	教科書pp. 216-225までを読んでおくこと.
16:HTML+CSS（リストと表のデザイン）	教科書pp. 226-231までを読んでおくこと.
17:HTML+CSS（フォームのデザイン）	教科書pp. 232-236までを読んでおくこと.
18:中間課題の制作1（デザインの決定とHTML実装）	教科書pp. 237-238までを読んでおくこと.
19:中間課題の制作2（CSSの実装）	授業進度に合わせて，制作を進めておくこと.
20:シングルページデザイン（HTMLの実装）	教科書pp. 240-257までを読んでおくこと.
21:シングルページデザイン（初期スタイルの実装）	教科書pp. 258-263までを読んでおくこと.
22:シングルページデザイン（詳細なスタイルの実装）	教科書pp. 264-270までを読んでおくこと.
23:メディアクエリの実装方法	教科書pp. 271-279までを読んでおくこと.
24:jQueryとハンバーガーメニューの実装	教科書pp. 280-285までを読んでおくこと.
25:各ページの実装	教科書pp. 284-293までを読んでおくこと.
26:Webページの完成と公開	教科書pp. 294-302までを読んでおくこと.
27:最終課題の作成1（デザインの作成とHTMLの記述）	デザイン案をつくっておくこと.
28:最終課題の作成2（CSSの記述）	授業進度に合わせて，制作を進めておくこと.
29:最終課題の作成3（最終調整）	最終課題の作成を完了させること.
30:最終発表と講評	簡単なプレゼンテーションの準備をしておくこと.

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・授業課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること
・授業内容の理解を深めるために，60分以上の予習・復習を行うこと　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:
・初心者からちゃんとしたプロになるWebデザイン基礎入門（改訂2版）

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終課題：30%（ユーザビリティ，デザイン性，理解度を総合的に評価）
小課題と中間発表：50%（授業内容の理解度，努力量，課題の完成度を総合的に評価）
受講姿勢・授業態度：10%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・必ずWebデザイン論と一緒に受講すること
・各課題に対しては，直接もしくは課題にコメントする等してフィードバックを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
CGデザイン演習Ⅰ	LP47205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・PhotoshopとIllustratorを連携し実践的な作品制作を行い、視覚的表現技術を身につける
・デザインの法則や企画開発の流れを学習する
・複数のメディア（媒体）の取り扱いを学習し、デザイン以外の分野でも正しくデジタル情報を応用する知識を身につける。

Ⅲ. 学習成果

・ PhotoshopとIllustratorの基本的な操作と応用を学習し、写真やテクスト等、様々な素材による構成技術が身に付く
・ デザインについての講義や各課題でプレゼンテーション（課題発表）を実施することで、情報伝達力を高める
・ フィールドワーク（店舗調査レポート）を実施し、観察力を高めデザインに関する視野を広げる
・ 複数のCGソフトを連携させ、汎用的なデジタルデータの取り扱いを理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 PhotoshopとIllustratorの連動　画像リンクについての実習	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
2:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 ラフ画、イメージスケッチ、オリジナルロゴ作成	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
3:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるようテキストを用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
4:【課題2：キャラクターデザイン】 手描きのイラストから Illustratorを使ってキャラクターイラストを仕上げる	【予習】既存のお菓子のパッケージを調査し、オリジナルキャラクター のラフスケッチやアイデアを用意する（60分程度）
5:【課題2：キャラクターデザイン】 画像やイラストからノベルティグッズをつくる方法	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
6:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 photoshopで商品のモックアップ（試作品）のCG合成を学ぶ	【予習】既存のお菓子のパッケージを調査し、オリジナルパッケージ のラフスケッチやアイデアを用意する（60分程度）
7:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 Illustratorを使って画像からイラストを作成する方法を学ぶ（ペンツール、ライブトレース）	授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
8:【課題3：お菓子パッケージデザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるよう台本（テキスト）を用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
9:【課題4：マイショップデザイン】飲食店、美容院、雑貨、アパレル、など、 各自が思い描くショップの企画書を作成し、カードやフライヤーなど印刷物に展開	【予習】どのような店舗をデザインするか事前に想定し、必要な 画像や資料をUSBに保存しておく
10:【課題4：マイショップデザイン】**※アクティブラーニング要素　店舗調査レポート** デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップカード、フライヤー、パッケージなど	【予習】実店舗に赴き、店舗調査（価格調査やカタログ収集）をし、 指定のプリントにまとめてレポート提出すること（1～2時間程度）
11:講義：トーン＆マナー、デザイン4原則について 情報をより正確にし制作物の価値を高める為のデザインの法則を学ぶ	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）アウトライン化と印刷物の入稿について	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:講義：就活などに役立つポートフォリオ（作品集）の作り方 課題で制作した作品をPDFデータとしてまとめ、PDFの取り扱い方を学習	【復習】制作した課題作品を就活などに使用できる ポートフォリオにまとめる（30分程度）
14:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）作品を印刷して裁断などの加工作業を行う	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:【課題4：マイショップデザイン】**※アクティブラーニング要素** 最終日プレゼンテーション（作品発表と講師講評）	【予習】発表がスムーズにできるよう作品と台本（テキスト）を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明

翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内とGoogledriveで伝達し、プリントやデータを配布します。課題の作業は授業内で完結するよう計画されていますが、課題の遅れを解消する為の作業時間については各自の学習意欲により課外での時間を確保してください。準備学習としてリサーチしたりアイデアを練ったりする時間が授業時間外で90分必要です。

Ⅴ. 教科書・参考図書

自習や復習に使用できる作業手順のプリントと講義資料を配布。自習・復習に使用できる動画も用意しています。
CG演習Bで使用する教科書を併用。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。全ての課題を提出し課題4のプレゼンテーションの内容をもって評価の対象とします。
課題1～3の評価はgoogleclassroomで作品に対する講評を添えて返却。課題4はプレゼンテーション後に各生徒の講評を即時行います。
デザイン作業に必要な会話は推奨しますが、過度の私語・スマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・全ての課題でオリジナル作品を制作しプレゼンテーションを実施する為、作品の構想やリサーチを授業外で準備することで授業中の作業がスムーズになります。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・「CG演習A」「CG演習B」を履修していること。

「実務経験教員科目」特記事項：教員はイラストレーター、ジュエリーデザイン、生活雑貨の企画開発、小中学生向けデジタル教育の監修などマルチに活動する
実務経験20年の現職デザイナー。印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
データベース入門演習	LP52201	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
中野　豊		履修要件他:	事務系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス現場でのデータベースの使用方法を理解し，データベースの設計および操作(データの入力，
検索，並び替え，出力)の基礎を学ぶ.「情報関連科目」を修得済みの学生を対象にした講義および演習で
あるので，特に1年生は注意されたい.

Ⅲ. 学習成果

Microsoft社のAccessを使ってデータベースの基礎を理解し，運用のための知識の習得を目指す.
また Access に限らない，一般的なデータベースの概念を理解できることを目指す

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: データベースの概要とその応用例	データベースの概念の理解し，どのような場面で活用されているのかを理解する
2: Accessの基礎知識	Accessの構造と基本的な操作方法を理解する
3: データベースの設計と作成	データベースの基本的な構造と設計方法を学び理解する
4: テーブルの作成	データベースにおけるテーブルの役割と作成について理解する
5: テーブルとリレーションシップの作成	データベースにおけるテーブルとリレーションシップの役割と作成について理解する
6: クエリの作成1	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
7: クエリの作成2	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
8: フォームの作成	データベースにおけるフォームの役割と作成について理解する
9: レポートの作成1	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
10: レポートの作成2	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
11: ピボットテーブルとピボットグラフの作成	Accessを使ったピボットテーブルとピボットグラフについて理解する
12: データシートビューの操作	Accessにおけるデータシートビューについて理解する
13: データベースの作成演習1	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う. 不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，不明な点は授業で質問し，修正を行う
14: データベースの作成演習2	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う. 不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，不明な点は授業で質問し，修正を行う
15: データベースの活用事例(発表)	グループごとに取りまとめたデータベースの活用事例を発表する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかる Microsoft Access 2019 基礎」FOM出版　￥2,000円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(15%)，課題提出状況(15%)および終了時の実技試験(70%，テキスト持込可)で総合的に判断

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題を元に学生が理解できていない点を把握し，次回以降の授業で重点的に解説する.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
TOEIC検定対策講座A	LP60201	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす
TOEIC頻出の文法事項を理解する

Ⅲ. 学習成果

TOEIC試験で目標スコアを獲得する
英語学習の方法を身につける
コミュニケーションで必要とされる英語能力を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: TOEIC試験についての説明 文法事項：動詞(Day8)	必須語彙を覚える 時制と態について復習する
2: 文法事項：代名詞(Day9)	必須語彙を覚える 代名詞について復習する
3: 文法事項：関係代名詞(Day9)	必須語彙を覚える 関係代名詞について復習する
4: 写真描写問題：人物の動作と状態（Day1） 写真描写問題：物の状態と位置(Day2)	必須語彙を覚える 写真描写問題を復習する
5: 応答問題：疑問詞を使った疑問文(Day3) 応答問題：基本構文と応答の決まり文句(Day4)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
6: 短文穴埋め問題：品詞(Day7) 品詞について、名詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
7: 短文穴埋め問題：品詞(Day7) 形容詞・副詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
8: 応答問題：YES/NO疑問文(Day5) グループワーク（ロールプレイ）	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
9: 短文穴埋め問題：接続詞(Day10) 前置詞	必須語彙を覚える 接続詞・前置詞を復習する
10: 会話問題：日常場面での会話(Day12) グループワーク（ロールプレイ）	必須語彙を覚える 会話問題を復習する
11: 説明文問題：アナウンス・ツアー(Day16) シャドーイング	必須語彙を覚える 説明文問題を復習する
12: 読解問題：表・用紙(Day21)	必須語彙を覚える 読解問題を復習する
13: 読解問題：広告(Day22)	必須語彙を覚える 読解問題を復習する
14: 長文穴埋め問題：時制・代名詞・語彙問題(Day28) Part5復習(Day11)	必須語彙を覚える 長文穴埋め問題を復習する
15: まとめと復習	必須語彙の確認 全パートの復習

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
単語集の語彙を完全に覚えるまで繰り返し勉強する
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：TOEIC　L&Rテスト書き込みドリル［全パート入門編］スコア500　早川幸治著　桐原書店
教科書：TOEIC L&R TEST 出る単特急　銀のフレーズ　　TEX 加藤著　朝日新聞出版
（教科書は必要です　必ず持参してください）

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　60%
単語テスト　20%　授業参加度　20%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

TOEICテスト受験を考えている学生を対象とする
教科書は必要です　必ず持参してください
課題については次の授業で解説を行います

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
サービス接遇検定2級対策講座	LP60202	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
中村　則子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

サービス接遇とは、お客様(利用者)に満足を与えるための行動である。この授業では、サービス業に限らず、どのビジネスの場でも必要となる「ものの具体的な考え方・行動の仕方・口の利き方(話し方・言葉遣い・物の言い方)」などが理解できるようになることを目標とする。

サービス接遇検定の試験範囲「サービススタッフの資質」「専門知識」「一般知識」「対人技能」「実務技能」の5つの領域について、2級レベルの知識を習得し、サービス接遇検定2級合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

・サービス接遇検定2級に合格する知識を身につけることができる。
・サービス接遇実務について理解でき、一般的なサービス業やビジネスの場で必要な知識、技能を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:サービスとは何か？　サービス接遇検定について サービス接遇検定の問題を解いてみよう	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービス接遇検定の問題を解き、次回提出する。
2:サービススタッフの資質① 必要とされる要件、身だしなみ	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフとしての身だしなみを整える。
3:サービススタッフの資質② 良識ある素直な態度、協調性と忍耐力	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフの資質に関する問題を解く。
4:専門知識① サービスの意義、機能、種類の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 サービススタッフから受けた対応(良い点・悪い点)を書きだす。
5:専門知識② 商業・経済活動と用語の理解	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 専門知識に関する問題を解く。
6:一般知識① 社会常識を身につける	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 ことわざや慣用句を調べる。
7:一般知識② 時事問題に敏感になる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 一般知識に関する問題を解く。
8:対人技能① 話し方、服装	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 敬語に関する問題を解く。
9:対人技能② 人間関係、接遇の知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 対人技能に関する問題を解く。
10:実務技能① 環境整備、グループワーク:問題に対処する力についての考えをまとめる	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の環境整備を考える。
11:実務技能② 金品管理、金品搬送	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 さまざまな現場の金品の扱い方を観察して、対応をまとめる。
12:実務技能③ 社交業務、慶弔の知識	実務技能に関する問題を解く。
13:検定実問題① 過去に出題された問題を解く	実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
14:検定実問題② 過去問題から出題傾向を見極める	実問題集を解き、自己添削し、傾向と対策を立てる。
15:まとめ 過去の問題研究より検定受験の対策を立てる	演習問題から不得意な項目を抽出し、検定試験対策を作る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページと演習問題は、その都度確認する。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 教科書:1回で受かる　サービス接遇検定準1級・2級・3級テキスト＆問題集　￥1，540
2. 教科書:サービス接遇検定実問題集　1．2級　早稲田教育出版　￥1，870
3. 教員作成のプリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験結果(50%)　2. 提出物(35%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 6月のサービス接遇検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指す。 2. すでにサービス接遇検定2級を取得した人は、履修できない。
3. 検定日程・授業方法等を説明するので、秘書検定に関する資格・検定説明会に必ず出席すること。
4. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
5. 人数を制限することがある。　6. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
社会人ホスピタリティ検定対策講座	LP60203	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

社会人ホスピタリティ検定試験は、社会の一員として、日常生活やビジネスの現場で発揮できる“あなたのホスピタリティ度”を測る試験です。
いま、多くの企業や組織で、相手の立場に立ち、心から相手のことを考えて行動するホスピタリティ・マインドをCS(顧客満足)・ES(従業員満足)の向上に役立てようとする取り組みがなされ、注目されています。本授業では、自己分析により自分を見つめ直し、人や組織を発展させるためのコミュニケーションスキルを学ぶことで、自己成長のみならず、あらゆる人財の育成や組織の発展に結びつける考え方を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・社会人ホスピタリティ検定【実践】に合格する知識を修得し、ホスピタリティを実践できる
・相手が求めていることを感じ取り、表現できる
・日常生活においてホスピタリティマインドを発揮できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 社会人ホスピタリティ検定について グループワーク　心に残る「おもてなし」	これまでに心に残った「おもてなし」について自分なりにまとめる
2: ホスピタリティとは ホスピタリティの基本、成り立ち、効果	テキスト第1章の確認問題を解く
3: これからの社会とホスピタリティ グループワーク:さまざまな相手に対するホスピタリティ	テキスト第2章の確認問題を解く
4: 自分自身の感情を知る	EQ自己チェックテシートに解答する
5: 自分と相手を知るための交流分析	エゴグラム自己チェックシートに解答する
6: ホスピタリティ・マインドの育て方 心に余裕をもつ、観察力・想像力を鍛える	テキスト第3章の確認問題を解く
7: ホスピタリティ・マナーの基本(身だしなみ、表情、声、言葉づかい、挨拶) ロールプレイを通じてホスピタリティ・マナーを実体験	テキスト第4章の確認問題を解く
8: コミュニケーション(リスニング・トーキングスキル、さまざまなコミュニケーション) ロールプレイを通じてコミュニケーション力を高める	テキスト第5章の確認問題を解く
9: 働き方とホスピタリティ 働き方改革、タイム・マネジメント、職場のメンタルヘルス	「働き方改革」の事例を調べてくる
10: チーム活動とホスピタリティ ワークを通じてファシリテーション・スキルを身につける	ワークの課題について調べてくる
11: 育成・指導とホスピタリティ、報告・連絡・相談	テキスト第6章の確認問題を解く
12: お客様対応、クレーム対応、環境づくり	テキスト第6章の確認問題を解く
13: テキスト第1・2章のまとめ(試験対策)	第1章・2章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す
14: テキスト第3・4章のまとめ(試験対策)	第3章・4章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す
15: テキスト第5・6章のまとめ(試験対策)	第5章・6章の講義内容でわからないこと、不得意なことを書き出す そして自分なりに検定試験の対策を練る

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
受講生は必ず、指定教科書の該当箇所を読んでから本講座に参加してください。
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『新版　社会人ホスピタリティ　要点チェック＆確認問題』 日本ホスピタリティ検定協会　経済法令研究会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%　課題(提出物)30%　学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word検定対策講座A	LP60204	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	資格・検定支援科目		
伊藤　るり		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本情報処理検定協会主催のワープロ検定(準2級～初段)の合格のために級別の指導を行います。
・実技のみの検定ですので上級に合格することも可能です。
・授業は検定指導が主な内容になりますが、余裕がある場合は実務で役に立つ色々な形式のword文書の作成を行います。

Ⅲ. 学習成果

・ワープロ検定に合格することができます。
・毎回、タイピング／入力練習を行いますので正確で速いキーボード入力のスキルを身につけることができます。
・より高度なWordの機能を学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:タイピング練習・検定内容の説明	タイピング練習を行い(2回以上)　記録表に記録する
2:タイピング練習・検定問題(レイアウト練習) 入力練習①	入力課題①→印刷して提出
3:タイピング練習・検定問題(表作成の方法) 入力練習②	入力課題②→印刷して提出
4:タイピング練習・検定問題(きりとり線と申込書) 入力練習③	入力課題③→印刷して提出
5:タイピング練習・検定問題(地図の作成) 入力練習④	入力課題④→印刷して提出
6:タイピング練習・作成したビジネス文書をグループ内でお互いに採点し評価する 入力練習⑤	入力課題⑤→印刷して提出
7:タイピング練習・受験級の決定 入力練習⑥	入力課題⑥→印刷して提出
8:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑦→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
9:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑧→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
10:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑨→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
11:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	入力課題⑩→級別　(自分で10分計時)印刷して提出
12:模擬試験:検定当日と同じ流れで練習する	作成課題①→級別　(自分で20分計時)印刷して提出
13:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)	作成課題②→級別　(自分で20分計時)印刷して提出
14:期末試験内容の説明	説明を受けた期末試験内容の復習
15:タイピング練習・級別練習(入力・文書作成)→不得意科目を集中練習 課題集の作成	課題集は提出期限までに提出する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
課題は提出日の授業開始前までに提出してください。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成の資料を毎回配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)50%　課題提出　50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

検定合格のためには授業中の練習だけではなく授業時間以外の個人練習が必要となります。
提出した課題はチェック・採点後、返却します。(返却された課題は15回目の授業まで保管しておいてください。)
課題の提出・未提出は個人情報に配慮しつつ毎回表示しますので確認してください。(Google　classroomで提示する場合もあります。)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
秘書検定2級対策講座	LP60205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は秘書検定2級に合格するための検定対策講座です。秘書としての心構えや役割、要求される資質・能力について学びます。その後、秘書に必要な知識や社会常識について授業を進めていきます。学習することで、社会人として必要なマナー、常識を身につけ、適切な人間関係を保つ能力の育成を目的としています。
秘書検定2級の内容を学習し、受験、合格することで自信をもち、自己研鑽する意欲をもつことができます。

Ⅲ. 学習成果

1.秘書の役割や必要とされる資質について説明することができる。
2.社会人として必要なマナーや一般知識を身につけることができる。
3.秘書検定2級合格に求められている知識や技能を修得することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 授業の進め方・評価方法説明／秘書とは、秘書検定について	シラバスの内容を事前に確認しておく。 秘書検定の過去問題①を解き、次回提出する。
2:秘書に必要とされる資質 秘書の心構え、秘書に必要な能力	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
3:秘書としての職務知識 秘書の機能と役割、秘書の職務、仕事の進め方	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
4:秘書に必要な知識　一般知識① ビジネス用語の知識	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
5:秘書に必要な知識 一般知識② カタカナ用語・略語	秘書検定の過去問題②を解き、提出する。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
6:マナー接遇①　人間関係と話し方・聞き方　◆小テスト実施 職場での人間関係、話し方と聞き方、報告の仕方	小テスト(一般知識)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
7:マナー接遇②　敬語・接遇用語　〈記述問題対策〉 尊敬語・謙譲語・丁寧語、接遇用語	敬語の問題を解いて、不明な点を整理しておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
8:マナー接遇③　電話応対・来客応対 電話応対・来客応対の基本と取り次ぎ　／　ペアワークで課題に取り組む	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 応対について流れとポイントを復習する。
9:マナー接遇④　交際業務 〈記述問題対策〉 慶事・弔事、贈答のマナー　／　グループワークで課題に取り組み、発表する	慶事・弔事についてわからない用語を書きだしておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
10:技能①　会議、スケジュール管理　◆小テスト実施 会議の知識、スケジュール管理、出張の手配	小テスト(交際業務について)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
11:技能②　ビジネス文書の作成1 〈記述問題対策〉 社内文書、社外文書の種類と形式／社外文書の慣用語句	ビジネス文書を作成する。 秘書検定の過去問題③を解き、間違った問題を復習する。
12:技能③　ビジネス文書の作成2 〈記述問題対策〉 電子メール、伝言メモ、グラフの種類と作成	グラフの課題問題を解いておく。 秘書検定の過去問題④を解き、間違った問題を復習する。
13:技能④ 文書の取り扱い　◆小テスト実施 〈記述問題対策〉 文書の受発信、秘文書の取り扱い、郵便の知識	小テスト(伝言メモ・グラフ問題)に向けて準備する。 秘書検定の過去問題⑤を解き、間違った問題を復習する。
14:技能⑤ 文書・資料管理、環境整備 ファイリング、名刺の整理、カタログ整理	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 秘書検定の過去問題⑥を解き、間違った問題を復習する。
15:まとめ　模擬試験	第1回から第14回授業までのポイントを確認し、模擬試験に向け準備する。 模擬試験の結果を確認し、間違った問題を復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してくること。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。 ・小テストを実施する際には、授業の終了時に範囲を伝えるので、復習をして小テストで8割は取るように学習してください。 単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.改訂2版　出る順問題集　秘書検定2級に面白いほど受かる本 佐藤一明　著 株式会社KADOKAWA　1,540 円
　　2.秘書検定2級実問題集2025年度版　公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,760円
参考書:秘書検定2級集中講義 改訂新版 公益財団法人実務技能検定協会　早稲田教育出版
　　秘書検定2級パーフェクトマスター改訂版 公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　50%　　・小テスト30%　　・授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、提出物)　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 2月の秘書検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指します。
2. 秘書検定2級を取得済みの人は、履修できません。 3. 授業は講義・ポイント説明→問題演習の順序で進めます。
4. テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。 5. 小テストや提出物は、次回の授業で返却します。
6. 検定問題は何度も繰り返し解くことで、知識を定着させることができます。間違った問題は繰り返し解いて、不得意分野をなくすよう取り組んでください。
7. 授業時の私語、居眠り、スマートフォン等の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
TOEIC検定対策講座B	LP60206	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	資格・検定支援科目		
挽田　雅子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす
TOEIC頻出の文法事項を理解する

Ⅲ. 学習成果

TOEIC試験で目標スコアを獲得する
英語学習の方法を身につける
コミュニケーションで必要とされる英語能力を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: TOEIC試験についての説明 短文穴埋め問題:「意味」だけでなく「形」に注目(L6)	必須語彙を覚える 動詞について復習する
2: 短文穴埋め問題:正しい時制を見抜く(L8) 長文穴埋め問題:時制	必須語彙を覚える 時制について復習する
3: 応答問題:5W&How(L1) 写真描写問題:be動詞の直後を聞きとる(L2)	必須語彙を覚える 写真描写問題を復習する
4: 写真描写問題:写真と矛盾した要素を聞きとる(L3) 応答問題:「許可」「依頼」「提案」「申し出」(L4)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
5: 応答問題:「よくある」応答を押さえる(L5) 写真描写問題:「動作」と「状態」の違い(L7)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
6: 短文穴埋め問題:品詞(L9) 名詞、動詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
7: 短文穴埋め問題:品詞(L9) 形容詞、副詞	必須語彙を覚える 品詞ついて復習する
8: 短文穴埋め問題:動詞の変化形(L10) to do / doing / -ed	必須語彙を覚える 動詞の変化形について復習する
9: 会話問題,説明文問題(L12,L13,L14) グループワーク(ロールプレイ)、シャドーイング	必須語彙を覚える 会話問題・説明文問題を復習する
10: 短文穴埋め問題:代名詞(L17) 長文穴埋め問題:代名詞	必須語彙を覚える 代名詞について復習する
11: 短文穴埋め問題:形容詞節(L18) 長文穴埋め問題:形容詞節	必須語彙を覚える 形容詞節について復習する
12: 長文穴埋め問題:文章の展開パターン(L24)	必須語彙を覚える 長文穴埋め問題を復習する
13: 短文穴埋め問題:接続詞(L20) 長文穴埋め問題:接続詞	必須語彙を覚える 接続詞について復習する
14: 短文穴埋め問題:相関語句(L19) 長文穴埋め問題:相関語句	必須語彙を覚える 相関語句について復習する
15: 読解問題(L21) Scanningを身につけよう	必須語彙の確認 まとめと復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単語集の語彙を完全に覚えるまで繰り返し勉強する
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:はじめてのTOEIC　L&Rテスト　きほんのきほん　石井洋祐/カール・ロズボルド/マイケル・マクドウェル著　スリーエーネットワーク
教科書:TOEIC L&R TEST 出る単特急　銀のフレーズ　TEX 加藤 著　朝日新聞出版
(教科書は必要です　必ず持参してください)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　60%
単語テスト　20%　授業参加度　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

TOEIC受験を考えている学生を対象とする
教科書は必要です　必ず持参してください
課題については次の授業で解説を行います

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Word検定対策講座B	LP60207	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Microsoft Word は世界で最も普及している文書作成ソフトであり、短大生や社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
この科目では、必修科目である情報リテラシーで学んだ Word の基本操作を復習しながら、より高度な文書作成機能について学びます。
そして、国際資格の一種である Microsoft Office Specialist Word(以下、MOS Word)に対応できる実力を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

・ MOS Word の出題範囲にある文書作成機能の操作方法を身に付けることができる。
・ MOS Word Expert の出題範囲にある文書作成機能の操作方法を身に付けることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文書の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲1 確認問題
2: 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲2 確認問題
3: 表やリストの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲3 確認問題
4: 参考資料の作成と管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲4 確認問題
5: グラフィック要素の挿入と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲5 確認問題
6: 文書の共同作業の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲6 確認問題
7: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Word の基本機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第1回模擬試験
8: 第1回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第2回模擬試験
9: 第2回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第3回模擬試験
10: 第3回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第4回模擬試験
11: 第4回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第5回模擬試験
12: 文書のオプションと設定の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
13: 高度な編集機能や書式設定機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
14: ユーザー設定のドキュメント要素の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
15: 高度なWord機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかるマスター MOS Word 365対策テキスト&問題集」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310 円
参考図書:「よくわかる Microsoft Word 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　60%　　課題提出　40%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・ Microsoft Office Specialist Word の一般レベルまたは上級レベルの未取得者は、受験することを単位取得の条件とします。
・ この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・ 制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。
・ 留学生がMOS Wordに合格するためには、かなりの日本語の読解力が必要となります。履修登録の前に、担当者に必ず相談してください。

検資定支格援・

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Excel検定対策講座	LP60208	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Microsoft Excel は世界で最も普及している表計算ソフトであり、短大生や社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
この科目では、必修科目である情報リテラシーで学んだ Excel の基本操作を復習しながら、より高度な表計算機能について学びます。
そして、国際資格の一種である Microsoft Office Specialist Excel(以下、MOS Excel)に対応できる実力を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

・MOS Excel の出題範囲にある表計算機能の操作方法を身に付けることができる。
・MOS Excel Expert の出題範囲にある表計算機能の操作方法を身に付けることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ワークシートやブックの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲1 確認問題
2: セルやセル範囲のデータの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲2 確認問題
3: テーブルとテーブルのデータの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲3 確認問題
4: 数式や関数を使用した演算の実行	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲4 確認問題
5: グラフの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲5 確認問題
6: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Excel の基本機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第1回模擬試験
7: 第1回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第2回模擬試験
8: 第2回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第3回模擬試験
9: 第3回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第4回模擬試験
10: 第4回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第5回模擬試験
11: 第5回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
12: ブックのオプションと設定の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
13: データの管理と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
14: 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
15: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかるマスター MOS Excel 365対策テキスト&問題集」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310 円
参考図書:「よくわかる Microsoft Excel 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　60%　　課題提出　40%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Microsoft Office Specialist Excel の一般レベルまたは上級レベルの未取得者は、受験することを単位取得の条件とします。
・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。
・留学生がMOS Excelに合格するためには、かなりの日本語の読解力が必要となります。履修登録の前に、担当者に必ず相談してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
Excel検定対策講座	LP60208	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。
この科目では、その復習を含め、より高度なレベルのExcel全般をマスターし、種々の検定試験の合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

MOS(Microsoft Excel Specialist)に合格できるスキルを身に付けることができます。
また、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級のレベルをマスターし、2級レベルの技能も、一通り学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: MOS対策:基本関数と絶対参照、統計関数	Le61～Le70までの予習 授業で習った関数の復習
2: MOS対策:論理関数、文字列関数	Le71～Le76までの予習 授業で習った関数の復習
3: MOS対策:出題範囲1～3	Le1～L59までの予習 出題範囲1～3の問題の復習
4: MOS対策:出題範囲4～5	L61～L89までの予習 出題範囲4～5の問題の復習
5: MOS対策:模擬問題1(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
6: MOS対策:模擬問題2(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
7: MOS対策:模擬問題3(本番モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
8: Excel検定3級・2級対策(関数:ROUND、VLOOKUP、RANK、CHOOSE、DSUM、DATE、TODAY、NOW等)	Excel検定で出題される関数の復習
9: Excel検定3級・2級対策(ユーザー定義、ドーナツグラフ、複合グラフ等)	ユーザー定義、ドーナツグラフ、複合グラフなど、発展的問題の復習
10: Excel検定2級対策(マクロ、入力規則)	マクロ、入力規則など、発展的問題の復習
11: Excel検定2級対策(ピボットテーブル、ゴールシーク、データの統合等)	ピボットテーブル、ゴールシークなど、発展的問題の復習
12: Excel検定3級練習問題	3級練習問題の復習
13: Excel検定2級練習問題(実技問題1～3)	2級練習問題の復習
14: Excel検定2級練習問題(実技問題4～5・知識問題)	2級練習問題の復習
15: 【プレゼンテーション】グループ内で、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
十分できなかった問題は、各自で、再度復習する。1時間前後で、復習できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.教科書:FOM出版　Excel 365対策テキスト&問題集　¥2,310(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:40%　単位認定試験(実技):60%
居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
MOS(Microsoft Excel Specialist)、または、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級または2級を受験することを、単位取得の条件とする。
検定合格には、授業中の練習だけではなく、授業時間以外での個人練習も必要となります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生入門	LP61201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2018年度にライフプランニング総合学科内で活動する学生組織として「Koran Girls」を立ち上げた。設立の主な目的は、学内外で企画されたプログラムへ参加し、それぞれの課題をクリアすることにあるが、真の目的は、社会で通用する学生の育成にある。また、2025年度より、PBL Maxという企画をスタートさせ、Koran Girlsの活動の幹として、大きく育成していきたい。そこで、この地域創生入門では、地域で活躍する人材の基礎スキルを高め、夏休み以降本格的に始まるPBL Maxを含めた活動へと参加するための橋渡しを行う予定である。

Ⅲ. 学習成果

①マインドセット(「Koran Girls」のクレドの理解等)の重要性を理解し、自らの行動指針となるように訓練を行う。
②PDCAサイクルを回した経験値を増やし、様々なプロジェクトへ参加する。
③ビジネスマナー(名刺の作成、アポ入れ、メール文の書き方等)について実践を通して学ぶ。
④各地域で活躍するために必要な情報収集の仕方を学び、リーダー及びフォロワーの役割について理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Koran Girlsのクレドの説明と今後の予定の確認 ※PBL Maxを含めた各種プログラムの紹介	予習:　説明会資料を読み返しておくこと。 復習:　行動日誌の記入
2: ファシリテーションについて①	予習:　事前配布資料を読んでおくこと。 復習:　行動日誌の記入
3: ファシリテーションについて②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
4: チーム分け並びに今後のスケジュールの確認 グループワークを含む	予習:　希望するプログラムをある程度絞っておくこと。 復習:　行動日誌の記入
5: 各グループ内での活動内容の検討①	予習:　名刺の作成とビジネスマナー関連資料を読んでおくこと 復習:　行動日誌の記入
6: 各グループ内での活動内容の検討②	予習:　前回配布資料の確認 復習:　行動日誌の記入
7: プレゼンテーションについて①	予習:　グループ内での検討内容をまとめておく。 復習:　行動日誌の記入
8: プレゼンテーションについて② プレゼンテーションの実施を含む	予習:　プレゼンの再チャレンジ/レポートの書き方の解説 復習:　振り返りレポートの作成・提出
9:	

※第4回以降は、プログラムの都合により変更の可能性がある。変更の際は、その都度学生へ連絡する。

10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、担当者へ提出する。次回の授業の際に「行動日誌」を返却する。②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:ゼロから学べる！ファシリテーション超技術　園部浩司著　かんき出版
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「Koran Girls」へ入りたい学生のみである。
②2025年度は、20名を上限として募集する。定員を超えた場合は後日選抜を行う。選抜方法については後日お知らせする。
③3期からはじまる「地域創生演習」並びに5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。
⑤自分の人生を変えたい、新しい考え方を身に着けたい、一生の友人を見つけたい、と思われる方、ぜひ一緒に活動しましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生入門	LP61201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業と3期から始まる「地域創生演習」では、「学生対抗九州観光ビジネスプランコンテスト2025」において、入賞を目指します。本コンテストは大学・大学院・短期大学・専門学校に在籍する学生を対象に、国内や海外から九州へのリピーター拡大を目指し、九州の地域資源を生かしつつ、何度も足を運びたくなるような誘客に繋がるビジネスプランを募集するものです。コンテスト入賞が真の目的ではなく、地域や企業の方と関わり、社会人基礎力を身につけ、就職活動を優位に進めること、またクリエイティブなデザイン思考を身につけ、自身のキャリアを磨くことが重要であると考えています。

Ⅲ. 学習成果

・クリエイティブな問題解決を図るデザイン思考を利用し、プロジェクトを進めていくことができる。
・社会人基礎力を身につけ、就職活動や将来のキャリアデザインに活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス(デザイン思考について) 学生対抗九州観光ビジネスプランコンテストの概要説明	振り返りシートを記入する 自分を表現するコラージュを制作する
2: プロジェクト・メンバーの紹介(自己PR)、プロジェクトチームを決める グループワーク:レゴ®シリアスプレイ®でチームビルディング	振り返りシートを記入する プロジェクトの対象地域を選択し、地域の情報を調べておく
3: デザイン思考のプロセス① グループワーク:プロジェクトの対象地域を決める	振り返りシートを記入する プロジェクトの対象地域を選択し、地域の情報を調べておく
4: デザイン思考のプロセス② グループワーク:地域の問題を見つけるための情報を集める	振り返りシートを記入する 地域の問題を調べる
5: デザイン思考のプロセス③ グループワーク:集めた情報をまとめる	振り返りシートを記入する 解決方法をまとめる
6: デザイン思考のプロセス④ グループワーク:ブレインストーミングを通じて問題の解決方法を探す	振り返りシートを記入する 自分なりにビジネスプランを考えておく
7: デザイン思考のプロセス⑤ グループワーク:コンテストのビジネスプランを考える	振り返りシートを記入する 発表準備
8: 九州観光ビジネスプランの発表(アイデアプロトタイプ) 夏季休暇中のフィールドワークの計画を立てる	振り返りシートを記入する 夏期休暇中のフィールドワークの準備

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容についてはその都度説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回提出する振り返りシート　50%　グループワークの貢献度　30%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①受講者は16名を上限とします。定員を超えた場合は選抜を行います。グループワークで話し合いが多い為、留学生はN1以上が必須となります。
②本授業では、ビジネスプランの立案まで行います。その後、夏期休暇中に対象地域を訪問し、フィールドワークを実施します。フィールドワークは地域チャレンジの一環として行う予定で旅費などは実費となります。
③社会人基礎力を身につける授業内容となっているため、就職活動やキャリア形成に必ず役立ちます。
④3期から始まる「地域創生演習」は、本授業の受講生のみ受講ができます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生入門	LP61201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学は地域に貢献できる人材の育成に力を入れている。インターシップに参加することで企業や病院の取り組みを知り、また自分の興味がある職種も考える機会となる。本講義の進め方として、まず自分の興味のある企業・病院を調べてまとめる。次に夏季に参加するインターンシップに向けて、インターシップで必要な知識やマナーについて体験的に学習し、地域に貢献できる社会人として必要な基礎的知識の修得を目指す。

Ⅲ. 学習成果

1.企業・病院研究の方法を理解し、情報収集することができる。
2.インターシップの目的の理解、目標の設定をし、それに基づいてインターシップに向けて必要な準備を計画立てて行うことができる。
3.社会人に必要なマナーを修得し、実践することで、就職活動や地域活動に活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション　　授業の進め方・評価方法 インターシップとは、学生に求められるもの、自分自身の社会性について考える（ペアワーク、グループワーク	シラバスを確認する、テキストP6～P7を読んで、ワーク1を記入する インターシップに向けて、スケジュールを作成しておく
2: 企業・病院研究①　業種や職種を調べよう 企業研究とは、情報収集の仕方について	テキストP18～P20を読んで、P20ワーク1について調べて記入する ワーク2について調べて記入する
3: 企業・病院研究② 自分の興味のある企業・病院、インターシップ予定先について情報収集する	テキストP20～P21を読んで、興味のある企業などについてホームページを確認する 興味ある企業やインターシップ先について情報収集をし、資料にまとめる
4: インターシップに向けて① ビジネスマナー(挨拶・立ち居振る舞い)と身だしなみ、社会人としての言葉遣い	事前に提示されたマナーの動画を見ておく 言葉遣いのプリントの空欄に適切な敬語を記入する
5: インターシップに向けて② ビジネスマナー(メール・電話、お礼状作成)	事前に提示された電話応対の動画を見ておく 電話応対のプリントの空欄に適切な言葉遣いを記入する
6: インターシップに向けて③ インターシップの心構え、事前事後に必要なこと、事例から学ぶ	テキストP57～P64を一読して、P59のインターシップの目的と目標を記入する 事例から学んだことについて感想を記入する
7: インターシップのマナー④　実習日誌・報告書の書き方 企業・病院研究③　発表に向けて　スライド作成	発表に向けて、スライドの作成を行う 発表に向けて、スライド・発表原稿の作成を行う
8: 企業・病院研究④　発表(グループワーク)	発表に向けてスライド・発表原稿を完成させる インターシップに向けて、テキスト・プリントを使い、必要なポイントを整理する
シラバスについては、変更があった場合、授業1回目に提示する	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
企業・病院研究やスライド・レポート作成は授業時間外での課題作成を必要とします。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書
1.「新編　ワークで学ぶインターシップ・リテラシー」 長谷川文代[編著] 990円(税込)　2.配布プリント
参考書
「完全版 インターンシップの教科書: 自分のチカラを見つけたい、試したい、伸ばしたい」 松高　政　著(ナカニシヤ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.ワークシート作成・提出　30%　2.プレゼンテーション作成・発表　50%　　3.学習の意欲(積極性、グループワークの貢献度など) 20%
グループ・ワークへの積極的な参加をお願いします。 授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
3.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。
担当教員は専門学校・短期大学で就職支援を22年しており、国家資格キャリアコンサルタント・国家資格2級キャリアコンサルト、産業カウンセラーの資格を取得しています。
「地域創生入門」に続く科目として3・4期「地域創生演習」があります。本教員担当の地域創生演習は病院ボランティア・実習や病院研究を通しての地域への働きかけなど医療分野の就職を希望する方向けの内容です。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生入門	LP61201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2025年度より横断的に芸術およびデザインに関連する制作および研究を行う組織「Art & Design 研究室」の運用を開始する. 本科目は, 前述の組織に所属する学生が対外的な芸術・デザイン活動を行うために基礎的なCG制作技術を学ぶ位置づけの授業である. 主として3DCGモデリング技術の習得を目指して, ポリゴンモデリング, マテリアル, テクスチャマッピング, ライティング, レンダリングなどの技術を学ぶ. 最終的にこれまで学んだ技術を活かして課題を制作する.

Ⅲ. 学習成果

・基礎的なCGモデリングの技術を習得して, 様々なオブジェクトを簡易的に造形できる
・基礎的なCGの知識を習得し, その知識を説明できる
・Photoshopなどの2DCGソフトウェアを応用しながら, CGの素材感に付加価値をつけることができる
・デザインに関するデジタルスキルの修得を通して, 適切な形式でファイルを作成することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション ガイダンス・3DCG の概要, Maya のインターフェース	Mayaの基本操作の再確認, 2年間の目標設定
2:ポリゴンモデリング① 基本形状の作成・編集	Mayaの基本操作の再確認をしておくこと.
3:ポリゴンモデリング② 押し出しと頂点移動	授業時間外で課題制作をしておくこと.
4:キャラクターモデリング イメージプレーン、インスタンス	授業時間外で造形を完成させること.
5:テクスチャマッピング 平面マップ, uv座標, Photoshopによる画像編集	テクスチャの設定方法に関する課題をすること.
6:ライティングとレンダリング ナーブスモデリング　Arnoldレンダラー	次の授業までに最終課題のテーマ設定をしておくこと.
7:最終課題作成 空間の作成	時間外で最終課題を制作すること.
8:発表と講評 発表と講評	授業前までに最終課題を提出しておくこと.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
学習内容の理解を深めるために、個別に60分以上の時間をかけて予習・復習を行うこと.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考書:入門CGデザイン-CG制作の基礎-[改訂新版](ISBN: 978-4-903474-47-2)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回における課題:60%(課題の提出状況, 提出内容を評価)
最終課題:30%(CG制作技術, 適切な提出ができているか, 表現力を総合的に評価)
授業姿勢・態度:10%(発言量や授業中の取り組み状況を評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・本講座の受講は「Art & Design 研究室」に入りたい学生のみである
・2025年度は10名を上限として募集する. 定員を超えた場合は担当者側で選抜を行う.
・授業時間外においても活動してもらうため, その点を留意しておくこと.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生演習	LP61202	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2期よりはじまった「地域創生入門」の内容を踏まえて、各グループで参加するプログラムの確認や、全体で行うプログラムについて検討する。
本講座では、チームビルディング、リーダーシップ、フォロワーシップの育成を主眼とし、学内外の方々と共に各プログラムを実施し、再度「行動日誌」及び「振り返りレポート」を作成しながら、成長実感できる内容を目指す。PDCAサイクルを回すことを複数回経験することで、どんな地域でも活躍する人材の基礎を作る。また、2026年度実施予定のPBL Maxの企画立案・予算申請書の作成も行う。

Ⅲ. 学習成果

①チームビルディングについて学び、スケジュール管理の手法や予算管理などについて学習する。
②リーダーシップについて全体で検討し、全体とグループで動く際の違いや同じ部分を理解する。
③フォロワーシップの重要性を共有し、一人一人が自らの特徴を活かした活動を行う。
④地域創生入門で学んだ内容を復習し、体得する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション(夏季休暇中の報告・発表等)	予習: 夏季休暇中の活動をまとめておく 復習: 今後の計画を作成する
2: チームビルディングについて① ※以後全て、グループワークを含む	予習: 事前配布資料の確認 復習: 行動日誌の記入
3: チームビルディングについて② ※以後毎回、PBL Maxの企画立案・予算書作成等を行う。	予習: 前回配布資料の確認 復習: 行動日誌の記入
4: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
5: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
6: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
7: 発表	予習: 発表資料の準備 復習: 「振り返りレポート」の作成
8: リーダーシップとフォロワーシップについて①	予習: 事前配布資料の確認 復習: 行動日誌の記入
9: リーダーシップとフォロワーシップについて②	予習: 前回配布資料の確認 復習: 行動日誌の記入
10: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
11: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
12: 各グループ内での活動内容の検討	予習: 各プログラムのスケジュール管理の実施 復習: 行動日誌の記入
13: 振り返りレポートの作成①	予習: これまでの内容の確認、情報整理 復習: 行動日誌の記入
14: 振り返りレポートの作成②	予習: これまでの内容の確認、情報整理 復習: 行動日誌の記入
15: まとめ　プレゼンテーション	予習: プレゼンテーション資料の作成 復習: 「振り返りレポート」の作成

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
①授業開始後、「行動日誌」を毎日つけ、授業の前日に担当者へ提出する。翌日の授業の際に「行動日誌」を返却する。②「行動日誌」を元に、「振り返りレポート」を書き、提出する。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。プログラムの都合で上記は変更となることがあります。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:ゼロから学べる！ファシリテーション超技術　園部浩司著　かんき出版
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「地域創生入門」を受講した学生のみである。
②2025年度は、20名を上限として募集する。前期の間に欠員が出たときのみ追加募集を行うこともある。
③5期からはじまる「地域創生論」は、本講座の受講生のみ受講できる。追加募集はない。
④授業期間外にも活動を行う予定であるので、参加が可能な学生に受講してもらいたい。
⑤第4回以降は、プログラムの都合により変更の可能性がある。変更の際は、その都度学生へ連絡する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生演習	LP61202	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2期に開講した「地域創生入門」の内容と夏季休暇中のフィールドワークを踏まえて、「学生対抗九州観光ビジネスプランコンテスト2025」のおいて入賞を目指します。本授業では、ビジネスプランの事業計画書と発表資料(パワーポイント)を作成し、コンテスト参加の準備を進めていきます。入賞を目指すなかで社会人基礎力を更に高め、自身が希望する就職先に100%就職ができるように支援をしていきます。この取り組みが学生時代に頑張ったこととして、自己PRができるようにサポートをします。また2期と同様、クリエイティブなデザイン思考を身につけていきます。

Ⅲ. 学習成果

・クリエイティブな問題解決を図るデザイン思考を利用し、プロジェクトを進めていくことができる。
・事業計画書やプレゼンテーション資料を作成することができる。
・社会人基礎力を身につけ、就職活動や将来のキャリアデザインに活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 学生対抗九州観光ビジネスプランコンテストの事業計画書について	振り返りシートを記入する これまでのコンテストの事業計画書を参考に自分なりに内容を考える
2: 夏季休暇中のフィールドワークの報告と発表	振り返りシートを記入する これまでのコンテストの事業計画書を参考に自分なりに内容を考える
3: グループワーク:事業計画書の作成①	振り返りシートを記入する 事業計画書の自身の担当箇所を調べる
4: グループワーク:事業計画書の作成②	振り返りシートを記入する 事業計画書の自身の担当箇所を調べる
5: グループワーク:事業計画書の提出	振り返りシートを記入する パワーポイントを作成する際のポイントを調べる
6: グループワーク:発表資料(パワーポイント)の作成①	振り返りシートを記入する 発表資料の自身の担当箇所について調べる
7: グループワーク:発表資料(パワーポイント)の作成②	振り返りシートを記入する 発表資料の自身の担当箇所について調べる
8: グループワーク:発表資料(パワーポイント)の作成③	振り返りシートを記入する 発表のシナリオを考える
9: コンテストの発表準備①	振り返りシートを記入する プレゼンの原稿を作成する
10: コンテストの発表準備②	振り返りシートを記入する プレゼンの原稿を作成する
11: コンテストの発表準備③	振り返りシートを記入する 原稿をまとめる
12: コンテストの振り返り	振り返りシートを記入する 実行計画を自分なりに考える
13: グループワーク:プロジェクトの実行計画を立てる①	振り返りシートを記入する 実行計画を自分なりに考える
14: グループワーク:プロジェクトの実行計画を立てる②	振り返りシートを記入する 実行計画をまとめる
15: 授業の振り返り	振り返りシートを記入する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

毎回グループワークがあるため、スムーズに話し合いや作業が進むよう、各自の準備を怠らないようにしてください。授業を欠席することが事前にわかっている場合はグループの人に引き継ぐ
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回提出する振り返りシート　50%　グループワークの貢献度　30%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本授業を受講できるのは、「地域創生入門」を受講した学生のみです。
②本授業では、学外での発表の機会があります。この発表に参加することができるよう調整をお願いします。
③社会人基礎力を身につける授業内容となっているため、就職活動やキャリア形成に必ず役立ちます。
④5期から始まる「地域創生論」は、本授業の受講生を優先しますが、他の学生も受講可とします。但し、「地域創生論」は本教員が担当する、7期から始まる「卒業研究」につなげていく内容とする予定ですので、「卒業研究」の受講も視野に入れた履修を考えてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生演習	LP61202	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は「地域創生入門」でのインターシップ体験を活用し、学びを深める。地域貢献活動や医療秘書実習を行い、学んだ知識やマナーを現場で活用することで実践力を養い、将来自分の地域での病院や薬局で働くための心構えや実務能力を養うことを目的とする。

実習については、実習を希望する学生は希望先へ自己開拓を行い、決定した際は教員が文書を作成し、正式に依頼する。

実習は必須ではなく、病院ボランティア、病院でのアルバイト、3・4期でのインターシップ職場体験等どの方法でも医療現場の経験ができれば可とします。

Ⅲ. 学習成果

1.夏季のインターシップでの経験での内容・学んだことを発表し、共有することで気づきを深め、自分の課題を理解することができる。
2.医療現場で実習や体験ができるように計画立てて準備することができる。
3.地域イベントや香蘭祭に向けてグループで協力して活動内容を決定し、実行することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション　授業の進め方、評価方法、スケジュール メンバー間交流(ペアワーク)、インターシップ実習総括レジュメ作成(グループワーク)	地域創生入門で使用したテキストP23　実習終了後を記載しておく 実習総括レジュメを完成させる
2: インターシップ実習内容・総括　発表／実習希望病院調査 (グループワーク)	インターシップ総括発表に向けて、スライド・資料を完成させる 希望実習先を第5希望まで調べて決定する
3: 地域貢献活動計画① 病院ボランティア、医療機関でのアルバイト、地域イベント・香蘭祭でのイベント計画	香蘭祭での地域の方へのプログラムを各自で考えておく 決定したプログラムについて自分の役割について確認しておく
4: 地域貢献活動計画② 病院ボランティア、医療機関でのアルバイト、地域イベント・香蘭祭でのイベント計画	参加内容について具体的な計画を立てる 実行できるよう行動スケジュールを計画表に記入する
5: 実習事前指導・地域貢献活動に向けて① 活動・実習の意義、目的、依頼の仕方、期間、内容について	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
6: 実習事前指導・地域貢献活動に向けて② 実習やボランティア、地域貢献活動・就職で必要なマナー	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
7: 実習事前指導・地域貢献活動に向けて③ これまでの活動の共有(グループワーク、個人　活動内容による)	活動内容について発表できるよう準備する 他者の発表から学んだ点をプリントに記入しておく
8: 医療事務系就職セミナー①　(グループワーク) 活動スケジュール、就職活動に必要な応募書類作成	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
9: 医療事務系就職セミナー② 活動スケジュール、就職活動に必要な応募書類作成	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
10: 実習指導・医療事務管理士対策・就職支援①　(グループワーク)	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
11: 実習指導・就職支援セミナー・医療事務管理士試験対策①	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
12:実習指導・就職支援セミナー・医療事務管理士試験対策①	授業で提示された課題を完成させる 授業で提示された課題を作成する
13:実習指導・就職支援セミナー・医療事務管理士試験対策①	課題プリントを記入して完成させる 授業で提示された課題を作成する
14:活動総括　発表資料作成　(グループワーク)	スライド・発表原稿を作成する スライド・発表原稿を完成させる
15:発表　(グループでの発表) ※シラバスは2025.1月末時点で作成のため、内容変更等あり　1回目に最新のシラバスを配布	スライド・発表原稿を完成させる 授業の振り返りレポートを作成し、提出する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

発表資料作成やその他資料作成、香蘭祭や地域支援活動に向けての準備など授業時間外でも必要となります。

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書

1.「医療事務実習テキスト体験型・業務補助型」　(株式会社ウィネット)　990円(税込)　2.実習ノート
3.(地域創生入門で使用したテキスト)「新編　ワークで学ぶインターシップ・リテラシー」 長谷川文代[編著] (西文社)
4.(医療事務授業使用テキスト) 医科　医療事務管理士技能検定試験　模擬問題集　(ソラスト)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.レポート作成　20%　2.発表　25%　3.病院でのボランティア・アルバイト・実習に向けての準備　20%　4.地域貢献活動(香蘭祭・他) 20%
5.授業への取り組み(積極性、貢献度、挨拶・返事、課題作成、ポートフォリオ)15%
実習に関しては、春休み中に計画をするため、実習の評価は2年次の「地域創生論」科目を選択した場合に評価点に反映します

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
3.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。

担当教員は専門学校・短期大学で就職支援を22年しており、国家資格キャリアコンサルタント・国家資格2級キャリアコンサルト、産業カウンセラーの資格を取得しています。
医療事務の実習指導に関しては、専門学校での指導12年、短期大学で7年行っています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域創生演習	LP61202	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
須藤　信		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は，Art & Design 研究室に所属する学生が基礎的な映像・アニメーション制作技術を学ぶための授業である．映像撮影・編集技術とCGアニメーション制作技術の習得を目指して，フレーミング，トランジション，ライティング，物理シミュレーション，リギングなどの制作技術を学ぶ．最終的にこれまで学んだ技術を活かして課題を制作する．本科目受講中もしくは受講後に，制作作品の対外的な展示・発表を各受講生に行ってもらう．展示・発表活動をとおして，地域の方々や学外での評価を確認する．

Ⅲ. 学習成果

・基礎的な映像撮影技術を習得して，適切な構図で撮影できる
・映像のトランジションを意識して，撮影・編集できる
・基礎的なCGアニメーション技術を習得して，実写映像と合成できる
・映像・アニメーションに関するデジタルスキルの修得を通して，適切な形式でファイルを作成することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション ガイダンス，室内におけるライティング	課題の作成が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
2:撮影技法 ブロッキングサイズ	課題の作成が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
3:条件に沿った映像作成 トランジション	課題の作成が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
4:映像の撮影技法① ストップモーションアニメーション	撮影が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
5:映像の撮影技法② ストップモーションの編集	編集が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
6:課題発表	次の授業までにMayaの復習をしておくこと.
7:CGアニメーション① 物理シミュレーション	授業で学んだ内容の操作復習をしておくこと.
8:CGアニメーション② nClothによる布の表現	授業で学んだ内容の操作復習をしておくこと.
9:CGアニメーション③ 人体アニメーション	授業で学んだ内容の操作復習をしておくこと
10:CG合成① CGと実写映像の合成技術(撮影)	撮影が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
11:CG合成② CGと実写映像の合成技術(編集)	編集が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
12:最終課題制作① 打ち合わせ	次の授業までに撮影内容を決定し，すぐに作業できるようにすること.
13:最終課題制作② 撮影	撮影が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
14:最終課題制作③ 編集	編集が完了しなかった場合は，課外時間にて作成すること.
15:発表と講評	15回までに最終課題の作成を完了すること.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
学習内容の理解を深めるために、個別に60分以上の時間をかけて予習・復習を行うこと.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考書:ディジタル映像表現-CGによるアニメーション制作-[改訂新版](ISBN: 978-4-903474-48-9)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回における課題:60%(課題の提出状況，提出内容を評価)
最終課題:30%(CG制作技術，適切な提出ができているか，表現力を総合的に評価)
授業姿勢・態度:10%(発言量や授業中の取り組み状況を評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・本講座の受講は「Art & Design 研究室」に所属する学生のみである.
・撮影機材は各自のスマートフォンを想定しているが，一眼レフカメラなどの機材を持参してもらっても良い.
・授業時間外においても活動してもらうため，その点を留意しておくこと.
・担当者はビデオカメラマン兼エディターの業務経験を有する.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
海外研修	LP62102	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学科で定めた国で研修を行う。そのための事前オリエンテーション、研修後のレポートなどもこの科目に含まれる研修項目である。

Ⅲ. 学習成果

1 異文化への理解が深まる。
2 外国語を含むコミュニケーションの能力が上がる。
3 比較文化の視点が得られる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
①訪問国 学科で協議し、決定する。 ②研修期間 別途通知。11月または12月に3泊4日程度を予定。 ③費用 別途通知。 ④事前オリエンテーションおよび研修先研究 a. 訪問国紹介 b. 研修内容紹介 c.パスポート取得指導 d. 研修組織編成 e. 訪問国研究 f. 海外旅行諸注意	訪問国についての情報を本、新聞、雑誌、インターネット等で積極的に収集することは研修の充実につながるので、可能な限り実践すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

海外研修に関するプリント配布。
必要に応じて研修先の国に関する図書および資料等を紹介。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

研修50% 事前オリエンテーションの参加と必要書類提出期限の厳守20% 研修後のレポート20% 学習の意欲10%を目安として、総合的に評価。
研修先における行事への積極的な参加、訪問先での積極的なコミュニケーション等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研修後の提出レポートは担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	1年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

総　合　演　習

必　修　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅲ	LP10103	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学年で学ぶ学問分野を真に生かして、こらからの人生を過ごすための基本的な力を身に付けることを目的とする。具体的には、次の3項目に学生が主体的に取り組むことを目指す。
1. 就職・進学活動に資する支援の提供や情報共有・交換を行い、活動の活性化を図る。 2. 学科・クラスでの諸行事や就職・進学活動を通して学生間の信頼関係を深める。 3. 一般常識・教養と社会性・マナーを身に付ける。

Ⅲ. 学習成果

・就職・進学活動に関する教職員への相談や学内の各種支援を自発的に活用し、積極的に活動を進めることができる。
・就職・進学活動に関する情報交換・共有を周囲の学生や教職員と積極的にすることで、活発に活動する雰囲気や扶助を相互に享受することができる。
・一般常識・教養に関する学習と社会性・マナーなどを就職・進学活動の実践と交えることで、社会人に必要な責任感・倫理観の向上に努めることができる。
・学科やクラスでの諸行事に積極的に関与することで、学生間の信頼関係を深め、信頼される人物へと成長することを目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録内容の確認 連絡事項 学習ポートフォリオ作成	履修登録間違いがある場合には修正の事務処理を行う 5・6期の学びについて目標を設定し、就職活動に活かせるようにする
2: 就職支援・対策 就職内定者による就職提言、未決定者ガイダンス	進路全般に関する準備・活動
3: 就職支援・対策 応募書類の書き方、就活マナー、面接対策(個人・集団)	進路全般に関する準備・活動
4: 1年生歓迎会	歓迎会の準備を行う
5: 避難訓練、消化訓練	危機管理について考え、まとめる
6: 体育大会の参加準備・連絡事項	体育大会を振り返り、社会人基礎力(チームで働く力)について まとめる
7: 1年生に向けたメジャー紹介(個別対応)	メジャーでの学びについてまとめ、就職活動に活かせるようにする
8: 卒業生講話(インタビュー動画)	進路全般に関する準備・活動
9: 卒業研究の資料配布と説明 担当教員により卒業研究の内容紹介	卒業研究の内容を決める
10: 就職支援・対策 進路決定者ガイダンス、就職・進路未決定者個別面談①	進路全般に関する準備・活動
11: 就職支援・対策 就職・進路未決定者個別面談②	進路全般に関する準備・活動
12: 就職支援・対策 就職・進路未決定者個別面談③	進路全般に関する準備・活動
13: 香蘭祭の準備(1年生・2年生合同)	香蘭祭の準備を行う
14: 履修指導① 連絡事項 卒業研究登録者の発表	後期の履修計画
15: 履修指導② 連絡事項 学習ポートフォリオの返却	後期の履修計画

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲:60% レポートなどの課題提出:30% 行事への関わり方:10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題については全体で講評し、個別にコメントを行う。
・進路活動状況全般に関する助言などでフィードバックを行います。
・授業内容の詳細は別途、学期始めに配付する予定表を参照してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
総合演習Ⅳ	LP10104	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
アドバイザー		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科において、各学年で学ぶ学問分野を真に生かして、こらからの人生を過ごすための基本的な力を身に付けることを目的とする。具体的には、次の4項目に学生が主体的に取り組むことを目指す。

1. 就職・進学活動を行い、進路決定に取り組む。 2. 学科・クラスでの諸行事や就職・進学活動を通して学生間の信頼関係を深める。
3. 一般常識・教養と社会性・マナー(挨拶、服装、言葉遣い)を身に付ける。 4. 卒業後のキャリア形成や人生形成について考える。

Ⅲ. 学習成果

・就職・進学活動に関する教職員への相談や学内の各種支援を自発的に活用し、進路決定を目指すことができる。
・一般常識・教養に関する学習と社会性・マナーなどを就職・進学活動の実践と交えることで、社会人に必要な責任感・倫理感の向上に努めることができる。
・卒業後のキャリア形成や人生形成の必要性を実感し、継続的に熟慮することができる。
・学科やクラスでの諸行事に積極的に関与することで、学生間の信頼関係を深め、卒業後に資する友人関係の確立に努めることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 履修登録内容の確認 連絡事項 学習ポートフォリオ作成	履修登録間違いがある場合には修正の事務処理を行う 7・8期の学びについて目標を設定し、社会人生活に活かせるようにする
2: 全体集会	7・8期の過ごし方について考える
3: 香蘭祭の準備①(1・2年生合同)	香蘭祭の準備を行う
4: 香蘭祭の準備②(1・2年生合同)	香蘭祭の準備を行う
5: 香蘭祭の準備③(1・2年生合同)	香蘭祭の準備を行う
6: 就職支援・対策 キャリタスUC登録、就活継続中の学生支援、就職未決定者の個別面談	進路全般に関する準備・活動
7: 日本人:PROGテスト 留学生:JLPT対策	1年次のPROGテストの結果を見返し、まとめておく 過去問題を解いておく
8: 学生企画のプログラム	学生企画のプログラムに関する課題
9: 就職支援・対策 進路決定者ガイダンス、就職未決定者個別面談	進路全般に関する準備・活動
10: 学習ポートフォリオ作成	学生の成長の可視化に関する課題
11: 人権アンケートの実施 進路未決定者個別面談	人権に関する課題
12: 日本人:PROGテスト解説 留学生:2年間の振り返り	2年間の振り返りをまとめる
13: 2年生を送る会	2年間の振り返りをまとめる
14: キャリア・人生形成講演会「大人のためのファッションマナー」(岡田先生)	ファッションマナーに関する課題
15: 年度末の確認事項	卒業に向けた準備・活動

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲:60%　レポートなどの課題提出:30%　行事への関わり方:10%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題については全体で講評し、個別にコメントを行う。
・進路活動状況全般に関する助言などでフィードバックを行います。
・授業内容の詳細は別途、学期始めに配付する予定表を参照してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
卒業研究	LP20201	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業必修		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

全ての学生は、それぞれの担当教員の指導に従い専門領域についての学びを深め、自らの学びに関するレポートまたは作品を作成する。
また、これらのレポートおよび作品をもとにプレゼンテーションを行う。
なお、各卒業研究にはそれぞれの特色に応じたグループ・ワークやディスカッションが含まれる。

Ⅲ. 学習成果

1 それぞれの領域における知識を深め、技能を高めることができる。
2 資料の収集や研究方法を学ぶことができる。
3 論文のまとめ方や発表について学ぶことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
事前に配布される卒業研究概要一覧を参照。 それぞれの研究テーマに従って、15回の授業を実施。	担当者ごとに指示する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各卒業研究におけるレポートや作品(プレゼンテーションを含む) 70%　学習の意欲 30%
グループ・ワークやディスカッションへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

担当者ごとに指示する。

教　養　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
文学	LP30101	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
村上　舞		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	○
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

フランス文学を代表する偉大な作家のミューズとなった女性たちをテーマにし、様々な作品を日本語の翻訳で読みます。女性たちの人生を取り上げ、その女性たちと深い関係になった男性作家たちの作品、またその作品が生まれた時代背景、社会また文化などにも触れます。

Ⅲ. 学習成果

1. 歴史や文化などの作品の背景的知識を得る。
2. 文章を分析する論理的思考が身につく。
3. 自分の考えや意見をまとめる文章力や言葉の運用能力を高める。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション＋ルイーズ・ド・ヴィルモラン(1):ルイーズと時代背景について	授業の内容について、自分が興味をもったこと、疑問に思ったことをまとめておくこと。
2:ルイーズ・ド・ヴィルモラン(2):サン＝テグジュペリ『星の王子さま』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
3:ルイーズ・ド・ヴィルモラン(3):アンドレ・マルロー『人間の条件』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
4:リー・ミラー(1):リー・ミラーと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
5:リー・ミラー(2):マン・レイ『マン・レイ自伝 セルフ・ポートレイト』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
6:リー・ミラー(3):コクトー『詩人の血』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
7:ルー・アンドレアス＝ザロメ(1):ルー・ザロメと時代背景	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
8:ルー・アンドレアス＝ザロメ(2):ニーチェ『ツァラトゥストラはかく語りき』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
9:ルー・アンドレアス＝ザロメ(3):詩人、ルネ＝マリア・リルケ	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
10:マリ・ド・エレディア(1):エレディアと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
11:マリ・ド・エレディア(2):ポール・ヴァレリーとアンドレ・ジッド	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
12:マリ・ド・エレディア(3):ピエール・ルイス『ビリチスの歌』、『アフロディテ』	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
13:ガラ(1):ガラと時代背景について	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
14: ガラ(1):詩人、ポール・エリュアール	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。
15: ガラ(1):スペイン人画家、サルバドール・ダリ	授業で配布するプリントを熟読しておくこと。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、毎回のポートフォリオシートの提出など授業への積極的参加(50%)
遅刻、居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象となります。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
歴史	LP30103	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
田中　由利子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

現代は、過去の積み重ねでできている。現代の「日本」に最も大きな影響を与えたのが江戸時代である。
江戸時代は幕藩制という体制概念で表現され、国や社会が成り立っていた。授業では、江戸時代の福岡藩や佐賀藩で起こったいくつかの出来事を取り上げ、現代がいかに江戸時代の影響を受けているかを探っていく。

Ⅲ. 学習成果

1　江戸時代の制度の特徴について説明できる
2　江戸時代の身分について説明できる
3　江戸時代の暮らしと暦について説明できる
4　江戸時代の宗教や思想について説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 日本の近世という時代	日本の近世という概念の最新の捉え方についてまとめる
2: 江戸時代の幕藩体制と身分	江戸時代の政治体制における身分についてまとめる
3: 江戸時代の女性と化粧	身分による女性の衣服や化粧や髪型の違いについてまとめる
4: 江戸時代の村人の暮らし	江戸時代の村人の一年の過ごし方についてまとめる
5: 江戸時代の暦と度量衡	江戸時代の人々が使用した暦や尺度や重さについてまとめる
6: 江戸時代の文字と言葉	江戸時代の文字(くずし字)や、言い回しについてまとめる
7: 江戸時代の教育(藩校について)	主に支配者階級の藩校についてまとめる
8: 江戸時代の教育(私塾と寺子屋について)	私塾や子供が学ぶ寺子屋についてまとめる
9: 江戸時代の思想としての儒学	江戸時代の「武士道と倫理観」などの思想をまとめる
10: 近世における佐賀藩と福岡藩	佐賀藩と福岡藩の特異性などをまとめる
11: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(1) 近世武家「家訓」と鍋島直茂について	「直茂様御教訓ヶ条覚書」について新見解をまとめる
12: 佐賀藩の鍋島直茂と「葉隠」(2) 山本常朝「葉隠」と鍋島直茂・勝茂との関係	「直茂様御教訓ヶ条覚書」と「葉隠」の関連性についてまとめる
13: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(1) 黒田長政の神格化と春日神社について	福岡藩初代藩主黒田長政を祀った神社についてまとめる
14: 福岡藩の黒田長政と「神社信仰」(2) 春日神社の由緒書についての検証	長政を祀った神社の由緒書を読み解き新しい解釈をみつける
15:: ディスカッション　江戸時代の特徴及び現代への影響について	江戸時代の特徴及び現代への影響をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回45分以上行うこと。毎回感想文を提出してもらいます。内容については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。レジュメやプリントを毎回配布します。
参考文献や論文等は授業中に紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 50%　　学習の意欲　50%(毎回の感想、授業態度)で評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回授業の最後に、質問や感想を書いて提出してもらいます。質問の回答は次回の授業時にします。
素晴らしい質問や新しい視点での感想を書いた人には加点します。
他人の受講を妨げる行為(私語、スマートフォンの使用、理由のない中途退室)は厳禁とし、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
心理学	LP30104	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
松村　恭平		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，日常生活に関連した心理学についてさまざまなトピックを広く取り扱う。心理学的視点を持つことは自己や他者に対する理解を深めることや日常生活を適応的に過ごすことに役立つと考えられるため，これら学ぶことにより，日常生活に活かせるような学びを得ることを目的とする。その中でも，臨床心理学領域で用いられる技法について重点的に取り扱い，様々な状態を呈する方々とコミュニケーションを行う際の工夫や配慮についての理解を深めることも目的とする。本講義ではこの目的を達成するために，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における現象や発達について，心理学的用語を用いて説明ができる
・日常におけるストレスとそれらに対する対処法について，自身の言葉で説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 授業の進め方の説明や自己紹介を用いたワーク	心理学について学んでみたいことを考える
2: 心とは ～日常の中で体験することを心理ではどう説明するのか～	生活の中での「心」に関する体験を探す
3: 日常に潜む心理学 ～錯視を中心に～	生活の中での錯視を探す
4: 記憶・学習について ～人はものをどう覚えるのか～	生活の中での記憶に関する体験について整理する
5: 感情について ～気持ちが心理学でどのように扱われているか～	生活の中で生じる感情に関する理論を整理する
6: 性格について ～パーソナリティ理論と性格検査～	性格の考え方や検査を通して考えたことをまとめる
7: 発達について ～赤ちゃんから子どもへ～	様々な力を新生児たちが身につけていく過程について整理する
8: 発達障害について ～ASD・ADHDを中心に～	発達障害のある人が日常や他者との関係の中で困りそうなことをまとめる
9: 発達段階とアイデンティティ	発達段階に関するワークシートの作成
10: ストレス理論について	日常生活でのストレス体験について，自身の体験と対処法略について考える
11: 臨床心理学について ～様々な立場から～	カウンセリングで行われている基礎的なことについて理解する
12: 臨床心理学におけるイメージについて ～描画法を通して～	カウンセリングの場で用いられる，イメージを活用した技法についての理解を深める
13: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについて調べる～	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる
14: 日常における心理学 ～日常の中にある自身がおもしろいと思ったトピックについてまとめる～	これまでの授業を通して考えたことをまとめ，グループ内で意見を共有する。
15: 日常における心理学 ～まとめた日常にある心理学について発表する～	他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については各授業で指示を行う。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくはパワーポイントの資料を共有する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポートまたは試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。質問等が授業中にできなかった場合には，小レポートに質問を書いてもらい，次の授業で回答します。小レポートに関しては次回の授業でフィードバックを行います。
適宜グループワークも含めながら授業を進めていきます。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
経済学	LP30105	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの暮らしは、「市場経済」の働きと「財政」による支援によって成立している。本講座では、後者の「財政」の仕組みに焦点を当て、「市場経済」との違いを理解することを当面の目標とする。また、指定したテキストを使いながら、私たちが住んでいる「地域」の経済について理解を深め、「財政」と「市場経済」のどちらの仕組みも私たちの暮らしにとって欠かせないものであることを理論的に把握することが本講座の最終目標である。同時に、私たちが住んでいる地域の経済についても関心を高め、生活実感を伴う講義を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①財政の仕組みと市場経済の働きの違いを理解し、経済学的な考えで世の事象を説明できる。
②税制や社会保障問題と私たちの暮らしのつながりを理解することで、一社会人としての生活に困らない程度の準備を行える。
③グローバルとローカルという横の広がりと、過去と現在と未来という時間軸に沿った縦のつながりを意識することで、地域の経済について深く理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: イントロダクション	予習：シラバスをよく読んでおくこと。 復習：テキストの「はじめに」を再読しておくこと。
2: 第1章　社会保障の系譜	予習：テキストの第1章読んでおくこと。 復習：テキストの第1章を復習しておくこと。
3: 第2章　社会保障の基本哲学を知る	予習：テキストの第2章読んでおくこと。 復習：テキストの第2章を復習しておくこと。
4: 第3章　日本の社会保障の特徴	予習：テキストの第3章読んでおくこと。 復習：テキストの第3章を復習しておくこと。
5: 第4章　人口減少社会　※課題1の説明	予習：テキストの第4章読んでおくこと。 復習：テキストの第4章を復習しておくこと。
6: 第5章　産業としての社会保障	予習：テキストの第5章読んでおくこと。 復習：テキストの第5章を復習しておくこと。
7: 第6章　財政赤字	予習：テキストの第6章読んでおくこと。 復習：テキストの第6章を復習しておくこと。
8: 第7章　日本社会が抱える課題 課題1の回収	予習：テキストの第7章読んでおくこと。 復習：テキストの第7章を復習しておくこと。
9: 第8章　北欧との比較 ※グループワークの実施	予習：テキストの第8章読んでおくこと。 復習：テキストの第8章を復習しておくこと。
10: 第9章　持続可能な社会をつくる ※グループワークの実施	予習：テキストの第9章読んでおくこと。 復習：テキストの第9章を復習しておくこと。
11: 社会保険の仕組み①　※課題2の説明 公的年金保険について	予習：年金制度について調べておくこと。 復習：配布資料をもとに年金制度をまとめておくこと。
12: 社会保険の仕組み② 公的医療保険について	予習：医療保険制度について調べておくこと。 復習：配布資料をもとに医療保険制度をまとめておくこと。
13: 社会保険の仕組み③ 公的介護保険について	予習：介護制度について調べておくこと。 復習：配布資料をもとに介護保険制度をまとめておくこと。
14: ビデオ学習 ※　社会保障制度の行き詰まりをテーマとした映像を見せる予定。	予習：第11～13回の内容の復習を行っておくこと。 復習：ビデオの内容を思いだし、
15: 総括 課題2の回収	予習：課題2の完成 復習：テキストを中心に、自分の考えをまとめておくこと。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「教養としての社会保障」 東洋経済新報社　香取照幸著
参考書 「新しい地方財政論」 有斐閣　中井英雄他著
「マクロ経済学入門　第2版」 日経文庫　中谷巌著
「ミクロ経済学」 東京大学出版会　奥野正寛編著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験（上記1～14回の内容から出題）50%、レポート（2回）20%、学習の意欲　30%。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・毎回回収する資料およびレポートは必要に応じてコメントをつけて返却する。
・授業中の私語、スマートフォンの使用は減点の対象（受講態度の評価の対象）とする。
・シラバスの内容を変更する際は、事前に授業中にお知らせする。
・Google Classroomについては、授業外の学習を促進するために使用することもあります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
くらしと金融	LP30106	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
中濵　雄一郎					
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2022年度より、高校の家庭科において、金融教育が必修になりました。また、金融庁が金融リテラシー調査を始め、日本人の金融知識の無さを複数回指摘しています。21世紀の中盤に向けて生きていく皆さんたちにとって、金融知識の重要度は増すことはあっても、低くなることはないでしょう。現在、日本は貿易ではなく、世界各国へ投資し、そこからあがってくるリターンによってビジネスを行っている以上、金融の知識は絶対不可欠な状況です。
そこで、本講座では、金融の基礎的な学びをしっかり行い、後期以降の金融の学びにつなげる予定です。

Ⅲ. 学習成果

① 身近な素材を例に、お金についての基本的な知識を獲得し、普段の生活に役立てられるようになる。
② 「お金」にも働いてもらうことで、投資から得られるリターンとリスクに関する知識を獲得する。
③ ライフイベント表の作り方を理解し、自分自身のライフプランを作る際の参考とする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:金融リテラシーについて、再度考えてみる。
2: お金の基本① 景気について	予習:インフレ・デフレについて調べておく。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
3: お金の基本② キャッシュレス決済について	予習:電子マネーについて調べておく。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
4: お金の基本③ 日本銀行について	予習:日本銀行について調べておく。 復習:授業内容を再度自分でも確かめる。
5: お金とライフプラン① 人生の三大支出について	予習:将来何がしたいか考えてみよう。 復習:お金の管理方法を考えてみよう。
6: お金とライフプラン② 金利について	予習:保険について考えてみよう。 復習:テキストの該当箇所を再度読む。
7: お金とライフプラン③ 株式投資について	予習:NISA、iDeCoについて調べておく。 復習:株式投資について再度考えてみよう。
8: グループワーク　※課題1の提示	予習:ライフイベント表を作成してみよう。 復習:課題1に取り組む。
9: 税と社会保障① 給与明細の見方について	予習:給与明細表について調べておく。 復習:税金について再度考えてみよう。
10: 税と社会保障② 社会保障制度について	予習:社会保険について調べておく。 復習:ケガや病気の時の保障について調べておく。
11: 税と社会保障③ 保険と公的年金について ※課題1の回収	予習:年金について調べておく。 復習:他の人の意見をまとめる。
12: お金のトラブル① クレジットカードについて ※課題2の提示	予習:PART3の復習をしておく。 復習:課題2に取り組む。
13: お金のトラブル② お金の借入れについて	予習:リボ払いについて調べておく。 復習:FXについて確認しておく。
14: ビデオ学習「人生100年時代の生き方」 課題2の回収	予習:リンダ・グラッドストン氏のLife Shiftについて調べておく。 復習:人生100年時代について考える。
15: まとめ ※課題2の答え合わせ	予習:これまでの資料をまとめる。 復習:試験に向けて、自分の金融リテラシーを高める。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

(教科書)14歳からの金融リテラシー　太田出版　一般社団法人社会応援ネットワーク著
(参考書)金融入門　第3版　日経文庫　日本経済新聞社(編)
入門金融(第5版)　東洋経済新報社　黒田晁生著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出2回　30%(15%、15%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用する。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
流通論	LP30107	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達の暮らしの中で存在している商品は、世界中の生産現場から集められたモノ・サービスです。それらは、時間・場所・人の隔たりを越えて、私達のもとへたどり着いたと言えます。この授業では、流通論の基本と流通業界について学びます。前半は流通の基礎知識、小売業の特徴を学び、後半は百貨店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、専門店などの、具体的な業態について学びます。また、卸売機構についても学びます。

Ⅲ. 学習成果

・基本的な流通のしくみが理解できる。
・基本的な流通用語が説明できる。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどの業態を理解し、説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 生産と消費とのギャップをどう考えるか この世界で流通はどれほど重要なのか	流通がなければ、世界はどのような状況になると思われますか？ 50字程度でのべてください。
2: 生活者にとって流通とは何なのか いま流通はどう変化しているのか	業種別流通と業態別流通の違いを、100字程度にまとめる。
3: 流通とはいったい何をどうすることなのか 流通の基本的な基本的な役割とは何なのか、流通機構について	流通機構の6つの機能について、100字程度にまとめる。
4: 流通機構はどのようにとらえればいいのか 流通チャネルの特徴を種類別にみてみる	直接流通と間接流通について、さらに排他的・選択的・開放的流通について説明しなさい。
5: 効率を追求する「垂直的流通システム」について 日本の伝統的流通システムの特徴	垂直的流通システムの3つのパターンにはどんな特徴がありますか？ 100字程度にまとめる。
6: 流通革命は進み、結果はどうなったのか 流通の変化は消費者行動のどこをみればよいのか	探索時間の長い商品と短い商品、家庭内在庫と出向頻度、計画買いと当用買いの買い物のパターンについて調べる。
7: 小売業の基本的な役割とは何か 購買行動を決める「アソートメント」とは何か	比較購買集合と関連購買集合について100字程度で説明する。
8: 小売業をわかりやすく分類してみる 小売業の業態を詳しく分類してみる	小売業の販売方法や店舗集積パターンについて分類してみる。
9: 日本の百貨店にはどんな特徴があるのか 百貨店は厳しいい競争にどう生き残るのか	資料をみて、百貨店の8つの特徴を挙げて、これからの百貨店にあったらいいなと思うものを100字程度で説明してください。
10: スーパーマーケットは顧客をどのように増やすのか コンビニエンスストアはどう進化していくのか	スーパーとコンビエンスストアの違いや共通点を、自分なりに説明してください。
11: ディスカウント・ストアにもいろいろある 専門店は特定顧客にどこまで食い込めるのか	自分が利用したことのあるディスカウントストアはどこですか？またそれはアウトサイダー型かインサイダー型のどちらだと思いますか？
12: 通信販売はインターネットでどう変わるのか 化粧品業界について調べてみよう	自分が購入したことのある化粧品のメーカーはどこですか？どこで買いましたか？
13: 物流って何？	ロジスティクスと単なる物流とはどう違いますか？100字程度にまとめる。
14: 授業のまとめ グループワーク （これまでの授業から、現代の流通について考える）	現代の流通業態の特徴を200字程度にまとめる。 グループで意見を共有する。
15: ふりかえり	試験範囲を確認し、これまでの学習の内容をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回、資料とプリントを配布します。

参考書:「手にとるように小売・流通がわかる本」上原征彦他著　かんき出版。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・流通業界の発展の鍵を握るのは、女性の視点が重要であるといわれています。私達の身近に存在する流通業態について、自分自身の目線や女性の目線を大切にしながら授業を進めたいと思います。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
社会福祉概論	LP30108	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
郡嶋　かおる		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人口減少時代に生きる私たちにとって社会福祉を学ぶことは必須であることについて考える。
社会福祉の基本理念および人権について、歴史的発展の経緯などから学ぶ。
社会保障制度、社会福祉制度、福祉行政制度についての概要を学び、地域社会のなかで生じているさまざまな課題について考える。

Ⅲ. 学習成果

社会福祉の多種多様な取り組みを理解するため、基本的な知識を身につけることができる。
地域社会の一員として、社会福祉の活動について具体的なイメージをもつことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 現代社会の動向と社会福祉 新聞記事を配布。	現代社会にどのような福祉的課題があるかまとめる。
2: 社会福祉のあゆみ イギリスと日本	社会福祉の歴史を学ぶ意義についてまとめる。
3: こんにちの社会福祉の仕組み 社会福祉とは何か、	次回の授業を考えるに当たって、自分の家族から考える 「私にとって家族とは」を記入してくる
4: 家族と社会福祉 こんにちの家族の姿、現代家族が抱える福祉的課題	「私にとって家族とは」を提出すること
5: 医療サービス – 適切な医療を受けるために 医療保険制度、高額療養費など	自分の医療保険を見て、保険の所管、負担割合を書き出してくる
6: 生活費と仕事　公的扶助、生活困窮者自立支援制度、貸付制度 相談するところ、最低賃金制度、雇用保険制度、労働基準法等	
7: 高齢社会を生きること　高齢者とは　介護保険のしくみと手続き 相談するところ、介護保険のしくみと手続き、私たちがこれからできること	私たちができることについてまとめてくる。
8: 障がいのある人と生きること 障害者とは誰か、障がい者とその家族、多様性を認め合える社会	あなたの住む地域にどのような福祉施設があるか調べてみる。 13回目までに略図を描いて、感想を提出する。
9: 過疎地域での暮らしと福祉の役割 過疎地域とは、過疎地域での生活、過疎地域の行政サービス等	過疎地域とは、インターネットで調べてノートにまとめる。
10: 公的扶助(生活保護の原理・原則)と低所得者支援	生活保護を受けている人へのイメージをまとめること。
11: 子ども・家庭のために 相談するところ、医療費助成制度、子育てサポート、保育所、里親制度など	子ども子育て支援の必要性についてまとめる どうして子ども虐待は起きるのか考えてまとめる。
12: 子ども・家庭のために ② ひとり親家庭支援、育児をしながら働くために、DV対応と支援、困難女性支援法	「困難女性とは」誰か、ノートにまとめる。
13: 地域社会と福祉 地域社会の現状、新たなつながり、地域で生きることを支えるなど	インターネットで社会福祉協議会について調べ、ノートにまとめる。
14: 自然災害にあった人のために 大規模自然災害等の保障、被災したときの生活保護、被災者生活支援制度	災害ボランティアについてノートにまとめる。
15: ボランティア・NPOの果たす役割 まとめ	ボランティアについてノートにまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

予習・復習等の学習は、各回20～25分は教科書を読むこと。課題はプリントまたはGoogle Classroomから提出。詳しい内容・学習方法は毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 参考図書:『はじめて学ぶ人のための社会福祉』誠信書房 『医療福祉総合ガイドブック』2023年度医学書院を中心として
必要に応じて、新聞記事等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

事前学習で調べたことは、授業中に発表し、学びを共有できるようにします。課題については、講義内で解説します。
復習として、理解度を確認するために小テスト(2回程度)を行います。小テストについての詳細は事前にお知らせします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語	LP30113	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
瀑布川　由理		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・基礎英語、英文法のやり直しをします。
・英語での発話力は、基礎的な英語の知識が欠かせません。また、発話力は、日頃から鍛える必要が有るので、授業内での積極的な発話が必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法を身につけ、活用し、発話力の向上が期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・効果的なプレゼン方法を知ることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Introduce your classmate and yourself クラスメートと自分のことを紹介してみよう (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
2: (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
3: (Unit 2) What do you do after school? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
4: (Unit 2) What do you do after school? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
5: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
6: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
7: Review1 復習 1 – Interview Test / Exercises Prepare for PRESENTATION プレゼン準備	プレゼンテーションをするための準備。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
8: (Unit 4) What are you into these days? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
9: (Unit 4) What are you into these days? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
12: PRESENTATION プレゼン発表	プレゼンテーション各自発表。
13: PRESENTATION プレゼン発表(予備日) (Unit 6) What are your family members like? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
14: (Unit 6) What are your family members like? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
15: Review2 復習 2 – Interview Test / Exercises Preparing for Final Test 期末に向けて	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習に必要な時間は各回1時間程度。授業のはじめに小テストを実施(内容は前回の復習)。期末に英語による発表があるので、計画的に準備をすすめること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:【 Basic Communication Strategies Ⅰ 】ベーシック・コミュニケーション　ブック 1　(SANSHUSHA 三修社・￥2,200)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Class work / Positiveness 学習意欲 (発話・聞き手の対応/積極性) ... 20%　(授業中の居眠り、スマホ扱い、私語等が過ぎる場合は評価ゼロとなる場合がある)
Work on Speech Presentation　プレゼンテーションへの取り組み ... 20%
Review Mini Test 復習ミニテスト ... 10%
Final Test 期末の単位認定試験(1 回) ... 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題や小テストについては、授業内または個別にフィードバック方法する。
・授業の予習復習、授業への積極的な参加も不可欠。
・授業には必ず教科書と英語辞書を持参の事 (電子辞書可)。
・状況に応じて授業内容を変更する場合がある。
・英語の基礎文法力を復習し身につけ、また発話力に活用したい者、それに向けて努力する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
韓国語	LP30114	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、韓国語の文字であるハングルの起源と構成を学び文字の読み書きと初歩的な会話を学びます。
日・韓の言語表現の共通性や相違点を学び両国の文化理解に繋げます。

Ⅲ. 学習成果

1、ハングル文字の発音のコツを覚え楽しく読むことができます。
2、毎講義始まりの「あいさつ語録」の練習により韓国語の抑揚や音の響きを理解できます。
3、目標とした単語や語彙の習得と会話の達成により自信と意欲が向上します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴と文字の構成 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)登録されていること ハングル文字の起源や由来の事前検索をする。
2:第2課　基本子音字	ハングル文字の構成を理解して「ハングル表①」を繰り返し読む。 課題の単語をノートに書きフリガナを書く。そして、単語の暗記。
3:発音のルール　有声音化	例題の単語をノートに書きフリガナをつけて繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4:濃音	例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解し声を 出しながら練習する。
5:合成母音	「ハングル表②」口の形を確認しながら発音の練習をする。 例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解する。
6:終声子音字(パッチム)	テキストと配布のプリントの内容をしっかり読み理解する。 用例の単語をノートに書きフリガナをつけて読む練習をする。
7:発音のルール　連音化(リエゾン)	テキストと配布プリントの発音ルールの内容をしっかり理解する。 配布プリントの練習問題を解く。
8:会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストの文法と解説を読み内容を理解する。 練習問題を解く。
9:初対面の挨拶	実際の場面を想定して初対面の挨拶の練習をする。
10:自己紹介 (対面で、人数が多い場合は数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して自己紹介の練習をする。
11:代名詞(事物)	物の代名詞を覚える。講義で学んだ質問のフレーズを覚える。 単語を置き換えて答える練習をする。
12:代名詞(場所) 疑問詞(いつ、どこ、だれ、なに、いくら、なぜ. . .)	場所の代名詞を覚える。 それぞれの疑問詞を覚える。
13:漢数詞 (日付、電話番号、価格. . .)	漢数詞を覚える。 日付や電話番号を言える練習をする。
14:曜日	月曜日から日曜日を覚える。 曜日の質問フレーズを覚えて練習する。
15:固有数詞 (時間、助数詞. . .)	固有数詞を覚える。 時間と年齢の質問フレーズと答え方を練習し習得する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふりフリガナをつけて提出します。正しい読み方の指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

配布資料プリント: 1, ハングル表①② 2, あいさつ語録①② 3, ハングル年表 4, ハングルの成り立ち
テキストプリント一式 ・ 練習問題プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)課題の提出(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語、居眠り、許可のないスマートフォンの使用は禁止です。
毎講義は「あいさつ語録」の会話から始めます。日常の簡単で便利なあいさつを習得するため、毎回、学び覚えたフレーズを書いて提出します。
提出課題は添削し次回の講義で答合わせをし解説します。場合に応じて、個別に発音の指導を行います。
繰り返しの読みの練習がおのずとスラスラと読めることを実感します。楽しく意欲をもって韓国語の習得に取り組みましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
企業論	LP30116	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
坂根　潤樹		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では社会人となって必要となる経済・経営・ビジネスに関する基本的な知識を学びます。ビジネスの現場で役に立つ知識や働き方も学びます。
また、様々な企業の実例(ケース)を学び、理論と実務の両方の観点から物事を見ます。

Ⅲ. 学習成果

幅広い分野で役に立つ社会人基礎力を向上させることを目標とします。特に事務系の能力の確認・育成のために授業の最後に毎回事務能力検査の問題を解きます。ビジネスは答えがないので、物事を一方的な見方だけでなく様々な視点から考える能力を向上し、社会人として物事を柔軟に考えることができることを目標とします。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 会社とは	予習:シラバスを読むこと 復習:プリントの課題に沿って、ビジネスにおける理解度を深めること
2:会社とは 株式会社の概要	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、株式会社の理解度を深めること
3:競争の方法① 外食産業を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、戦略への理解度を深めること
4:競争の方法② アパレル業界を例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、アパレル業界の理解度を深めること
5:様々な商売の形態 フランチャイズ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、FCの理解度を深めること
6:ニーズとブランド プライベートブランドとナショナルブランド	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、ニーズの理解度を深めること
7:0円ビジネス 低価格戦略と0円ビジネス	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、0円ビジネスの理解度を深めること
8:会社や商品の寿命 プロダクトライフサイクルの考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、PLCの理解度を深めること
9:損益分岐点計算① 基本的な考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、損益分岐点の理解度を深めること
10:損益分岐点計算② 応用・さまざまな業種での考え方	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、費用構造の理解度を深めること
11:日本的経営と成果主義 終身雇用制度と年功序列制度(ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む)	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、日本的経営の理解度を深めること
12:商店街の課題と取り組み	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、商店街の理解度を深めること
13:様々な業界の収益構造	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、業界ごとの特徴の理解度を深めること
14:競争の方法 テーマパークを例として	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題に沿って、戦略の理解度を深めること
15:まとめ	予習:関心のあるビジネス系のニュースを見て、概要と感想を書くこと 復習:プリントの課題として、これまでの内容をまとめること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的には予習は必要ありませんが、毎日のニュースを見て課題シートを提出すること。準備学習の時間は60分程度を目安としています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した時間(目安180分)を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、授業ごとにプリントを配布します
なお、多岐にわたる内容であるため、参考図書に関しては授業内で別途案内します

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目での課題は主に毎日のニュースを見る習慣をつけることです。興味のあるニュースをピックアップし、感想を書きます。それに対して担当者よりコメントを付けて返却します。また、重要なニュースや珍しいニュースなどが書かれていた場合、内容を他の学生にも話をし、意見等を共有します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語文法の基礎 【中級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	教養科目		
担当者		履修要件他:			
廣田　千絵		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

教養科目

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力試験N2レベルの文法を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N2レベルの文法の意味・用法を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 力試し	時や場の領域を表す表現について調べる
2: 時や場の領域を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 進行状態を示す表現について調べる
3: 進行状態を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方について調べる
4: 対応関係や比較を表す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 仮定や観点を示す表現について調べる
5: 仮定や観点を示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 限定して示す表現について調べる
6: 限定して示す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現について調べる
7: 傾向や様子を表す表現など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 列挙する言い方について調べる
8: 列挙する言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 「わけ」「こと」「もの」を使った言い方について調べる
9:「わけ」「こと」「もの」を使った言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す言い方について調べる
10: 可能・不可能を示す言い方など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで勉強した文法を見直す
11: 模擬試験 グループワークにて答え合わせ	問題で間違えた箇所を見直す 時や場の領域を表す表現を確認する
12: 総合問題① 時や場の領域を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 対応関係や比較を表す言い方を確認する
13: 総合問題① 対応関係や比較を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 傾向や様子を表す表現を確認する
14: 総合問題② 傾向や様子を表す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 可能・不可能を示す表現を確認する
15: 総合問題③ 可能・不可能を示す表現を用いた文作練習	問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験対策N2文法総まとめ」

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ﾗｲﾌﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ総合学科	学年:	2年
日本語文法の基礎 【上級】	LP30118	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川 藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて日本語文法をマスターしましょう。

Ⅲ. 学習成果

1)日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解できる。
2)多様なテーマの文章を通じて文法構造や用法などを覚えて日本語能力試験N1を目指すことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:授業内容のご案内 →PPT映像と動画を授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	課題提出は、Google classroomを使用する シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1 健康法①～体重 (文法・語彙・クイズ) 一人ランチ (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート①課題に取り組む
3:Lesson2 健康法②～ウォーキング (文法・語彙・クイズ) 日本文化を生んだ道具 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート①フィードバックを確認する ワークシート②課題に取り組む
4:Lesson3 お礼の手紙 (文法・語彙・クイズ) アレルギーの危険性 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート②フィードバックを確認する ワークシート③課題に取り組む
5:Lesson4 おわびのメール (文法・語彙・クイズ) 苦しいときほど笑え (文法・語彙・クイズ)	ワークシート③フィードバックを確認する ワークシート④課題に取り組む
6:Lesson5 日々の生活①～携帯電話 (文法・語彙・クイズ) お風呂入ってもいいですか。 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート④フィードバックを確認する ワークシート⑤課題に取り組む
7:Lesson6 今日の出来事②～スポーツ観戦 (文法・語彙・クイズ) 学び直し休暇 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑤フィードバックを確認する ワークシート⑥課題に取り組む
8: 復習 (Lesson1～Lesson6)のワークシート及び小テスト	小テストの予習を行う
9:Lesson7 自然の世界①～天気 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない① (文法・語彙・クイズ)	 ワークシート⑦課題に取り組む
10:Lesson8 今日の出来事③～番号 (文法・語彙・クイズ) ぼくは勉強ができない② (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑦フィードバックを確認する ワークシート⑧課題に取り組む
11:Lesson9 今日の出来事④～失敗続き (文法・語彙・クイズ) 花 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑧フィードバックを確認する ワークシート⑨課題に取り組む
12:Lesson10 今日の出来事⑤～交通事故 (文法・語彙・クイズ) 河童 (文法・語彙・クイズ)	ワークシート⑨フィードバックを確認する ワークシート⑩課題に取り組む
13:Lesson11 大衆文化	ワークシート⑩フィードバックを確認する
14:Lesson12 大衆文化 ※アクティブラーニング 大衆文化について各自調べたことを発表する	ワークシート⑪ フィードバックを確認する
15:Lesson13 復習 (Lesson7～Lesson10)のワークシート及び小テスト 日本語文法の基礎まとめ	小テストの予習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。(授業中のスマホの使用は禁じます。) なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子 著 「日本語N2 文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版 2018
参考図書:朝日新聞論説委員室 著 「天声人語 2019年7月―12月」 朝日新聞出版 2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定レポート60%、小テスト20%、課題学習20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題ワークシートは学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。(期間設定あり、手書き提出、成績評価)
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合はコメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語語彙の基礎 【中級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

JLPT N2レベルの語彙や、生活の中での頻出語彙を中心に、正しく聞き取り使用できるように練習する。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活、大学生活の語彙を理解し、適切な場面で使用できる。
・JLPT N2に合格できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション、JLPT模試	JLPTN2対策問題を解く 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
2: 自動詞・他動詞、ドリル1 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	自動詞・他動詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
3: 小テスト①、複合動詞(1)、ドリル2 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	複合動詞①を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
4: 小テスト②、複合動詞(2)、ドリル3 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	複合動詞②を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
5: 小テスト③、いろいろな意味のある動詞、ドリル4 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	いろいろな意味のある動詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
6: 小テスト④、い形容詞、ドリル5 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	い形容詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
7: 小テスト⑤、な形容詞、ドリル6 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	な形容詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
8: 小テスト⑥、副詞、ドリル7 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	副詞を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
9: 小テスト⑦、対義語(1)、ドリル8 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	対義語①を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
10: 小テスト⑧、対義語②、ドリル9 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	対義語②を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
11: 小テスト⑨、同義語、ドリル10 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	同義語を覚えてくる(次回小テスト) 生活の中で新しく覚えた語彙を3つ使って例文を作る
12: 小テスト⑩、擬音語・擬態語、ドリル11 生活の中の語彙(グループワーク・発表)	擬音語・擬態語を覚えてくる(次回小テスト)
13: 小テスト⑪、カタカナ語(1)、ドリル模試①	カタカナ語①を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試①の間違えたところをやり直す
14: 小テスト⑫、カタカナ語(2)、ドリル模試②	カタカナ語②を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試②の間違えたところをやり直す
15: 小テスト⑬、慣用句、ドリル模試③	慣用句を覚えてくる(次回小テスト) ドリル模試③の間違えたところをやり直す

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『日本語能力試験 N2直前対策ドリル＆模試』 Jリサーチ出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50% 小テスト25% 課題25%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は毎回GoogleClassroomに提出してもらい評価の対象とします。 GoogleClassroomの使い方は初回オリエンテーションで説明します。
その日習った内容は、次回授業で毎回小テストをします。 必ず復習して覚えてきてください。
語彙のドリルは授業内でフィードバックをします。
毎回、新しく覚えたことばをグループでシェアして、例文とともに紹介してもらいます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語語彙の基礎 【上級】	LP30119	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月 智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの語彙を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

日本語能力試験N1レベルの語彙の意味を理解し、正しく使用することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス プレイスメントテスト	様子・感情などに関する語彙の意味を調べる
2: 様子・感情などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙の意味を調べる
3: 文化・社会などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙の意味を調べる
4: ビジネス・教育などに関する語彙 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 副詞・形容詞などの意味を調べる
5: 副詞・形容詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 動詞・名詞などの意味を調べる
6: 動詞・名詞など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などの意味を調べる
7: 類義語・対義語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などの意味を調べる
8: 擬音語・擬態語など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 慣用句・漢字などの意味を調べる
9: 慣用句・漢字など グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 様子・感情などに関する語彙を確認する
10: 実践練習① 様子・感情などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文化・社会などに関する語彙を確認する
11: 実践練習② 文化・社会などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す これまで学習した語彙を見直す
12: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す ビジネス・教育などに関する語彙を確認する
13: 実践練習③ ビジネス・教育などに関する語彙を用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 類義語・対義語などを確認する
14: 実践練習④ 類義語・対義語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 擬音語・擬態語などを確認する
15: 実践練習⑤ 擬音語・擬態語などを用いた文作練習	練習問題で間違えた箇所を見直す 文作練習で正しい文が書けているか確認する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。

次の時間に学習する語彙については意味を調べておくこと。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する

参考図書:「日本語能力試験問題集N1語彙スピードマスター」中島智子他(Jリサーチ出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%、課題・小テスト25%、学習の意欲25%

居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。

積極的な授業参加を期待する。

シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語読解・作文の基礎 【中級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
廣田　千絵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を読む
・書き言葉としての日本語の文章の書き方を学ぶ
・日本社会についての文章を読み、社会的なテーマについて自ら考える

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N2レベルの読解教材を正しく読むことができる
・日本語での表現と作文の力を身に付ける
・日本語の文章を十分に理解することができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 力試し	読解のポイントについてのプリントを読む
2: 内容理解(短文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
3: 内容理解(中文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
4: 統合理解① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
5: 主張理解(長文)① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
6: 情報検索① グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
7: 内容理解(短文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
8: 内容理解(中文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
9: 統合理解② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
10: 主張理解(長文)② グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の漢字、言葉を覚える
11: 模擬試験 グループワークにて練習問題の答え合わせ	練習問題で間違えた箇所を見直す「言葉の役割」の語彙を調べる
12: 読解「言葉の役割」① 作文「アポイントをとる」	本文を音読する 作文「アポイントをとる」を完成させる
13: 読解「言葉の役割」② 作文「アドバイスを求める」	「イルカと超音波」の語彙を調べる 作文「アドバイスを求める」を完成させる
14: 読解「イルカと超音波」① 作文「伝言する」	本文を音読する 作文「伝言する」を完成させる
15: 読解「イルカと超音波」② 作文「謝る」	本文を音読する 作文「謝る」を完成させる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。基本的に、毎回小テストを行うので、前回の内容を必ず確認しておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N2読解スピードマスター」小林ひとみ他(Jリサーチ出版)
「日本語プロフィシェンシーライティング」由井紀久子他(凡人社)
「大学・大学院留学生の日本語1読解」アカデミック・ジャパニーズ研究会(アルク)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験40%、課題・小テスト35%、学習の意欲25%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や小テストに関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本語読解・作文の基礎 【上級】	LP30120	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
淀川　藍凛		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本語能力のレベルを高める事と共に日本語文法の体系や文の成り立ち、文を構成する各要素の関係を理解するためには文法項目の複雑さを乗り越えないといけません。語彙力を増やしながら実践トレーニングを通じて苦手で読解・作文のコツをつかみ克服してみましょう。

Ⅲ. 学習成果

1）日本語の複雑な文の構造や修飾関係を正しく理解することができる。。
2）多様なテーマの文章を通じて語彙力アップにつなげ、自由自在に作文ができる。
日本語能力試験N1をめざすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:授業内容のご案内　→PPT映像と動画で授業を行います。授業資料を学習して課題ワークシートを必ず提出すること。ワークシートについて	goole classrommのクラスコード（lrcxkys） シラバス及びテキスト／2週目の課題ワークシートについて
2:Lesson1　旅行先からの絵はがき（読解・語彙・作文・クイズ） 一人ランチ（読解・語彙・作文・クイズ）	 ワークシート①課題
3:Lesson2　今日の出来事①～おもてなし （読解・語彙・作文・クイズ） 日本文化を生んだ道具（読解・語彙・作文・クイズ）	ワークシート①フィードバック ワークシート②課題
4:Lesson3　お礼の手紙-棚田 天声人語	ワークシート②フィードバック ワークシート③課題
5:Lesson4　おわびのメール-　絵の楽しみ方（語彙単語と読解予習） 天声人語	ワークシート③フィードバック ワークシート④課題
6:Lesson5　日々の生活①～携帯電話-航空券を安く買う方法 天声人語	ワークシート④フィードバック ワークシート⑤課題
7:Lesson6　今日の出来事②～スポーツ観戦-　日々の生活～予約 天声人語	ワークシート⑤フィードバック ワークシート⑥課題
8:　復習（Lesson1～Lesson6）のワークシート及び小テスト	小テスト（四択式）
9:Lesson7　自然の世界①～天気-カプセルホテル 天声人語	 ワークシート⑦課題
10:Lesson8　今日の出来事③～番号-子供とケータイ 天声人語	ワークシート⑦フィードバック ワークシート⑧課題
11:Lesson9　今日の出来事④～失敗続き-ペットと飼い主の名前 天声人語	ワークシート⑧フィードバック ワークシート⑨課題
12:Lesson10　今日の出来事⑤～交通事故-自転車の車道通行 天声人語	ワークシート⑨フィードバック ワークシート⑩課題
13:Lesson11　大衆文化	ワークシート⑩フィードバック
14:Lesson12　大衆文化 ※アクティブラーニング　大衆文化について各自調べたことを発表する	ワークシート⑪フィードバック
15:Lesson13 復習（Lesson1～Lesson6）のワークシート及び小テスト	小テスト（四択式）

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
※辞書を必ずご準備下さい。（授業中のスマホの使用は禁じます。） なお、前回の授業の復習は30分以上行って下さい。
※課題ワークシートはA4用紙に手書きで書いて提出して下さい。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：栗岩しづ可・青木幸子・高橋尚子　著　「日本語N1　文法・読解まるごとマスター」 Jリサーチ出版　2018
参考図書：朝日新聞論説委員室　著　「天声人語　2019年7月ー12月」 朝日新聞出版　2020

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定レポート60%、小テスト20%、課題学習20%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

課題ワークシートについて一学籍番号とお名前のご記入上、指定の場所に提出して下さい。（期間設定あり、手書き提出、成績評価）
辞書を必ず準備して授業を受けて下さい。
提出課題がある場合は、コメントして返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日常日本語会話の基礎 【中級】	LP30121	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
川野 さやか		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「説明する」、「伝える」、「語り合う」日本語力を身につけることを目的に 発音・アクセント練習、ロールプレイなどを行う。

Ⅲ. 学習成果

・生活において問題なくコミュニケーションを取ることができる。
・自分の考えを述べたり、状況を説明したりすることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション、発音テスト、自己紹介スピーチ	自己紹介スピーチの練習をして録音する
2: リズム・発音練習、パーティーで初対面の人と話す(グループワーク)	会話するための表現について復習する
3: 初対面の人とスモールトークをする(発表) 理由を述べる練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
4: 自分の国の料理について説明する(グループワーク) 小テスト①	会話するための表現について復習する
5: 自分の国の料理の作り方を教える(発表) タイトルを考える練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
6: 慰めたり、励ましたりする表現を練習する(グループワーク) 小テスト②	会話するための表現について復習する
7: 友達を慰める・励ます(発表) 結論をまとめる練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
8: 伝言を伝える時の表現を練習する(グループワーク) 小テスト③	会話するための表現について復習する
9: 伝言を伝える練習(発表) 文章で理屈を説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
10: 友達と意見を出し合う練習(グループワーク) 小テスト④	会話するための表現について復習する
11: ディスカッション (発表) 自分の意見を伝える練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
12: 自分の持ち物について説明する(グループワーク) 小テスト⑤	会話するための表現について復習する
13: 自分の持ち物をなくして説明する(発表) 絵を見て説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する
14: 言いにくいことを伝える(グループワーク) 小テスト⑥	会話するための表現について復習する
15: 注文の間違いを伝える(発表) 場面を説明する練習	会話表現を使えるようになるまで練習する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行ってください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

参考図書:『会話に挑戦！日本語ロールプレイ』中居順子，近藤扶美，鈴木真理子，小野恵久子，荒巻朋子，森井哲也 著 スリーエーネットワーク
『日本語ロジカルトレーニング』西隈俊哉 著 アルク

その他、発音・ディスカッションの教材や資料は担当教員が準備してプリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

発表40% 小テスト・課題40% 学習意欲20%
いねむり、私語、スマートフォンの使用については「学習意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

音声課題をGoogleClassroomに提出してもらい評価の対象とします。GoogleClassroomの使い方は初回オリエンテーションで説明します。
原稿の添削やフィードバックなどもGoogleClassroomで個別に行います。
他の学生の参考になるものは、フィードバックの際に全体でシェアすることがあります。
(基本匿名でシェアしますが、音声データなどは事前に本人の了承を得ます。)

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日常日本語会話の基礎【上級】LP30121		開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
香月　智恵		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題を聞く
・論理的で説得力のあるプレゼンテーションについて学ぶ
・場面に合わせた待遇表現を学ぶ

Ⅲ. 学習成果

・日本語能力試験N1レベルの聴解問題の内容を正しく聞き取ることができる
・発表の流れを理解し、わかりやすいプレゼンテーションを行うことができる
・場面に適した待遇表現を用いて会話を進めることができるようになる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス 自己紹介・カ試し	必要に応じて指示する。
2: 聴解　課題理解① 書類申請①(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
3: 聴解　課題理解② 書類申請②(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
4: 聴解　ポイント理解① 情報の読み取り①(カジュアルな会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
5: 聴解　ポイント理解② 情報の読み取り②(改まった会話)	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
6: 聴解　概要理解① トラブルへの対応	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
7: 聴解　概要理解② 依頼表現(待遇表現)	練習問題で間違えた箇所を見直す ロールプレイの練習
8: 聴解　即時応答 ロールプレイ発表	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
9: 聴解　統合理解① メモを取る練習、意見を述べる練習	練習問題で間違えた箇所を見直す ディベートに向けての準備
10: 聴解　統合理解② ディベート	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
11: 聴解　模擬試験1回目 発表の構成、表現	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
12: 聴解　模擬試験2回目 背景説明、問題提起	練習問題で間違えた箇所を見直す 未習得の言葉を覚える
13: 変化・経緯を表す表現 データの提示、説明、解説	未習得の言葉を覚える 発表準備
14: 比較を表す表現 発表準備	未習得の言葉を覚える 発表準備
15: プレゼン発表	発表の振り返り

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントを配布する
参考図書:「日本語能力試験問題集N1聴解スピードマスター」青木幸子他(Jリサーチ出版)
「聴解・発表ワークブック」犬飼康弘(スリーエーネットワーク)
「留学生のためのアカデミックジャパニーズ　聴解(中上級)」東京外国語大学留学生日本語教育センター編著(スリーエーネットワーク)
「大学で学ぶためのアカデミックジャパニーズ」佐々木瑞枝他(The Japan Times)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験30%、課題・発表40%、学習の意欲30%
居眠り、私語、不必要なスマートフォンの使用に関しては「学習の意欲」の評価の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題や発表に関しては、授業内もしくは個別にフィードバックする。
積極的な授業参加を期待する。
シラバスは受講学生の人数やレベルなどで変更することがある。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
文化人類学	LP30102	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
大田　千波留		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

文化人類学とはフィールドワークから得られる知見に基づいて、さまざまな人間現象をとらえる方法的学問である。本講義では世界のいろいろな現象や「伝統」や「文化」を参照し、それらを比較し、これまでなされてきた分析や解釈の検証を通して、我々の常識や価値観、世界のあり方を改めて見直すことを目的としている。我々と異なったロジックで生きる人々の文化を、我々に理解可能な言葉で説明するということではなく、異文化を生きている人々の日々の生活や思いとの出会いを通して、我々が生きている「あたりまえ」の現実を別の視点から見直し、生の多様な可能性を見出すための営みである。 本講義では、文化人類学の基礎的な主要な考え方や概念を、異文化からの事例だけでなく私たちが日常的によく知る事例を通して学んでいく。まずは文化人類学とは何か、その歴史、方法論を学び、続けて、具体的な人類学的トピックを通して、人類学的な考え方や概念を、私たちが生きる社会やその現実を別の視点から見直す道具として使いこなせるように考えていく。

人類学的なものの考え方をとおして、履修者それぞれが、「自らの常識を疑うことや、他者や異文化を理解することは、どのようにしたら可能か」という問いの回答にたどりつくことが目標である。

Ⅲ. 学習成果

文化人類学の基本的な知識と概念を理解し、簡単に説明できる。

世界の様々な事例について文化人類学的視点や文化の多様性を向き合う柔軟な態度を培い、それをふまえて自分の意見を述べることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文化人類学とは何だろう 文化人類学とその歴史について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
2: 文化人類学の方法論 フィールドワークについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
3: 文化人類学からみる生業と人々 世界を見渡してどのような人々がいるかについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
4: 文化人類学からみる未開／文明 未開／文明という見方について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
5: 文化人類学からみる婚姻 社会システムという視点から婚姻を考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
6: 文化人類学からみる家族 ウチとソトという視点から家族について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
7: 文化人類学からみる儀礼 境界という視点から死の儀礼について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
8: 文化人類学からみる贈与と交換 豊かな社会という視点から贈与と交換について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
9: 文化人類学からみる宗教① 世界観という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
10: 文化人類学からみる宗教② 呪術という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
11: 文化人類学からみる宗教③ 民間信仰という視点から宗教について考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
12: アクティブラーニング① グループごとに生まれ育った地域の文化について議論し、発表する	各グループで「文化」について調べ、調べた内容を5分以上の内容をまとめ、発表する。
13: アクティブラーニング② グループごとに生まれ育った地域の文化について議論し、小レポートを作成する	各グループで「文化」について調べ発表した内容を2000字程度のレポートにまとめる。
14: 文化人類学の実践現場を知る フィールドワークから得られた知見をもとに中国社会を知る	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。
15: まとめ 現代社会における文化人類学の位置づけについて考える	配布資料を見なおして復習し、講義後にGoogle Classroomに配信する確認テストに回答する。配布資料を見直し、200字程度に内容をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

予習に関しては、講義終了時に次のテーマのキーワードを挙げるので、それについて調べて考えておくこと。復習に関しては、各回1時間程度使ってまとめておくこと。

単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書なし。講義時にプリント・資料を配布する。

参考書(購入義務なし):綾部恒雄編『文化人類学最新述語100』弘文堂、2002年／関一敏・大塚和夫編『宗教人類学入門』弘文堂、2004年／綾部恒雄・桑山敬己編『よくわかる文化人類学』ミネルヴァ書房、2010年／内堀基光・奥野克己編『改定新版 文化人類学』放送大学教育振興会、2014年

※関心あれば大学・公共図書館で探してください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(55%)、グループワーク・発表・小レポート(35%)、授業態度・リアクションペーパーによる学習の意欲(10%)

試験は記述式で正解か不正解かで客観的に点数が出るものに加えて論述問題を出題します。

教室で講義が行えない場合は別途指示する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

私語や居眠りは論外ですが、講義を妨害するほどの態度の者には退室を命じることがあります。そうした人は学びたい学生の権利を侵害していることを自覚してください。また、講義を漫然と聞き、ノートをとるだけでも不十分です。紹介された参考図書を読むなど積極的に学ぶことを望みます。学生の本分として全ての講義に出席することが当然ですので、「何回まで休める」といった態度で臨んだとしても学習効果は期待できないでしょう。講義の理解を深める質問は翌週配布するプリントにも記載し補足説明を行う。試験で不合格の者には成績の講評を伝え、追再試験の指示も行う。提出物を課した場合はコメントを付して返却する。

※履修を希望する留学生へ:講義内容は能力試験N2でも難解だと思いますが、外国人だからといって特別扱いはできないことを念頭において履修して下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
数学	LP30110	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
本井　碧		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は多くの企業の採用選考で利用されている適性検査SPIの非言語分野対策を目的とします。
計算問題、割合、図形、順列組合せなど出題頻度の高い様々な問題に繰り返しチャレンジすることで、問題形式に慣れ
SPIで要求される出題された問題を「速く」「正確に」処理する実力を身につけることをねらいとします。

Ⅲ. 学習成果

1. SPI非言語分野の問題を自分の力である程度解くことができる。
2. SPI非言語分野の頻出・重要問題の解き方について十分に理解し、他者に説明ができる。

◎アクティブラーニング: 毎回、担当学生が例題の解き方・考え方をまとめてクラス全体にプレゼンテーションし、その他解法の可能性についてディスカッションする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス・実力チェックテスト	予習:シラバスの確認 復習:実力チェックで不正解の問題・その類題を復習
2: 計算問題の基本～割合／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 14-37の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 14-37の授業内で正答出来なかった問題を解く
3: 速さ・距離・時間～通過算／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 42-57の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 42-57の授業内で正答出来なかった問題を解く
4: 濃度算／例題の解説プレゼンテーション	予習:教科書pp. 59-63の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 59-63の授業内で正答出来なかった問題を解く
5: 仕事算・虫食い算・n進法／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 38-41, 64-71の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 38-41, 64-71の授業内で正答出来なかった問題を解く
6: これまでのまとめ・演習問題①・解説	予習:教科書pp. 14-71の例題および演習を解く 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
7: 順列・組み合わせ／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 72-83の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 72-83の授業内で正答出来なかった問題を解く
8: 資料解釈・表の読み取り／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 84-97の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 84-97の授業内で正答出来なかった問題を解く
9: 推論・命題と論証・集合／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 100-125の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 100-125の授業内で正答出来なかった問題を解く
10: 図形の展開図・空間図形・軌道と回転／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 128-147の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 128-147の授業内で正答出来なかった問題を解く
11: これまでのまとめ・演習問題②・解説	予習:教科書pp. 72-147の例題および演習を解く 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
13: 一次関数・二次関数／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 148-159の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 148-159の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: モノの流れと比率・復習／例題プレゼンテーション	予習:教科書pp. 160-167の例題および演習を解く 復習:教科書pp. 160-167の授業内で正答出来なかった問題を解く
14: 演習問題③	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習
15: 演習問題③の解説と全体のまとめ	予習:これまでの授業での苦手分野を再確認 復習:演習問題で不正解の問題・その類題を復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
特に復習を重要視します。毎回の予復習に必要な時間は1時間程度です。講義でよく理解できなかった時は担当者に直接質問をしてください。
授業内で紹介する参考資料・教材も活用してください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

「最新! SPI3 完全版 (「就活も高橋」高橋の就職シリーズ)」 柳本 新二著 (高橋書店)

参考図書・教育リソースは適宜授業で紹介します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(30%)、毎回の提出課題(30%)、演習問題(40%)
私語は減点対象です。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題はGoogleClassroomで点数をフィードバックし、解説を加えますので、 講義時間内に必ず提出すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス統計	LP30111	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法を学ぶ．はじめに，統計学の利活用について理解を深めるためにグループワークを行う．その後，データの種類や要約方法について課題をこなしながら理解を深める．授業後半では，データ分析の実践的な手法とデータサイエンスに用いられる用語を学習する．

Ⅲ. 学習成果

・基礎的なデータの扱い方を理解し，その解釈方法を説明できる
・平均値，中央値，標準偏差，相関係数などを計算・説明できる
・データサイエンスに関連する基礎的な用語を理解し，説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:あなたは味の違いが分かるか　:ランダム化比較実験 グループワークを実施します.	数Ⅰの内容，特に順列と組み合わせ，確率の計算について事前に復習しておくこと
2:その数字は数値データ？　:量的変数と質的変数	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
3:データの特徴を表そう　:グラフの種類	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
4:データのばらつき　:ヒストグラム、度数分布	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
5:点数の価値を考える　:平均値、中央値、標準偏差，偏差値	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
6:2つの変数に関連はあるか　:散布図と相関	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
7:データを予測する方法　:回帰分析と予測	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
8:ある事柄の起こりやすさの程度　:確率	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
9:デザインに差はあるのか？　:確率分布と調査デザイン	与えられた小課題に取り組み，次回までに提出すること.
10:差を明らかにする方法　:t検定と結果の解釈	結果をまとめて，次回までに提出すること.
11:様々な問題解決や謎の解明 1(問題と目的，方法) グループワークを実施します.	グループで調査テーマを検討し，次回までに提出すること.
12:様々な問題解決や謎の解明 2(実験・調査) グループワークを実施します.	調査が完了しなかったグループは，次回までに実施しておくこと.
13:様々な問題解決や謎の解明 3(分析と結果，結論) グループワークを実施します.	結果をまとめて，次回までに提出すること.
14:様々な問題解決や謎の解明 4(発表) グループワークを実施します.	発表原稿を作成して，発表の練習をしておくこと.
15:データサイエンス	テスト範囲について説明するため，テスト勉強をすること.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・授業中に学んだことを復習し，分からないことは次回の授業で積極的に質問すること.
・授業1回に対して，60分以上の予習・復習を行うこと．単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします.

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず，配布資料にて授業を進める.
参考図書:日本統計学会公式認定書籍である「データの分析，日本統計学会編」については授業内容理解の参考になるため，この欄にて紹介する.

Ⅵ. 評価方法と評価基準

筆記試験:50%(全授業内容をテスト範囲としてテスト結果に基づき評価する)
課題提出:30%(各回に課す小課題への取り組み状況を評価する)
受講姿勢:20%(グループワークでの発言量，授業中の態度から総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・出題した練習問題等について，授業中もしくは課題返却時に適宜フィードバックを行います.
・本科目は主にビジネス分野への活用を目的とした統計的なデータ活用方法の入門科目です．数学が苦手な方でも興味をもってもらえるように授業内容を工夫して運用しますので，コンピュータサイエンスやデータサイエンスに興味がある方は是非受講してください.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
天文学	LP30112	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
河野　徹也		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

自然科学の分野のひとつ天文学が身近な事柄である暦が天体(惑星など)の動きから発展してきたことを理解し
自分たちの周りの環境が天文学への理解を通して宇宙の一部であることを学ぶ
季節の星座の見つけ方を体得し、星座の歴史的話題や神話を通して興味を促す案内役を目指す
星や宇宙についての基礎的な知識を習得する

Ⅲ. 学習成果

季節の星座の見つけ方を体得し、子供たちに案内できる技能が得られる
身の回りの自然現象として星や天体の運動を正しく理解できる知識が習得できる
観察や実験を通して事象調べることの大切さを理解し、科学的なものの見方を育てることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1.北斗の水くみ 星空の運動(日周・年周)を理解する	身近な九州北部海岸の独特の天文現象を観察してみる
2:星座や惑星を観察しよう 惑星や太陽の年周運動を理解する	自分の誕生星座を知る、黄道十二宮を順序に注意して覚える ホロスコープについて調べる
3:太陽・月・星はカレンダー 暦のもとになる天体の動きや月の動きの動きを理解する	天文にまつわる社会の年間行事・暦を調べる 月の満ち欠けをしらべる
4:星の明るさと色について 星座の探し方　秋編	夏の大三角、天の川、明るい1等星、星座線、 土星についての学習　観察
5:星々の輝きの違いを生じさせているしくみを理解する 星の色　スペクトル	夜空の星の輝きや色の違いを観察する
6:流れ星について(原因、観察方法) 星座の探し方　夏編	星座絵、星座線、神話の学習 身の回りのプラネタリウムソフトについて調べる
7:星座の探し方　黄道12星座 星座にまつわる神話について	黄道12星座占いでの自分の星座の特徴を調べる ホロスコープについて調べる
8:太陽系の惑星について 最新の惑星情報、探査状況を学ぶ	最近の宇宙開発について調べる
9:星座の探し方　冬編 星雲や星団、銀河などについての学習	宇宙の広がりを理解する
10:星の誕生から死にいたる進化の過程を学ぶ スペクトル型と星の進化	夜空の星の色の観察
11:星座の探し方　冬編 一般的な天文基礎知識の確認	天文クイズを作ってみる
12:ブラックホールについて	最新の天体写真について調べる
13:星座の探し方　春編	星座絵、星座線、神話の学習
14:天文学史と人類の歩み 古代からの現代にいたる、それぞれの時代の宇宙観を学習する	身の回りの物で宇宙や星をモチーフとしたものを探す
15:季節の代表的な星座とプラネタリウム 最後の星座学習まとめとして　プラネタリウムの内容アイデア(相互議論)	新しいタイプのプラネタリウムを考える

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回自作の「星座学習」のプリントを配布、
教科書『星座を探しに行こう』 平井正則　書肆侃侃房

Ⅵ. 評価方法と評価基準

季節の星座学習の中間点(後期後半、冬休み)で近在のプラネタリウム館訪問によるレポートや
習った知識を生かした自分の生まれた月のカレンダーを制作し最終レポートとし、学習効果(80%)を判定。テーマへの関心度、熱心さを重く評価する
日常的な講義での関心度、熱心さを踏まえて評価し、最終評価に加える(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

日常的に簡単なアンケートを行ったり、それまでの星座学習の記憶検査、レポートの感想を講義の合間や講義前後に時間をみつけて学生にアドバイスする
講義取得後は"星のソムリエ"など資格取得講座の基礎が得られ社会的活動が可能になる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語	LP30113	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
瀑布川　由理		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・基礎英語、英文法のやり直しをします。
・英語での発話力は、基礎的な英語の知識が欠かせません。また、発話力は、日頃から鍛える必要が有るので、授業内での積極的な発話が必要です。

Ⅲ. 学習成果

・英語の基本文法を身につけ、活用し、発話力の向上が期待できる。
・効果的な英語学習方法の一つを知ることができる。
・効果的なプレゼン方法を知ることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Introduce your classmate and yourself クラスメートと自分のことを紹介してみよう (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
2: (Unit 1) Please tell me a little about yourself – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
3: (Unit 2) What do you do after school? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
4: (Unit 2) What do you do after school? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
5: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
6: (Unit 3) What activities do you do on your days off? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
7: Review1 復習 1 – Interview Test / Exercises Prepare for PRESENTATION プレゼン準備	プレゼンテーションをするための準備。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
8: (Unit 4) What are you into these days? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
9: (Unit 4) What are you into these days? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
10: (Unit 5) What are your future goals and dreams? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
12: PRESENTATION プレゼン発表	プレゼンテーション各自発表。
13: PRESENTATION プレゼン発表(予備日) (Unit 6) What are your family members like? – Part A	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
14: (Unit 6) What are your family members like? – Part B	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。
15: Review2 復習 2 – Interview Test / Exercises Preparing for Final Test 期末に向けて	(予習)知らない単語の意味を調べ、英文の理解を深める。本文を音読。 (復習)授業で学んだ内容をまとめる。凡そ1時間。小テストに備える。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習に必要な時間は各回1時間程度。授業のはじめに小テストを実施(内容は前回の復習)。期末に英語による発表があるので、計画的に準備をすすめること。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:【 Basic Communication Strategies Ⅰ】ベーシック・コミュニケーション　ブック 1　(SANSHUSHA 三修社・￥2,200)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Class work / Positiveness 学習意欲 (発話・聞き手の対応/積極性) ... 20%　(授業中の居眠り、スマホ扱い、私語等が過ぎる場合は評価ゼロとなる場合がある)
Work on Speech Presentation　プレゼンテーションへの取り組み ... 20%
Review Mini Test 復習ミニテスト ... 10%
Final Test 期末の単位認定試験(1 回) ... 50%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・課題や小テストについては、授業内または個別にフィードバック方法する。
・授業の予習復習、授業への積極的な参加も不可欠。
・授業には必ず教科書と英語辞書を持参の事 (電子辞書可)。
・状況に応じて授業内容を変更する場合がある。
・英語の基礎文法力を復習し身につけ、また発話力に活用したい者、それに向けて努力する者の受講が望ましい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
韓国語	LP30114	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
権　英姫		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、韓国語の文字であるハングルの起源と構成を学び文字の読み書きと初歩的な会話を学びます。
日・韓の言語表現の共通性や相違点を学び両国の文化理解に繋げます。

Ⅲ. 学習成果

1、ハングル文字の発音のコツを覚え楽しく読むことができます。
2、毎講義始まりの「あいさつ語録」の練習により韓国語の抑揚や音の響きを理解できます。
3、目標とした単語や語彙の習得と会話の達成により自信と意欲が向上します。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:韓国語の起源　ハングル文字の由来と特徴と文字の構成 第1課　基本母音字	ハングル文字がユネスコの世界遺産(記録遺産)登録されていること ハングル文字の起源や由来の事前検索をする。
2:第2課　基本子音字	ハングル文字の構成を理解して「ハングル表①」を繰り返し読む。 課題の単語をノートに書きフリガナを書く。そして、単語の暗記。
3:発音のルール　有声音化	例題の単語をノートに書きフリガナをつけて繰り返し読む練習をする。 単語の暗記
4:濃音	例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解し声を 出しながら練習する。
5:合成母音	「ハングル表②」口の形を確認しながら発音の練習をする。 例題の単語をノートに書きフリガナを付けて音の違いを理解する。
6:終声子音字(パッチム)	テキストと配布のプリントの内容をしっかり読み理解する。 用例の単語をノートに書きフリガナをつけて読む練習をする。
7:発音のルール　連音化(リエゾン)	テキストと配布プリントの発音ルールの内容をしっかり理解する。 配布プリントの練習問題を解く。
8:会話編　第1課　丁寧形・主題の助詞	テキストの文法と解説を読み内容を理解する。 練習問題を解く。
9:初対面の挨拶	実際の場面を想定して初対面の挨拶の練習をする。
10:自己紹介 (対面で、人数が多い場合は数名のグループで自己紹介をする)	実際の場面を想定して自己紹介の練習をする。
11:代名詞(事物)	物の代名詞を覚える。講義で学んだ質問のフレーズを覚える。 単語を置き換えて答える練習をする。
12:代名詞(場所) 疑問詞(いつ、どこ、だれ、なに、いくら、なぜ. . .)	場所の代名詞を覚える。 それぞれの疑問詞を覚える。
13:漢数詞　(日付、電話番号、価格. . .)	漢数詞を覚える。 日付や電話番号を言える練習をする。
14:曜日	月曜日から日曜日を覚える。 曜日の質問フレーズを覚えて練習する。
15:固有数詞　(時間、助数詞. . .)	固有数詞を覚える。 時間と年齢の質問フレーズと答え方を練習し習得する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
次回学習単元のフレーズをノートに書きふりフリガナをつけて提出します。正しい読み方の指導をします。準備学習は、各回10分程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

配布資料プリント:　1, ハングル表①②　2, あいさつ語録①②　3, ハングル年表　4, ハングルの成り立ち
テキストプリント一式　・　練習問題プリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(75%)課題の提出(10%)受講態度(10%)読み・会話テスト(5%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業中の私語、居眠り、許可のないスマートフォンの使用は禁止です。
毎講義は「あいさつ語録」の会話から始めます。日常の簡単で便利なあいさつを習得するため、毎回、学び覚えたフレーズを書いて提出します。
提出課題は添削し次回の講義で答合わせをし解説します。場合に応じて、個別に発音の指導を行います。
繰り返しの読みの練習がおのずとスラスラと読めることを実感します。楽しく意欲をもって韓国語の習得に取り組みましょう。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フランス語	LP30115	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
村上　舞		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	○
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

フランス語を初めて学ぶ学生を対象に、フランス語の基礎を学びます。フランス語の会話の聞き取り、文法学習、ペアやグループでの学習などを通して、フランスの日常生活のさまざまなシーンにおけるコミュニケーションの仕方を総合的に学びます。また、フランス語圏の文化についても触れます。各課にあるdialogueの理解、関連した文法事項の学習、口頭練習、練習問題を通して、フランス語の基礎となる知識と基本的な表現を確実に身につけます。

Ⅲ. 学習成果

①フランス語の簡単な会話ができる
②フランスの文化や社会について知識を得る
③ペア・グループワークを通して、学びを共有し深めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: フランス語の基礎(フランス語のアルファベ・フランス語の発音)	フランス語のアルファベを使って、自分の名前のスペルを言えるように発音練習する。
2:自己紹介をする	動詞êreの活用を覚えて、自己紹介をする。
3: 今住んでいるところや出身地について話す	規則動詞の作り方を覚えて、今住んでいるところや出身地について話す練習する。
4: 交通手段について話す	疑問詞を使った疑問文の作り方を覚えて、発音する。
5: アルバイトについて話す	願望の表現を覚えて、自分の様々な願望を表現する。
6: 1-5課までの文法の復習	1-5課までの文法の復習をする。
7:ペットなどについて話す	動詞avoirを使って、ペットなどについて話す練習をする。
8: 家族について話す	数字や職業名を覚えて、家族について話す練習をする。
9: 家事について話す	動詞faireを使って、家事について話す練習をする。
10: 食べ物について話す	動詞mangerを使って、食べ物について話す練習をする。
11: パリで遊ぶ	時間をあらわす単語を覚えて、発音する。
12: 7-11課までの文法の復習	7-11課までの文法の復習をする。
13: 科目・先生について話す	動詞aimerを使って、科目・先生について話す練習をする。
14: クラブ活動について話す	課外活動の単語を覚えて、クラブ活動について話す練習をする。
15: これまでの総復習	これまでに学んできた文法事項を復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テキストのわからない単語は調べておくこと。毎回の授業に関して45分の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『Moi, je… コミュニケーション A1』(アルマ出版)、著者:Bruno Vannieuwenhuyse 他

Ⅵ. 評価方法と評価基準

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
到達度を測るためのテスト(定期テスト・小テスト)50%＋学習の意欲(授業への参加度、課題など)50%、を対象に総合的に評価します。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・教科書に沿って授業を進めます。教科書は必ず購入してください。
・ペアやグループでのロールプレイに対するコメントはその場で行い、課題は授業中または添削をし個別に返却するなど、課題の出題方法に応じて対応します。
・初めて学ぶ外国語の場合、継続的な学習が必要不可欠です。毎回の出席を心がけ、発音練習にも積極的に取り組んでください。また、日頃からインターネット、音楽や映画などで、フランス語圏に関する情報に親しんでください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日本事情	LP30122	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	教養科目		
大田　精一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

留学生が日本で気になる伝統文化、サブカルチャー、知っておきたい歴史をやさしい日本語でわかりやすく紹介。
教科書は用いず、毎回PowerPointの資料を用意。YouTubeの画像や動画など多様な情報と関連付け、なるべく視覚的に理解できるよう講義する。
今年は「戦後80年」ということもあり戦時中の日本の子どもと女性の生活を当時の絵本など実物を使った「さわれる授業」を行う。

Ⅲ. 学習成果

日本での日常生活の中で遭遇する独特の習慣やマナー、日本人特有の言語表現の意味を正しく把握できるようにする。
日本のおおまかなな歴史や文化、感性について、自国と比較しながら説明できるようにする。
自分が暮らす地域の歴史や出来事に関心を持つことで、周囲の日本人との関係を円滑にする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: オリエンテーション＝アジアの中の福岡・福岡の中のアジア	日本語で簡単な自己紹介をしてもらうので、準備すること
2: 「いつも大変お世話になっています」＝変？な言葉に見る日本人の心	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
3: 花火と浴衣・ディスコとボディコン＝ファッションと娯楽の歴史	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
4: 侍と忍者　将軍と天皇＝歴史的人物の伝説と実像	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
5: 菅原道真と太宰府天満宮＝「呪術廻戦・五条悟」の祖先・怨霊から神様へ	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
6: 茶道と茶菓子＝「抹茶好き」のルーツを探る	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
7: 風呂・トイレ・ゴミ分別＝日本人と「清潔」の歴史	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
8: 妖怪と来訪神＝見えない物を見る日本人の想像力	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
9: お正月の「鏡もち」・2月14日の「義理チョコ」＝日本の食と生活文化	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
10: 浮世絵から「ワンピース」へ＝漫画・アニメの歴史	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
11: フェイクニュースと闇バイト＝「正義」と「まじめ」の落とし穴	レジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
12: 【戦後80年】①戦争と子どもたち＝絵本に見る「将来の夢」	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
13: 【戦後80年】②戦争と女性たち＝千人針という「感情労働」	実物資料とレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
14: 日本の未来　アジアと共存するためにやるべきことは？	次回のレジュメに基づき解説する。各自レジュメを読んで復習すること
15: 自国と日本の未来、日本人への提言などを発表（アクティブラーニング）	事前に自身の見解をまとめ、各自簡単なプレゼンテーションを行う

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

講義の各項目ごとにレジュメをプリントしてテキストとする。
理解を深めるため、画像や動画を多用する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

講義への理解度をみる文章表現力　40%　自分の意見を発表・表現する力20%　学習の意欲・授業態度40%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

成績評価に当たっては、日本語能力は評価の対象としない。学習態度と参加意欲を重視する。
15回中で学生に課題を与え、レポートとして提出してもらい後日講師の意見を付与してフィードバックする。

専　門　科　目

２　　年

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
経営概論	LP41208	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「マネジメント(経営)」という学問は、営利組織である会社を主な研究対象として理論を発展させてきた。しかしながら今日では「マネジメント」を必要とする組織は、営利組織だけではなく、非営利組織である病院や図書館、NPO団体など広くその研究対象を広げ、各組織の目的に応じて利用されている。
2025年度より内容を変更し、経営戦略論の観点から企業経営について解説をするとともに、経営戦略論の観点が、私達の人生を考える際のヒントにもなり、様々な場面で活用できることをお伝えする予定である。

Ⅲ. 学習成果

①経営学で培ってきた理論を実際生活の中に結びつけて考えることができるようになる。
②アクティブリコールについて学び、学習法の一つを獲得し、試験勉強などに役立てられるようになる。
③アルバイトでの経験やテレビ・新聞で話題となったニュースを扱うので、実生活への応用がしやすくなる。
④就活の話題を多く盛り込む予定なので、就活中の学生が最新の情報を得つつ、自分の進路について深く考えることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション アクティブリコールについて 0「人生の経営戦略」の話をする。	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
2: 第1 目標設定について	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
3: 第3キャズムについて 第4適応戦略について	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
4: 第5,6 ポジショニングについて	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
5: 第7 CSV戦略 第8 内発的動機づけ	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
6: 第9 リソース・ベースド・ビューについて 第10 イニシアチブ・ポートフォリオ	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
7: グループワーク 課題1について	予習:第1回～第6回分をアクティブリコールを使って復習すること。 復習:課題1に取り組む。
8: 第11 ブルー・オーシャン戦略 第12 創造性理論	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
9: 第14 正味現在価値 第15 オプション・バリューについて	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
10: 第16 バランス・スコア・カードについて 第17 ベンチマーキング	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
11: グループワーク 課題1提出 課題2について	予習:第8回～第10回をアクティブリコールを使って復習すること。 復習:課題2に取り組む。
12: 第18 経験学習理論	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
13: 第19 発達思考型組織	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
14: 第20 サーバントリーダーシップ 課題2提出	予習:教科書の該当箇所を読む 復習:アクティブリコールを行い、今日の話を復習する。
15: まとめ	予習:第11回～第13回をアクティブリコールを使って復習すること。 復習:第1～15回を振り返り、第3期以降に備えておくこと。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

(教科書)人生の経営戦略 山口周著 ダイヤモンド社
(参考図書)「ワーク・モティベーション」 ゲイリー・レイサム著 NTT出版、「不機嫌な職場」 高橋克徳他著 講談社
「リーダーシップ論 第2版」 ジョン・P・コッター著 ダイヤモンド社、「会社コンプライアンス」 伊藤真著 講談社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出2回 30%(15%、15%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験(筆記試験)を実施する。課題のみならず、予復習もしっかり行うこと。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・主に一般事務メジャーの学生を対象としているが、他のメジャーからの参加者も対応できるプログラムとなっている。
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指示されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・第1回目から教科書を使用するので、必ず準備すること。
・Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用することも予定している。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス実務演習Ⅱ	LP41209	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス実務演習Ⅰで習得したビジネス実務・ビジネスマナーの基本を踏まえ、グループワーク・ロールプレイング(役割演技)・演習等により応用を試みる。
また、ビジネス実務演習Ⅰで触れていない文書等の分野について、実習等を通して知識・技能を身につける。

Ⅲ. 学習成果

・事例を通して、様々な場面におけるビジネス実務・マナーの考え方・知識を深め、振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:働くということ	視聴覚教材を視聴したレポートを作成する
2:来客応対①(接待)	GoogleClassroomに提示された、お茶入れ道具に関する動画を視聴しておく。 接待演習問題①の課題をGoogleClassroomに提出する
3:来客応対②(接待実習) 4名1グループで協力して、お茶入れ・お茶出しの実習を行う	接待演習問題②の課題をGoogleClassroomに提出する
4:報告の仕方① 事例についてグループでディスカッションし、まとめた意見を発表する　ロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 今回の事例のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
5:報告の仕方② 事例についてグループでディスカッションし、まとめた意見を発表する　ロールプレイングを行う	今回の事例のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
6:電話応対①(応用事例実習とメモの取り方) ロールプレイングを行う	テキスト第Ⅱ部　第3章「電話応対」の名指し人不在に関するページを読んでおく 今回の事例およびメモのポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
7:電話応対②(応用事例実習とメモの取り方) ロールプレイングを行う	今回の事例およびメモのポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
8:文書のマナー①(社外文書)	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の社外文書等に関する課題をGoogleClassroomに提出する 今回の演習問題のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
9:文書のマナー②(社内文書、一般文書)	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の社内文書・一般文書に関するページを読んでおく 今回の演習問題のポイントを確認し、次回授業での担当者の質問に答えられるようにしておく
10:文書の取り扱い	テキスト第Ⅲ部　第4章「ビジネス文書」の文書の取り扱いに関する課題をGoogle Classroomに提出する
11:訪問のマナーと紹介の仕方 4名1グループで、紹介・名刺交換のロールプレイングを行う	テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問・名刺交換・紹介に関するページを読んでおく
12:和室、和食のマナー	和室・和食マナーの課題をGoogleClassroomに提出する
13:交際の業務①(弔事)	テキスト第Ⅲ部　第6章「慶弔・贈答」の弔事・贈答に関する課題をGoogleClassroomに提出する。
14:交際の業務②(慶事)	電報に関する課題に取り組む 慶事等に関する課題をGoogleClassroomに提出する
15:事務機器使用のマナー まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「ビジネス実務　―信頼を得ることの大切さ―」　藤村やよい編著　㈱樹村房　　￥2，000＋税
2. 自作配付資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ベーシック簿記	LP41201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記3級の内容をベースに、複式簿記を初めて学ぶ学生を対象に、簿記の仕訳、記帳、計算ができるようになるための簿記原理を学びます。複式簿記は、日常の経営活動によって生じる現金や商品売買、貸借関係などを、貨幣額としてとらえて計算を行うところに特徴があります。簿記は企業の財産管理に役立てたり、簿記で計算した数値を企業外部の人たちに情報を開示する役割もあります。
このような背景も考えて、基礎的な商業簿記の内容を学びます。

Ⅲ. 学習成果

・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる
・勘定科目や簿記上の取引、仕訳の仕組みが理解できる修正記入前の貸借対照表・損益計算書が作成できる
・日商簿記3級の前半の内容が理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:企業の簿記 簿記の目的	予習:シラバスを読むこと 復習:指定の問題集の問題を解くこと(p4-6)
2:簿記の要素 貸借対照表、損益計算書	予習:教科書の範囲を確認すること(P7) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P8-10)
3:取引と勘定	予習:教科書の範囲を確認すること(P11) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P12-13)
4:仕訳と転記	予習:教科書の範囲を確認すること(P14) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P14-16)
5:仕訳帳と元帳	予習:教科書の範囲を確認すること(P17) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P17-21)
6:復習問題 グループワークあり	予習:これまでの内容を確認すること 復習:間違っている部分の理解をすること
7:試算表	予習:教科書の範囲を確認すること(P22) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P23-25)
8:決算手続きと意味 決算の意味と考え方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P27-29)
9:決算手続き 損益勘定を用いた締め切り方	予習:教科書の範囲を確認すること(P26) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P28-29)
10:損益計算書・貸借対照表	予習:教科書の範囲を確認すること(P30) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P30-32)
11:元帳の締め切り 演習問題(グループワーク)	予習:教科書の範囲を確認すること(P26-30) 復習:収益と費用の締め切りの手順のプリント課題
12:現金・現金過不足	予習:教科書の範囲を確認すること(P33) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P34-37)
13:当座預金・当座借越	予習:教科書の範囲を確認すること(P38) 復習:指定の問題集の問題を解くこと(P39-42)
14:総合問題① 仕訳をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること
15:総合問題② 試算表をメインとした総合問題	予習:これまでの内容を確認すること(P4-42) 復習:間違っている部分の理解をすること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的に予習は必要ないが、授業内で行ったことは復習として問題を解くこと。準備学習の時間は60分程度を目安としています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言により構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内で問題を解く時間を作るため、その際に質問を受け付ける。また、その際に課題のチェックも行う。
高等学校で簿記会計を学んで、3級以上の以上の内容を学び、仕訳ができる人は、ベーシック簿記(青柳先生)を受講すること。
毎時間電卓を持ってくること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ベーシック簿記	LP41202	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記の科目を学んだ学生や1年次に簿記を学んだ内容の復習を行い、仕訳を中心に授業を進めます。
毎回の授業では、テーマを決めて行いますが、場合によっては、個人の進度に応じて、問題を解く時間を取り、在学中に
日商簿記検定2級・3級の受験を視野に入れた基礎固めを行います。

Ⅲ. 学習成果

・簿記の計算構造が理解できる。
・日商簿記検定が受験できるように、2級、3級の基礎固めを行う。
・仕訳を理解し、財務諸表が作成できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業のガイダンス 簿記の基本問題(高校時代の復習)	高校時代に取得した簿記検定試験があれば、調べてくる。
2: 商品売買取引(仕訳) 分記法と3分法(仕訳)、商品有高帳	基本の仕訳のプリント課題に取り組む。
3: 商品有高帳 掛け取引、人名勘定(仕訳)	練習用の仕訳のプリント課題に取り組む。
4: クレジット売掛金 手形取引、電子記録債権、電子記録債務	現金出納帳・当座預金・当座借越の問題を解く。
5: 有形固定資産取引 その他の債権債務①	現金過不足の問題をを解く。
6: その他の債権債務② 税金の処理	通貨代用証券について調べる。
7: 訂正仕訳 期中取引の集計(問題を教えあう)	商品売買の問題を解く。
8: 株式会社の設立　剰余金の配当 貸倒引当金	電子記録債権・電子記録債務の仕訳の問題を解く。
9: 有形固定資産の減価償却 有形固定資産の売却	固定資産の取得と売却の仕訳の問題を解く。
10: 租税公課と引出金、差入保証金 グループワーク(問題を解き、答え合わせをしよう)	差入保証金の仕訳の問題を解いてくる。
11: 決算　一連の流れ	減価償却の間接法による減価償却費の計算の問題を解く。
12: 収益費用の見越しについて グループワーク(問題を解いて答え合わせをしよう)	金銭債権から貸倒引当金を計算してくる。 決算時に行う、見越しの簿記処理を練習する。
13: 収益・費用の繰延べ グループワーク(解らないところを確認しよう)	収益・費用の繰延の仕訳を解く。
14: これまでの復習問題	配付した課題の問題を解く。
15: まとめ	試験範囲の確認し、仕訳を中心に問題を解く。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

毎回教材やプリントを配付する。
(すでに日商簿記3級を取得している学生には、日商簿記2級の教材を使用します。)
参考文献:日商簿記ゼミ　3級　問題演習　改訂版　実教出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、提出物20%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・授業時には毎回電卓を持参してください。
・高等学校で簿記を学んでいると思いますが、仕訳ができれば大丈夫ですので安心して受けてください。また、各自の進度に応じて授業を進めていきます。
・提出された課題をチェックしたり、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
原価計算論	LP41210	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では、日商簿記検定試験2級の工業簿記・原価計算のテキストに沿って、総合原価計算を中心に、原価計算の基礎知識を学びます。
原価計算では材料費、労務費、経費などの費用（コスト）が発生します。このような費用の計算と、どこが負担をするのかを学びましょう。
まずは、お菓子の工場などの事例を挙げて、わかりやすく解説します。
商業簿記とは異なる簿記の世界を学んでみましょう。

・基礎的な工業簿記と原価計算について理解し、問題が解ける。
・工業簿記と商業簿記の違いを理解する。
・原価計算方法の違いが理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 工業簿記とは 工業簿記の種類、直接費と間接費、グループワーク	シラバスで授業の内容を確認する。 教科書1－04　原価の分類を解く。
2: 工業簿記のアウトライン 材料費・労務費・経費、グループワーク	教科書2－04の製造原価の分類の表を、自分のノートに記入し、 製造直接費と製造間接費について確認する。
3: 製品の完成・販売までの処理 仕掛品・製品・売上原価と損益の仕訳	仕掛品勘定と製品勘定の違いを70字程度にまとめる。 2－13ページの仕訳の問題を解く。
4: 総合原価計算の基礎 総合原価計算の基礎	大量生産をする身近な商品をしらべ、100字でまとめる。 完成品単位原価の計算を確認する。
5: 加工費と加工進捗度について	教科書p3－8を読んで、加工進捗度の図を記入し、カッコをうめる。 月末仕掛品がない場合の完成品単位原価を計算する。
6: 総合原価計算表 単純総合原価計とは	教科書3－9～3－11までを読み、総合原価計算表を完成させる。 TRY　ITの問題を解く。
7: 単純総合原価計算（平均法）	教科書3－12～3－14を読み、TRY ITの問題を解く。
8: 単純総合原価計算（先入先出法） 当月投入からの配分と月末仕掛品と完成品への配分	教科書3ー17～3－19までを読み、TRY ITの問題を解く。
9: 組別総合原価計算	教科書3－22～3－23の問題を解く。
10: 等級別総合原価計算 積数とは	教科書3－27～3－28を読み、計算方法を確認する。 3－31のTRY ITの問題を解く。
11: 総合原価計算の復習	教科書3－33の問題を解く。
12: 標準原価計算、標準原価計算の一連の手続き 標準原価カード	教科書p6－43～6－45よ読んで、シングルプランとパーシャルプラン について100字程度にまとめる。
13: パーシャルプラン	教科書p6-48のTRY ITの問題を題を解く。
14: 復習問題	配付した復習問題を解く。
15: まとめ	授業時に解いた問題を振り返る。 シラバスを読み、でこれまで学んだ内容を振り返る。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
準備学習については、各回1時間程度行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『とおるテキストシリーズ　日商簿記2級　工業簿記　』ネットスクール株式会社著　　ネットスクール出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・前回解けなかった問題は、もう一度準備学習の時に解いて、授業に臨んでください。
・毎回の授業には、電卓を持参してください。
・わからないことは気軽に質問してください。質問があったところは、次の授業で復習します。少しずつ理解を深めていきましょう。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

挨拶ができることや、名前を呼ばれたらしっかり返事するなど、人間関係の基本をまずマスターします。
そのあとは授業計画のとおり進めますが、中心は、話し方と言葉づかい、接遇、電話応対等の基本です。
「実際にできる」ことに重点を置き、ロールプレイで実践することで知識や技能を定着させることができます。

Ⅲ. 学習成果

・誰にでも自分から挨拶ができ、きちんとした返事ができる。
・正しい敬語を使い、感じのよい応対ができる。
・授業内でコミュニケーションをとって、ロールプレイを積極的に行うことができる
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション　授業の進め方・評価方法　ビジネス実務を学ぶにあたって 第一印象の重要性①(挨拶・立ち振る舞い)　ビジネスマナーについてのDVD視聴	シラバスの内容を事前に確認しておく。 DVDを見ての感想をまとめてGoogleフォームで提出する。
2:第一印象の重要性②(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキストP32　ポイント学習の問題を解く。
3:企業とビジネス活動／学生と社会人との違い	テキストP12～P17を読んで、わからない用語を調べる。 テキストP24　ポイント学習の問題を解く。
4:人間関係と話し方、聞き方 ペアで聞き方の実習をする	聞き方についてのプリントを読み、授業で行うワークの準備をする。 聞き方についてのポイントを整理する。
5:話し方と敬語①(話し方、敬称などさまざまな敬語 (話し方、敬称などさまざまな敬語(敬意)表現について	テキストP34～P36を読む。発音に関するプリントを使用し、練習する。 敬語・接遇用語演習問題に取り組む。
6:話し方と敬語②(尊敬語、謙譲語、丁寧語、美化語) 場面による敬語の使い分けなど	ビジネスマナー基礎実習　P9　言葉遣いの問題を解く。 ビジネスマナー基礎実習　P11 敬語問題を解く。
7:話し方と敬語③(応対用語) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	応対用語のプリントを使用して、練習をする。 敬語・接遇用語小テストに向けて準備をする。
8:指示の受け方と報告の仕方(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う　◆小テスト実施	秘書検定準1級報告課題のプリント問題で報告の練習をする。 指示を受ける、報告をする際のポイントを整理する。
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの基本的流れを覚えてくる。 基本事例を口頭練習し覚える。
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる。 応用事例を口頭練習する。
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる。 テキストP80　第4章のポイント学習の問題を解いておく。
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題に取り組む。 電話応対・来客応対　小テストに向けて準備する。
13:訪問のマナー　◆小テスト実施 他社訪問、就職活動についての訪問・説明会参加のマナー	マイナビの指定サイトの動画を視聴しておく。 テキストの該当ページを読んで、シートを記入しておく。
14:交際の業務①(冠婚葬祭-慶事、贈答、表書き)	交際業務　テキストP122～P124を読んでおく。 適切な上書きができるようポイントを整理する。
15:交際の業務②(冠婚葬祭-弔事、表書き)　まとめ　◆実技テスト実施	来客応対の実技テストに向けて準備する。 単位認定試験に向けた学習を行う。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと
・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

(教科書)
1. 新ビジネスとオフィスワーク　水原 道子監修　宮田篤　編著　㈱樹村房　1,900円(税別)
2. ビジネスマナー基礎演習＜新版＞　早稲田教育出版　500円(税別)　3.プリント
(参考図書)　・日本で働くための本-就活生から社会人まで-　㈱アスク出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(50%)　2. 課題、ポートフォリオ提出、小テスト(20%)　3. 実技テスト(15%)　4. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、積極的に参加し、互いに協力することが求められる。
3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. プリントを配布するので、ファイリングをすること。(ポートフォリオの提出有)
5. 提出課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。小テストについては、実施後、解答用紙を回収後に解答・解説を行う。次の授業で返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ビジネス実務演習Ⅰ	LP41203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
則松　眞由美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

顧客満足(CS)を高める要素の一つに、人によるサービスがある。これは、顧客との円滑なコミュニケーションを図り良好な人間関係を築くことで、企業に対する良い印象を形成し、顧客に満足してもらうことである。ビジネスマナーはコミュニケーション力ともいえる。この科目では、ビジネスでの基本的なマナーを学び、身につける。

Ⅲ. 学習成果

・CSにおける、ビジネスマナーの重要性を説明できる。
・基本的なビジネスマナーの知識と振る舞い・技能を身につける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:CSとマナー(授業科目の目的・目標)	テキスト第Ⅱ部　第5章「ホスピタリティとサービス」を読んで課題をGoogleClassroomに提出する
2:人間関係と印象(身だしなみ、表情、基本姿勢、動作) ペアでお辞儀の実習を行い、互いにチェック・アドバイスをする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(5)動作」までを読んでおく
3:人間関係と話し方、聞き方① ペアで聞き方の実習をする	テキスト第Ⅱ部　第1章「第一印象の大切さ」「(6)話し方(7)聞き方」を読んでおく 身だしなみ・基本姿勢等のチェックリストと聞き方実習のコメント表を完成させる
4:人間関係と話し方、聞き方② 自分の声を録音し、チェックする	発音に関するプリントを使用して、練習をする。
5:ことば遣い①(敬語) 敬語の種類・作り方・陥りやすい間違いなど	テキスト第Ⅱ部　第2章「言葉遣い」55ページまでを読んでおく 敬語・接遇用語演習問題No.1の課題をGoogleClassroomに提出する
6:ことば遣い②(敬語、接遇用語) 場面による敬語の使い分けなど	敬語・接遇用語演習問題No.2の課題をGoogleClassroomに提出する 敬語演習問題(2)のテスト準備をする
7:指示の受け方と報告の仕方①(基本的な指示の受け方・報告の仕方) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	テキスト第Ⅰ部　第5章「仕事の基本」を読んでおく 敬語・接遇用語演習問題のテスト準備をする
8:指示の受け方と報告の仕方②(複数の指示の受け方・報告の仕方など) 上司と部下に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	指示を受ける、報告をする際の基本的な用語を覚えてくる
9:電話応対①(基本的な取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	電話応対に関する課題をGoogleClassroomに提出する 基本事例を口頭練習し覚えてくる
10:電話応対②(名指し人が不在の場合など) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	取り次ぎの応用の流れを覚えてくる 応用事例を口頭練習する
11:来客応対①(基本的な受付・取り次ぎ) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対(受付・取り次ぎ)の基本事例を口頭練習し覚えてくる
12:来客応対②(案内・見送り) お客様と社員に分かれて、ペアでロールプレイングを行う	来客応対課題・席次課題をGoogleClassroomに提出する
13:訪問のマナー	GoogleClassroomに提示された追加記入を、テキスト第Ⅱ部　第4章「来客応対」の他社訪問に関するページに記入する。
14:交際の業務(贈答など)	テキスト第Ⅲ部　第6章 第2項「贈答の知識」の課題をGoogleClassroomに提出する 贈答の金品の包み方のポイントを覚えてくる
15:まとめ	この科目で使用したプリント類をファイリングする 単位認定試験に向けた学習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと　・学んだことは日常生活で実践するよう心がけること
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「ビジネス実務　―信頼を得ることの大切さ―」　藤村やよい編著　㈱樹村房　　￥2，000＋税
2. 自作配付資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(60%)　2. 提出物、小テスト(25%)　3. 学習の意欲(15%)
授業中の私語・居眠り・スマートフォン等の使用等は減点の対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。2. ペアあるいはグループでのロールプレイング(役割演技)・ワークをするので、互いに協力することが求められる。3. ビジネスマナー受講に適した身だしなみとマナーを心がける。
4. 課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:銀行、旅行会社に勤務経験あり。職場での体験をもとにした事例等を使用して、ロールプレイング、問題演習等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅰ	LP41204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目は「ベーシック簿記」で学んだ簿記の知識に基づき、日商簿記3級程度の知識と処理能力を身に付ける。11月および2月に開催(予定)される日商簿記3級に向けて焦点を当て、解説と問題を解くことを中心に行う。

Ⅲ. 学習成果

日商簿記3級程度の知識を身に付け、検定試験に合格する水準まで簿記を理解できる。
ビジネスの場面においても日商簿記3級の範囲内の用語の理解と簡単な説明ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:小口現金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P43-47)
2:商品売買(3分法)	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P48-56)
3:商品有高帳	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P62-68)
4:売掛金・買掛金、貸倒引当金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P69-75)
5:受取手形・支払手形	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P76-81)
6:クレジット売掛金・その他債権・債務	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P82-88)
7:固定資産の減価償却・売買	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P89-92)
8:営業費・税金	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P93-98)
9:決算整理①費用の前払い・収益の前受け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P100-102)
10:決算整理②費用の未払い・収益の未収	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P103-107)
11:試算表の作成①合計残高試算表の作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P108-111)
12:試算表の作成②仕訳から試算表の作成手続き	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P112-119)
13:精算表の作成①修正記入と作成	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P120-125)
14:精算表の作成②損益計算書と貸借対照表の振り分け	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P126-129)
15:帳簿の締め切り	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P130-133)
16:損益計算書・貸借対照表	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P134-140)
17:伝票会計①3伝票制・5伝票制の処理	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P141-146)
18:伝票会計②仕訳から伝票へ	復習:指定された問題集の問題を解くこと(P147-149)
19:総合問題1	復習:間違った問題の理解をすること
20:総合問題2	復習:間違った問題の理解をすること
21:総合問題3	復習:間違った問題の理解をすること
22:総合問題4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
23:精算表問題1	復習:間違った問題の理解をすること
24:精算表問題2	復習:間違った問題の理解をすること
25:精算表問題3　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
26:過去問題演習1	復習:間違った問題の理解をすること
27:過去問題演習2	復習:間違った問題の理解をすること
28:過去問題演習3	復習:間違った問題の理解をすること
29:過去問題演習4　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること
30:過去問題演習5　グループワークあり	復習:間違った問題の理解をすること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
基本的に予習は不要である。復習として毎時間、問題集の問題を指示する。復習にかかる時間は毎時間1時間程度の分量である。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ベーシック簿記で使用した教科書及び問題集を使用する(持っている場合は追加で購入する必要なし)
『最新段階式　日商簿記検定問題集3級』 実教出版
※改定があった場合は、予習・復習の範囲が変わることもある

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)
学習の意欲(30%)　受講態度や発言によって構成

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、授業内での質問に答える形とする。その時間は毎時間設ける。
積み重ねの授業のため、原則欠席はしないこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅰ	LP41205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、高校時代に簿記会計の科目を学んだ学生を対象に、2期のベーシック簿記(経験者クラス)に引き続き授業を行う。よって、仕訳ができることを前提に授業を進めます。この授業では、主に11月又は2月の日商簿記検定の受験へ向けて準備を進めます。高校時代の学びと短大との学びをリンクさせながら、疑問点や出題頻度の高い箇所は、重点的に説明することがありますが、基本的に、授業内では問題を解きます。
また、2級の受験者に対しては、商業簿記を中心に行います。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級・3級の基礎的な問題が解けるようになる。
・問題を解くスピードを身に付ける。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ガイダンス	シラバスを確認する。自分の受験する時期を決定する。
2: 日商簿記2級又は3級の復習問題①	復習問題①の中で、間違った問題を解く。
3: 復習問題①の解説を行う。	復習問題①に関する練習問題を解いて提出する。
4: 日商簿記2級又は3級復習問題②	復習問題②の中で、間違った問題を解く。
5: 復習問題②解説を行う	復習問題②に関する練習問題を解いて提出する。
6: 日商簿記2級又は3級の復習問題③	復習問題③の中で、間違った問題を解く。
7: 復習問題③の解説を行う。	復習問題③に関する練習問題を解いて提出する。
8: 日商簿記2級又は3級の復習問題④	復習問題④の中で、間違った問題を解く。
9: 復習問題④の解説を行う。	復習問題④に関する練習問題を解いて提出する
10: 日商簿記2級又は3級の復習問題⑤	復習問題⑤の中で、間違った問題を解く。
11: 復習問題⑤の解説を行う。	復習問題⑤に関する練習問題を解いて提出する。
12: 授業前半のまとめ・振り返り	これまで解けなかった問題をもう一度解く。
13: 模擬問題①	模擬問題①の中で間違った問題を解く。
14: 模擬問題①の解説を行う。	模擬問題①に関する練習問題を解く。
15: 模擬問題②	模擬問題①の中で間違った問題を解く。
16: 模擬問題②の解説を行う。	模擬問題②に関する練習問題を解く。
17: 模擬問題③	模擬問題③の中で間違った問題を解く。
18: 模擬問題③の解説を行う。	模擬問題③に関する練習問題を解く。
19: 模擬問題④	模擬問題④の中で間違った問題を解く。
20: 模擬問題④の解説を行う。	模擬問題④に関する練習問題を解く。
21: 模擬問題⑤	模擬問題⑤の中で間違った問題を解く。
22: 模擬問題⑤の解説を行う。	模擬問題⑤に関する練習問題を解く。
23: 模擬問題⑥	模擬問題⑥の中で間違った問題を解く。
24: 模擬問題⑥の解説を行う。	模擬問題⑥に関する練習問題を解く。
25: 模擬問題⑦	過去問題集の中で間違った問題を解く。
26: 模擬問題⑦の解説を行う。	過去問題集に関する練習問題を解く。
27: これまでの復習問題を解く	ワークブックの問題で間違った問題を解く。
28: 精算表、貸借対照表、損益計算書の作成問題	ワークブックに出た問題に関連する練習問題を解く。
29: まとめ	これまで解いた問題をチェックし仕訳を行う。
30: 振り返り　グループワーク	これまでに解いた問題を見直す。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・毎回の授業の時間で解けなかった問題は、準備学習の時間の中で解いてください。準備学習は、各回30分以上行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『 25年度　まるっと完全予想問題集　3級　TAC出版　』
2級を学ぶ場合は、別途問題集を購入することがあります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習への意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・日商簿記検定の受験を前提に授業を進めていきます。分からないところは、どんな些細なことでも質問してください。
・授業では、予習をしてのぞむこと。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
人的資源論	LP41206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では会社での働き方や様々な制度などを学びます。
また自分にとって働くことはどのようなことか、また会社(業界)と組織の両方を知ることで、自分がどのような仕事に向いているかを確認します。
そのために様々な業界についても学習します。

Ⅲ. 学習成果

会社(業界)、人事・報酬制度や人材マネジメントを理解し、どのような会社に就職したいかということに自分の意見を持って選択できるようになることを目標とします。また、会社での働き方やトラブルについて学ぶことで社会人になって苦境に陥った時に自分で対処できる知識を身に付けます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション 自分の現状と社会の現状を知る	予習:シラバスを読むこと 復習:自分の現状を表にする課題シートの完成
2:ブラック企業とは 劣悪な労働条件を考える	予習: 復習:自分にとってのブラック企業をリスト化するシートの完成
3:様々な雇用の形態 正規雇用と非正規雇用	予習: 復習:正規雇用などの働き方に関する課題の完成
4:労働問題に関する政府の対応 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:身近な労働問題をまとめる課題シートの完成
5:会社でやってはならないこと 会社の懲罰	予習: 復習:懲罰に関する課題シートの完成
6:アパレル業界の働き方 ICTアプリ等を利用した双方向型の学習を含む	予習: 復習:アパレル業界とその働き方の課題シートの完成
7:企業努力と賃金	予習: 復習:賃金の状況に関する課題の完成
8:小売業界の働き方① スーパーを例として	予習: 復習:小売業界に関する課題の完成
9:小売業界の働き方② 家具メーカーを例として	予習: 復習:小売業界に関する課題の完成
10:様々な働き方 限定社員や一般職	予習: 復習:働き方を考えるための課題シートの完成
11:旅行業界の働き方	予習: 復習:旅行業界に関する課題の完成
12:報酬と福利厚生	予習: 復習:福利厚生に関する課題の完成
13:金融業界の働き方	予習: 復習:金融業界に関する課題の完成
14:セカンドキャリア	予習: 復習:セカンドキャリアに関する課題の完成
15:職場環境とまとめ	予習: 復習:職場環境に関する課題の完成

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
テーマに沿った課題を課します。ほとんどが事後課題となります。課題にかける時間は30分から1時間程度を予定しています。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎時間プリントを配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

レポート課題(50%)
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、点数や評価を付けて返却します。また、良い課題は全員で共有するため授業内で報告します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
パーソナルファイナンス	LP41207	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	一般事務指定科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

パーソナルファイナンスとは、個人のお金周りの管理に関する知識や技能を指す。人は企業とは異なり、ライフサイクルを持ち、人生における各ステージで考えるべき内容は当然異なる。将来の老齢年金の受取額が現在の高齢者より少なくなることが確実な中、自らのライフスタイルを考え、世の中にある金融商品をうまく活用し、豊かなライフプランを描く能力が必要とされている。本講座では、教養の「くらしと金融」の話を土台として、今後の人生の中で必要となる、投資についての話をメインにお伝えする。新NISAが始まる前にしっかり制度の内容と自身の生活について、考えましょう。

Ⅲ. 学習成果

①自分自身のライフプランを描き、自らのお金周りと合わせて検討できるようになる。具体的には、キャッシュフロー表を自ら作成できるようになる。
②人生の「貯め時」、「耐え時」を理解し、世の中の金融商品をうまく使うことで、自分の人生をより豊かにできることを理解する。
③老後資金を準備するために、投資を若いうちから理解し、早く投資を始めたほうが有利になることを理解する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション パーソナルファイナンスとは何か？	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:配布資料の要点をまとめておくこと。
2: 人生100年時代に備える グループワークの実施	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:「貯め時」と「耐え時」を理解し、自分の人生のお金周りを考えてみる。
3: 複利計算と現在価値	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:複利計算の特徴を理解すること。
4: キャッシュフロー表の作成① ※課題1の解説　パソコン室を利用	予習:自分のライフイベントを考えておくこと。 復習:課題1に取り組む
5: キャッシュフロー表の作成② パソコン室を利用	予習:課題1の完成。 復習:課題1の仕上げ
6: 金融リテラシー① 金融商品の種類 ※課題1の回収	予習:課題1の確認 復習:作成したキャッシュフロー表の特徴をまとめておくこと。
7: 金融リテラシー② 金融市場の機能	予習:前回資料の復習 復習:金融市場の機能の復習
8: 債券投資① 金利と債券 ※課題2の提示	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:課題2の取り組み
9: 債券投資② 利回り計算	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:利回り計算の復習
10: 債券投資③ 債券のリスク及び代表的債券について	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:債券の復習
11: 株式投資① 配当還元モデル、PER、PBR	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:配当還元モデルの復習
12: 株式投資② 分散投資について 課題2の回収	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:分散投資の重要性を確認すること。
13: 投資信託	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:配布資料を元に、投資信託の特徴をまとめておくこと。
14: iDeCo、NiSA等	予習:教科書の該当箇所を読んでおくこと。 復習:iDeCo、NISAの特徴をまとめておくこと。
15: まとめ	予習:課題3の完成。 復習:5期からの学びに向けて、再度全体を振り返ること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・求める準備学習は各回異なるので、担当者の指示に従い、予復習及び課題の作成を行うこと。 ・為替レート、金利、株価なども定期的に尋ねる。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書 「投資の超基本」 朝日新聞出版　泉美智子著
参考書 「ファイナンス論」 有斐閣　大村敬一著
「'24-'25年版みんなが欲しかった！ FPの教科書 3級」 TAC出版　滝澤ななみ著
「これでわかった！ファイナンス」 PHP新書　永野良佑著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験 50%、課題3回 30%、学習の意欲 20%
・受講態度には、毎回回収するプリントについて指定されたとおり記入しているかどうか等も含まれる。
・定期的に、為替レート、金利、株価について尋ねるので、新聞やネットで日々確認する習慣を身につけて欲しい。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・毎回回収するプリントは、次回の講義の際に返却を行う。
・毎回回収するプリントおよび課題は、必要に応じてコメントをつけて返却する。
・私語・スマートフォンの私的利用は禁止しており、減点の対象とする。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・Google Classroomの利用については、主として授業外学習の促進のために活用する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
調剤報酬請求事務	LP42206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

保険診療の基礎や薬の知識を基に、調剤薬局における調剤報酬のしくみ、点数算定の方法とレセプト作成要領を実践的に学ぶ。
『調剤事務管理士技能認定試験』を受験できる能力をつけ、合格できるようになる。(別途　検定対策を実施する。)

Ⅲ. 学習成果

1. 調剤薬局などにおいて即戦力として働けるよう、調剤報酬のしくみを知り、確実な点数算定とレセプト記載の習得を目標とする。
2.「処方箋」からレセプト作成が正確にできるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(受講に関する諸注意と検定試験、薬局研究について) 薬局の基礎知識、1年の復習(保険診療の知識、薬剤の算定練習)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 1年の復習問題を解いて、次回の授業で提出する。
2:保険調剤のしくみ(薬局と医薬品販売業、保険診療の流れ) 保険薬局での事務の仕事(日常業務、請求業務)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬剤料の算定問題を解く。
3:処方箋の基礎知識(様式と記載内容、その他の留意点) 薬剤の基礎知識	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 処方箋の読み方を復習して、まとめる。
4:算定の基礎知識、算定に必要な用語 調剤報酬の区分、調剤報酬の算定単位	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 算定に必要な用語(受付回数、1剤、1調剤)を復習して、まとめる。
5:調剤報酬の算定方法①-1 調剤基本料算定のルール、調剤基本料の加算	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 調剤基本料加算の問題を解く。
6:調剤報酬の算定方法①-2 調剤料基本料の加算、薬剤料の算定	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 調剤基本料、薬剤料の練習問題を解く。
7:レセプトの基礎知識、1～6回目の振り返り　◆小テスト	小テストに向けて準備をする。 レセプト記載要領にそって、レセプトを作成する。
8:調剤報酬の算定方法②-1　薬局研究・発表について 薬剤調製料の算定、薬剤調製料の加算①②(麻薬・自家製剤・計量混合調剤加算)	調査する薬局をピックアップする。 薬剤調製料①②の練習問題を解く。
9:調剤報酬の算定②-2 薬剤調製料の加算③(嚥下困難者用製剤・無菌製剤処理・在宅患者調剤加算)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬剤調製料③の練習問題を解く。
10:調剤報酬の算定②-3 薬剤調製料の加算④⑤(受付時間による加算、加算の重複)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬剤調製料④⑤の練習問題を解く。
11:調剤報酬の算定③-1 薬学管理料①②(調剤管理料、服薬管理指導料)算定のルールと加算	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 薬学管理料の練習問題を解く。
12:調剤報酬の算定③-2 薬学管理料③(かかりつけ薬剤師指導料、外来服薬支援料)算定のルールと加算	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 授業中の演習問題を使用して、レセプトを作成する。
13:調剤報酬の算定③-3、レセプト作成・点検 薬学管理料④、算定演習	レセプト記載要領にそって、レセプトを作成する。 授業中の演習問題を使用して、レセプトを作成する。
14:薬局研究発表準備 グループワーク:薬局研究発表に向けてスライド資料を作成する	発表スライドを作成し完成させる。
15:薬局研究発表、検定・試験に向けて グループ発表を行い、調剤事務の仕事や地域の薬局について理解を深める	発表原稿を作成し、練習を行う。 検定試験対策(計画)を立てる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページと復習問題は、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.調剤薬局事務講座 テキスト　2.レセプト記載ルール　3. 資料ブック
4.トレーニングブック　5.配布プリント　※調剤事務管理士　模擬問題集は検定受験希望者のみ別途購入(授業内で案内)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.課題提出(薬局研究を含む)・小テスト(30%)　3.学習の意欲(20%)(課題作成状況・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 調剤報酬請求事務の基礎的能力を身につけ、8月の検定に向け合格を目指します。7回目以降は練習問題とレセプトを関連させるよう授業展開します。
2. 授業だけでは知識の定着は難しいので、課題や練習問題で必ず復習してください。
3. 毎回、電卓を持参してください。
4. 教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
5. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却します。　6.授業中の私語・居眠り・携帯などの使用、テキスト忘れは減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療保障制度	LP42201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療保障制度の基本的なしくみや診療報酬の請求、支払いの流れなどの知識の習得を目標とする。
医療事務職にとって必要な医療制度にかかわる関係法規について学び、医療事務職としての業務を遂行するために必要な基礎づくりを行う。
3・4期に学習する「医療事務」や2年次1・2期に学習する「調剤報酬請求事務」の授業に必要な基本知識が定着し、活用できるようになる。

Ⅲ. 学習成果

・医療保障制度や診療報酬のしくみ、医療事務の流れを理解できるようになる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の授業への導入となる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・医療保障制度①②　医療事務メジャーの学習について (医療機関の分類／医療機関と薬局との関係)	シラバスの内容を事前に確認しておく。 指定された練習問題を解く。
2:医療保障制度③ (医療機関の組織／医療保障制度の体系／療養担当規則／健康保険法)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 療養担当規則のプリントを読んで、大切な箇所に線を引く。
3:医療保障制度④、医療保険の種類① (医療保険のしくみ／75歳未満の医療保険／社会保険、国民健康保険の種類)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 指定された練習問題を解く。
4:医療保険の種類②③ (75歳以上の保険／被保険者証とその見方)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 授業のプリントの内容を確認する。自分の保険証を調べてみよう。
5:保険給付のしくみ　保険給付①②、その他の保険給付①②　病院研究について (保険給付の範囲と種類／給付割合と患者負担割合／高額療養費制度)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 現物支給と現金支給について整理する。
6:保険外併用療養費、その他の医療保障制度①②(公費負担医療制度) (保険外併用療養費と種類／公費負担医療制度と種類・しくみ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 指定された練習問題を解く。
7:その他の医療保障制度③④⑤⑥ (生活保護法／難病法／感染症法／労災保険)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 授業で配布されたプリント1回～7回までのポイントを整理する。
8:その他の医療保障制度⑦　◆小テスト実施 (介護保険／自賠責保険)	小テストに向けて範囲を学習して準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
9:医療事務の業務内容① (医療従事者としての心構え／医事課の窓口業務／日常業務と請求業務)	次回講義内容のプリントを読み、わからないことを書きだす。
10:医療事務の業務内容② (会計・請求業務／レセプトの基礎知識と上書き／負担金の計算)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 診療録(カルテ)を見て、レセプトの上書きを書いてみよう。
11:歯科事務・調剤事務の業務内容 (レセプトの基礎知識／調剤薬局の業務の流れ)	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 小テスト範囲の要点を整理する。負担金の練習問題を解く。
12:診療報酬の算定方法 (点数表の見方・読み方)　◆小テスト実施	小テストに向けて範囲を学習して準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
13:病院研究　調査 グループワーク:発表する病院をグループで決定し、情報収集しまとめる。	各自で興味のある病院を1施設ピックアップして情報収集する。 情報収集したものを整理し、スライドを作成する。
14:病院研究　発表 グループワーク:情報収集し、まとめた病院についてグループで発表する	スライドを完成させ、発表に向けて準備する。 他グループの発表を聞いて、情報を整理する。
15:まとめ　ポートフォリオ提出	ポートフォリオ提出に向けてプリント類を確認し、整理する。 定期試験に向けて範囲を学習し、準備する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。
・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.医療事務講座　テキスト1「医療保障制度」(ソラスト)
　　2.配布プリント
参考書:「最新　医療関連法の完全知識　2025年版」(医学通信社)
　　「公衆衛生がみえる 2024-2025」(メディックメディア)　　「最新・医療事務入門　2025年版」(医学通信社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定試験(50%)　2. 小テスト・提出物・発表(35%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
3.授業中の私語・居眠り・携帯電話の使用、テキスト忘れは減点の対象とします。
4.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療の基礎知識	LP42202	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
原田　景太		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この講義では、医療事務従事者に求められる知識として、人体の基本的な構造と機能、代表的な疾患および、その検査・治療法について解説します。
各器官系の役割と正常な状態から、それぞれの病状を説明します。また、医療倫理をはじめ、多職種と連携が取れるよう理解を深めます。

Ⅲ. 学習成果

基本的な医学の専門用語について説明できる。
代表的な疾患の概要、検査・治療方法について理解し、医療事務検定試験に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 人体の基本的構造と機能について	指定教科書の学習内容を確認し、人体の構造について調べてくる。 1回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
2: 疾病の成り立ちについて	指定教科書の学習内容を確認し、疾病の成り立ちについて調べてくる。 2回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
3: 運動器(全身の筋・骨格)	事前学習(運動器(全身の筋・骨格)) 3回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
4: 脳・神経疾患	事前学習(脳・神経) 4回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
5: 呼吸器疾患	事前学習(呼吸器) 5回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
6: 循環器疾患	事前学習(循環器) 6回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
7: 消化器疾患(上・下部消化管)	事前学習(消化管) 7回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
8: 消化器疾患(肝臓・胆道・膵臓疾患)	事前学習(肝臓・胆道・膵臓) 8回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
9: 腎・泌尿器疾患	事前学習(腎・泌尿器) 9回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
10: 血液疾患	事前学習(血液・造血器) 10回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
11: 感染症について(生体防御・免疫) グループワーク:感染症予防について	事前学習(感染・免疫機能) 11回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
12: 内分泌・代謝疾患	事前学習(内分泌) 12回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
13: 性・生殖器	事前学習(乳房・女性生殖器) 13回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
14: 感覚器(眼・耳鼻・皮膚)	事前学習(感覚器) 14回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施
15: 体温調節について グループワーク・発表:感染症予防について(アクティブラーニング)	事前学習(皮膚・体温調節) 15回講義内容について小テストをGoogleclassroomで実施

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習・復習等の学習は、各回45分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習をたした180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『しくみと病気がわかる　からだの事典』田沼久美子ほか (監修)　成美堂出版　1,760円
常日頃から、現在の医療を取り巻く問題について、新聞やテレビ、インターネット等の情報に関心を持つよう心がけてください。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　課題レポート・小テスト(30%)　学習の意欲(10%)
課題の提出期限を過ぎた場合は、50%の評価になります。期限を守りましょう。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

配布資料等は、ファイルにまとめ保存してください。
課題については、講義内および Google Classroomで説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療事務	LP42203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義は、医療事務職として業務に従事できるよう基本的な知識と技能を修得することを目的としています。医療機関において重要な業務に、診療報酬請求業務があります。そのために必要となる診療報酬の点数計算について、診療行為別の算定方法とルールを学びます。
技能認定振興協会主催　医科 医療事務管理士技能認定試験の受験をすることができます。(別途検定対策を実施します)

Ⅲ. 学習成果

1.診療報酬請求の事務のしくみを理解することができる。
2.診療行為別の点数算定方法とそのルールを理解し、点数計算ができるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　オリエンテーション　(授業の進め方・評価方法)/医療保障制度授業内容復習	シラバスの内容を事前に確認しておく/テキストの指定ページを復習する。
2:　基本診療料　初診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
3:　基本診療料　初診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
4:　基本診療料　再診料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
5:　基本診療料　再診料②　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
6:　特掲診療料　医学管理料①　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
7:　特掲診療料　医学管理料②　算定演習　確認テスト①(初診料・再診料)	確認テストに向けて、初診料・再診料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
8:　特掲診療料　在宅管理料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
9:　特掲診療料　医学管理料、在宅管理料　まとめ	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
10:　投薬料1　薬剤の区分とカルテ上の見分け方	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
11:　投薬料2　薬剤料の計算単位と薬価計算	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
12:　投薬料3　処方料、調剤料等の技術料	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
13:　投薬料4　まとめ　確認テスト②(投薬料)　グループワーク	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
14:　注射料1　算定のルール	確認テストに向けて、投薬料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
15:　注射料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
16:　1回～15回　まとめ・算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
17:　処置料1　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
18:　処置料2　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
19:　リハビリ料　算定のルール・算定演習　確認テスト③(注射料、処置料)	確認テストに向けて、注射料・処置料について復習し、準備する。/間違った箇所について復習する。
20:　手術・麻酔料　算定のルール	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
21:　手術・麻酔料　算定演習	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
22:　検査料1　検査料全般	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
23:　検査料2　検体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
24:　検査料3　生体検査	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
25:　病理検査・画像診断1(単純撮影)	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
26:　画像診断2　特殊撮影、造影剤使用撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
27:　画像診断3　コンピュータ断層撮影	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
28:　入院料1　入院の費用、入院時食事療養費	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
29:　入院料2　外来と入院との算定方法の違い	テキストの指定ページを予習し、専門用語を確認する。授業内容を復習し、指定課題を完成させる。
30:　入院料3　まとめ　単位認定試験範囲について　グループワーク	苦手分野をピックアップしておく/単位認定試験に向けて準備する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・目安として予習30分、復習時間は60分程度です。授業だけでは算定練習の時間が限られます。復習をして、理解を深めるようにしてください。・確認テスト で間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて 、確実に算定できるようにしましょう。　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.医療事務講座(医科)テキスト2、3、資料ブック、薬価表、レセプト記載ルール　ソラスト　2.診療点数早見表2025年4月増補版　医学通信社
3.医科医療事務管理士模擬問題集　4.配布プリント
参考図書:レセプト作成テキストブック(医科) 令和7年4月版　社会保険研究所
診療報酬・完全マスタードリル　2025年版　内芝修子　医学通信社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.確認テスト(30%)　3.授業への取組み姿勢(20%)(課題作成状況・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
2.ポートフォリオを30回目の授業終了時に提出していただくので、配布プリントや課題、自己学習したものなどをファイリングするようにしてください。
3.受講するにあたり、電卓・マーカー・インデックスが必要です。電卓は毎回持参してください。メモリ機能「M＋」「M−」「MRC」がついたものが望ましいです。
4.確認テストについては実施授業回の2回前の授業で範囲等を伝えます。5.提出物は期限を守って提出してください。次回授業時に添削して返却します。
6.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療概論	LP42204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
中村　則子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本における医療機関の機能と現状を把握し、実際に医療事務職が行う業務や取り組み、医療倫理などについて学ぶ。
また、医療事務職にとって必要な「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」の知識を深めることを目的とする。

Ⅲ. 学習成果

・医療機関や医療事務職の特性を理解できる。
・医療機関での基本的な事務職の業務の心得を身につけることができる。
・「診療報酬請求事務」や「調剤報酬請求事務」に必要となる薬の知識を身につけることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:医療概論の授業の進め方と評価方法について 患者(家族)は医療機関に何を望んでいるのかを考える	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 患者の心理を理解する。
2:医療機関とは 医療機関の定義、組織とチーム医療、医の倫理	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の種類とその特徴やさまざま職種を調べる。
3:医療機関の経営と管理 診療情報管理、医療関係法規	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療関係法規の内容を理解する。
4:医療機関の環境整備 グループワーク:待合室の環境整備について考え、発表する	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関の環境整備について考える。
5:医療の基礎知識 患者の移動、体位、診察介助、緊急時の対応、車いすの対応実習	医療事務職として行わなければならない緊急時の対応を考える。
6:医療機関の医療・患者サービス	医療機関で実際に行われているサービスについて調べ、まとめる。
7:健康管理とストレスコントロール	貴女自身のストレスコントロール方法を考える。
8:医療事故の実例と防止対策	次回講義内容の該当ページを読み、わからないことを書きだす。 医療機関で実際に起こる事故について考える。
9:情報管理 情報の収集と管理、ITの活用、患者への情報開示	医療に関する情報を収集して、要点をまとめる。
10:医療情報の理解	医療情報にはどのような物があるか考える。
11:医療文書の知識	診療情報提供書を作成する。
12:医薬品の基礎知識① 医薬品の定義、医薬品の種類、医薬品の名称	身近な医薬品からその名称や種類を調べ、まとめる。
13:医薬品の基礎知識② 薬価基準表の見方、薬の剤形、薬の投与方法	身近な医薬品から剤形、投与方法を調べ、まとめる。
14:薬物治療の概要 薬の作用と適用	身近な医薬品から効能などを調べ、まとめる。 今までの配布資料などを見て、まとめる。
15:まとめ、医療機関の現状と今後の課題	医療機関で働くうえで必要とされる心得をまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回60分以上行うこと。・次回講義内容の該当ページは、その都度確認する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1. 教科書:現代医療秘書　役割と実務　　中村健壽監修　西文社　￥2，000＋税
2. 参考図書:医療機器安全実践必携ガイド　医療概論編　一般社団法人　日本医療機器学会
3. 教員作成のプリント

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1. 単位認定に係わるレポート提出(40%)　2. 通常授業の提出物(45%)　3. 学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 第1回目の授業で、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席すること。
2. 授業中の私語・居眠り・スマートフォンなどの使用、テキスト忘れは減点の対象とする。
3. 課題は必要に応じて、添削・コメント記入後返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
医療秘書実務	LP42205	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	医療事務指定科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

医療秘書して社会で貢献するために、医療秘書の役割や使命を理解し、常に新しい知識や技能を取得に意欲を持ち、医療現場で一人一人に応じた援助する力が力が必要となります。患者への感じの良い接遇を見につけ、院内で時・場所・機会に応じた医療秘書の業務が行えるようになることを目的とします。本講義では、医療機関における医療秘書の仕事内容や役割、求められる資質・能力についてまず学びます。次に医療機関での身だしなみ、接遇や電話応対、受付・会計業務、環境整備などについて学びます。グループワークやペアワークなどを行い、自分の理解度を明確にすることができます。

Ⅲ. 学習成果

1.医療秘書の役割・業務内容を理解し、説明することができる。
2.医療秘書に関する基本知識や技能を修得し、実践できる。
3.医療機関での接遇(身だしなみ、マナー、適切な言葉遣いなど)を理解し、患者や医師、職員の方に相応しい対応ができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション:(授業の進め方・評価方法) 医療秘書の定義、仕事内容と役割、求められる資質・能力について	シラバスの内容を事前に確認しておく。該当ページを読んでおく。 医療秘書の仕事内容、求められる資質・能力について、整理する。
2:医療現場での基本的マナー① 挨拶の重要性と職場の人間関係／患者、スタッフ間のコミュニケーション	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者・スタッフ間のコミュニケーションに必要なことを考える。
3:医療現場での基本的マナー② 就業中のマナー、身だしなみ、挨拶、立ち居振る舞い	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 医療秘書として適切な言葉遣いを考える。
4:敬語、指示と報告	仕事の指示の受け方と報告の仕方を考える。 敬語の問題プリントに解答する。
5:接遇①:医師のサポート　来客応対 接遇の基本と実際　　案内・茶菓接待	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 来客応対について授業内容を復習し、練習する。
6:接遇②:患者応対の心構えと窓口業務	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者応対の流れについてポイントを整理する。
7:接遇③:患者応対会計業務　　◆小テスト実施 ロールプレイングとケーススタディ	小テストに向けて、準備する。 小テストの結果を確認し、間違った部分を復習する。
8:接遇④:様々な患者への対応 グループワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 様々な患者への対応のポイントを整理する。
9:電話応対①　電話の基本・患者応対 ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 基本的な電話応対についての流れを確認する。
10:電話応対②患者の家族、院内での電話応対 ペアワーク・ロールプレイングとケーススタディ	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者の家族・院内の電話応対のポイントを整理し、練習する。
11:接遇・電話応対:クレーム対応 クレーム対応の基本と実習　　グループワーク	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 患者役をするためのクレーム内容を考えておく。
12:文書処理 医療機関における文書、文書作成、文書の受発信	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 文書作成の課題を行う。
13:医師のスケジュール管理と出張業務 スケジュール表の作成と管理、出張に伴う業務　　◆小テスト実施	小テストに向けて、準備する。 週間スケジュール表を作成する。小テストの結果を確認、復習する。
14:慶弔・贈答①	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 表書きについてポイントをまとめる。
15:慶弔・贈答 ②　　◆実技テスト	患者対応で課題がある点を整理し、実技テストに向けて練習する。 15回の授業を復習し、レポートを作成する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してきてください。テキストの該当ページは授業時に指定します。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。
小テストで間違った箇所は各自で再度正解と照らし合わせて確実に理解するようにしてください。単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.「現代医療秘書　役割と実務」 中村健壽 監修(西文社) 2,000円(税別)
　　2.配布プリント
参考図書:「現代医療秘書　ワークブック」 中村健壽 監修(西文社) 1,700円(税別)
　　「医療事務職員のためのコミュニケーション・スキル」 中村健壽　監修1, 800円(税別)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.小テスト　30%　　2.実技試験(窓口対応)25%　　3.レポート　20%
4.授業への取り組み(積極性、貢献度、挨拶・返事、発表、課題作成、ポートフォリオ)25%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。ポートフォリオを15回目の授業終了時に提出してください。
2.実技テスト(第15回実施)については、第10回の授業時に内容等について説明します。
3.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。
4.講義、ワーク問題確認後、ペア・グループワークのロールプレイを行い、医療秘書・医療事務として感じがよく、適切な対応について実践できる力を積上げていきます。授業で身につけたことを学校生活や就職後に活かしてください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
日商簿記Ⅱ	LP50206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業は、日商簿記Ⅰを受講した学生を対象に、主に日商簿記検定の商業簿記2級の内容を学び、仕訳を理解し、基本問題が解けるようなることを目的とします。既に3級の内容は学んでいると思いますが、3級の内容を復習しながら、有価証券の保有目的別の会計処理の違い、法人税、研究開発費の処理、200%定率法、株主資本等変動計算書、連結会計など2級の出題範囲の問題を解き、わかりやすく解説します。

Ⅲ. 学習成果

・日商簿記検定2級の商業簿記の基礎的内容が概ね理解できる。
・会計構造の理解を深める。
・株式会社の簿記処理が理解できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 1年次の復習	シラバスで授業内容を確認する。
2: 日商簿記Ⅰの復習問題	日商簿記Ⅰで使用した問題集の問題を解く。
3: 現金過不足	テキスト1－4の問題を解く。
4: 銀行勘定調整表	テキスト1－5の問題を解く。
5: 手形の裏書き・割引・不渡りと債権の譲渡	テキスト2－6の問題を解く。
6: 手形の更改・営業外支払手形	テキスト3－4の問題を解く。
7: 電子記録債権・電子記録債務	テキスト5－6の問題を解く。
8: 有価証券の売買・端数利息①	テキスト5－7の問題を解く
9: 端数利息②	テキスト5－8の問題を解く。
10: 棚卸減耗損・商品評価損	テキスト7－5の問題を解く。
11: 商品を販売するつど売上原価に振り替える方法	テキスト8－6の問題を解く。
12: 商品有高帳(総平均法)	テキスト9－2の問題を解く。
13: 有形固定資産の種類・減価償却・修繕と改良	テキスト10-4問題を解く。
14: 有形固定資産の割賦購入	テキスト11-4の問題を解く。
15: 有形固定資産の売却・買い換え・除却・廃棄・未決算	テキスト12－3の問題を解く。
16: 圧縮記帳	テキスト13－3の問題を解く。
17: 営業債権および営業外債権に対する貸倒引当金	テキスト14－4の問題を解く。
18: その他の引当金	テキスト15-3の問題を解く。
19: 株式会社の純資産・株式の発行・増資	テキスト16－4の問題を解く。
20: 企業結合	テキスト17－6の問題を解く。
21: 無形固定資産	テキスト18－5の問題を解く。
22: 投資その他の資産	テキスト19－8、19-9の問題を解く。
23: 剰余金の配当	テキスト20－4の問題を解く。
24: ファイナンスリース	テキスト22－4の問題を解く。
25: 2級の決算について(精算表)	テキスト31－2の問題を解く。
26: グループワーク(精算表と財務諸表を作成しよう)	テキスト34―5の問題を解く。
27: 税効果会計	テキスト30-6の問題を解く。
28: 連結会計とは	企業連結について調べ、200字にまとめる。
29: まとめ、復習	テキストの45仕訳の問題を解く。
30: グループワーク(連結会計における支配獲得日における手続き)	試験範囲を確認し、授業を振り返る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習については、各回30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

テキスト:最新段階式　日商簿記検定問題集2級　商業簿記　3訂版　第6刷　実教出版。
必要に応じてプリントを配付します。また、1年次に使用した問題集を使用することがあります。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験60%、提出物30%、学習の意欲10%とし、総合的に評価する。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・わからないことがあれば、どんな些細なことでも質問してください。理解しながらすすめていきます。
・毎回の授業には、電卓を持参してください。
・授業には、予習をしてきてください。内容の説明は各自読み、授業時間で問題を解くという反転学習で進めます。
・授業で習ったことは、その都度復習しましょう。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ファイナンシャルプランナーⅡ	LP50207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ファイナンシャル・プランニング技能士資格(主に2級)の合格を目指す。

Ⅲ. 学習成果

①ファイナンシャル・プランニング技能士(2級)を合格する。
②ファイナンシャル・プランニング技能士(3級)のサポートも行う。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: ライフプランニングと資金計画①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
2: ライフプランニングと資金計画②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
3: リスクマネジメント①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
4: リスクマネジメント②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
5: 金融資産運用①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
6: 金融資産運用②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
7: タックスプランニング①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
8: タックスプランニング②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
9: 不動産①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
10: 不動産②	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
11: 相続・事業承継①	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
12: 相続・事業承継	予習:テキストの該当箇所を読んでおくこと。 復習:テキストの該当箇所の復習を行うこと。
13: 練習問題(学科試験・実技試験)① ※グループワークを含む	予習:第1～6回までの復讐をこなう。 復習:練習問題の復習を行う。
14: 練習問題(学科試験・実技試験)② ※グループワークを含む	予習:第7～12回までの復讐をこなう。 復習:練習問題の復習を行う。
15: 練習問題(学科試験・実技試験)③ ※グループワークを含む	予習:実技試験の内容を中心に復習を行う。 復習:これまでの全体の復習を行う。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・(予習:自宅)→過去問→解説→(復習:自宅)というサイクルで授業を行う。詳細は、第一回目で話しをする。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　「'24-'25年版みんなが欲しかった！ FPの教科書 2級」 TAC出版 滝澤ななみ著
参考書　「令和7年度 FPテキスト 1～6」 日本FP協会 貝塚啓明監修

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験 80%、学習の意欲 20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・「パーソナルファイナンス」もしくは「ファイナンシャルプランナーⅠ」の受講者、もしくはFP3級取得者のみ履修を許可する。
・実技試験の内容を意識しながら授業を進めていくので、試験日までの日数を考えながら受講すること。
・専門用語が多く、3級と比べても内容がかなり難しいので、単位取得だけを目的とした学生や留学生は受講の際必ず担当者に相談すること。
・Google Classroomを使い、授業外の支援を行うことを計画している。決定後再度お知らせする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
診療報酬請求事務演習	LP50212	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は、日本医療保険事務協会主催の診療報酬請求事務能力認定試験(医科)に合格するための検定対策を主とした内容です。
医療事務の基礎知識を使用して外来・入院レセプトの正確な作成ができること、医療制度・診療報酬の知識を診療報酬早見表を
使用して迅速に確認できることを目的としています。※事務系関連科目ですが、医療事務の学習経験が必要です。

Ⅲ. 学習成果

1.1年次医療事務授業で修得した医療事務の知識を定着させることができる。
2.診療費請求のための外来・入院レセプトを正しく記載することができる。
3.診療報酬請求事務能力認定試験に合格し、医療事務職として現場で求められている資格要件を満たすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション　授業の進め方・評価方法 診療報酬請求事務能力認定試験について	問題集のP2～P8を読んで大切と思う箇所に線を引いておく 検定出題傾向を問題集を使用して確認する。
2: 診療報酬の概要、演習①(外来)	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された課題問題を使用し、外来レセプトを作成する。
3: 診療報酬の概要、演習②(外来)	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された課題問題を使用し、外来レセプトを作成する。
4: 診療報酬の概要、演習③(入院)	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された課題問題を使用し、入院レセプトを作成する。
5: 学科対策① 学科問題解き方のポイント、認定過去問題演習	学科の課題プリント問題を解く。 授業中に解いた問題を答え合わせして、間違った問題を復習する。
6: 学科対策② 認定過去問題演習	学科の課題プリント問題を解く。 授業中に解いた問題を答え合わせして、間違った問題を復習する。
7: 外来問題レセプト作成① 外来レセプト作成のポイント、過去問題外来レセプト作成演習	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された過去問題を使用し、外来レセプトを作成する。
8: 外来問題レセプト作成② 算定のポイント、過去問題　外来レセプト作成演習	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された過去問題を使用し、外来レセプトを作成する。
9: 入院問題レセプト作成① 入院レセプト作成のポイント、過去問題入院レセプト作成演習	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された過去問題を使用し、入院レセプトを作成する。
10: 入院問題レセプト作成②　学科チャレンジ問題① 算定のポイント、過去問題　入院レセプト作成演習	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された過去問題を使用し、入院レセプトを作成する。
11: 入院問題レセプト作成③　学科チャレンジ問題②	カルテから、点数表を使用して、診療行為の点数を確認する。 授業中に指定された過去問題を使用し、入院レセプトを作成する。
12: 学科問題模擬試験	模擬試験で8割正解が出せるよう、過去問題を解く。 模擬試験の結果を確認し、間違った問題を復習する。
13: 実技問題(外来・入院)総合演習①　学科チャレンジ問題③ 各自で解いた後にグループワークで解答・工夫点などの共有を行う。	外来レセプトの演習問題を使用して、レセプトを作成する。 演習問題で間違ったところを確認し、復習する。
14: 実技問題(外来・入院)総合演習②　学科チャレンジ問題④ 各自で解いた後にグループワークで解答・工夫点などの共有を行う。	入院レセプトの演習問題を使用して、レセプトを作成する。 演習問題で間違ったところを確認し、復習する。
15: まとめ 学科、外来・入院レセプトの要点確認、演習問題に取り組む	第1回から第14回授業までのポイントを確認し、検定に向け準備する。 演習問題ど間違ったところを確認し、復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・準備学習は各回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.診療報酬請求事務能力認定試験』受験対策と予想問題集　2025年版　医学通信社　2,530円
2.最新　医療関連法の完全知識　2025年版　医学通信社　3,520円
3.(1年次購入・使用)　診療点数早見表2024年版　医学通信社　4.医療事務講座(医科)テキスト1、2、3、資料ブック、レセプトの書き方　ソラスト
参考書:2024年後期試験・2025年前期試験対応版　医療事務【診療報酬請求事務能力認定試験(医科)】合格テキスト＆問題集

Ⅵ. 評価方法と評価基準

1.単位認定試験(50%)　2.学科模擬試験(25%)　3.授業への取組み姿勢(25%)(提出物・積極性、予習・復習)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
2.希望者には別途模擬試験1回(3時間)実施予定です。
3.受講するにあたり、電卓・マーカー・インデックスが必要です。電卓は毎回持参してください。メモリ機能「M＋」「M−」「MRC」がついたものが望ましいです。
4.確認テストについては実施授業回の2回前の授業で範囲等を伝えます。5.提出物は期限を守って提出してください。次回授業時に添削して返却します。
6.授業時の私語、居眠り、携帯電話の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
保険の基礎知識	LP50204	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私たちの日常生活や企業のビジネス活動には、様々なリスク・危険があります。保険とは、そうしたリスク・危険への有効な対応手段です。本講義では、保険の仕組み、特に社会保険（年金、医療、介護等）や民間の保険（生命保険、損害保険、医療保険等）の基礎的な内容を学び、保険の適切な活用方法の理解を目指します。ファイナンシャルプランナーの「リスクマネジメント」分野にも対応しています。

Ⅲ. 学習成果

①保険の仕組みと機能について、正しく理解できること。
②わが国の社会保険制度に関する基礎的な知識を習得すること。
③日常生活の中でのリスクと保険の活用方法について理解し、自らのライフプランの作成に活かせるようになること。

関事務連系

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: イントロダクション 保険の仕組みと種類について解説を行う。	予習 ・シラバスをよく読み、授業内容をある程度把握しておくこと。 復習 ・「預金は三角、保険は四角」の意味を理解し、次回に備える。
2: 社会保障制度の概要 給与明細の見方について解説を行う。	予習 ・給与明細のサンプルを読み、何が書いているのかを理解しておくこと。 復習 ・アルバイトの給与明細との違いをまとめること。
3: 公的年金制度の概要	予習 ・年金制度についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・公的年金制度の概要をまとめておくこと
4: 公的年金制度とライフプラン アクションリコール	予習 ・国民年金手帳について調べておくこと。 復習 ・公的年金制度と自分のライフプランについてまとめる。
5: 公的医療保険制度の概要	予習 ・医療制度についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・公的医療制度の概要をまとめておく。
6: 公的医療保険制度と民間保険のベストミクス アクションリコール	予習 ・自分自身の保険証を確認し、他との違いを調べておくこと。 復習 ・公的医療保険制度と民間保険の組み合わせについて検討する。
7: 公的介護保険制度の概要	予習 ・介護保険についての新聞記事をひとつ用意しておくこと。 復習 ・公的介護保険制度の概要をまとめる
8: 社会保険のまとめと今後の展開について 小テスト①	予習 ・第3～7回目の資料を読み直し、小テストに備えること。 復習 ・小テストの解説を踏まえ、次回以降の学びに備えること。
9: 公的保険と民間保険（私的保険）の役割	予習 ・シラバスを再度確認し、これまでの内容をまとめておくこと。 復習 ・第9回目の資料に目を通し、次回に備えること。
10: 自動車保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・各家庭の保険加入を調べる。自動車保険以外も含む。 復習 ・第10回目の資料に目を通し、次回に備えること。
11: 火災保険・地震保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・火災保険と地震保険の特徴を調べておくこと。 復習 ・第11回目の資料に目を通し、次回に備えること。
12: 生命保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・生命保険の種類を調べておくこと。 復習 ・第12回目の資料に目を通し、次回に備えること。
13: 医療保険の役割と補償内容 ・グループワークを含む。	予習 ・民間の医療保険の種類を調べておくこと。 復習 ・第13回目の資料に目を通し、次回に備えること。
14: 民間保険まとめと社会保険とのベストミクス 小テスト②	予習　第9～13回目の資料を読み直し、小テストに備えること。 復習 ・小テストの解説を踏まえ、次回に備えること。
15: まとめ	予習 ・第1～14回の要点を復習し、ポイントをまとめておくこと。 復習 ・単位認定試験に備え、第15回目の資料を中心に復習すること。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
　上記の準備学習の欄をよく読み、担当者の指示に従い準備を行うこと。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

（教科書）なし
（参考図書）はじめて学ぶリスクと保険（第4版）有斐閣　下和田功（編）
　　損害保険を見直すならこの1冊　自由国民社　株式会社マネーライフナビ　株式会社マネーライフナビ著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験（筆記試験）（50%）、小テスト（20%）、学習の意欲（毎回回収するプリント、新聞記事の回収、グループワークへの関与度を含む）（30%）。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・講義では、毎回プリントを配布するので、資料を整理するためのフォルダを準備すること。
・社会保険を含めた保険制度に関わる話は日々の経済ニュースとして扱われているので、日々の情報収集を怠らないこと。
・社会保険関連　→　小テスト、民間保険関連　→　小テスト、という流れで講義を実施するので、予・復習を必ずすること。
・毎回配布するプリントを通して、質問を受け付けるので、各回の授業のフィードバックは翌回の冒頭で行う。
・Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用する予定である。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
コンピュータ会計	LP50208	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、会計ソフトのシェアトップである弥生会計を使って、簿記・会計の基礎と実務で必要となる処理を学びます。基礎的な知識はもちろん、企業分析に必要となる指標や計算方法・その数字が意味することなども学びます。後半は会社の財務指標を分析し、プレゼンテーションも行います。

Ⅲ. 学習成果

簿記の基礎知識を得て、経理関係の実務で基本的な作業ができるようになります。また事務職では正確さが求められるため、きちんと見直しができるような力も身に付きます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション	予習:シラバスを読むこと 復習:
2:簿記の基礎 簿記の仕組みと経理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第1章) 復習:仕訳の問題を解くこと
3:弥生会計の基本操作 セットアップと各種帳簿	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第1章) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
4:企業の基幹業務と会計処理① 業務システムと会計システム	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第2章　売掛金まで) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
5:企業の基幹業務と会計処理② 現金、預金、売掛金、仕入、売上	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第2章　残り) 復習:弥生会計の使い方を確認すること
6:日次業務① 仕訳等の処理方法	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　販売ソフトまで) 復習:仕訳の問題を解くこと
7:日次業務② 仕訳等の処理と入力	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　経費まで) 復習:仕訳の問題を解くこと
8:日次業務③ 給与計算と処理方法	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第3章　残り) 復習:仕訳の問題を解くこと
9:総合問題 仕訳問題	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの内容) 復習:仕訳の問題を解くこと
10:決算業務と会計処理① 通帳の見方と処理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第5章　通帳まで) 復習:仕訳の問題を解くこと
11:決算業務と会計処理② 社会保険の処理	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(第5章　残り) 復習:仕訳の問題を解くこと
12:授業内課題①の作成 伝票からの起票	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの処理の内容) 復習:課題のテーマを深く調べること
13:授業内課題①の作成と発表 企業の貸借対照表と損益計算書	予習:指定された教科書の範囲を読むこと(これまでの処理の内容) 復習:振り返りシートを完成させること
14:授業内課題② 財務分析	予習:分析する企業とその事業内容を調べること 復習:課題のテーマを深く調べること
15:授業内課題②とその発表 プレゼンテーション	予習:プレゼンテーションの準備をすること 復習:振り返りシートを完成させること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

専用のソフトを使用するため、自宅での課題等はできません。教科書を事前に読んでおくのが予習となります。準備学習の時間は60分程度を目安としています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用せず、毎回のプリントを配布いたします。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

授業内課題(50%)　授業内課題は計2回行います。
提出物(20%)
学習の意欲(30%)　学習の意欲は私語等の減点と参加態度や発言等の加点によって構成されます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対するフィードバックは、提出した課題に対してコメントと点数を添えて返却します。
また、予習・復習・授業内課題は、専用のソフトが必要ですので自宅のPCではできません。したがって授業時間内に全ての学生が終わるように課題や範囲を設定します。個人によっては授業が早く終わることもあります。
この科目は、経理上の処理を想定しており、入力には簿記の知識が必要になります。これまでに全く簿記の勉強をしたことのない学生は原則受講できません。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Excel演習	LP50201	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。この科目では、その復習を含め、より高度なレベルまでのExcel全般(表作成、関数の理解と使用、テーブルの作成とデータの検索、種々の書式設定、種々のグラフ作成)をマスターし、見た目にもわかりやすい数表やグラフを作成できるようにする。

Ⅲ. 学習成果

Excelの基本オプションの設定や印刷の為の諸設定ができるようにする。
表計算ソフトの基本機能---データの入力、集計、検索、グラフ作成などが、完全にできるようにする。
Excelで使う数式の作成や、主要な関数の意味を理解し、適切に使用できるようにする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Excelの基本操作、ショートカットキーの使い方、ワークシートとブックの作成	Excel基本操作、ショートカットキーの使い方、 教科書1-1、1-2の内容の復習
2: ワークシートやブックのオプション設定とカスタマイズ、印刷設定、保存等	教科書1-3、1-4、1-5の内容の復習
3: 表示形式、入力規則	表示形式と入力規則の内容の復習
4: シートのデータ操作、セルやセル範囲の書式設定、名前の定義	教科書2-1、2-2、2-3の復習
5: スパークライン、条件付き書式	教科書2-4の内容の復習
6: テーブルの作成と設定、抽出・並び替え	教科書3-1、3-2、3-3の内容の復習
7: 数式の作成(四則演算、基本関数、絶対参照)	教科書4-1、4-2の内容の復習
8: 論理関数(IF)、検索/行列関数(SORT、UNIQUE)、統計関数(RANK.EQ)	教科書4-2の内容の復習、RANK.EQ関数の復習
9: 文字列関数 (RIGHT、LEFT、MID、UPPER、LOWER、LEN、CONCAT、TEXT JOIN)	教科書4-3の内容の復習
10: 検索/行列関数(VLOOKUP)	VLOOKUP関数、関数ネスト(IFとIF)の復習
11: 関数ネスト(IFとAND、IFとOR、IFとVLOOKUP)	関数ネスト(IFとAND、IFとOR、IFとVLOOKUP)の復習
12: グラフ作成	教科書5-1、5-2、5-3の内容の復習
13: マクロの記録と保存	マクロの記録と保存の復習
14: オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の作成	オブジェクト(画像、図形、SmartArt等)の内容の復習
15: 【プレゼンテーション】ポスター又はカレンダーを作成し、どのようなテクニックを使ったかクラスで披露し解説する。	作成するポスターやカレンダーについて、教科書を参照し、事前にある程度考えておく。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業中で理解が不十分な内容があれば、居残り、又は、空き時間に、同じPC室で練習する事。長くても、1時間程度で完了できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.教科書:FOM出版　Excel 365対策テキスト&問題集　¥2,310(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:40%　単位認定試験(実技):60%
居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業で演習をした後、次回の授業の前に、復習をしておく。また、教科書に載せられている各機能の解説を、予習としてよく読んでおく(授業時は、演習が中心なので、機能説明を授業時だけで完全に理解するのは、難しいことがある)。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Word演習	LP50202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

文書作成ソフトである Word を使いこなす能力は、短大生・社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
短大生活において、授業レポートや書類作成を効率化してくれます。
Word の技能は就職活動で求められる主要な資格のひとつであり、社会人になってからの業務とその効率化に不可欠です。
この科目では Word の基礎から応用までを学び、より実用的なレベルにスキルを高めることを目標とします。

Ⅲ. 学習成果

・Word の応用的な機能を用いて、ビジネス文書や身の回りで役に立つ文書が作成できるようになる。
・タッチタイピング(ブラインドタッチ)で文字入力が、より正確かつ早くできるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: コンピュータの基本操作1 ウィンドウ操作、文字の入力と編集、ファイルとフォルダ管理、USBメモリの使い方	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
2: コンピュータの基本操作2 情報検索、ファンクションキーの活用、署名の設定、メール転送、圧縮ファイル	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
3: Wordの基礎1 Wordの基礎、グーグルドライブ	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
4: Wordの基礎2 各書式の利用、文字の配置、文字の装飾、検索と置換、印刷	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
5: Wordの基礎3 デザイン機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
6: Wordの基礎4 罫線の利用、履歴書作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること タイピング練習
7: Wordの基礎5 図形描画、テキストボックス、画像、スクリーンショット、SmartArt	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第1章 図形や図表を使った文書の作成)
8: Wordの応用1 図形や図表を使った文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第2章 写真を使った文書の作成)
9: Wordの応用2 写真を使った文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第3章 差し込み印刷)
10: Wordの応用3 差し込み印刷	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第4章 長文の作成)
11: Wordの応用4 長文の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第5章 文書の校閲)
12: Wordの応用5 文書の校閲	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書の予習(第6章 Excelデータを利用した文書の作成)
13: Wordの応用6 Excelデータを利用した文書の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 総合問題 プレゼンテーションの準備
14: Wordの応用7 総合問題	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 総合問題 プレゼンテーションの準備
15: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Word の応用機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかる Microsoft Word 2021 応用 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310円
教科書:「情報リテラシー入門編 Windows 10/Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版) ※1年次の必修「情報リテラシー」で購入済
参考図書:「よくわかる Microsoft Word 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　40%　　課題提出　60%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
課題提出の期限に遅れた場合、2回目の提出期限を定めます。そこで提出できれば、減点の扱いで提出を受け付けます。
2回目の提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ファイナンシャルプランナーⅠ	LP50203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
坂根　潤樹		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では、ファイナンシャルプランニング技能士3級(日本FP協会主催)を取得することを目標とします。ライフプランニングから資産設計やリスクマネジメントまで幅広い知識を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

ファイナンシャルプランニング技能士3級程度の知識を身に付いている。また、お金に関する基本的な知識を身に付いている。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:ライフプランニングと資産形成① キャッシュフロー表(CHAPTER01)	予習:シラバスを読むこと 復習:指定された問題を解くこと
2:ライフプランニングと資産形成② 社会保険(CHAPTER01)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC8) 復習:指定された過去問題を解くこと
3:リスクマネジメント① 保険の基本、生命保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
4:リスクマネジメント② 損害保険、その他保険(CHAPTER02)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
5:金融資産運用① 金融・経済の基本(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
6:金融資産運用② 債権、投資信託(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
7:金融資産運用③ 金融商品(CHAPTER03)	予習:教科書を読むこと(SEC6～SEC9) 復習:指定された過去問題を解くこと
8:タックスプランニング① 所得税(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
9:タックスプランニング② その他税金(CHAPTER04)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC7) 復習:指定された過去問題を解くこと
10:不動産① 不動産の基本と取引(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC1～SEC2) 復習:指定された過去問題を解くこと
11:不動産② 不動産の税金(CHAPTER05)	予習:教科書を読むこと(SEC3～SEC5) 復習:指定された過去問題を解くこと
12:相続・事業承継① 相続(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC1) 復習:指定された過去問題を解くこと
13:相続・事業承継② 贈与(CHAPTER06)	予習:教科書を読むこと(SEC2～SEC4) 復習:指定された過去問題を解くこと
14:総合問題① 学科問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること
15:総合問題② 実技問題から出題(グループワークあり)	予習:これまでの内容を教科書で確認する事 復習:間違えた箇所を確認すること

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

基本的には決められた範囲の教科書を読むこと。また、復習も重要なため、問題を解くこと。復習に関しては、日本FP協会の試験問題(過去問題)とする。準備学習の時間は60分程度を目安としています。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業で必要となるため購入が必要な教科書

「みんなが欲しかった！FP3級の教科書2025-26年版」 滝澤ななみ　TAC出版　1,500円＋税

※毎年改定されるため、予習の範囲は授業内容のCHAPTERのセクション(SEC)で表記している

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(70%)

学習の意欲(30%)　授業の参加態度による加点と私語などによる減点

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

問題の答えを配布するとともに、授業内で問題を解く時間を設ける。その際に、間違えた箇所などの質問に応じる。

受講者は、原則として日本FP協会主催のFP3級を受検すること。留学生の受講も可であるが、検定を取得するための科目であるため、基本的にはルビをつけない。また、漢字が多いため、受講する際はよく検討すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
財務会計論	LP50209	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
青柳　薫子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

私達が生活している社会の中では、気がつけば会計用語が使われています。この授業の前半は、会計用語をわかりますく解説します。
皆さんが企業に就職した時に、仕事の中に会計に関する言葉が出てくることがありますし、実は、会社の営業成績も会計に直結しています。
授業の後半では、実際に公表された企業の財務諸表を参照し、興味を持った会計用語を挙げて、
グループディスカッションと、発表を行います。最後に、社会の中で会計情報の果たしている役割について考えます。

Ⅲ. 学習成果

・財務会計の基礎的な内容が理解できる。
・基本的な会計用語が説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 事業の共通言語としての会計	シラバスの内容を確認する。 会計に関する専門職にどのようなものがあるか3つ程度調べてくる。
2: 会計と複式簿記システム	仕訳の仕組みである「取引の8要素」をノートに記入してくる。
3: 会計の情報利用者とグローバル化	会計の利害関係者を8つ挙げ、それぞれを50字以内 で説明する。
4: 会計のグローバル化 日本における4つの会計基準	IFRS（国際財務報告基準）を適用している具体的な企業名を調べ、 100字程度にまとめる。
5: 財務諸表の体系	貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、キャッシュ・フロー計算書のそれぞれの特徴について200字でまとめる。
6: 流動資産について	流動資産の種類とその特徴について調べ、200字程度にまとめる。
7: 有形固定資産について 無形固定資産について	身近に存在する固定資産を5つピックアップしてくる。 減価償却の定額法と定率法について調べてくる。（100字）
8: 流動負債と固定負債 引当金について	負債の種類とその特徴について調べ、200字程度にまとめる。
9: 純資産について	純資産の種類と特徴について調べ、200字程度にまとめる。 繰越利益剰余金と当期純利益との違いを記入する。
10: 収益と費用について	収益と費用の具体的な勘定科目をそれぞれ5つ挙げ、 収益と費用の特徴と違いを200字程度にまとめる。
11: 損益計算書における5つの利益	損益計算書に記される5つの利益を記入し、それらの違いを 100字程度にまとめる。
12: 株主資本等変動計算書 キャッシュ・フロー計算書	株主資本やキャッシュ・フロー計算書にはどのような項目があるか を調べてくる。
13: グループワーク（国際会計基準、日本基準、米国基準、JMISについて）	IFRS（国際財務報告基準）はどのような基準なのか を調べ、70字程度にまとめる。
14: これまでの授業のまとめ	これまで進んだ内容について、会計用語についてチェックする。 わかならい言葉や内容があれば、ピックアップしてくる。
15: 振り返り	シラバスを読み、これまでに学んだ内容を振り返る。 これまで学んだ、会計用語について整理する。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・　準備学習については、毎回30分以上行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

『入門会計学　改訂版一決算書が読めるようになるエッセンスー』 片山　覚他著　　実教出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験70%、グループワーク・提出物20%、学習への意欲10%とし、総合的に判断する。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・授業はパワーポイントを使って行います。毎回資料を配付します。
・提出された課題をチェックし、コメントを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
証券外務員Ⅰ（特別会員）	LP50210	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講座は、証券外務員試験の中でも、主に特別会員二種外務員資格試験に対応した講座です。九州及び近県の地方銀行及び信用金庫・信用組合といった、本学の卒業生が主に働く職場から、卒業時点で標記の資格を取得するように言われるケースが増えてきています。資格取得を目指し頑張りましょう。

Ⅲ. 学習成果

①特別会員　二種外務員　の合格
②特別会員　一種外務員　の合格　※合格のためには3コマ程度の補講が必要。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: イントロダクション	予習：テキストの受験内容について読んでおくこと。 復習：自分が受験する資格を確認すること。
2: 証券市場の基礎知識	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
3: 金融商品取引法①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
4: 金融商品取引法②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
5: 債券業務①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
6: 債券業務②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
7: 債券業務③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
8: 投資信託①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
9: 投資信託②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
10: 投資信託③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
11: 日本証券業協会	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
12: 株式業務	予習：前回までの復習 復習：配布プリントの復習
13: 練習問題① グループワークを含む	予習：第1～4回の復習 復習：間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。
14: 練習問題② グループワークを含む	予習：第5～10回の復習 復習：間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。
15: 練習問題③ グループワークを含む	予習：第11、12回の復習。第13、14回の練習問題の復習。 復習：練習問題の間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・毎回の講義の復習をしっかり行い、ある程度進んでからは練習問題に取り掛かって欲しい。勉強の仕方については第一回目でお伝えする。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：「2025～2026　証券外務員　学習テキスト　一種・二種対応」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
「2025～2026　証券外務員　一種　対策問題集」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
参考書：

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　80%、学習の意欲　20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・二種外務員については、上記の内容では不足しています。関連分野については、パーソナルファイナンス、経営概論、経済学で重複した内容を伝えているので、そちらも同時に受講して欲しい。
・授業の進度が早いので、一度欠席をするとなかなか理解が難しくなる。欠席をした場合は相応の準備をして次の授業に臨むこと。
・上記のスケジュールは、学事歴に沿ったものであるが、各学生の受験日に従い柔軟に対応する。
・証券外務員Ⅱからの受講は認めていない。必ずⅠ（本講座）から受講すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
証券外務員Ⅱ（正会員）	LP50211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	事務系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

3期開講の証券外務員Ⅰを受けて、本講座を開講する。本講座では、正会員1種外務員の合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

①正会員1種外務員の合格
②正会員2種外務員の合格

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 株式業務	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
2: 株式会社法概論	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
3: 経済・金融・財政の常識①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
4: 経済・金融・財政の常識②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
5: 財務諸表と企業分析①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
6: 財務諸表と企業分析②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
7: 証券税制①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
8: 証券税制②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
9: デリバティブ取引①	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
10: デリバティブ取引②	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
11: デリバティブ取引③	予習：テキストの該当箇所の予習 復習：テキストの該当箇所の復習
12: 練習問題① グループワークを含む	予習：第1～4回の復習 復習：配布プリントの復習
13: 練習問題② グループワークを含む	予習：第5～8回の復習 復習：配布プリントの復習
14: 練習問題③ グループワークを含む	予習：第9～11回の復習 復習：配布プリントの復習
15: まとめ	予習：第12～14回の練習問題の復習 復習：練習問題の間違った箇所を中心に、テキストを読み直す。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・毎回の講義の復習をしっかり行い、ある程度進んでからは練習問題に取り掛かって欲しい。
　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：「2025～2026　証券外務員　学習テキスト　一種・二種対応」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
「2025～2026　証券外務員　一種　対策問題集」 日本投資環境研究所著　ビジネス教育出版社
参考書：

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　80%、学習の意欲　20%。持ち込み電卓のみ。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・正会員1種外務員の合格を目指した内容となっている。よって、正会員2種を受験する学生については、別途対応を行う。
・証券外務員Ⅰがベースとなっているので、本講座からの受講は認めていない。必ずⅠを受講してから、本講座を履修すること。
・必要に応じて、ZoomやGoogle Classroomを用いて、授業外の支援を実施するので、必ず登録をすること。
・上記のスケジュールは、学事歴に沿ったものであるが、各学生の受験日に従い柔軟に対応する。
・学生の要望に応じて、内部管理責任者資格試験にも対応する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ブライダル業務の実務Ⅱ	LP43206	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

結婚式・披露宴の当日を迎える迄の業務の流れや留意点を実際に使用する資料や書類等を使って解説します。
また挙式・披露宴の映像を観たり、ホテルや結婚式場への学外研修等も予定しています。

Ⅲ. 学習成果

実際にコーディネーター業務を行うに当たっての実践的な知識やマナーが身につく。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:受け付けにあたって ・人間関係の構築・最低限のマナー	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
2:施設見学(学外研修) ・ホテル・専門結婚式場	旅行などで婚礼施設のあるホテルに泊まった際には見学したり パンフレットを戴いたりしてみる
3:施設見学 ・貸衣装店	貸衣装店を見つけた時は外からでものぞいてみたり、迷惑で なければパンフレットを戴いたりしてみる
4:お申込みについて ・日時、会場の選択・結婚式(挙式スタイル)の検討	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
5:印刷物について(1) ・招待客のリストアップ・招待状	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
6:衣装について(1) ・和装	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
7:衣装について(2) ・洋装、列席者	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
8:ギフトについて ・引出物・引菓子(試食)・プチギフト	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
9:料理について ・和・洋(仏・伊)・中・ブッフェ	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
10:会場コーディネートについて ・テーブルクロス・チェアカバー・装花等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
11:ブーケ等について ・ブーケ・ブトニア・花束等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
12:印刷物について(2) ・配席表・席札・メニューカード等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
13:記録について ・写真・VTR等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
14:演出について ・進行・映像等	結婚式を挙げた事のある家族親戚友人知人に積極的に話を聞く
15:まとめ 結婚式・披露宴前後の諸問題・ブライダル業界への就職	ブライダル業界に就職するならどういう業種が良いか考えてみる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各単元ごとにブライダル業務Ⅰ,Ⅱで学習した事を復習しておいて下さい。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ホテルや結婚式場で実際に使用している資料や書類

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験50%
レポート　　30%
学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:レポートについては、基本的には個別に応答します。内容によっては全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:始礼終礼があります。学外研修の際は特に服装、言動、行動に気を遣いましょう。
「実務経験教員科目特記事項」:現職ブライダルエージェント、ブライダルコーディネーターで、実家が美容院の為、幼少の頃よりブライダルの現場を間近で観てきましたので、過去から現在に至る事例を経験を交えて解説します。
また、実際に現場で使用しているツールや、アイテム(映像、動画等)を使ってよりわかり易い授業を心掛けています。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテル業務概論	LP43204	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ブライダルメジャーの学生が選択する科目であるため、ホテル業務のなかでも宴会・婚礼部門の業務を中心に学びます。ホテル産業における宿泊・料飲・調理部門の業務内容については、「ホテルビジネス概論」「ホテルビジネス実務」の授業内で詳しく説明するので、そちらの受講を推奨します。また、本授業では、2年次の4期(8期)に予定されているテーブルマナー講習の準備も実践的に行っていきます。会場のレイアウト、食事のメニュー表作成、招待状・席次表・席札の作成、会場の演出など、ブライダル業務に活かせる実務を経験します。

Ⅲ. 学習成果

・ホテル産業における宴会・婚礼部門の業務内容を理解し、説明ができる
・将来ホテル、ブライダルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる
・就職活動を前向きに進めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス	本授業の進め方の説明
2: パートナー企業(ホテル)の紹介	パートナー企業について調べる
3: ホテル施設見学① 部屋、レストラン	ホテル見学のレポートをまとめる
4: ホテル施設見学② 婚礼関連施設(挙式会場、披露宴会場、婚礼サロン)	ホテル見学のレポートをまとめる
5: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事① グループワーク:会場のレイアウトから席次を決める	会場レイアウトの事例を調べる
6: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事② グループワーク:ペーパーアイテム(招待状・席次表・席札など)を決める	招待状・席次表・席札のサンプルを集め、まとめる
7: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事③ フルコース料理のメニューと飲み物	食事アレルギーの調査を行う
8: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事④ グループワーク:食事のメニュー表を決める、食物アレルギーの調査を行う	メニュー表のサンプルを集め、まとめる
9: ホテル担当者との打ち合わせ①	打ち合わせの準備を行う
10: ホテル担当者との打ち合わせ②	打ち合わせの準備を行う
11: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事⑤ グループワーク:会場の演出内容を決める(サプライズ)	サプライズ演出の事例を調べる
12: 宴会(婚礼)コーディネーターの仕事⑥ グループワーク:会場の演出内容を決める(サプライズ)	サプライズ演出の事例を調べる
13: テーブルマナーの企画・提案① 企画書の作成	企画書作成の役割を決め、準備を進める
14: テーブルマナーの企画・提案② 企画発表の準備	企画書発表の役割を決め、準備を進める
15: テーブルマナープランの発表	企画書発表の役割を決め、準備を進める

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・授業内で学外研修としてホテル施設見学とホテル担当者との打ち合わせを行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ブライダル業務Ⅲ	LP43205	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ブライダル(婚礼)市場の現状を分析し、これからのブライダル業界の方向性について講義を行います。そして、福岡市内のブライダル施設にパートナー企業として協力を仰ぎ、企業が抱えている課題を聞き出し、解決策を学生自らが考え、今後求められるであろう新しいカタチのウェディングプランを学生自らが企画・提案してまいります。また、実務のテーマを設けて、学生同士のロールプレイング方式を取り入れて業務の理解と興味を深めます。

Ⅲ. 学習成果

・多様な結婚の価値観を学び、自身の恋愛観や結婚観を分析し、将来のブライダル業界に活かせるヒントを探ることができる
・ブライダルプランナーとして仕事に従事した時に役立つ能力(折衝力・判断力・企画力・リーダーシップ)を身に付け、実践できる
・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ブライダル業界・市場の現状と課題・問題点	ブライダル業界・市場の動向について調べる
2: パートナー企業の紹介	パートナー企業について調べる
3: パートナー企業のブライダル施設見学①	ブライダル施設見学の感想をまとめる
4: パートナー企業のブライダル施設見学②	ブライダル施設見学の感想をまとめる
5: ブライダルプランナーの仕事①-1 見学に訪れたお客様に営業して成約するまでの業務	ブライダルセールスの業務について調べる
6: ブライダルプランナーの仕事①-2 プランナーとお客様の立場になり、ブライダルセールスのロールプレイを行う	ブライダルセールスの業務について調べる
7: ブライダルプランナーの仕事②-1 成約したお客様と結婚式のプランニングを行う業務	当日までのスケジュールの事例を調べる
8: ブライダルプランナーの仕事②-2 プランナーとお客様の立場になり、当日までの流れについてロールプレイを行う	当日までのスケジュールの事例を調べる
9: ブライダルプランナーの仕事③-1 当日の指揮を担当する業務	最新のブライダル進行事例を調べる
10: ブライダルプランナーの仕事③-2 進行表を考える	最新のブライダル進行事例を調べる
11: オリジナル・ウェディングプランの企画・提案① グループワーク:パートナー企業の課題と解決策	パートナー企業が抱えている課題を整理し、自分の意見をまとめる
12: オリジナル・ウェディングプランの企画・提案② グループワーク:挙式・披露宴会場のレイアウトと装飾、演出	会場のレイアウトと装飾、演出について自分なりの意見をまとめる
13: オリジナル・ウェディングプランの企画・提案③ グループワーク:食事内容、ファッション、ビューティー、ペーパーアイテムなど	事前に準備するものを自分なりに考えておく
14: オリジナル・ウェディングプランの企画・提案④ グループワーク:サプライズ演出	サプライズ演出を自分なりに考えておく
15: オリジナル・ウェディングプランの発表とまとめ	各グループの評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%
課題(提出物)30%
学習意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、ロールプレイングやグループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・授業内で学外研修として、施設見学を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ブライダル・セレモニー	LP43207	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ブライダル指定科目		
大島　正		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

これまで学習したブライダルの集大成として、実際の新郎新婦の挙式(人前式)を提携会場と共にプロデュースし、施行する。

Ⅲ. 学習成果

挙式一つをとっても、当日を迎える迄に打ち合わせを繰り返し、新郎新婦の理想を形にする為に、様々な役割があります。
それを理解し、確実に遂行する事によりブライダルの仕事の重要性を知り、プロフェッショナルとしての責任感、施行後の達成感を卒業後の仕事の糧として体感する。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:人前式についての解説	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
2:人前式の進行	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
3:人前式の様々な事例	配布資料や動画を観る
4:人前式における担当と配属	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
5:人前式会場の見学と動線の確認	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
6:新郎新婦へのプレゼンテーションの準備	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
7:新郎新婦へのヒアリングとプレゼンテーション	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
8:新郎新婦との打ち合わせ(1)	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
9:新郎新婦との打ち合わせ(2)	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
10:新郎新婦、会場の担当者との打ち合わせ	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
11:新郎新婦と挙式進行表の作成	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
12:当日のタイムテーブルの作成	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
13:会場担当者との打ち合わせ	テキストや配布資料をしっかり読みノートにまとめる
14:人前式リハーサル	これまでの配布資料、ノート等を振り返る
15:人前式施行	これまでの配布資料、ノート等を振り返る

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:BIA(公社)日本ブライダル文化振興協会 《ブライダルコーディネーターテキスト　スタンダード》
プリント等を配布します

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験はありませんが、受講態度、学習の意欲等で評価します。
学習の意欲　100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「課題に対するフィードバック」:各担当毎、又は全体でのディスカッションを行います。
「受講に際しての注意点」:実際の新郎新婦の挙式をプロデュースしますので、学生だから等、甘え、言い訳が出来ない覚悟をもって受講して下さい。
「実務経験教員科目特記事項」:長年にわたって結婚式のコーディネート、プロデュースをしております。
お開き後、新郎新婦から「やって良かった」と、おっしゃっていただける様、指導しますので、しっかりついてきて下さい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光デザイン演習	LP44206	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の観光振興の取り組みにおいて、地域資源を活用した着地型の観光商品・サービスの開発が重視されるようになってきました。
着地型観光とは、旅行者を受け入れる側の地域(着地)側がその地域でのおすすめの観光資源をもとにした観光商品や体験プログラムを企画・運営する形態です。本授業では、「観光」という視点で地域の魅力を捉え直し、地域の方々と連携しながら、観光商品やサービスを開発し、実際に販売に至るまでのプロセスを経験します。学生自らが企画・運営に携わるプロジェクトを計画・実施することになります。

Ⅲ. 学習成果

・観光を活性化させる力、「観光デザイン力」を身につけ、実践できる
・プロジェクトを計画し、プロジェクトに関わる人たちとコミュニケーションを図りながら実現に向けた活動を行うことができる
・地域の方々や観光客との交流において、「ホスピタリティ」「おもてなし」が感じられる行動や会話ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 福岡観光活性化プロジェクトについて	自分なりにプロジェクトのスケジュールを立てる
2: 地域の魅力を活かした観光商品・サービスの事例	観光商品・サービスに関する課題
3: 観光商品企画の骨子づくり① グループワーク:福岡の観光資源を掘り起こす	福岡の観光資源について調べておく
4: 観光商品企画の骨子づくり② グループワーク:商品タイトルと概要、商品の特徴、企画の背景と目的	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
5: 観光商品企画の骨子づくり③ グループワーク:活用する地域資源と活用方法	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
6: 観光商品企画の骨子づくり④ グループワーク:フィールドワーク計画書の作成と準備	対象地域の方々へ連絡・相談
7: フィールドワーク① 観光資源調査	実際に現場に足を運んで、調査を行う
8: フィールドワーク② 地域の方(関係機関)との打ち合わせ・交渉	実査に現場に足を運んで、打ち合わせ・交渉を行う
9: 具体的な商品内容と条件① グループワーク:商品内容と行程、所要時間、実施日、募集人数・条件	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
10: 具体的な商品内容と条件② グループワーク:参加代金、申込(予約)方法と通知方法、精算方法	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
11: 告知・PR方法 グループワーク:チラシ、動画(YouTube,TikTok等)、SNS(Instagram、Twitter等)	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
12: 媒体の作成・制作① グループワーク:販売にあたっての媒体を作成・制作	役割を決め、担当する媒体を作成・制作する
13: 媒体の作成・制作② グループワーク:販売にあたっての媒体を作成・制作	役割を決め、担当する媒体を作成・制作する
14: 販売方法 グループワーク:販路開拓について	グループワークの準備として、自分の考えをまとめておく
15: 成果物の発表(プレゼンテーション)	発表の準備を進めておく

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(成果物)50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・授業内でフィールドワークを実施するので、参加は必須です。そのなかに地域の方々との打ち合わせ・交渉、商品の告知等が含まれる場合があります。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホスピタリティー論	LP44207	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

「ホスピタリティ」は観光産業をはじめ、金融業界・医療業界などに浸透し、実践されてきた理念ですが、最近ではサービス業を中心にあらゆる業界で取り入れられています。本授業では、ホスピタリティを発揮するうえで最も大切なコミュニケーション能力を高めるワークを行っていきます。就職活動や社会生活で是非活かしてください。

Ⅲ. 学習成果

・「ホスピタリティ」の重要性を理解し、他者との良好な人間関係を築くことができる
・人の感動を生み出す質の高い真心のこもったサービスを提供できる
・ホスピタリティを日常生活で実践できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 今、なぜホスピタリティなのか	ホスピタリティの重要性に関する課題
2: 自己を知る 自己診断ツール(jobtag)の活用	自己診断ツールを活用し、自分の興味、価値観をまとめる
3: 自己成長と自己実現 マンダラチャートの活用	マンダラチャートを活用し、自己成長と自己実現についてまとめる
4: みんなのための社会づくりを考える チームワーク:THE SDG's アクションカードゲームX	SDG'sに関する課題
5: 他者を知る チームワーク:折り紙、沈黙は金なり、M&M'Sドローイング	他者理解に関する課題
6: 文化とホスピタリティ 日本のおもてなしと外国のホスピタリティ	文化とホプピタリティに関する課題
7: 企業とホスピタリティ 組織は人が全て	企業とホスピタリティに関する課題
8: ホスピタリティコミュニケーション チームワーク:アクティビティ	アクティビティに関する課題
9: ビジネスコミュニケーションの基礎知識	ビジネスコミュニケーションの基礎知識に関する課題
10: 人に好かれる良い「人間関係」の作り方	人間関係の築き方に関する課題
11: お客様に好かれるテクニック	接客に関する課題
12: 一目置かれる「プレゼンテーション」の技術	プレゼンテーションに関する課題
13: ピンチを切り抜ける状態別のビジネスコミュニケーション	カスタマーハラスメントに関する課題
14: ホスピタリティを生きる	「自分を輝かせる」をテーマに今後の生き方について考え、まとめる
15: 私のホスピタリティ宣言	振り返りレポートをまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員作成資料等を使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーションとレポート)40%
課題(提出物)40%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・授業で学んだことをアルバイト先や学生生活で実践してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテルビジネス概論	LP44201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光産業の市場概況を理解し、宿泊産業の歴史やホテル産業の分類、国内外のホテル業界の動向などについて最新の情報をもとに幅広く学んでいきます。
また、ホテルの実務者として必要な知識とホテル英語についても学びます。
ホテルビジネス実務検定試験(H検)のベーシックレベル2級の取得を目指した授業内容でもあります。

Ⅲ. 学習成果

・宿泊産業の歴史、ホテル業界についての基礎知識を修得し、説明ができる
・ホテルを含むホスピタリティ産業(旅行業界、航空業界)の仕組みを説明できる
・ホテル業界の動向について説明ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス	シラバスの内容を確認し、自分なりに学習スケジュールを立てる
2: ホスピタリティ産業とは	ホスピタリティ産業で興味を持った業界について調べる
3: ホテルと旅行業界、航空業界	日本の観光動向について調べ、まとめる
4: 世界と日本の観光動向	テキストの2ページから4ページまで読み、要点をまとめる
5: 世界と日本の宿泊産業の歴史	テキストの5ページから21ページまで読み、要点をまとめる 宿泊産業の歴史に関する課題
6: ホテル産業の概要① ホテルの定義、ホテル産業の分類(体系的な分類、変化するトレンド)	テキストの22ページから26ページまで読み、要点をまとめる ホテル産業の分類に関する課題
7: ホテル産業の概要② ホテルの組織、主なホテルの紹介	テキストの27ページから28ページまで読み、要点をまとめる
8: ホテル産業の概要③ 主なホテルの紹介	福岡県内のホテルについて調べる
9: 実務者として必要な基礎知識 国際的な習慣、ホスピタリティ、関連知識	テキストの29ページから38ページまで読み、要点をまとめる
10: ホテル英語の基本	テキストの39ページから60ページまで読み、要点をまとめる
11: インターンシップ(ホテル・テーマパーク・旅行会社)の紹介	夏季期間中に実施されるインターンシップについて調べる
12: 講演:リゾートホテルの仕事について	講師が所属されているホテルについて調べる リゾートホテルに関する課題
13: 講演:旅館の仕事について	講師が所属されている旅館について調べる 旅館に関する課題
14: 講演:シティホテルの仕事について	講師が所属されているホテルについて調べる シティホテルに関する課題
15: 振り返り・単位認定試験について	テキストの内容でわからないところをチェックし、まとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回ともテキストの指定されたページを読んでおいてください。また、事後課題については毎回提出をお願いします。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター
※この教科書は本授業のほかに「ホテルビジネス実務」と「ホテルブライダル業務」の授業でも使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・本授業で紹介する夏季インターンシップは受講者のみ参加することができます。事前と事後に研修を予定しているので、必ず参加してください。
　インターンシップの参加は任意です。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光ビジネス論	LP44202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光は、現代人の生活になくてはならないものである。また、地域の活性化や雇用をもたらす産業としても注目されている。
本講義では、21世紀のリーディング産業のひとつである「観光」の基本的な概念について学び、現代社会におけるより良い観光のあり方について考える。

Ⅲ. 学習成果

観光の現代的意味を説明できる。
観光の現状、観光対象と観光資源、観光振興について学び、観光が内包する課題に対して、自分の考えを表現できる。
観光と国際経済の関わり、観光と国際社会・文化の関わりについて説明できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:観光の意味と現代的意義 観光と言う社会現象について研究する	観光に関する用語を調べる 観光の意義についてまとめる
2:観光が人間にもたらす効果 観光の経済効果	観光消費の地域波及効果の具体例を考える 観光の経済効果についてまとめる
3:観光を構成する要素 観光者・観光対象・観光者と観光対象を結ぶモノやコト	観光者と観光対象を結ぶもので、特に重要なものは何か考える 観光媒体についてまとめる
4:観光資源と観光対象 観光対象の特徴	自分の身の回りの「観光資源」を考える 観光対象の特徴をまとめる
5:観光資源と保護 エコツーリズム	エコ・ツアーの情報を調べる エコ・ツーリズムについてまとめる
6:様々なツーリズム マスツーリズムからサステナブル・ツーリズムへ	「サステナブル・ツーリズム」の考え方が出てきた背景について考える　　新しい観光の例をまとめる
7:観光資源 世界遺産など	世界遺産を調べる 日本の世界遺産についてまとめる
8:観光資源　発表の資料作成 プレゼンテーションのリハーサルをする	旅行パンフレットや旅行ガイドブックを読む 発表準備のために地図や写真を準備する
9:調べた観光地を発表する　第1回(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	観光地の見どころについてまとめる 他の発表者の観光地について整理する
10:調べた観光地を発表する　第2回(プレゼンテーション) 他の発表者の内容について評価する	観光地の見どころについてまとめる 他の発表者の観光地について整理する
11:観光振興 開発と保護	「観光まちづくり」とはどのようなことをいうのか考える 観光地の成立条件を整理する
12:観光と旅行業 旅行業の役割	消費者にとっての旅行会社利用の意義を考える 旅行会社の機能をまとめる
13:観光と情報 観光情報の媒体	観光客が求める観光情報をを考える 情報を発信する方法をまとめる
14:観光の歴史 観光の発展の条件、阻害要因を考える	旅行が大衆化した要因について考える 旅の歴史をまとめる
15:観光業界の人材 ミニレポート	ホスピタリティとは何かを考え、自分がホスピタリティに接した経験をレポートにまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
日頃から、新聞・テレビなどの観光関連の情報を収集する。
事前学習は毎回45分以上行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　プレゼンテーション(10%)　小テスト(毎回)(15%)　ミニレポート(5%)　学習の意欲(10%)
いねむり、私語、スマートフォン等の使用に際しては「学習の意欲」の評価の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業内容の具体例などを自分で考えてもらいます。
小テストは翌週、解説・講評をします。
「実務経験教員科目」特記事項:旅行会社勤務経験あり　授業第1回より第15回まで、旅行業の実務経験から得た事例を紹介している。
第12回では、旅行会社の業務内容を詳細に学び、観光業界に必要な資質や知識について考えさせる。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ホテルビジネス実務	LP44203	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業ではホテルの宿泊・料飲部門で必要とされる知識とスキルについて学び、ロールプレイなど演習的な要素を取り入れながら理解を深めていきます。
また、福岡県内で自分が泊まってホテルをひとつ選び、該当ホテルの施設・設備、商品について調べ、今後ホテルに求められる宿泊商品を学生目線で企画・提案していきます。

Ⅲ. 学習成果

・サービス業のやりがいと厳しさを学び、ホスピタリティ・マインドをもって行動ができる
・将来ホテルの仕事に従事した時に役に立つ能力を身に付け、実践できる
・お客様のニーズを把握し、催事や商品を企画し来館を促す活動ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明、ホテルビジネス実務検定試験の案内	ホテル業界の企業について調べる
2: ホテル業界の企業研究 ホームページ、就職支援サイトなどを活用して企業研究を行う	企業研究シートを作成する
3: 自分が泊まってみたいホテルについて	自分が泊まってみたいホテルについて調べる
4: 宿泊部門の概要 宿泊商品の特性、組織と業務役割	テキストの64ページから67ページまで読み、要点をまとめる 宿泊商品の特性、組織と業務役割に関する課題
5: 宿泊部門の実務① 基本知識	テキストの68ページから77ページまで読み、要点をまとめる 宿泊部門の基本知識に関する課題
6: 宿泊部門の実務② 主な担当者の業務	テキストの78ページから89ページまで読み、要点をまとめる 宿泊部門の主な担当者の業務に関する課題
7: 料飲部門の概要 料飲商品の特性、組織と業務役割	テキストの94ページから99ページまで読み、要点をまとめる 料飲商品の特性、組織と業務役割に関する課題
8: 料飲部門の実務① 基本知識(業種・業態、施設・設備・備品)	テキストの100ページから106ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
9: 料飲部門の実務② 基本知識(食材・飲材、メニュー)	テキストの106ページから115ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
10: 料飲部門の実務③ 基本知識(サービス方法)	テキストの115ページから122ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の基本知識に関する課題
11: 料飲部門の実務④ 主な担当者の業務	テキストの122ページから127ページまで読み、要点をまとめる 料飲部門の主な担当者の業務に関する課題
12: 自分が泊まってみたいホテルの客室 客室の構造・眺望、客室の設備・備品	自分が泊まってみたいホテルの客室について調べ、まとめる
13: 自分が泊まってみたいホテルのレストラン 料飲施設の種類・プラン・メニュー	自分が泊まってみたいホテルのレストランについて調べ、まとめる
14: 自分が泊まってみたいホテルの1泊2日の滞在プラン	ホテルの宿泊商品を探し、自身の企画提案の参考にする
15 発表(プレゼンテーション) 授業の振り返り	発表の準備をする

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回ともテキストの指定されたページを読んでおいてください。
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:『ホテルビジネス　基礎編』 一般財団法人　日本ホテル教育センター
※この教科書は本授業のほかに「ホテルビジネス概論」と「ホテルブライダル業務」の授業でも使用します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(50%)、レポート(30%)、学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・レポートは必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・学外授業として、ホテル見学を行います。(任意参加・実費)
・理論を一方的に伝えるだけでなく、ロールプレイングやグループ活動を通して学びを深めていきます。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
観光デザイン入門	LP44204	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

地域の特色を活かせる「観光」で地場産業や地域コミュニティを活性化していこうとする試みが全国各地で行われています。
本授業では、地域の新しい魅力を創造するための手法、「観光デザイン」についてまず学びます。
そして、地域の課題を解決するプロジェクトの企画・提案を行います。

Ⅲ. 学習成果

・観光を軸に地域社会の課題を発掘し、解決に向けた独創的なプロジェクトを創出することができる
・自ら地域の観光素材を発掘し、独自の観光デザインを描くことができる
・地域貢献につながる活動を計画・実行できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 観光デザインとは	福岡市の観光PR動画を視聴し、感想をまとめる
2: 地域の魅力を活かした観光デザインの事例	地方創生政策アイデアの動画を視聴し、感想をまとめる
3: インバウンド(訪日外国人旅行客)の現状と課題	インバウンドに関するニュース動画を視聴し、感想をまとめる
4: インバウンドによる福岡観光活性化プロジェクトについて グループワーク ターゲットとする国を選び、特徴を調べる	インバウンドに関するニュース動画を視聴し、感想をまとめる
5: 地域データの収集① 地域経済分析システム(RESAS)、GoogleEarthの活用	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
6: 地域データの収集② 福岡市魅力紹介(福岡市のサイト)、福岡市観光統計	基礎的な統計や見える化ツールなどを活用して、地域の実情をまとめる
7: 地域の魅力と課題を見つける グループワーク 福岡市の観光SWOT分析	地域の魅力と課題をまとめる
8: 課題解決のフレームワーク① グループワーク ブレインストーミング	ブレインストーミングを活用して、魅力と課題をまとめる
9: 課題解決のフレームワーク② グループワーク イメージマップの作成	イメージマップを活用して、アイデアをまとめてくる
10: 課題解決のフレームワーク③ グループワーク アイデアを整理し、検証する	ワークシートに企画をまとめる
11: 企画書の作成 グループワーク タイトル、地域の魅力・課題、問題提起	担当する役割における作成の準備を進める
12: 企画書の作成 グループワーク アイデアの説明・実現方法と効果、結論	担当する役割における作成の準備を進める
13: 企画書の作成 グループワーク 企画書の仕上げ	担当する役割における作成の準備を進める
14: 発表(プレゼンテーション)の準備 グループワーク 発表練習	担当する役割における発表の準備を進める
15: 発表(プレゼンテーション)とまとめ	各グループの評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回1時間以上行うこと。毎回課題を出します。課題はプリントまたはGoogleclassroomにて提出してください。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成したプリントおよび関連資料を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果(プレゼンテーション)50%、課題(提出物)30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理論を一方的に伝えるだけでなく、グループ活動を通して学びを深めていきます。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
エアラインビジネス論	LP44205	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	観光指定科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

観光立国を目指す日本では、航空業界が果たす役割が大変重視されています。航空会社がインバウンドのお客様を地域に呼び込むことで地域の活性化にもつながります。女性が働く場として人気のある航空業界ではありますが、「安全性」「定時運行」、そして「ホスピタリティマインドを発揮する質の高いサービスの提供」というのが重要な任務となります。本授業では、航空業界の最新動向を研究し、航空会社の仕事や航空業界の基礎知識について学び、航空機を利用した海外旅行を企画・提案する。

Ⅲ. 学習成果

・エアラインビジネスの基本的な知識と専門用語を習得し、説明できる
・エアラインビジネスを支える航空会社の仕事全般(特に空港業務)について説明できる
・グローバルに活躍するための知識やスキルについて説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス 授業の進め方の説明	エアラインビジネス論で身に付けたい知識とスキルを考える
2: 航空業界の動向 就職活動の進め方	航空業界に関するニュースや記事で最近の動向を調べる
3: 航空会社の仕事① キャビンアテンダント、パイロット	キャビンアテンダントの仕事について調べる
4: 航空会社の仕事② グランドスタッフ、グランドハンドリング、その他	グランドスタッフの仕事について調べる
5: 航空業界の基礎知識① エアライン・空港のコードや専門用語など	世界のエアライン・空港のコードを調べる
6: 航空業界の基礎知識② 空港でのチェックイン	空港チェックイン時の流れについて調べる
7: 航空業界の基礎知識③ 安全とリスクマネジメント　グループディスカッション:空の安全について	過去の航空機事故の事例をインターネットで調べる
8: 航空業界の基礎知識④ 世界地図と時刻表の見方、フライト時間、時差、CIQ	CIQとは何かを具体的に調べる
9: 航空機を利用した海外旅行商品の企画① 企画の一例紹介(ハワイ)　グループワーク:旅行先、航空会社、概要を決める	行ってみたい海外の旅行先と航空会社について調べる(TC1・TC2)
10: 航空機を利用した海外旅行商品の企画① グループワーク:プレゼンテーション資料作成	行ってみたい海外の旅行先と航空会社について調べる(TC1・TC2)
11: 航空機を利用した海外旅行商品の企画② グループワーク:出発空港のチェックイン、航空会社、手荷物について	出発空港のチェックイン方法、航空会社、手荷物について調べる
12: 航空機を利用した海外旅行商品の企画② グループワーク:プレゼンテーション資料作成	出発空港のチェックイン方法、航空会社、手荷物について調べる
13: 航空機を利用した海外旅行商品の企画③ グループワーク:現地の基本情報、旅の準備、おすすめの観光地について	現地の基本情報、旅の準備、観光地について調べる
14: 航空機を利用した海外旅行商品の企画③ グループワーク:プレゼンテーション資料作成	現地の基本情報、旅の準備、観光地について調べる
15: 発表(プレゼンテーション) 授業の振り返り	発表の評価をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験結果50%
課題(提出物)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・本講座は、受講生によってつくられる科目であるため、積極的な発表や議論・質問などを期待します。
・課題は必要に応じて添削・コメント記入後返却します。
・希望者に対しては、学外研修(福岡空港見学)を行います。
・厳しいと一般的に言われる航空会社への就職活動を授業外でも全面的に支援してまいります。

観光指定

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習B	LP45207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	ファッション・ビューティー指定科目 ブライダル関連科目		
伊藤　恵		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

トータルコーディネートのアイテムとしてネイルは欠かせないものとなってきています。
皮膚・爪の構造、トラブルなども理解し、正しいネイルケアの技術を身に付けます。
また、ネイルアートをもっと気軽に、自分でも楽しめるようなテクニックも学びます。

Ⅲ. 学習成果

ネイル基礎知識が身に付く
自爪のネイルケアが身に付く
ネイルアート(フレンチ・ペイント・3Dなど)の技術が身に付く

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ネイルケアの歴史 爪の構造・皮膚生理学	爪の構造・皮膚生理学についてまとめる
2: ファイリング	ファイリングについて考える
3: ネイルケア 甘皮処理	甘皮処理についてまとめる
4: ハンドマッサージ	ハンドマッサージについて考える
5: カラーリング	カラーリングについて考える
6: フレンチ・フレンチアレンジ	フレンチ・フレンチアレンジを考える
7: マーブル・ラインストーン	マーブル・ラインストーンのデザインを考える
8: ペイント 絵の具アート	絵の具アート作品の下絵を考える
9: 3Dアート	3Dアートの復習
10: ネイルアート総合練習	練習作品のイメージを考える 苦手なアートをまとめる
11: ネイルアート総合練習	作品練習のイメージを考える 好きなデザインをまとめる
12: 提出用チップ(10本)採寸、ファイリング	提出用チップ(10本)を採寸し記録する
13: 提出チップ作成	
14: 提出チップ作成	提出用チップを作成する
15: 提出チップ作成・作品提出　提出チップ　制作者　作成説明	作品を提出する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

JNAネイルテクニカルシステム

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(ネイルアートチップ10本作成)(60%)
授業態度(技術の上手い下手だけではなく、真面目かつ積極的な態度で授業に臨んでいるかという点で評価します)(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習C	LP45208	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
伊藤　恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

人の第一印象に大きく影響するヘアスタイル。
自分に合う髪型を知り、TPOに合わせたヘアアレンジの楽しみ方を学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

頭皮・毛髪の知識が身に付く。
自分でヘアアレンジの技術が身に付く。
TPOに合わせたヘアアレンジが身に付く。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 基本知識 頭皮・毛髪の基本知識	頭皮・毛髪についてまとめる
2: 道具の使いかた ピン・ゴム・ブラシの用途、使い方	ピン・ゴム・ブラシの用途、使い方の復習
3: アップスタイル ゴムを使った結び方、ピンの留め方	ゴムを使った結び方、ピンの留め方の復習
4: アップスタイル 逆毛の立て方	逆毛の立て方の復習
5: 編み込みスタイル みつあみ、あみこみ、ツイスト、フィッシュボーン	みつあみ、あみこみ、ツイスト、フィッシュボーンの復習
6: 編み込みスタイル アップスタイルを作る	アップスタイルの復習
7: ヘアアイロンの使いかた 内巻き、外巻きなど	内巻き、外巻き　ヘア アイロンの使い方について考える
8: アップスタイル 夜会巻き	夜会巻きの復習
9: アップスタイル ハーフアップ	ハーフアップスタイルの復習
10: アップスタイル みつあみやツイストを使ったスタイル	みつあみやツイストを使ったスタイルの収集する
11: アップスタイル カールアップ、サイドアップ	カールアップ、サイドアップスタイルの収集する
12: フロントカット ウイッグの前髪カット	ウイッグの前髪カット復習
13: 自由作品 ウイッグ・セルフ・相モデルにて	自由作品のスタイルを考える (アップスタイル)
14: 自由作品 ウイッグ・セルフ・相モデルにて	自由作品のスタイルを考える (ダウンスタイル)
15: 自由作品　　仕上がり作品についての技術者のデザイン説明	自由作品のスタイルを考える (TPOに合わせる)

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし、モデルウイッグ使用。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

ヘアスタイル作成(60%)
授業態度(技術の上手い下手だけではなく、真面目かつ積極的な態度で授業に臨んでいるかという点で評価します)(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内でコメントを提示する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
カラーコーディネート演習 Ⅰ	LP45201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
上村 未由		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

色の基礎、色の組み合わせ方、専門分野における利用などを幅広く学習し、暮らしを豊かにするための色の知識を身につける。

Ⅲ. 学習成果

色の理論や法則を理解し、自分が好きではない色や普段使わないような色も自由に使いこなすことができる。
AFT文部科学省後援 色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: 色のはたらき 色はなぜ見えるのか (色を見るための三要素)	身のまわりにあるさまざまな色の役割やはたらきについて調べる 色が見える仕組みについてまとめる
2: 混色 色の三属性	加法混色と減法混色についてまとめる 色を分類したり数字で表すときの基本について覚える
3: 慣用色名(1)和色名	和色名の慣用色名を表にまとめる
4: 慣用色名(2)外来色名	外来色名の慣用色名を表にまとめる
5: PCCS表色系(1) 色相	PCCSの色相について表にまとめる
6: PCCS表色系(2) 明度、彩度	トーン表のトーンの位置を覚える
7: 三属性による色の表示 ヒュートーンシステムによる色の表示	色の三属性で色を表示する方法とヒュートーンシステムを使用した色の表示方法を比較して覚える
8: 純色、清色、中間色 色の心理効果(1) 基本的な印象への効果	色の心理効果が働いている身近な事例を調べる
9: 色の心理効果(2) 色の連想と象徴 グループワーク:色が表す象徴性について調べる	各国の国旗や企業のロゴに込められた色の意味を調べる
10: 色の視覚効果	色の対比や同化についてまとめる
11: 色彩調和(1)色相を手がかりにした配色	色相を手がかりにした配色のルールを覚える
12: 色彩調和(2)トーンを手がかりにした配色 配色の基本的な技法	トーンを手がかりにした配色のルールを覚える 配色の基本的な技法を覚える
13: 配色イメージ	イメージを表すのに相応しい色使いを覚える
14: ファッションと色彩	ファッションならではの色彩の考え方を覚える
15: インテリアと色彩	インテリアにおけるカラーコーディネーションや色の心理効果についてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文部科学省後援 色彩検定公式テキスト3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験、小テスト 60% 提出物 20% 学習の意欲 20%
授業中の私語、居眠り、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点の対象とします

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199a」を使用します。ハサミ、のり、定規を準備してください。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルも持参してください。
授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求めます。また、理解度を確認するための小テストを行います。
小テストを実施した場合は、次の講義で解説を行います。提出した課題はコメントをつけて返却します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
カラーコーディネート演習Ⅱ	LP45205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	ファッション・ビューティー指定科目 ブライダル関連科目		
上村　未由		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

より効果的な配色をするために配色カードを用いた実演、色の特性や色彩調和などの色彩学の応用、パーソナルカラーといった
実践的なカラーコーディネートを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

色彩学を応用し、様々なシーンにおいて意図したカラーコーディネートができる。
パーソナルカラーを利用したカラーコーディネートができる。
AFT　文部科学省後援　色彩検定3級受験が可能。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: PCCS表色系 配色	2期授業内容を振り返り、要点をまとめる
2: 色彩調和(1) ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニー	ナチュラルハーモニー、コンプレックスハーモニーの 特徴をまとめる
3: 色彩調和(2) ドミナント配色、トーンオントーン配色、トーンイントーン配色	ドミナント配色、トーンオントーン配色、トーンイントーン配色の 特徴をまとめる
4: 色彩調和(3) トーナル配色、カマイユ・フォカマイユ配色、ビコロール、トリコロール配色	トーナル配色、カマイユ・フォカマイユ配色、ビコロール、 トリコロール配色の特徴をまとめる
5: 色相の分割による変化の配色	色相の分割による配色のルールを覚える
6: パーソナリティーカラー	嗜好色についてまとめる
7: コマーシャルカラー	商品パッケージの配色について調べる
8: フードカラー テーブルカラー	食の五原色について調べてまとめる テーブルコーディネート例を探し、配色の分析をする
9: パーソナルカラー(1) イエローベース、ブルーベース	カラーカードを使用して、イエローベースとブルーベースの色を 仕分けする
10: パーソナルカラー(2) 4シーズン分類	パーソナルカラーの4シーズンそれぞれの特徴を まとめる
11: パーソナルカラー　コラージュ作成(1) スプリングタイプ	スプリングタイプの特徴を調べてまとめる
12: パーソナルカラー　コラージュ作成(2) オータムタイプ	オータムタイプの特徴を調べてまとめる
13: パーソナルカラー　コラージュ作成(3) サマータイプ	サマータイプの特徴を調べてまとめる
14: パーソナルカラー　コラージュ作成(4) ウィンタータイプ	ウインタータイプの特徴を調べてまとめる
15: パーソナルカラー診断 グループディスカッション:診断結果について	カラー診断をする際のポイントをまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習では、毎回出される課題プリントの補完作業や次回範囲のチェックなど、30分以上行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を毎回配布する。
参考図書:AFT文部科学省後援　色彩検定公式テキスト3級編

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験、小テスト　40%　　提出物　40%　　学習の意欲　20%
授業中の私語、居眠り、指定時以外のスマートフォンの使用、忘れ物などは減点の対象とします

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

「新配色カード199a」を使用します。ハサミ、のり、定規、色鉛筆を準備してください。また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルも持参してください。授業の進度に合わせ、適宜課題の提出を求めます。また、理解度を確認するための小テストを行います。
小テストを実施した場合は、次の講義で解説を行います。提出した課題はコメントをつけて返却します。
※2期にカラーコーディネート演習Ⅰを受講していること

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
美容芸術演習A	LP45206	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	ファッション・ビューティー指定科目		
伊藤　恵		履修要件他:	ブライダル関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

メイクアップとは顔に単純に色をのせるものではなく、又、表面的な特徴だけを見て色付けするものではありません
顔の骨格や筋肉を考え、印象をつかさどるカテゴリー(形・サイズ・色・質感等)を理解しそれぞれの顔に合ったメイクについて考える

Ⅲ. 学習成果

メイクの基本的な知識、さらに目的やテーマに合ったメイクバリエーションの修得
TPOにあわせたメイクバリエーションが身に付く

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 肌について(皮膚の構造、仕組みなど)	肌について(皮膚の構造、仕組みなど)授業で学んだ事をまとめる
2: スキンケア (クレンジング・化粧水・クリームの種類、選び方、使い方)	スキンケアの注意点をまとめる
3: ベースメイク (ファンデーションの種類、選び方、使い方)	ベースメイクについてまとめる
4: アイメイク (色の入れ方、ブラシの使い方)	アイメイクについてまとめる
5: アイブロウ(眉) (眉の形、描き方)	アイブロウについてまとめる
6: チーク (色の入れ方、ブラシの使い方)	チークの入れ方についてまとめる
7: リップ (ブラシの使い方)	リップブラシの使い方についてまとめる
8: フルメイク	フルメイク復習
9: ソフトメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	ソフトメイク基礎についてまとめる
10: シャープメイク基礎 (アイメイク・アイブロウ・チーク・リップによる印象操作)	シャープメイク基礎についてまとめる
11: ソフトメイク応用 (色味による印象操作)	ソフトメイク応用についてまとめる
12: シャープメイク応用 (色味による印象操作)	シャープメイク応用についてまとめる
13: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
14: トレンドメイク	トレンドメイクについてまとめる
15: 実技チェック　作品のポイントについて技術者発表	総合メイクについてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は各回30分程度行います。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

TonyTanaka's Make-up　TEXT

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実技チェック(50%)、学習意欲(50%)【上手い下手ではなく、積極的な姿勢で授業に取り組んでいるかという点】

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題に対して、授業内にてコメントで掲示する

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語コミュニケーション	LP51208	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
コリーン・マシュー (Colleen Mathieu)		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English for everyday situations and daily conversation.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English in several topics.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1:Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will be given.
2:1.1 "What's your name?" and "How do you spell it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
3:1.2 "Are you a student?" and Names and jobs	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
4:2.1 "Where are you from?" and "What's your email address?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
5:2.2 Family and Family and friends	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
6:3.1 "Is that your notebook?" and "What's this called in English?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
7:3.2 Clothing and Favorite things	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
8:4.1 Getting around and "What time is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
9:4.2 My routine and My weekend	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
10:5.1 Online habits and "How much is it?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
11:5.2 "What do you do for fun?" and Online fun	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
12:6.1 "What does she do?" and "Can I speak to...?"	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
13:6.2 "Can you sing?" and Work and study	Preview unit content including vocabulary and grammar. Review lesson content. A quiz may follow in the next lesson.
14:Special activities.	The special activities will be explained in class.
15:Review	Review lesson content.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Please prepare and review each unit. Keep a notebook and write new words or write and practice reading the dialogues from the book.
Always remember to bring a pencil case, your textbook, and your cell phone.単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2/e 1 | Student's Book A with Digital Pack ISBN: 9781009286107

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ダイエット論	LP51209	開講時期:	1・2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
伊勢木　紀三子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目はダイエットにとって重要な食事、運動などについて理解し、望ましいダイエットのあり方はその方法について学習する。
学生が栄養学の基本的な知識を基に、健康を意識した食習慣を身につけ、適正なウエイトコントロールの方法を取得することがねらいである。

Ⅲ. 学習成果

1.栄養に関する基本的な知識を身につけ、個人の適切なエネルギーおよび栄養素の摂取量が理解できるようになる。
2.自分の食事管理(適切な食の選び方)を理解し、正しい食習慣を身につけることができるようになる。
3.様々なダイエット方法の内容・問題点について理解でき、自分に適したダイエット計画を提案できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:健康で美しい身体とは 若年女性の栄養の問題点	若年女性の栄養の問題点を理解する
2:食習慣アンケート 食事バランスガイドを用いた食事の自己評価	BMIの計算を行い、自分の体格を認識する 自分の日常の食習慣を評価する
3:エネルギー代謝と食事摂取基準	1日に必要なエネルギーおよび栄養素量を認識する 1回の食事でどれくらい食べることができるかを理解する
4:栄養素の役割について　～5大栄養素と3大栄養素、炭水化物～	5大栄養素、3大栄養素について調べてくる
5:栄養素の役割について　～脂質・たんぱく質～	脂質、たんぱく質について調べてくる
6:栄養素の役割について　～ビタミン・ミネラル～	ビタミン、ミネラルについて調べてくる
7:小テスト(栄養素について)	確認テストを実施するため、栄養素のついて復習する
8:食物繊維と腸内細菌叢	便秘の原因や改善点について理解する プロバイオティクスとプレバイオテックスの食品についてまとめる
9:バランスのとれた食事とは	食事を選ぶときのポイントについて学び、できることから実践する
10:時間栄養学	時間栄養学の考え方や気を付けるべき点をまとめる
11:ダイエット時の食事と運動	脂肪を燃やすための運動、痩せやすい体質になるための運動の 方法や注意点についてまとめる
12:様々なダイエット方法について 興味のあるダイエット方法について調べ、まとめる(グループワーク)	興味のあるダイエット食品について方法・どんな成果がみられるかを まとめる
13:食事、カロリーダウンのコツ	ダイエット時に調理で気を付けるべき点を調べる
14:スナック菓子とジュース コンビニスイーツ	ダイエット時の間食や捕食について調べる
15:まとめ	自分にあった、自分のためのダイエット方法についてまとめる (レポート提出)

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習か各回45分以上行うこと。復習を兼ねて課題に取り組み、学んだことを自分の生活の中で意識し、さらに可能な限り実践しましょう。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。
教員作成の資料を毎回配布する。
授業中に参考となる図書を紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(40%)・小テスト(20%)・提出物(30%)・学習の意欲(10%)
授業中の私語・スマートフォンの使用は減点の対象です。
ただし、簡単な計算を行う際は、スマートフォンの電卓機能使用は認めます。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

普段より食べ物や食事、健康に興味を持ち、意欲的に調べたり、疑問を持ち、授業に臨みましょう。
提出物は、後日補足説明を行います。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フィジカルトレーニング	LP51210	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
佐田　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

毎日を元気に美しく過ごすためには、自己管理や運動習慣を意識する必要があります。
健康を維持するための行動や考え方を習得することを目的とし、楽しみながら様々な運動を行います。

Ⅲ. 学習成果

①運動の技能や知識を習得し、運動する楽しさ、喜びを体感することができる。
②自分の身体と向き合うことで、個々の課題を知ることができ、改善、対策を考えることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	運動を行うための意味付けとしての目標を設定する。
2: 有酸素運動と筋力トレーニング①	簡単な運動から始める。
3: 有酸素運動と筋力トレーニング②	授業で習った筋力トレーニングを自宅で実践する。
4: 有酸素運動と筋力トレーニング③	正しいフォームで筋力トレーニングができているかを見直す。
5: 有酸素運動と筋力トレーニング④	自分で1日10分の筋力トレーニングのメニューを作ってみる。
6: バランスボール①	バランスボールがあれば復習する。
7: バランスボール②	バランスボールがあれば復習する。
8: バランスボール③	バランスボールがあれば復習する。
9: バランスボール④	バランスボールがあれば復習する。
10: ヨガ ①	自分自身の呼吸に目を向けてみる。 腹式呼吸を行ってみる。
11: ヨガ ②	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
12: ヨガ ③	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
13: ヨガ ④	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
14: ヨガ ⑤	呼吸を意識しながら、ヨガを行ってみる。
15: まとめ	学んだトレーニングメニューを復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
生活のリズムを整えて、体調管理をしましょう。また、美しい姿勢を心掛け、1日の運動量を増やすような行動をしましょう。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各自の授業の取り組み方や、上手下手ではなく技術的な習得を重ねているかをチェックし、総合的に判断し評価します。(100%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

◎動きやすい服装(デニム不可)、タオル、飲み物(水やお茶)を準備すること。
◎体調が悪いときは無理をせずに、授業前に連絡し、指示を受けること。
◎授業内容は、受講人数や要望によって変更することがあります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
和装コーディネート	LP51211	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
佐藤　僖良子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

日本の美しい伝統文化「きもの」から生まれた言葉「襟を正す」「躾」「折り目正しい」「辻褄を合わす」「袖振り合うも多生の縁」等からも解るように、技(具体的な物事のやり方、術(より良き方法・学問)、礼(相手を尊敬し、全てに感謝することでよりよい人間関係が実現できる)、道(人格の陶冶)、の段階的基本学習で、愛美礼和の精神が向上します。日本の伝統文化の基礎が学べ、現代にも馥郁たる人間性が発揚され活躍出来る人を期待しております。

Ⅲ. 学習成果

反復繰り返し技・術・礼・道を踏み、きものを美しく装うには、きものの基礎知識、TPO、コーディネート、所作、立居振舞、マナー等を身に付けることが大事です。
以上の総合的バランスが整って初めて真の魅力的な女性となり、社会から必要とされる人間力を発揮することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 和装とマナーは一体である理由 挨拶の仕方(会釈礼・敬愛礼・尊敬礼・最敬礼)	和装、マナー検定の為の教科書を中心に進める 毎回ノートを取ってもらう　その日の検印をする
2: 和装に必要なきもの・帯・小物一切の説明と立居振舞の練習 挨拶(会釈礼・敬愛礼・尊敬礼・最敬礼)の座礼と立礼	教科書の予習・復習の徹底をし、ノートの取りまとめをする
3: 物の取り扱いを美しく大切に 物の渡し方の実習　※ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ	結果だけでなく過程の美しさもコーディネートの大事な要素である 教科書の図解で復習
4: マナ−検定資格・和装資格の教科書 勉強した内容の結果を獲得する。	初級マナー検定試験を受ける
5: 補正用具の作成、下着の付け方、小物、きもの、帯一切のたたみ方 きものの着装実習	反復練習でスピードを上げる
6: きものの練習と歴史、調和、染色、織り物、模様の種類、家紋について 紋様に幸せのメッセージが込められていることを理解する	予習を徹底してもらって進める ノートにまとめる
7: 中級マナー検定の教科書勉強と実習テーブルマナー きものの練習	テーブルマナー、教科書を熟読しておく 中級マナー検定の準備
8: 普段着(小紋・紬)、名古屋帯の着装実習	習ったところの復習を自宅で徹底練習をする 結局繰り返しが上手下手の分かれ道である
9: きものの四季における種類、きものと帯(紗・絽・羅) 中級マナー検定を受ける	きものを見てもらう。花鳥風月の和の美を感じ取ってもらう 教科書をよく読んでおく
10: 冠婚葬祭におけるきものと帯の調和と丁寧な言葉遣い、慣用句の使い方	なれなれしい言葉遣いは正式の場では、使い分ける 敬語の使い方のページを熟読し、ノートにまとめてくる
11: 未婚の第一礼装、「振袖」の他装の着装を見学	教科書で年齢等による襟あわせ等を予習しておく
12: 入室・退室ドア・職員室等におけるマナー　椅子の掛け方、立ち方練習 きものを着ての階段の上り下り	着付けただけのきものでは本当の美しさが漂って来ない ・きものと人格は一体で表現されるまとめを書く
13: 美しく着装をして和室での作法、座布団の座り方、降り方、 たたみでの歩き方	和室の作法を予習してくる 自装の教科書をよく確認しておく
14: 名古屋帯、きものの美しい着装仕上げと風呂敷包み	前もって練習をしておく、教科書の再確認 和装とマナーについてのレポート提出
15: 表彰状渡し等、正式な儀式の場合の授与の作法。花束贈呈の仕方	きものの自装と資格修了書渡し・花束贈呈に関して総仕上げ

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各回10～20分の説明をする。内容はその都度説明する。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本的には教科書を使う。副読にプリントも使う。
教科書:入門初修課程　理論編　装道礼法きもの学院著　装道出版局　1,650円
教科書:入門初修課程　実技編　装道礼法きもの学院著　装道出版局　1,650円
教科書:マナー検定テキスト　センスアップマナー　全日本マナー検定協会　1,950円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(10%)、マナー検定試験と和装の筆記試験(50%)、実技の試験(40%)にて評価。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題はコメントを付けて返却します。
授業中の私語、スマートフォン使用は、減点の対象となります。
「実務経験教員科目」特記事項:装道礼法、着装講師として、和装、正しい日本語の使い方、歴史マナー全般小・中・高、自衛隊、団体の場で講演活動の経験をいかし、装道礼法、着装の指導を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
マーケティング論	LP51201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

マーケティング論は応用範囲の広い学問で、企業のみならず、自治体や病院等でも活用されている。本講座では営利会社に注目しつつ、「売れる仕組み」について幅広く学習する予定である。また従来型の講義形式を中心とした授業ではなく、グループワークを主体とした授業展開を考えており、マーケティング論の基礎的考え方を押さえつつ、日常生活で行われている企業活動に着目し、各企業はどのように皆さんたちに「後一つ」商品やサービスを購入してもらうために努力しているのかについて多くの具体例を提供する予定である。自分の頭で考え、アウトプットを行い、全体で情報をシェアしながら講義を進める。

Ⅲ. 学習成果

①マーケティングの基礎的な考え(差別化、ポジショニング等)を理解する。
②企業が行っているブランディングに関して理論的に理解し、応用事例も把握する。
③サービス業全盛の時代におけるマーケティングの在り方について理解し、3期から始まる各メジャーの学びに備える。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: イントロダクション	予習:シラバスをよく読んでおくこと。 復習:教科書のはじめにを読むこと
2: マーケティングとは ブランディングの重要性	予習:教科書第1章を読むこと 復習:身近なブランディングの事例を考えておく。
3: 自分たちの強みを見つける	予習:教科書第2章を読むこと 復習:自分が好きなブランドの強みを考えておく
4: 顧客の本音を探す① マーケティング・リサーチ	予習:教科書第3章を読むこと 復習:顧客の本音を知るためにすべきことを考えておく
5: 顧客の本音を探す② ビデオ学習	予習:ペルソナについて調べてみる 復習:ターゲッティングについて調べてみる
6: 競合との最大の違いはなにか① 課題1の提示	予習:教科書第4章を読むこと 復習:差別化の事例を集めておくこと
7: 競合との最大の違いはなにか② グループワークの実施	予習:ポジショニングの事例を集めておくこと 復習:課題1に取り組む
8: 価値あるブランドについて①	予習:教科書第5章を読むこと 復習:自分が好きなブランドについて調べてみる
9: 価値あるブランドについて② ビデオ学習	予習:自分が好きなブランドの「らしさ」を検討してみる 復習:自分がなぜそのブランドが好きなのか、もう一度考えてみる
10: ブランディングの要素について① 課題2の提示	予習:教科書第6章を読むこと 復習:課題2に取り組む
11: ブランディングの要素について② グループワークの実施	予習:課題2を完成させる 復習:グループワークの仕方を再度調べる
12: 成功が続くブランドの育て方①	予習:教科書第7章を読む 復習:インナーブランディングの価値について再度確認する
13: 成功が続くブランドの育て方② ビデオ学習　※課題2回収	予習:関係重視のマーケティングについて調べておく。 復習:TDLについて再度調べておく。
14: 成功が続くブランドの育て方③ グループワーク	予習:AIDAモデルを中心に調べておく。 復習:自身の消費行動とAIDAモデルを比較する。
15: まとめ	予習:これまでの学習を振り返り、要点をまとめておく。 復習:第1～14回を振り返り、3期以降の学びに備えること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・上記の準備学習をよく読み、毎回準備をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　ブランディングが9割　青春出版社　乙幡　満男著
参考書「マーケティング入門」 日本経済新聞社　小川孔輔著
「企業を高めるブランド戦略」 講談社　田中洋著
「現代広告論」 有斐閣　岸志津江他著

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・課題提出2回　30%(15%、15%)、学習の意欲(毎回回収するプリント及びグループワークへの関与度等)　20%、単位認定試験 50%
・単位認定試験を実施する。上記の課題等を含めて総合的に評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Google Classroomについては、主として授業外学習の促進のために使用することを計画している。
・毎回回収するプリントおよび課題について、必要に応じてコメントをつけて返却を行う。
・私語、スマートフォンの不許可での使用は減点の対象とする。また、居眠り等のやる気のない態度も遠慮していただきたい。
・詳細は第一回目で説明を行うので、第一回目からきちんと出席すること。
・上記のシラバスの内容を変更する場合は、事前に授業中に説明を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英会話	LP51202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
マーク・トンプソン		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Students will learn English as it relates to situations where English is used.
Topics include family information, permission, abilities, and locations.
Students will take part in mainly English dialogue practice, vocabulary building, interviews, and other textbook activities.

Ⅲ. 学習成果

At the end of this course, students should be able to use basic English in various situations.
This course will build students' confidence in communicating in an English environment.

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1: Course Introduction	Come to this first lesson. An overview/explanation of the course will be given.
2:7.1 "Breakfast, lunch and dinner" and "I like Chinese food!"	Preview Lessons A and B in the text. FOOD
	3 Meals & Ethnic Food – Vocabulary Practice
3:7.2 "Meals" and "Favorite food"	Preview Lessons C and D in the text. FOOD
	Meals & Favorite Food – Grammar/Pronunciation
4:8.1 "Around town" and "How do I get to...?"	Preview Lessons A and B in the text. NEIGHBORHOOD
	Around Town & Directions – Role Playing
5:8.2 "Fun in the city" and "A great place to visit"	Preview Lessons C and D in the text. NEIGHBORHOOD
	City Fun & Visiting – Short Passages
6:9.1 "I'm looking for you." and "I can't talk right now."	Preview Lessons A and B in the text. WHAT'S UP?
	Where are You? & Busy Now – Vocabulary Practice
7:9.2 "These days" and "What's new?"	Preview Lessons C and D in the text. WHAT'S UP?
	Recently & What's New? – Grammar/Pronunciation
8:10.1 "Lost weekend" and "You're kidding!"	Preview Lessons A and B in the text. IN THE PAST
	Last Weekend and You're Kidding! – Role Playing
9:10.2 "Did you make dinner?" and "I saw a great movie."	Preview Lessons C and D in the text. IN THE PAST
	Last Night's Dinner & Nice Movie – Short Passages
10:11.1 "Where were you?" and "That's great!"	Preview Lessons A and B in the text. GETTING AWAY
	Where were You? & That's Great! – Vocabulary Practice
11:11.2 "My vacation" and "Travel experiences"	Preview Lessons C and D in the text. GETTING AWAY
	My Vacation & Travel – Grammar/Pronunciation
12:12.1 "I'm going to get married." and "Sure. I'd love to."	Preview Lessons A and B in the text. CELEBRATE
	Ceremonies & Let's Do It – Role Playing
13:12.2 "Planning a party" and "Birthdays"	Preview Lessons C and D in the text. CELEBRATE
	Planning Events & Happy Birthday – Short Passages
14: Special activities	The special activities will be explained in class.
15: Review	Review lesson content.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Always remember to bring a pencil case, your textbook, and your cell phone.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

Four Corners 2nd Ed. 1B Student Book with Online Self-Study (Cambridge University Press) ISBN: 9781108649360

Ⅵ. 評価方法と評価基準

Grades are based on attitude (20%), class participation (20%), quizzes (30%), and a final test (30%).

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

IF: you come to every lesson, bring your textbook and pencil case, take part actively, and listen to the teacher, you will do well in this course. Good luck!
All students will get feedback on assignments by email as soon as the assignments are checked by the teacher.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
人間環境心理学	LP51203	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
立岡　沙珠		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本授業では，人を取り巻く環境と人の行動，発達や心理との関連について幅広く学習することを目的としている。心理学的な観点から自身の行動や他者との関係性について理解を深めることは，これまでの対人関係が大きく変化する短大生にとって役立つと考えられる。そのため，本講義においては，日常生活の場面を取り上げつつ，環境と自身の行動の関係を理解するのに役立つ学びを得ることを目指す。本講義ではこの目的を達成するため，必要に応じてグループワークや個別のワークを実践していく。

Ⅲ. 学習成果

・日常生活における自身の行動について，環境との関連という観点から，心理学的な用語を用いて説明することができる。
・他者と関わりながら社会生活を送るうえでの目標や課題を考え，行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学についての説明，自己紹介ワーク	心理学について学んでみたいことを考える。 環境や社会とのあり方から「自己」について考える。
2: 認知スタイルについて	自身の認知スタイルを振り返り，考えたことをまとめる。
3: バイアスについて	自身の中にあるバイアスや自動思考に気づく。
4: 判断と意思決定	自身の判断や意思決定と，他者の存在の関係についてまとめる。
5: 「自己」と「発達」について	自己に関するワークシートの作成，振り返り
6: 対人魅力について	これまでの経験と対人魅力の関係について振り返る。 必要に応じてワークシートの作成。
7: 原因帰属について	自身の中の原因帰属の傾向を知る。 原因帰属に関するワークシートの作成。
8: 二者関係の親密化過程について	他者との関係とのあり方や，二者関係が親密化する過程について考える。
9:　援助要請について	自身の援助要請スタイルについて振り返る 日常生活における援助要請について考えたことをまとめる。
10: 他者の存在や行動が自身の行動に及ぼす影響	授業を通して考えたことについて振り返り，まとめる。
11: 集団意思決定について	集団の決定と，集団の中での自己の意思決定についてまとめる。
12: 集団内における個人のパフォーマンスについて	集団内にいる自身のパフォーマンスが変化したと思われる例についてまとめる。
13: リーダーシップ理論	リーダーシップに関する論文の抄読。
14: 心理学に関する論文抄読 グループごとに，論文を一つ選択し，その内容について理解を深める。	これまでの授業を通して考えたことをさらに調べる。 論文を選択し，その内容を理解する。
15: 心理学に関する論文抄読　発表，ディスカッション	論文の内容をまとめ，グループとして発表する。 他グループの発表を聞いて，これまでの授業を振り返る。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
グループ・プロセス	LP51204	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本講義では、まず、対人的コミュニケーションの基本的な特性を押さえた上でノンバーバルコミュニケーションの役割について学ぶ。
次に、私たちが誰でも陥りやすい対人関係の躓きや不適応についてケース研究を通して学び、より効果的な支援のあり方について学習し身につける。
さらに、アサーションに関する学びを通して自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につけ、集団の特性およびリーダーシップについて他者の影響性の観点から理解を深める。

Ⅲ. 学習成果

1　対人的コミュニケーションにおいてノンバーバル・コミュニケーションが話す役割について説明できる
2　対人関係の躓きや不適応を、これまでとは違った視点から捉え、効果的に支援する方法を学び身につける
3　自分も相手も尊重する話し合いのスキルを身につける
4　集団の特性について理解し、リーダーシップについて説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:コミュニケーション「話す」「聞く」	自分のコミュニケーションの特徴についてまとめる
2:コミュニケーションのチャネル	コミュニケーションのチャネルの種類についてまとめる
3:対人魅力①　対人魅力の要素	対人魅力の要素についてまとめる
4:対人魅力②　対人魅力を決める規定因	自分たちで考えた人の魅力一覧にその他の要因も加えてまとめる
5:対人魅力③　自分の対人魅力の特徴について知る	LETS2の結果をまとめて振り返りレポートを作成する
6:アサーション①　アサーションについて知る	他者に対する4つの反応パターンの具体例についてまとめる
7:アサーション②　アサーティブに振舞うためのポイント	自分も相手も大事にしたメッセージの伝え方についてまとめる
8:不適応に対する支援　ケース研究①　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
9:不適応に対する支援　ケース研究②　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
10:不適応に対する支援　ケース研究③　グループ・ワーク	本日の不適応ケースのポイントをまとめ振り返り表に記入する
11:共感的理解について考える	共感、同情、同意の違いについてまとめる
12:集団の中での他者の影響性①　集団の特性	集団の特性についてキーワードを使ってまとめる
13:集団の中での他者の影響性②　リーダーシップ	様々なリーダーシップのとらえ方について学んだ内容をまとめる
14:自己発見実習　交流分析	エゴグラムの結果について考察する
15:まとめ	本講義内容について総復習し、試験に向けた学習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、各回について上の準備学習時間に自主学習を足した180分を必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。 教員作成資料を配布する。
参考図書:授業中に紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験 60%　各授業後の振り返り表 20%　学習の意欲 20%
グループ・ワークおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本講義は「ピアヘルパー」認定資格取得に役立つ内容である。
多様なグループ・ワークや意見交換の場が準備されているため、積極的参加が求められる。
各時間の学習内容について振り返り表に記入した内容に関しては、教員が授業中にフィードバックを行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
ピアサポート	LP51205	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
遠矢　幸子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本演習は、『ピアヘルパー』認定資格取得のために必要な知識と技能を身につけることを目的とする。『ピアヘルパー』は、直訳すれば「仲間を助ける人」であり、自分と自分の身近な人々の日常的なサポートに活かせる資格である。本演習では、心理学の理論と方法に基づいて適切な自己表現の仕方や友人の悩みに聞き方についてきちんと学習することで、自らのスキルアップをはかるとともに身近な人々をサポートする力を養う。

Ⅲ. 学習成果

1　カウンセリングの諸理論について基礎的な内容を説明できる
2　ヘルピングに必要な言語的技法および非言語的技法を説明できる
3　学んだ知識と技法を日常生活で適切に応用できる
4　ピアヘルパー認定試験に合格する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:構成的グループエンカウンターについて学ぶ	ピアヘルパーハンドブックのPp.12-17を読んで要点をまとめる
2:構成的グループエンカウンター・エクササイズ	実習後に振り返りレポートを作成する
3:カウンセリングの定義と略史	ピアヘルパーハンドブックのPp.18-24を読んで要点をまとめる
4:カウンセリングの種類	ピアヘルパーハンドブックのPp.25-30を読んで要点をまとめる
5:自己理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.24を読んで要点をまとめる
6:精神分析について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.25を読んで要点をまとめる
7:行動理論について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.26を読んで要点をまとめる
8:論理療法について学ぶ	ピアヘルパーワークブックP.27を読んで要点をまとめる
9:ピアヘルピングの関連領域とプロセス	ピアヘルパーハンドブックのPp.31-43を読んで要点をまとめる
10:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向	ピアヘルパーハンドブックのPp.44-54を読んで要点をまとめる
11:ピアヘルパーのパーソナリティとカウンセリングの動向の確認	ピアヘルパーワークブックのPp.8-9に記入し復習する
12:ピアヘルピングの言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.56-61を読んで要点をまとめる
13:ピアヘルピングの言語的技法②	ピアヘルパーハンドブックのPp.62-69を読んで要点をまとめる
14:ピアヘルピングの非言語的技法①	ピアヘルパーハンドブックのPp70-76を読んで要点をまとめる
15:ピアヘルピングの非言語的技法②	ピアヘルパーワークブックのPp.41-42に記入し復習する
16:対話上の諸問題への対処法	ピアヘルパーハンドブックのPp.77-83を読んで要点をまとめる
17:問題への対処法①	ピアヘルパーハンドブックのPp.84-91を読んで要点をまとめる
18:問題への対処法②	ピアヘルパーワークブックP.34を読んでそれぞれの違いを復習する
19:ピアヘルパーの心がまえとヘルピングスキルの上達法	ピアヘルパーハンドブックのPp.92-104を読んで要点をまとめる
20:ピアヘルパーの活動許容範囲と留意点	ピアヘルパーハンドブックのPp.106-112を読んで要点をまとめる
21:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　学業領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.113-118を読んで要点をまとめる
22:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験①(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
23:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　進路領域　友人領域　グループ領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.119-137を読んで要点をまとめる
24:カウンセリングスキルのまとめ	ピアヘルパーワークドブックのPp.32-33に記入し復習する
25:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　関係修復領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.138-144を読んで要点をまとめる
26:青年期の課題とピアヘルパーの留意点　心理領域	ピアヘルパーハンドブックのPp.145-152を読んで要点をまとめる
27:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験②(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
28:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験③(実施後のグループ・ワークを含む)	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
29:ピアヘルパー認定試験対策模擬試験④(実施後のグループ・ワークを含む	模擬試験に向けた事前学習を行い、実施後は間違いについて復習する
30:ピアヘルパー認定試験直前総復習	資格認定試験に向けてテキストの復習を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容については毎回の授業で説明する。
単位修得のためには、各回について上の準備学習時間に自主学習を足した45分を必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

ピアヘルパーハンドブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税
ピアヘルパーワークブック　日本教育カウンセラー協会編　図書文化　1,500円＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

グループ実習後の振り返りレポート 10%　模擬試験結果 40%　学習の意欲 50%
テキストの読み合わせおよび話し合いへの積極的な参加、授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

ピアヘルパー資格認定試験を推奨する。
複数回実施するピアヘルパー認定試験対策模擬試験では、全体の正答・誤答傾向のフィードバックを行った上で個人の誤答の確認と修正を行う。
さらに、個人の成績の変化もフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
フラワーアレンジメント	LP51207	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
石井　康子		履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

花と暮らすことは心が和み、その空間はパッと華やぎます。授業では花を素敵に活けるための基礎知識を学び、季節、行事に合わせた作品を作ります。
植物の歴史、芸術性を学びます。課外学習により自然の素晴らしさ、活用法など学びます。
植物と触れ合うことの楽しさ、そして想像力が培われます。

Ⅲ. 学習成果

「花を活ける」ことにより、日常の暮らしに笑顔と感謝の気持ちが培われます。
花を通して表現力を磨き、プレゼンテーション力を学習することができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 英国「チェルシーフラワーショー2023」に参加したスライドショー。花壇見学 実習:グラスにアレンジ。必要な道具。水あげの基本。	(予習)テキストを読んで、確認する
2: 花の扱いに慣れよう。 実習:スプレーバラを4通りにアレンジ。吸水性スポンジを使った簡単アレンジ	(復習)作品を長く楽しむ工夫をする
3: 大切な人に想いを伝えるフラワーギフトの贈り方の学習をする 実習:ハロウィーンのアレンジ＋プレゼンテーション	(予習)テキストを読んで、花を贈る時のルールやマナーを確認する
4: アレンジメントの基本の形について　花留めについて 実習:生花のフラワーボックス	(復習)作品を長く楽しむ工夫をする
5: アレンジの見せ方、三方見、四方見について 実習:吸水性スポンジのカット、四方見のテーブル生花＋プレゼンテーション	(予習)アレンジメント用語を読む
6: アレンジ用語について　花言葉について 実習:多肉植物の寄せ植えアレンジ	(予習)花言葉を調べる
7: スライドショー:イベント、フラワーショーなど 実習:器の中も美しく見せる水中花	(予習)水中花の項目を読む
8: ブーケについて 実習:ブーケ＋ラッピング	(予習)花言葉を調べる
9: 季節の行事を花と緑で演出する方法について 実習:クリスマスの寄せ植え	(予習)クリスマスの演出方法を考え、ピックなど持参する
10: 三方見について 実習:吸水性スポンジを使い三方見アレンジ	(予習)花言葉を調べる
11: 課外授業　西南学院大学聖書植物園、博物館見学、 レポート提出	(復習)自然の植物の姿を認識する。植物の歴史、文化を学ぶ
12: 西洋の伝統文化、クリスマスについて 実習:リース	(復習)作品の飾り方を工夫する
13: 課外授業　商業施設のクリスマスなどの花飾り、花屋さん見学 レポート提出	(予習)見学したい目的を考える
14: 日本の伝統文化、 お正月、門松、しめ縄について 実習:しめ縄アレンジ	(復習)日本の伝統文化である新年の準備をする
15: 実習:作品のテーマを決めて吸水性スポンジを使いアレンジメントを自由に制作 ★制作作品について、プレゼンテーションをする	(予習)アレンジ作品のテーマを決め、生花を調達して持参する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習については、事前にお知らせします
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

基本のフラワーアレンジ　森　美保　成美堂出版　¥1300＋税

Ⅵ. 評価方法と評価基準

作品(60%)、学習意欲(20%)、確認ワーク(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・英国「チェルシーフラワーショー2023」に福岡市より3週間派遣　・福岡市「一人一花運動」に参加
・令和4年度都市緑化功労者国土交通大臣賞表彰　・2025年福岡フラワーショー「花の祭典」ショーガーデン受賞　・「NHK趣味の園芸」出演
・花の入荷状況により授業内容や順番が変更になることがあります
・授業で作った作品は、自宅に持ち帰りその後の管理を学習できます

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
臨床心理学	LP51206	開講時期:	4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	サービス系関連科目		
立岡　沙珠		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この授業では，臨床心理学という観点から精神障害，発達障害を中心に理解を深める。また，授業では関連する諸理論も紹介するとともに，心理学的視点から障害のある人の気持ちや出会う社会的障壁に気づくことを目的とする。その中で，障害に関する理解を深め，共生社会実現のために，社会を構成する一員として自身にどのようなことができるか，考えることとする。なお，この授業では障害に関する基礎的知識の教授だけでなく，体験的動画の視聴に加え，それらに対して抱いた思いや感情などを，グループディスカッションを行う。

Ⅲ. 学習成果

・いくつかの精神障害や発達障害に関する基礎的な知識を習得しており，障害に関する正しい理解をすることができる。
・それぞれの精神障害や発達障害に関して，社会的障壁という視点から物事を捉え，その障壁の除去のために考えて行動することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション 心理学について，ワークを通じた心理学的現象の紹介	臨床心理学という視点から学んでみたいことを考える。
2: パーソナリティに関する基礎知識	自身の「性格」について振り返る。 様々なパーソナリティのとらえ方について考える。
3: 心理療法に関する諸理論	心理療法に関する諸理論を自身でまとめ，どのような考え方があるかを理解する。
4: 心理査定，傾聴法に関する諸理論 ～傾聴法の体験とグループディスカッション～	自身の話の聞き方の癖を振りかえり，自身の考えをまとめる。
5: 統合失調症に関する基礎的知識，治療 統合失調症の世界の体験的理解	統合失調症体験に関するミニレポートの作成。 統合失調症者が日常で出会う社会的障壁について考える。
6: 双極性障害に関する基礎知識，治療	双極性障害に関するTEDトークの視聴。 双極性障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
7: うつ病性障害に関する基礎的知識，治療	うつ病に関するTEDトークの視聴。 自身の落ち込みの状態と「うつ」の状態の違いについて考える。
8: 不安障害群に関する基礎的知識	不安障害者が日常で出会う社会的障壁について考える。
9: 強迫性障害に関する基礎的知識	強迫的行動の背景について考える。 強迫性障害者が日常生活でどのように困るかを考える。
10: 神経性拒食症，過食症に関する基礎的知識	自身のこれまでの「食」に関する体験を振り返る。
11: 心的外傷後ストレス障害(PTSD)に関する基礎知識	トラウマ体験による心理的な変化について考える。
12: 発達障害に関する基礎的知識	発達障害に関するTEDトークの視聴。 発達障害をもつ人が日常生活で体験する困りごとについて考える。
13:「障害」の社会モデルについて ～「障害」に関するディスカッション～	自身の中での障害の捉え方を整理する。 社会モデルという視点からこれまでの授業を振り返る。
14: 日常に潜む社会的障壁について	これまで取り上げた障害のうち1つを選び，その障害がある人がどのような社会的障壁に出会うか，考える。
15: 合理的配慮について ～事例をもとに，考えられる合理的配慮についてのディスカッション～	精神障害，発達障害のある人に対する合理的配慮として，何が考えられるか，自分の考えを整理する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

特になし。授業資料は毎回プリント，もしくは電子データで共有します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習への意欲(20%)，授業終わりの小レポート(40%)，最終レポート及び試験(40%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業終わりには毎回小レポートとして感想シートを課します。
小レポートは次回の授業冒頭に振り返りを行います。
必要に応じてグループワークを求める場合があります。
授業に必要な準備物がある場合は，授業の中で適宜お伝えします。
授業に関して個別での特別な配慮が必要な方は，学内を通じて，もしくは直接ご連絡ください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア計画	LP46205	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

この科目では様々なシーンのインテリアについて学んでいく。
イベントや行事といった非日常のインテリアについて、イベントの目的や機能に応じたターゲットを念頭に適切な空間つくりを学んでいく。

Ⅲ. 学習成果

1.空間に必要とされる機能を理解する
2.機能にあった家具や什器のレイアウトができる
3.ターゲットやイベントの目的にあったインテリアの提案ができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション(イベントのインテリア)デザインの4要素	自分の家で行うイベント(年中行事)にはどんなものがあるかまとめる。
2:カラースキーム　近接と対比　事例を見る	ドミナントカラーと補色についてまとめる。
3:カラースキーム　近接と対比　作品制作と発表	立体感のあるディスプレイの例を調べる。
4:短大の行事(KORAN　RED　WEEK)のデザイン(1)グループで考える	テクスチャーによる色の感じ方の違いをまとめる
5:短大の行事(KORAN　RED　WEEK)のデザイン(2)必要な要素をデザインする	さまざまな素材の持つ特徴をまとめる
6:短大の行事(KORAN　RED　WEEK)のデザイン(3)レイアウト(整列・反復)	効果的なレイアウト事例を集める。
7:効果的なレイアウトを計画する　視線の誘導	家具のレイアウトを行い発表の準備をする
8:インテリアオーナメントの種類	オーナメントとアクセサリーの違いをまとめる。
9:季節のインテリアオーナメント	今まで地自分で行ってきた行事のインテリアについてまとめる
10:行事にあわせたインテリア計画①(夏の行事)	必要な機能や年間に行われる行事をまとめる
11:行事にあわせたインテリア計画②(冬の行事)	季節感のあるインテリアオーナメントを調べる
12:スケッチテクニック(1)基本	公共の施設のインテリアについて調べる
13:スケッチテクニック(2)素材感を出す為に必要な事	ユニバーサルデザインについて調べる
14:インテリアグリーンの種類とレイアウトの方法	観葉植物を効果的に使っている例を見つける
15:まとめ	店舗や非日常空間のインテリア計画について必要な知識をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
実際に自分の身の回りにある商業空間について調べまとめる習慣をつけること。毎回60分程度の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員作成の資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(動線計画や施設の機能などの観点から提案ができているか)50%、プレゼンテーション能力(提案書のわかりやすさ、伝え方等)30%
学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

課題は全体で講評を行う。グループでの活動の中でインテリアコーディネーターとして必要な資質(コミュニケーション能力)を高めていくための努力を行うこと。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア設計	LP46206	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
長尾　朋貴		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

デザイン業界で幅広く使用されているドローイングソフト「Illustrator」を使って建築図面を作成し、プレゼンシートとしてまとめます。

Ⅲ. 学習成果

1　Illustratorの基本的な技術が習得できる。
2　自分の考えをプレゼンシートにまとめ、表現する能力を習得できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:導入 (授業概要、スケジュール及び課題の説明)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
2:Illustratorの基本操作習得 (基礎知識、基本的な図形)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
3:Illustratorの基本操作習得 (線)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
4:Illustratorの基本操作習得 (オブジェクト1)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
5:Illustratorの基本操作習得 (オブジェクト2)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
6::Illustratorの基本操作習得 (色、文字)	住宅の間取りについて調査し、レポートを作成する。
7:基本図面のトレース、データ化1 (基準線、柱、壁)	基本図面のトレースデータを完成させる。
8:基本図面のトレース、データ化2 (建具、設備、家具)	基本図面のトレースデータを完成させる。
9:課題(リノベーションプラン)の検討1 (プラン作成)	リノベーションプランを作成する。
10::課題(リノベーションプラン)の検討2 (エスキスチェック)	リノベーションプランを作成する。
11::課題(リノベーションプラン)のデータ化1 (基準線、柱、壁)	リノベーションプランのデータを完成させる。
12::課題(リノベーションプラン)のデータ化2 (建具、設備、家具)	リノベーションプランのデータを完成させる。
13:プレゼンシート作成1 (プランや写真のレイアウト)	プレゼンシートのデータを完成させる。
14:プレゼンシート作成2 (説明文、着色)	プレゼンシートのデータを完成させる。
15:課題作品のプレゼン	プレゼンの練習をしておく。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
身の回りの間取りやインテリアをよく観察し、演習や課題制作に活かす。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品内容80%　＋　学習意欲(作品づくりへの意欲・工夫など)20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

Illustratorの操作については必要に応じて個別指導を行ないます。
練習問題や課題作品の提出にはGoogle classroomを使用し、講評します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアコーディネート	LP46207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
照井　善明		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアプレゼンテーションで学習してきた内容について、もう少し深く、実物に触れながら自分なりのインテリアコーディネートを完成させる。
学生それぞれの個性を尊重しながら知識を深める。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネートの実務に必要な知識を身につけると共に、自分で考える力、想像力を養うことができる。
マンション模型制作によりインテリアの仕上げ、スケール感が理解可能となり、プレゼン能力を養うことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: マンションのテーマ 水回り(キッチン、洗面、浴室、トイレなど)をカタログより選択	マンションの家族構成と暮らし方を調べる
2: パソコン(マンションプランを3Dで作成)① 3DKプランの作成	マンションのプランの事例を調べる
3: パソコン(マンションプランを3Dで作成)② 独自プランの作成	プランの中でアピールする部分(独自のプラン)を考える
4: パソコン(戸建てプランを3Dで作成)③ セカンドハウスのプラン	マンション全体のイメージを再確認。
5: 住宅設備のショールーム見学	水回り、照明器具、建材などの情報を確認する
6: パソコンによるインテリアプレゼンテーションを作成①	ショールームで得た知識を整理する
7: マンションのインテリア模型の制作① ショールームで得た情報を取り入れ制作する	ショールームで得た知識を整理する
8: マンションのインテリア模型の制作② スチレンペーパーで床、壁のパーツを作る	パソコンで作成したマンションプランを模型で表現 スチレンペーパーで床、壁を作る
9: マンションのインテリア模型の制作③ 床を仕上げる	床仕上げのサンプルを調べる
10: マンションのインテリア模型の制作④ 壁を仕上げる	壁仕上げのサンプルを調べる
11: マンションのインテリア模型の制作⑤ 壁の仕上げのつづきと建具の仕上げ	壁仕上げのサンプルを調べる
12: マンションのインテリア模型の制作⑥ 住設を製作する	キッチン、浴室の事例を調べる
13: マンションのインテリア模型の制作⑦ 家具を製作する	家具の事例を調べる
14. プレゼンボードの作成 平面図と3Dでプレゼンボードを作成	分かりやすいプレゼン方法を考える。
15: プレゼン、作品返却	授業の感想をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
様々なタイプの家の特徴やインテリア、水回り、またライフスタイルによる違いなど、興味を持ち観察することが重要。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし(資料配付)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(80%)、学習への意欲(20%)
居眠り、私語、スマートフォンの使用(授業に関係無い時)。また授業に参加していない時(他の事をしている時)に際しては、「学習への意欲」の評価対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

インテリア入門ユニットを受講した学生のみ受講可、科目履修不可
提出した課題は、最後の日に全作品をファイルし、各人にコメントを付けて返却する。
「実務経験教員科目」特記事項:1級建築士事務所を主催し、ショールームや住宅展示場の見学において、専門的説明をし、実際に見たり、触れたりすること事で、現実的により深く考えられるよう、導く。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア入門	LP46201	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネートを行う際に必要な基礎知識(人間工学・動線・心理特性・色彩計画)について学ぶ。
住宅各室に求められている機能を理解し、適切な家具のレイアウトについて学び、考えていく。

Ⅲ. 学習成果

1.人体寸法とインテリアや建物の関係を正しく理解する。
2.動線と部屋の使いやすさの関係を理解し、家具のレイアウトが行えるようになる。
3.カラースキームの基本を理解し、応用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション・日本と西洋の違い	気候や文化がインテリアに与える影響についてまとめる
2:インテリアの歴史(家具の歴史～素材と技術の進歩～)	現在使っている家具の素材について調べる
3:カラースキーム①(色の基本)	色の3要素についてまとめる
4:カラースキーム②(色の組み合わせ) イメージに合わせたカラースキームを行い、グループ内で発表する。	色の組み合わせの基本に従ってカラースキームを行い発表の準備をする
5:人間工学①(人体寸法と動作領域)	自分の人体寸法の概算値を計算する
6:人間工学②(家具への応用)	使いやすい家具のチェック項目に従って家具を調べる
7:人間工学③(家具の使用空間、単位空間、動線)	家具の種類と人間の関わりについてまとめる
8:心理特性と家具のレイアウト	人の動きと住宅内での動きを調べる
9:感覚と知覚	錯覚(錯視)についてまとめる
10:室内環境①(採光と照明、温熱環境)	体感温度について調べる
11:室内環境②(通風と換気、音)	効率のいい換気を実験してみる　騒音の基準について調べる
12:居室の機能①(公的空間) 公的空間(LDK)の家具のレイアウトを行い発表する	パブリック空間に求められる機能についてまとめ、家具リストを作成する
13:居室の機能②(私的空間と収納) 私的空間(個室)の家具のレイアウトを行い発表する	プライベート空間に必要な家具のリストを作りレイアウトする
14:住宅の家具レイアウト(平面と立体の違いを理解する) 平面図に簡単な家具の立体模型のレイアウトを行う	収納家具の種類を調べ、居室に必要な収納家具のリストを作成する
15:まとめ	新しく部屋を選ぶときに重要と思う項目をまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うことが望ましい。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成資料を授業中に配布する
参考図書:「インテリアの計画と設計」(彰国社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(上記の内容について、学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題は、全体に対して講評を行い、個別にはコメントを渡す。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアグリーン	LP46208	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:	インテリア指定科目		
石井　康子		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

生活に植物を取り入れ「潤いのある暮らし」を学びます。作品作りを通して「インテリアとしての植物」の学習ができます

アロマテラピーは、検定試験に役立つ内容です
学外見学を通して、ガーデニングライフの楽しさ、生活の中での植物の大切さを体感できます。

Ⅲ. 学習成果

1植物の効用、2インテリアとしての植物の活かし方、3アロマテラピーなどの基礎知識を習得できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:　15回の授業ガイダンス、アンケート 英国「チェルシーフラワーショー2023」に参加したスライドショー	(予習)学習したい内容を考える
2: アロマテラピー　香りの持つイメージの捉え方を学習しインテリアへの効果を学習する プレゼンテーション:香りの持つイメージを発表する	(復習)いろんな香りの持つイメージを考える
3: 学外研修:天神アクロス	(予習)アクロスの植栽について調べる
4: 学外研修:ソラリアの壁面緑化、商業施設内のインテリアグリーン見学	(復習)街中のインテリアグリーンについてレポートを提出する
5: 古代から現代までの香りの歴史、植物画 ナポレオンとスミレ、ジョセフィーヌとバラ、世界一のバラの画家、オーデコロンについて	(予習)インテリアと植物の香りについて考える
6: アロマテラピー 虫除けスプレーとマスクスプレーを作る	(復習)虫除けスプレーとマスクスプレーの効果を試す
7: インテリアグリーン作品制作:パキラをセラミスに植える	(復習)インテリアの一部として室内に飾り、効用を考える
8: インテリアグリーン作品制作:ジェルポリマーに観葉植物を植える	(復習)作品を育てる
9: 学外研修:福岡市植物園	(復習)屋外、温室内の植物を見学、学習してレポートを提出する
10: 学外研修:福岡市植物園	(復習)屋外、温室内の植物を見学、学習してレポートを提出する
11: インテリア作品制作:カラーサンド	(予習)カラーサンドについて調べる
12: カラーサンドの作品についてプレゼンテーションをする	(復習)作品を育てる
13: インテリア作品作り:ハーバリウム	(予習)ハーバリウムとは何か？調べる
14: ハーバリウムの作品についてプレゼンテーションをする	(復習)室内に飾り、インテリアとしての効用を考える
15: まとめ ※上記はあくまで目安であり、内容や順番は変更の可能性があります。	インテリアとしてのグリーンの効用についてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
必要に応じて、授業の中で適宜説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

アロマテラピー検定　公式テキスト　1級、2級　発行:公益社団法人　日本アロマ環境協会　￥2,640

Ⅵ. 評価方法と評価基準

実習作品の制作(30%)、テスト(35%)、学外研修当日提出レポート(20%)、学習の意欲(15%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・実習日・見学日は日焼け防止、虫除けのため、パンツ、袖のあるもの、スニーカー着用。
・英国「チェルシーフラワーショー2023」に福岡市より3週間派遣　・福岡市「一人一花運動」に参加
・令和4年度都市緑化功労者国土交通大臣賞表彰　・2025年福岡フラワーショー「花の祭典」ショーガーデン受賞　・「NHK趣味の園芸」出演

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア販売	LP46202	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリア商品(家具・照明・インテリアファブリック・インテリアアクセサリ等)は多く私たちの周りにあふれており、容易に手に入れることが可能になってきました。
インテリア商品の基礎知識を学び、お客様に対して適切なアドバイスや提案ができることを目指して学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.インテリア商品の種類を知る
2.インテリア商品の基礎知識を持つ
3コミュニケーションをとるための表現方法を身につける

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:リビングスタイリストの仕事	インテリア業界の販売職として必要な知識や技能についてまとめる
2:インテリア商品の流通	流通について身の回りの例を取り上げまとめる
3:情報・店舗演出	情報の種類と販売の際に必要な情報についてまとめる
4:接客販売　購買心理　自分の購買のパターンについて発表する	接客の際に必要なマインドについてまとめる 自分の購買行動について振り返る
5:ビジネスマナー	言葉使い(敬語)についてよく使う語句と場面についてまとめる
6:商品知識　家具①(脚物家具) 家具のサイトから提案すべき家具を選び発表する。	自分の部屋にある家具リストを作成する
7:商品知識　家具②(箱物家具)	脚物家具・箱物家具の種類と特徴をまとめる
8:商品知識　窓装飾①(カーテン、シェード)	カーテンの部材の名称と役割についてまとめる
9:商品知識　窓装飾②(ブラインド　スクリーン) カーテン・ブラインドのコーディネートを行い発表する	ブラインドの特徴について調べる
10:商品知識　照明	光源の種類とその特徴についてまとめる
11:住宅設備①(キッチン)	キッチンのレイアウト例と住宅の広さについてまとめる
12:住宅設備②(バス、トイレ)	トイレ・洗面・浴室が求められる機能についてまとめる
13:インテリアアクセサリー①(インテリアグリーン、テーブルウェア・テーブルリネン)	テーブルコーディネートの例を挙げリネンの使い方をまとめる
14:インテリアアクセサリー②(スリーピングリネン、バスリネン)	自分の持っているスリーピングリネンについてまとめる
15:まとめ	インテリア商品の販売時に必要な知識と技術についてまとめる

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は毎回30分以上行うこと
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。教員作成の資料を配布する
参考書:「リビングスタイリスト資格試験　公式テキスト」(社)日本ライフスタイル協会

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(学習成果1~3の観点から出題)50%、課題30%、学習の意欲20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出課題の講評は全体に対して行う。個別にはコメントを渡す

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリア製図	LP46203	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	インテリア指定科目		
酒井　律子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

見本の住宅インテリア図面や模型を使って、製図の基礎を学びます。
また、家具の配置や住宅各所の寸法などインテリアプランニングの基礎を学び、自分で考えたプランを製図で表現します。

Ⅲ. 学習成果

1. 基本の住宅インテリア図面を理解し、描けるようになる。
2. 自分が置かれているインテリア環境を寸法で把握できるようになり、より住みやすくなるよう工夫やプランを考えられるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:製図の基礎1 製図道具の使い方と線の引き方	広告・雑誌・PCなどを利用して、いろいろなタイプの住宅インテリアプランを比較する
2:製図の基礎2 基本となる寸法値・和室の観察	身近な住まい(自宅や友人・親戚宅など)を再確認する
3:平面図1 模型の平面図	自室の平面図(フリーハンド)を作成する いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
4:平面図2 模型の平面図に家具を配置	自室の平面図(フリーハンド)に家具を配置する
5:展開図1 模型の展開図(北・東面)	自室の展開図(フリーハンド)北･東面を作成する
6:展開図2 模型の展開図(南・西面)	自室の展開図(フリーハンド)南・西面を作成する
7:家具図1 家具図の描き方	いろいろな家具の寸法を測って表にまとめる
8:家具図2 家具のスケッチを家具図におこす	家具がどのように造られているか細部を観察しスケッチする 日本や海外の家具デザインの事例を調べる
9:電気設備図・その他の図面(天井伏図)1	どのような照明器具があるか調べる
10:電気設備図・その他の図面(天井伏図)2	自宅におけるスイッチやコンセントの位置・数などを調べる
11:自分の部屋をプランしてみよう1 設計条件とプランの検討	インテリアデザインの事例を調べて、作品づくりに取り入れる
12:自分の部屋をプランしてみよう2　プレゼンテーション 平面図	平面図の描き方を確認する
13:自分の部屋をプランしてみよう3　プレゼンテーション 展開図	展開図の描き方を確認する
14:自分の部屋をプランしてみよう4　プレゼンテーション 家具図・電気設備図	家具図・電気設備図の描き方を確認する
15:レポート(住宅のリフォーム案) 全体のまとめと作品集のプレゼンテーション	作品集の表紙のデザインを検討する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
身の回りのインテリアデザインを観察し、演習で学んだ事が実際にはどうなっているのか照らし合わせてみる(毎回1時間程度)
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教員作成の資料配付

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出80%・学習の意欲(作品づくりへの意欲・工夫など)20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

毎回、製図作品を提出します。作品は、次回に全体講評し、個別に対応しながら演習を進めます。
配付資料は整理して、毎回忘れずに持参すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インテリアプレゼンテーション	LP46204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
		免許・資格など	インテリア指定科目		
		履修要件他:			
担当者		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	○
入江　明美					
中川路　美和					

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

インテリアコーディネーターはどこで活躍しているのか、どのような仕事をしているのか、現役インテリアコーディネーターのリアルを学ぶ。
インテリアエレメント＝「室内」を構成するための「要素」として、家具やカーテン・建具・壁、床、天井・照明器具・CGパースなどの基礎を学び
ロールプレイングでヒアリングし、プレゼンテーションへの流れを学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

インテリアコーディネーターが活躍する職場は多く、その職種・必要スキルを学び、インテリアプレゼンテーションの基礎を学び知ることで
自らの可能性を広げ、自信への一歩とすることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 自己PR　人間工学の基礎	自己紹介を考える スケールで体の部位を測り寸法を知る
2: インテリアコーディネーターの仕事	インテリアコーディネーターとその周辺の仕事で、どのような職種があるか、調べてみる
3: 家具・カーテンの基礎	家具・カーテンの種類と効果について
4: 床・壁・天井の基礎	床・壁・天井の種類と効果について
5: 照明器具の基礎	照明器具の種類と効果について
6:間取り図と建具の基礎	間取り図の読み取りと建具の種類
7: 3DCGパース作成①	3DCGパース作成技術 基本動作と外観パース
8: 3DCGパース作成②	3DCGパース作成技術 応用動作と室内パースの基本入力
9: 3DCGパース作成③	3DCGパース作成技術 オリジナルなインテリアパースの作成
10: 学外授業　「しあげギャラリー」見学、ワークショップ	タイル、塗り壁等のショールーム見学とタイル貼り、塗り壁の体験
11: ヒアリング	プレゼンするために、クライアントから必要な情報を聴きとる 2人一組で交互にIC役、クライアント役になり相手(クライアント)に行う
12: プレゼンテーション①	クライアントに提案するインテリアエレメントをセレクトする
13: プレゼンテーション②	プレゼンボードに使用する家具を3DCGパースに落とし込む
14: プレゼンテーション③	クライアントに提案するプレゼンテーションシート作成
15: プレゼンテーション　発表	クライアントにプレゼンテーションする 2人一組で交互にIC役、クライアント役になり相手(クライアント)に行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
事前・事後学習については30分～1時間必要。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

なし

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出(70%)　学習への意欲(30%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

最終のプレゼンテーションにむかって1回目から学び重ねていくため毎回の出席を評価する。提出課題は、最後の日に各人にコメントをつけて返却する。

「実務経験教員科目」特記事項:

技能の基礎を学びながら、現役インテリアコーディネーターとしてリアルな活きた情報と体験談とその職種の魅力を伝えたい。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CGデザイン演習Ⅱ	LP47206	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
濵田　佳世		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

社会においてのグラフィックデザインの役割を理解します。
また、これまでの学びをベースに より知識を深めながら実践し、論理的な思考やそれらを言語化・視覚化する訓練をしていきます。
柔軟な発想力やコミュニケーション力を向上させることを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

・目的に沿ったプランニングができる
・社会におけるデザインの役割を体感し、視野を広げることができる
・漠然とした感覚を、言語化・視覚化し伝えることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
01:デザイン概論・アイデア出しのプロセス 02:リサーチ・コンセプト立案／座学30分(ロゴマーク)	社会におけるデザインの役割とそのアウトプットについて 設定したい対象を各自で決め、デザイントーンや方向性を探る
03:Branding シンボルマーク:サムネイル作成・フィードバック 04:Branding シンボルマーク:デザイン	対象の強みを分析し、コンセプトに基づき手描きでデザインする デザイン案を絞り込み、Illustratorでデザインする
05:Branding シンボルマーク:デザイン 06:Branding シンボルマーク:フィードバック／座学30分(文字組)	ブランドの特徴を多方面から分析、デザインする 口頭でフィードバックを受け、精度を高める／文字組みの講義
07:Branding シンボルマーク:デザイン完成 08:Branding シンボルマーク:プレゼンシート／座学30分(ジャンプ率)	シンプルで強度のあるフォルムを意識し、デザインする コンセプトをまとめる／ジャンプ率についての講義
09:Branding シンボルマーク:プレゼン ※アクティブラーニング 10:Branding シンボルマーク:プレゼン講評会 ※アクティブラーニング	シンプルで強度のあるフォルムを意識し、デザインする コンセプトをまとめる／ジャンプ率の講義
11:Branding パッケージ:リサーチ・デザイン 12:Branding パッケージ:フィードバック／座学30分(フォント)	デザイン案を絞り込み、Illustratorでデザインする 上記の続き／フォントの講義
13:Branding パッケージ:デザイン 14:Branding パッケージ:フィードバック	デザインの作り込みをIllustratorで行う 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
15:Branding パッケージ:デザイン 16:Branding パッケージ:フィードバック	デザインの作り込みをIllustratorで行う 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
17:Branding パッケージ:出力・製作 18:Branding パッケージ:フィードバック	立体物にパッケージングする コンセプトをまとめる・フィードバックを受け、精度を高める
19:Branding パッケージ:出力・製作 20:Branding パッケージ:フィードバック	立体物にパッケージングする コンセプトをまとめる・フィードバックを受け、精度を高める
21:Branding 提案書:ラフ – ワイヤー 22:Branding 提案書:ブラッシュアップ	企画書を「起承転結」の流れに基づき作成する 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
23:Branding 提案書:ラフ – ワイヤー 24:Branding 提案書:ラフのブラッシュアップ	企画書を「起承転結」の流れに基づき作成する 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
25:Branding 作品撮影:構図レクチャー・色補正 26:Branding 提案書:ラフのブラッシュアップ	撮影データの色補正等をinstagramの編集機能で行う 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
27:Branding 提案書:仮提出 28:Branding 提案書:フィードバック	企画書の作り込みをIllustratorで行う 口頭でフィードバックを受け、精度を高める
29:Branding 総合プレゼン ※アクティブラーニング 30:Branding :プレゼン・講評会 ※アクティブラーニング	前回受けたフィードバックをもとに本番プレゼン 各自で評価を発表し合う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
課題制作の進行に計画性を持つこと。授業開始時またはその前に15分～30分程度、効率的な手順を整理した上で着手すること。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント・PDF等を配布。参考書籍は授業内で紹介する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各課題における作品評価(60%)、プレゼンテーション力(20%)、学習の意欲(20%)を総合的に判断して評価を行う。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

アイデア出しやラフスケッチをするためのノート等を用意すること。
また、配布プリントを整理できるようなA4サイズのファイルやクリアファイルを持参すること。
プレゼンに際し、講師の口頭による講評・フィードバックを行います。
「実務経験教員科目」特記事項:講師は、コンセプト立案・ロゴマーク・パッケージ・エディトリアルなどブランディングデザインをトータルで行うアートディレクターです。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webプログラミング演習	LP47207	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
川原　慎介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、ウェブにおいてのJavaScript の役割を学び、そのライブラリであるjQueryを用いてウェブサイトにたいして、動きのあるホームページ制作を作成することを目的とします。

Ⅲ. 学習成果

・JavaScriptを用いて、プログラミングの基礎を身に付けることが出来るようになる。
・ウェブサイト制作に必要な JavaScript / jQuery の利用が出来るようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: JavaScript とは/ jQueryとは？ 受講上の注意	受講上の注意として指示されたことを準備・自覚する
2: 画面への出力(コンソール / アラート)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
3: 変数の利用	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
4: JavsScriptによる四則演算(演算子)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
5: 分岐文(if文 / switch文)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
6: 繰り返し文(for文 / while文)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
7: 関数(自作関数)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
8: イベント概要(イベントハンドラ / イベントリスナー)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
9: アルゴリズム 概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
10: アルゴリズム 練習問題	未解答の練習問題に取り組む
11: イベントの実装(練習問題)	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
12: JavaScript の復習と練習問題	未解答の練習問題に取り組む
13: jQuery のダウンロード / HTMLへの組み込み	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
14: jQueryを用いたHTML / CSSの操作	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
15: jQueryのオブジェクト / メソッド	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
16: jQueryのイベント概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
17: jQueryのイベント実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
18: jQueryのイベント応用	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
19: jQueryのイベント練習問題	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
20: jQueryのイベント復習	未解答の練習問題に取り組む
21: タブ切り替えの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
22: タブ切り替えの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
23: モーダルウィンドウの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
24: モーダルウィンドウの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
25: スライドショーの概要	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
26: JavaScript / jQuery プラグインを用いたスライドショーの実装	学んだ内容を次回以降の授業に利用できるように復習する
27: 課題制作に対する設計	課題制作に取り組む
28: 課題制作のプレゼンテーション	課題制作に取り組む
29: 設計した課題の実装	課題制作に取り組む
30: 制作した課題のデバッグ	課題制作に取り組む

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・出題された練習問題や課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること。 ・各自の理解不足を解消するために、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

・教科書は使用しない。授業中に配付した資料は、各自でファイリングするなどして整理を行い、いつでも参照できるようにすること。
・授業中に作成したデータも重要な資料となるので、各自でデータの管理を行い、いつでも参照できるようにすること。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題提出: 80%(提出期日は厳守すること)
学習の意欲: 20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・理解度を確認するために練習問題を出題します。各受講生の作業状況に応じて、授業中にコメントしてフィードバックを行います。
・提出された課題(Google Classroomにて提出)はファイルをチェックし、個別にフィードバックを行います。
・分からない個所は受講者によって異なります。この授業で一番大切なことは、自分が分からないことを積極的に質問や検索して解決できる能力です。
・授業は回を増すごとに難易度が上がっていきます。やむを得ず欠席した場合には授業内容や課題を各自で授業担当者や同じ受講者に確認して、必ず授業内容や課題に対応すること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CG演習A	LP47201	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
岡崎　富美		履修要件他:	インテリア関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP 2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP 3　学習した内容の報告を作成し、ＩＴ技術を活用し発表できる	◎
DP 4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP 5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP 6	
DP 7	

Ⅱ. 概要

ベクトル画像処理ソフトAdobe　Illustratorを使用し、コンピュータグラフィックスの基本的な技術を習得することを目的としています。
ベクトル画像の特徴であるベジエ曲線による作画と加工、多様な効果について段階的に学んでいきます。

Ⅲ. 学習成果

1.ベクトル画像の特徴を理解
2.ベクトル画像の作画と加工をIllustratorを使用し作成
3.印刷や適切なファイル形式への保存

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: Illustratorの基本操作を学びます。 起動や終了方法及び各ツールの操作方法について学びます。	授業中に学んだ基本操作を復習しておくこと。
2: 図形・線・色の変更のツールを使用して、イラストを描きます。	学んだ操作方法を教科書や配布資料等で復習しておくこと。
3: オブジェクトの作成を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(1)	ロゴマーク・アイコン等どのような物が事前確認しておくこと。
4: オブジェクトの編集方法を学びます。 ロゴマーク・アイコンを作成(2)	ロゴマークやアイコン等の役割を考えまとめておくこと。
5: 文字の入力方法を学びます。 名刺の作成(1)	名刺に記入すべき内容を事前確認しておくこと。
6: 様々な文字の入力方法(エリア内入力・パス上入力)を学びます。 名刺の作成(2)	名刺作成
7: オブジェクトの作成に関する操作方法を学びます。 ラッピングペーパーの作成(1)	様々なお店のラッピングペーパーを事前確認しておくこと。
8: オブジェクト作成の操作方法を使用してラッピングペーパーを作成します。 ラッピングペーパーの作成(2)	ラッピングペーパー作成
9: Illustratorに搭載されている効果・機能を学びます。 ポストカード・グリーティングカードの作成(1)	季節感のあるカード・絵葉書等を事前確認しておくこと。
10: 効果・機能を使用してカードを作成します。 ポストカード・グリーティングカードの作成(2)	グリーティングカード作成
11: 図形の効果・一括編集の方法を学びます。 冊子「ZINE」の作成(1)	自分が好きな事をテーマに「ZINE」で使用する素材を 準備しておくこと。
12: スウォッチの作成・登録を学びます。 冊子「ZINE」の作成(2)	「ZINE」作成
13: 画像とマスクを学びます。 冊子「ZINE」の作成(3)	「ZINE」を出力し、準備しておくこと。
14: 各自作成した冊子「ZINE」に関するプレゼンテーションを実施します。 ※アクティブラーニング	発表がスムーズに出来るよう内容(皆に見せれるように作品や資料等) をまとめて用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと。
15: Illustratorの出力データの管理・まとめ 環境設定の操作方法	復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
課題の提出や授業で必要な資料配布等をGoogleclassroomにて実施することもあるため、Googleclassroomの授業登録をしておくこと。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書「これからはじめるIllustratorの本」を使用します。
参考図書:「世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書」(技術評論社)
参考図書:「Illustratorしっかり入門」(SBクリエイティブ株式会社)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の提出(60%)、授業への意欲(40%)を総合的な評価をします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出物のうち他の学生の参考になるものは、授業内で紹介します。Googleclassroomにて提出された課題は、個別にコメントします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CG演習B	LP47202	開講時期:	3期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:	インテリア関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・画像編集ソフト「Adobe Photoshop」の基本操作を習得しグラフィックデザインへの応用などビジュアルコミュニケーションにおける基礎的な表現手法を学習する。
・プレゼンテーション(課題発表)の準備や実践を行い、発想を形にして他者に伝達する手法を学習する。

Ⅲ. 学習成果

1　Adobe Photoshopの基本的な操作を習得し、画像編集の基礎知識を理解できる
2　WEB用と印刷用の画像形式の違いについて理解できる
3　デザインの法則などを学習し、グラフィックデザイン、ブランディングの基礎知識を理解できる
4　プレゼンテーション(課題発表)を実践し、情報伝達力を高める

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:【課題1:WEBバナー広告デザイン】 講義:デザインの分野や職種について、デジタルツールを習得する利点など	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
2:【課題1:WEBバナー広告デザイン】 フォトショップの基本的な機能と使用法について	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
3:【課題1:WEBバナー広告デザイン】 画像合成の仕方、色の塗り方、保存の仕方等	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
4:【課題1:WEBバナー広告デザイン】 文字ツールを使用したロゴデザイン制作、WEB用画像の書き出し	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
5:【課題2:gifアニメーション】 講義:WEB用の画像について、拡張子の比較、画像形式の歴史	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
6:【課題2:gifアニメーション】 アニメーションフレームの編集方法、gifアニメーションの書き出し	授業内で未完成の部分があれば完成させて提出すること
7:【課題3:WEBバナー広告デザイン】 イラストレーターデータとの互換性、自動生成AIを使用した画像作成	【予習】WEBサイトのバナー広告を収集しUSBに保存するなど 既存のバナー広告をリサーチして準備する(30分程度)
8:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 講義:商品企画とマーケティングについて	【予習】オリジナルのボトルデザイン検討の為に、ボトルの画像などの 資料を集めUSBに保存しておくこと(30分程度)
9:【課題4:アロマオイルラベルデザイン】 モックアップ(試作品)CG合成方法、文字の編集及び加工について	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
10:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 講義:視線誘導・フォントの基礎知識・ロゴデザインについて	【予習】WEBデザインカンプ(WEBサイトデザイン)の構想を練る
11:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習(自動生成AIを使用した画像作成)	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題5:アロマオイルWEBデザインカンプ】 デザイン実習	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:【課題5:アロマオイルプレゼンボード】 デザイン実習	【予習】プレゼンボードで使用する背景画像などをWEBのフリー素材 などから収集しUSBに保存してくること(1時間程度)
14:【課題5:アロマオイルプレゼンボード】 デザイン実習	授業内での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:最終日プレゼンテーション(作品発表)**※アクティブラーニング要素** 1人5分程度の発表・質疑応答あり。プレゼンテーション後、講師による講評あり。	【予習】発表がスムーズにできるよう台本(テキスト)を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(10～30分程度)

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内とGoogledriveで伝達し、プリントやデータを配布します。課題の作業は授業内で完結するよう計画されていますが、課題の遅れを解消する為の作業時間については各自の学習意欲によって課外での時間を確保してください。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

授業内でのプリント配布と指定の教科書(下記参照)を併用。自習・復習に使用できる動画を用意しています。
「グラフィックデザイン Illustrator & Photoshop (デジタルハリウッドの本) 」
出版社 : 技術評論社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況 (80%) 、学習の意欲(20%)等で総合的に評価します。
全ての課題を提出し課題5のプレゼンテーションの内容をもって評価します。課題5ではプレゼンテーション後に各生徒の講評を即時行います。
デザイン作業に必要な会話は推奨しますが、過度の私語・不要なスマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・画像加工の基本操作を習得しながら、課題後半は受講生の個性を発揮できるように各生徒のオリジナルデザインを個別指導します。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
「実務経験教員科目」特記事項:
教員はイラストレーター、ジュエリーデザイン、生活雑貨の企画開発、小中学生向けデジタル教育の監修などマルチに活動する実務経験20年の現職デザイナー。
印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング				
Webデザイン論	LP47203	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
		開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
砥上　奈美		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目: ○	実務経験教員科目:		

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では、Webサイトの受注から納品までの一連の流れについて学ぶと共に、実際にWebページのデザインと素材作成を行うことを目的としてはじめに、クライアントの要望に沿ったデザインを起こすために必要な実務内容や、デザインするために必要なPhotoshopやIllsutratorの基礎スキます。その後、実際にWebページのデザインを行い、素材の作成を行っています。
授業の終盤では、Webデザイナーとして、今後必要な勉強の仕方や就職活動の仕方についても触れます。

Ⅲ. 学習成果

Webデザイン制作時に必須となるPhotoshop・Illustratorの基礎的な操作の習得。
Webサイトが完成するまでの一連の流れ(クライアントとの関係や案件を通しての他職種との関わり)の理解。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:Webデザイナーの魅力とやりがい、Webデザイナーを目指すために必要なスキル 受注からの納品までの工程、この授業で学習する内容、受講上の注意点	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
2:ヒアリング・情報設計～デザインをおこすまで サイトマップとワイヤーフレーム	Webデザイン制作の工程について具体的なイメージをつかむ。
3:グループワーク「業種別Webサイトデザインの調査・発表」	業種・ジャンルごとにどのような色、フォント、レイアウトが使われているか調査。
4:写真の切り抜き Photoshopを使用	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 【中間課題】写真の切り抜き課題
5:簡単なイラスト作成 Illustratorを使い図形を作成する	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
6:トップページデザイン(1)ヘッダー／フッターの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
7:トップページデザイン(2)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
8:トップページデザイン(3)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
9:トップページデザイン(4)メインコンテンツの制作 Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
10:レスポンシブデザインについて Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
11:下層ページデザイン(1) Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
12:中間課題について Photoshopを使用予定(使用ツールは変更となる可能性があります)	授業中に行った作業内容で未完成の個所があれば必ず完成させること。 授業中に学んだスキルをよく復習し、独力で使いこなせるようにしておくこと。
13:最終課題について 概要・テーマ決め、色やフォントの選び方について	【単位認定試験課題】
14:最終課題について 書き出し・URL共有について	【単位認定試験課題】
15:最終課題発表と講評 今後の学習の仕方、ポートフォリオ作成について	【単位認定試験課題】

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
各自の理解不足を解消するため、教科書や授業中に配布する資料を利用して、30分以上の必要に応じた時間の準備学習を行うこと。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

後日アナウンスします。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:70%(締め切り厳守)　発表:30%(意欲や姿勢を考慮します)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・必ずWebクリエート演習と一緒に受講すること。パソコンの基礎的な操作(キーボード入力・マウス操作)ができること。
・各受講者の作業状況や提出課題の内容に応じて、授業担当者から適宜フィードバックします
「実務経験教員科目」特記事項:フリーランスWebデザイナー。Webデザインを専門学校で学んだ後、Webデザイナーとして起業。複数のWebチームに所属して福岡を中心に幅広
Webスクールでトレーナーとしてデザイン指導をおこなう。企業のウェブ・ロゴ・グラフィックデザインやランディングページの制作、Webサイトの構築・管理、Web広告の運用などに
教育/創業支援/人材・企業開発/貿易/金融/医療・健康・福祉/美容/理容/ファッション/不動産/建築/内装/ソフトウエアなど多ジャンルで実績あり。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webクリエート演習	LP47204	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
須藤　信		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，Web（World Wide Web）ページ構築に広く利用されているHTML・CSSの基礎的な知識と技術習得を目的とする．はじめに，Webとインターネットの概要を説明して，スクリプトをWebブラウザに表示する方法を学ぶ．その後，HTMLとCSSを用いたコーディング手法を学ぶことで，Webページを作成する方法を学ぶ．授業後半では，メディアクエリやハンバーガーメニューを実装する方法を学び，レスポンシブなWebページを制作・発表する．

Ⅲ. 学習成果

・Webとインターネットの仕組みを説明できる
・HTML，CSSを用いた基礎的なコーディング技術を習得する
・メディアクエリ，ハンバーガーメニューを実装するための技術を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:イントロダクション，Webとインターネット	教科書pp. 01-30までを読んでおくこと.
2:Webページの実装技術と知識	教科書pp. 31-98までを読んでおくこと.
3:HTMLの実装方法	教科書pp. 99-107までを読んでおくこと.
4:HTML（見出しと改行）	教科書pp. 108-122までを読んでおくこと.
5:HTML（リンクと画像）	教科書pp. 123-130までを読んでおくこと.
6:HTML（箇条書きと表）	教科書pp. 131-139までを読んでおくこと.
7:HTML（フッターのタグとフォーム）	教科書pp. 140-148までを読んでおくこと.
8:HTML（情報整理用のタグとHTML課題）	教科書pp. 149-152までを読んでおくこと.
9:CSSの基本	教科書pp. 153-159までを読んでおくこと.
10:HTML+CSS（classとid）	教科書pp. 160-171までを読んでおくこと.
11:HTML+CSS（文字と装飾）	教科書pp. 172-181までを読んでおくこと.
12:HTML+CSS（リンクの設定，擬似要素）	教科書pp. 182-187までを読んでおくこと.
13:HTML+CSS（ボックスモデル）	教科書pp. 188-199までを読んでおくこと.
14:HTML+CSS（背景画像の設定とflexbox）	教科書pp. 200-215までを読んでおくこと.
15:HTML+CSS（positionとCSS Grid）	教科書pp. 216-225までを読んでおくこと.
16:HTML+CSS（リストと表のデザイン）	教科書pp. 226-231までを読んでおくこと.
17:HTML+CSS（フォームのデザイン）	教科書pp. 232-236までを読んでおくこと.
18:中間課題の制作1（デザインの決定とHTML実装）	教科書pp. 237-238までを読んでおくこと.
19:中間課題の制作2（CSSの実装）	授業進度に合わせて，制作を進めておくこと.
20:シングルページデザイン（HTMLの実装）	教科書pp. 240-257までを読んでおくこと.
21:シングルページデザイン（初期スタイルの実装）	教科書pp. 258-263までを読んでおくこと.
22:シングルページデザイン（詳細なスタイルの実装）	教科書pp. 264-270までを読んでおくこと.
23:メディアクエリの実装方法	教科書pp. 271-279までを読んでおくこと.
24:jQueryとハンバーガーメニューの実装	教科書pp. 280-285までを読んでおくこと.
25:各ページの実装	教科書pp. 284-293までを読んでおくこと.
26:Webページの完成と公開	教科書pp. 294-302までを読んでおくこと.
27:最終課題の作成1（デザインの作成とHTMLの記述）	デザイン案をつくっておくこと.
28:最終課題の作成2（CSSの記述）	授業進度に合わせて，制作を進めておくこと.
29:最終課題の作成3（最終調整）	最終課題の作成を完了させること.
30:最終発表と講評	簡単なプレゼンテーションの準備をしておくこと.

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
・授業課題はパソコン室の空き時間を利用して提出期限までに完成させること
・授業内容の理解を深めるために，60分以上の予習・復習を行うこと　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：
・初心者からちゃんとしたプロになるWebデザイン基礎入門（改訂2版）

Ⅵ. 評価方法と評価基準

最終課題：30%（ユーザビリティ，デザイン性，理解度を総合的に評価）
小課題と中間発表：50%（授業内容の理解度，努力量，課題の完成度を総合的に評価）
受講姿勢・授業態度：10%

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・必ずWebデザイン論と一緒に受講すること
・各課題に対しては，直接もしくは課題にコメントする等してフィードバックを行う

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
CGデザイン演習Ⅰ	LP47205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	CG・Webデザイン指定科目		
増﨑　明子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している ○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・PhotoshopとIllustratorを連携して実践的な作品制作を行い、視覚的表現技術を身につける
・デザインの法則や企画開発の流れを学習する
・複数のメディア（媒体）の取り扱いを学習し、デザイン以外の分野でも正しくデジタル情報を応用する知識を身につける。

Ⅲ. 学習成果

・ PhotoshopとIllustratorの基本的な操作と応用を学習し、写真やテクスト等、様々な素材による構成技術を習得する
・ デザインについての講義や各課題でプレゼンテーション（課題発表）を実施することで、情報伝達力を高める
・ フィールドワーク（店舗調査レポート）を実施し、観察力を高めデザインに関する視野を広げる
・ 複数のCGソフトを連携させ、汎用的なデジタルデータの取り扱いを理解できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 PhotoshopとIllustratorの連動　画像リンクについての実習	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
2:【課題1：雑誌の表紙デザイン】 ラフ画、イメージスケッチ、オリジナルロゴ作成	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
3:【課題1：雑誌の表紙デザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるよう台本（テキスト）を用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
4:【課題2：キャラクターデザイン】 手描きのイラストから Illustratorを使ってキャラクターイラストを仕上げる	【予習】既存のお菓子のパッケージを調査し、オリジナルキャラクター のラフスケッチやアイデアを用意する（60分程度）
5:【課題2：キャラクターデザイン】 画像やイラストからノベルティグッズをつくる方法	授業内で未完成の部分があればプリントの指定箇所まで完成させること
6:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 photoshopで商品のモックアップ（試作品）のCG合成を学ぶ	【予習】既存のお菓子のパッケージを調査し、オリジナルパッケージ のラフスケッチやアイデアを用意する（60分程度）
7:【課題3：お菓子パッケージデザイン】 Illustratorを使って画像からイラストを作成する方法を学ぶ（ペンツール、ライブトレース）	授業中での課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
8:【課題3：お菓子パッケージデザイン】**※アクティブラーニング要素** プレゼンテーション（作品発表）	【予習】発表がスムーズにできるよう台本（テキスト）を用意し 発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)
9:【課題4：マイショップデザイン】飲食店、美容院、雑貨、アパレル、など、 各自が思い描くショップの企画書を作成し、カードやフライヤーなど印刷物に展開	【予習】どのような店舗をデザインするか事前に想定し、必要な 画像や資料をUSBに保存しておく
10:【課題4：マイショップデザイン】**※アクティブラーニング要素　店舗調査レポート** デザイン実習（Photoshop / Illustrator）ショップカード、ハガキ、パッケージなど	【予習】実店舗に赴き、店舗調査（価格調査やカタログ収集）をし、 指定のプリントにまとめてレポート提出すること（1～2時間程度）
11:講義：トーン＆マナー、デザイン4原則について 情報をより正確にし制作物の価値を高める為のデザインの法則を学ぶ	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
12:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）アウトライン化と印刷物の入稿について	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
13:講義：就活などに役立つポートフォリオ（作品集）の作り方 課題で制作した作品をPDFデータとしてまとめ、PDFの取り扱い方を学習	【復習】制作した課題作品を就活などに使用できる ポートフォリオにまとめる（30分程度）
14:【課題4：マイショップデザイン】 デザイン実習（Photoshop / Illustrator）作品を印刷して裁断などの加工作業を行う	授業内で課題の遅れがある学生には課外での作業を推奨
15:【課題4：マイショップデザイン】**※アクティブラーニング要素** 最終日プレゼンテーション（作品発表と講師講評）	【予習】発表がスムーズにできるよう作品と台本（テキスト）を 用意し、事前に発表の流れを練習しておくこと(15～30分程度)

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明

翌週の授業に予習など準備が必要な課題は授業内とGoogledriveで伝達し、プリントやデータを配布します。課題の作業は授業内で完結するよう計画されていますが、課題の遅れを解消する為の作業時間については各自の学習意欲により課外での時間を確保してください。準備学習としてリサーチしたりアイデアを練ったりする時間が授業時間外で90分必要です。

Ⅴ. 教科書・参考図書

自習や復習に使用できる作業手順のプリントと講義資料を配布。自習・復習に使用できる動画も用意しています。
CG演習Bで使用する教科書を併用。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題の質及び提出状況（80%）、学習の意欲（20%）等で総合的に評価します。全ての課題を提出し課題4のプレゼンテーションの内容をもって評価の対象とします。
課題1～3の評価はgoogleclassroomで作品に対する講評を添えて返却。課題4はプレゼンテーション後に各生徒の講評を即時行います。
デザイン作業に必要な会話は推奨しますが、過度の私語・不要なスマートフォンの使用・いねむりは「学習の意欲」の評価の減点対象とします。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

・全ての課題でオリジナル作品を制作しプレゼンテーションを実施する為、作品の構想やリサーチを授業外で準備することで授業中の作業がスムーズになります。
・「モノを作ること 」に興味がある人を受講対象とします。
・「CG演習A」「CG演習B」を履修していること。

「実務経験教員科目」特記事項：教員はイラストレーター、ジュエリーデザイン、生活雑貨の企画開発、小中学生向けデジタル教育の監修などマルチに活動する
実務経験20年の現職デザイナー。印刷・WEB・商品企画・小売業など、多種多様な業界の仕事の流れを授業の中で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
雑貨製作	LP52202	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
金子　恭子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）との関連（◎は強く関連している　○は関連がある）

学科ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	◎
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

その人の生活様式や美意識によって選ばれる雑貨には違いがある。
現代ファッションの中で活かせる温かみのある手作り雑貨やオシャレなアクセサリーなど、ある程度の収入が見込める収入源としての雑貨はどのようなモノなのか、オリジナル性があり、魅力的な商品としての価値観のある作品を、製作を通して学ぶ。

Ⅲ. 学習成果

1. 既製品と、時間をかけ、丁寧に製作した手作りの作品との比較や、価格設定などの方法が理解できる。
2. お客様から喜ばれる雑貨とはどのような製品か、展示・販売などの体験を通して学ぶことができる。
3. 多種多様な素材やテクニックをどのように使ってオリジナル作品に活かすのか、知識や技術を学ぶと共に、創作する楽しみを体験できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習（予習、復習）内容

授　業　内　容	準備学習（予習・復習）内容
1: 概論 授業内容について、資料やサンプル作品等で説明	製作のための資料・サンプルを集める。
2: ピンクッション製作 （雑貨製作の実習で使用）	クロスステッチの図案を考える。
3: 刺しゅう糸の使い方とクロスステッチの刺し方	クロスステッチのサンプルを作る。
4: クロスステッチ刺しゅうで作るアクセサリー	授業時間内で出来なかった部分は自宅で完成させる。
5: ウール羊毛の使い方とアップリケの方法やアクセサリーの作り方	次回の為のオリジナル素材のサンプルを作ってみる。
6: オーガンジーをパンチングして作るオリジナル素材の作り方	ポーチの材料をそろえておく。
7: オリジナル素材のポーチ製作	ポーチの土台が出来なかった部分は完成させる。
8: ポーチの仕上げ	各自の持っている革や毛皮製品について調べる。
9: 革や毛皮について	授業時間内での準備工程が出来なかった人は完成させる。
10: 革のブローチ製作	刺しゅうやロゴ等について調べてくる。
11: 刺しゅうやビーズ刺しゅう等について	バックに施す図案やテクニックを考える。
12: バックを製作 （学んだテクニックを使い図案を作成）	バックに施す図案製作の50%完成が間に合っていない人は自宅で完成させる。
13: バックを製作 （オリジナル作品を仕上げる）	作品が完成していない、又はもっと付け加えたい人は製作する。
14: 仕上げ　作品展示と批評会 完成した作品を展示し、学生同士で批評会を行う	他の学生作品から学ぶ事をまとめておく。
15: まとめ 授業作品集を作り、反省や感想をまとめる	授業作品集を完成させる。。

＊準備学習（予習・復習）についての補足説明
事前に調べておく事。詳しくは授業で説明します。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない　。 教員作成資料を毎回配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題作品（70%）・レポート（20%）・学習の意欲（10%）で評価を行う。

Ⅶ. その他（課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等）

オープンキャンパスでの作品展示。また、学内での文化祭（学科授業内容）にて展示・販売等を行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Webデータベース演習	LP52203	開講時期:	1・2期		
		形態:	演習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

近年、制作現場ではWordPressによるサイト制作が一般的となっています。
本科目では、WordPressを使って、Webサイト(ホームページ)制作を行います。
また、WordPressを通じ、初歩的なWebデータベースの仕組みを理解することを目指します。

Ⅲ. 学習成果

・一般的な会社や組織が持つようなWebサイト(ホームページ)をWordPressを使い制作できるようになる。
・Webサイト運営に対する知識の習得(SEO対策、セキュリティ強化など)。
・CMS(コンテンツマネージメントシステム)の利用に関する基礎知識の習得。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:受講上の注意点、Webサイト制作について、Webサーバー・データベースの仕組み	受講上の注意を理解して次回以降の準備をすること。
2:ドメイン、WordPressとは、WordPressのインストールについて	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
3:ログイン画面と管理画面の構成について、初期設定	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
4:テーマについて、テーマのインストールと有効化、Webサイトの構成について	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
5:固定・投稿ページについて、カテゴリーについて、固定・投稿ページの基本設定	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
6:テーマカスタマイザーの基本操作と設定	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
7:投稿・固定ページの作成①基本(見出し・文章・画像・カラム等)	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
8:投稿・固定ページの作成②基本(テーブル・カスタムHTML・ボタン等)	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
9:投稿・固定ページの作成③応用	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
10:ウィジェットの設定	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
11:プラグインについて、プラグインのインストールと有効化	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
12:目的別プラグイン	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
13:Webサイトの運用について(アクセス解析・SNSとの連携等)、写真素材について	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
14:セキュリティ対策	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
15:復習(WordPress基本的な制作の流れ)	WordPress基本的な制作の流れを復習する。
16:HTMLとCSSの基礎	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
17:CSSでデザインのカスタマイズ	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
18:PHP基礎	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
19:SEO対策とは	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
20:SEO対策の実践	学んだ知識・技術を、次回以降授業で利用できるように復習する。
21:演習問題①	演習問題の内容に取り組む。
22:演習問題②	演習問題の内容に取り組む。
23:復習および質問対応(まとめと振り返り)	これまでの理解不足を解消する。
24:オリジナルサイト制作①	オリジナルサイト制作に取り組む。
25:オリジナルサイト制作②	オリジナルサイト制作に取り組む。
26:オリジナルサイト制作③	オリジナルサイト制作に取り組む。
27:オリジナルサイト制作④	オリジナルサイト制作に取り組む。
28:オリジナルサイト制作⑤	オリジナルサイト制作に取り組む。
29:オリジナルサイト制作⑥	オリジナルサイト制作に取り組む。
30:【プレゼンテーション】制作したWebサイトをクラスで披露する。	発表内容(テーマや制作時のポイントなど)を事前に考えておく事。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
・理解できなかった内容は、必ず30分以上の復習を行うこと。
　単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した90分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.教科書:はじめてのホームページ制作　WordPress超入門　(ソシム株式会社)　￥2,200(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲:10%　課題:30%　オリジナルサイト制作:30%　単位認定試験(筆記):30%
居眠り、授業に関係のない私語やスマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点します。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
授業に欠席した場合は、授業内容や課題を各自で授業担当者や同じ受講者に確認して、必ず対応する事。
「実務経験教員科目」特記事項:Webデザイナーとしての実務経験は20年。Webサイトの企画・制作を行う会社を設立し現在に至る。デザイナーとして、Webサイト制作、フライヤー・ショップカードなど印刷物の制作にも携わっている。
現在のWeb業界の情報や一般企業のサイト制作に関してなど、授業で紹介していきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
福祉住環境Ⅰ	LP52204	開講時期:	2期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
照井　善明		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

安全で住みやすい住環境を提案するため、生活者の視点に立ち、身体状態や生活環境など、あらゆる要件を視野に入れ問題解決を図るよう努める。
そのため、高齢者・障がい者の生活環境整備に必要な保健・医療・福祉と住宅改修・福祉用具についての知識をもち、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに最適な住環境を提案できる人材養成を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

福祉住環境コーディネーター3級試験に必要な基本的な知識を身につけることができる。
福祉住環境Ⅰでは、少子高齢社会の現状と課題、および保健・医療・福祉と福祉用具についての分野を対象に理解することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 少子高齢社会の現状と課題	テキストをもとに、少子高齢社会の現状について調べまとめる。
2: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 日本の住環境の問題点	テキストをもとに、日本の住環境ついて調べまとめる。
3: 第1章　暮らしやすい生活環境をめざして 介護保険制度について	テキストをもとに介護保険制度について調べまとめる。
4: 第2章　健康と自立をめざして 老化のとらえかた	テキストをもとに介護保険制度について調べまとめる。
5: 第2章　健康と自立をめざして 老年期の健康度と自立	テキストをもとに老化について調べまとめる。
6: 第3章　バリアフリーとユニバーサルデザイン ユニバーサルデザインの社会の実現に向けてグループディスカッション	バリアフリーとユニバーサルデザインについて福岡市の現状を調べる
7: 第3章　バリアフリーとユニバーサルデザイン 福祉用具	テキストをもとに福祉用具について調べまとめる。
8: まとめ　単位認定試験 ＊授業回数7.5回、単位認定試験0.5回とします。	単位認定試験の準備
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
準備学習は、各回30分以上行うこと。詳細については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「福祉住環境コーディネーター検定試験　3級公式テキスト＜改訂5版＞」 東京商工会議所発行　2,750円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

福祉住環境コーディネーター検定試験は、年に2回実施されます。検定情報は、「http://www.kentei.org/fukushi/」を参照してください。　この講座では、11月試験をめざし、福祉住環境Ⅱを続けて受講することを推奨します。また、福祉住環境Ⅱからの受講はできません。受験希望者には直前対策講座(模擬試験及び解答解説)を予定しています。模擬問題は授業で解答・解説をしますので、自宅で取り組んでください。

「実務経験教員科目」特記事項:建築設計の実務経験あり。テキストに記載されている内容について、建築設計の事例等を踏まえ学生に分かりやすく説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
環境設計	LP52205	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
河野　洋子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

環境とは「私たち(人間や生物)をとりまく状況」を指す言葉です。ここでは環境を「自然」「社会」「文化」の3つのキーワードから多角的にとらえていきます。
持続可能な社会を目指したさまざまな考えを知り、私たちが取るべき行動を学びます。

Ⅲ. 学習成果

1.持続可能な社会を目指したリサイクル・アップサイクルを生活に取り入れることができる。
2.社会の中でさまざまな考え方について学び、「多様性」を受け入れることができる
3.季節感を取り入れた伝統的な生活の知恵を知り、現在の生活に活かすことができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:環境とは(自然・社会・文化)	福岡市で行われている一人一花運動について調べる
2:持続可能な社会(リサイクルとアップサイクル)	リサイクルとアップサイクルの違いをまとめる
3:エコバッグのデザイン①(過去の作品と使い方)	市販されているエコバッグのデザイン(素材・大きさ)について調べる
4:エコバッグのデザイン②(デザインを考える)	自分の作品についてコンセプトをまとめ発表の準備を行う
5:エコバッグのデザイン③(エコバッグデザイン発表会)	他の人のデザインを参考にデザインをブラッシュアップする
6:エコバッグのデザイン④(横手環境委員会へのプレゼンテーション)	横手環境委員会へのプレゼン資料を作成する
7:多様な社会環境①(文化の違いを受け入れる)	海外の生活習慣や風習について調べる
8:多様な社会環境②(考え方の違いを受け入れる)	時代によって変わってくる考え方について調べる
9:多様な社会環境③	絵本やマンガなどの多用な媒体でのとらえ方を調べる
10:伝統文化を知る	日本の伝統的な行事やそこで行われてきたあそびについて調べる
11:伝統文化を現代の生活に活かす①(紋切り遊び)	敷紙・折敷(おしき)について調べ、好きなデザインを考える
12:伝統文化を現代の生活に活かす②(紋切り遊び)	季節感を出すためのデザイン(伝統的な柄)を調べる
13:伝統文化を現代の生活に活かす③(水引細工のデザイン・製作)	身の回りにある水引細工について調べる
14:伝統文化を現代の生活に活かす④(水引細工製作)	インテリアとしての水引細工について調べる
15:作品発表会	自分の作品について発表の準備を行う

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
毎回の準備学習を30分程度行うこと。内容は各授業でも伝える。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しない。必要に応じて教員が資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題・作品の提出(60%)プレゼンテーション(20%)学習の意欲(20%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題については全体の場で講評を行う。個別のコメントも行う。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
データベース入門演習	LP52201	開講時期:	3・4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
中野　豊		履修要件他:	事務系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

ビジネス現場でのデータベースの使用方法を理解し，データベースの設計および操作(データの入力，検索，並び替え，出力)の基礎を学ぶ．「情報関連科目」を修得済みの学生を対象にした講義および演習であるので，特に1年生は注意されたい．

Ⅲ. 学習成果

Microsoft社のAccessを使ってデータベースの基礎を理解し，運用のための知識の習得を目指す．
また Access に限らない，一般的なデータベースの概念を理解できることを目指す

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: データベースの概要とその応用例	データベースの概念の理解し，どのような場面で活用されているのかを理解する
2: Accessの基礎知識	Accessの構造と基本的な操作方法を理解する
3: データベースの設計と作成	データベースの基本的な構造と設計方法を学び理解する
4: テーブルの作成	データベースにおけるテーブルの役割と作成について理解する
5: テーブルとリレーションシップの作成	データベースにおけるテーブルとリレーションシップの役割と作成について理解する
6: クエリの作成1	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
7: クエリの作成2	データベースにおけるクエリの役割と作成について理解する
8: フォームの作成	データベースにおけるフォームの役割と作成について理解する
9: レポートの作成1	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
10: レポートの作成2	データベースにおけるレポートの役割と作成について理解する
11: ピボットテーブルとピボットグラフの作成	Accessを使ったピボットテーブルとピボットグラフについて理解する
12: データシートビューの操作	Accessにおけるデータシートビューについて理解する
13: データベースの作成演習1	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う．不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，不明な点は授業で質問し，修正を行う
14: データベースの作成演習2	前回までの授業を元に，自分でデータベースの作成を行う．不具合が生じた場合は，自分で原因を追究し，不明な点は授業で質問し，修正を行う
15: データベースの活用事例(発表)	グループごとに取りまとめたデータベースの活用事例を発表する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかる Microsoft Access 2019 基礎」FOM出版　￥2,000円

Ⅵ. 評価方法と評価基準

学習の意欲(15%)，課題提出状況(15%)および終了時の実技試験(70%，テキスト持込可)で総合的に判断

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出された課題を元に学生が理解できていない点を把握し，次回以降の授業で重点的に解説する．

クリエイティブデザイン系関連

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
福祉住環境Ⅱ	LP52206	開講時期:	3期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:	クリエイティブデザイン系関連科目		
照井　善明		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	○

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

安全で住みやすい住環境を提案するためには、生活者の視点に立ち、身体状況や建築条件など、あらゆる条件を視野に入れて問題解決を図ることが求められる。

そのため、高齢者・障害者の生活環境整備に必要な住宅改修・福祉用具についての知識をもち、各種の専門家と連携をとりながらクライアントに最適な住環境を提案できる人材養成を目的とする。

Ⅲ. 学習成果

福祉住環境コーディネーター3級試験に必要な基本的な知識を身につけることができる。
福祉住環境Ⅱでは、高齢者等の住まいの課題について建築的な内容を理解することができる。
事例学習を通して、意欲的に実践的な課題に取り組むことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 第4章　安全・快適な住まい 住まいの整備のための基本技術について(段差等)	テキストをもとに、手すりの種類について調べまとめる。
2: 第4章　安全・快適な住まい 住まいの整備のための基本技術について(家具、収納等)	テキストをもとに、屋外施設について調べまとめる。
3: 第4章　安全・快適な住まい 生活行為別にみる安全・安心・快適な住まいについて(屋外、屋内移動等)	テキストをもとに、浴室の整備例について調べまとめる。
4: 第4章　安全・快適な住まい 生活行為別にみる安全・安心・快適な住まいについて(排泄、入浴等)	介護保険で利用できる住宅改修について調べまとめる。
5: 第5章　安心できる住生活とまちづくり ライフスタイルの多様化と住まい	ケアハウスについて調べまとめる。
6: 第5章　安心できる住生活とまちづくり 高齢者・障害者が安心して暮らせるためにグループディスカッション	少子高齢者の現状について調べる
7: 第5章　安心できる住生活とまちづくり 住宅と福祉の施策	福祉のまちづくり条例について調べまとめる。
8: まとめ　単位認定試験 ＊授業回数7.5回、単位認定試験0.5回とします。	単位認定試験の準備
9:	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。詳細については毎回の授業で説明します。
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「福祉住環境コーディネーター検定試験　3級公式テキスト＜改訂5版＞」 東京商工会議所発行　2月改訂　本体2,500円＋税(予定価格)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(60%)　小テスト・課題レポート(30%)　学習の意欲(10%)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業は、テキストの第4章・第5章を7.5回で行います。福祉住環境Ⅱからの受講はできません。
福祉住環境コーディネーター検定試験は、年に2回実施されます。この講座では、福祉住環境Ⅰとともに11月試験をめざし、受験希望者には直前対策講座(模擬試験及び解答解説)を予定しています。
「実務経験教員科目」特記事項:建築設計の実務経験あり。テキストに記載されている内容について、建築設計の事例等を踏まえ学生に分かりやすく説明します。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
情報システム概論	LP52207	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目では，IPAが実施している国家試験である「ITパスポート試験」の出題範囲(テクノロジ分野)を学ぶことで，これから社会人となるすべての学生が備えておくべき，ITに関する基礎的な知識の習得を目指します．授業では参考書を用いながら，ITパスポート試験の各分野について解説をしていきます．解説後に復習として過去問を解き，翌週に小テストを実施することで知識を定着させていきます．最終的に，ITパスポート試験を模した最終テストを実施します．

Ⅲ. 学習成果

・ITに関する技術(AI，ビッグデータ，IOT，セキュリティ，ネットワーク)について説明できる
・表計算ソフトを用いたデータの正規化や基礎的な関数を用いた計算ができる
・基礎的なアルゴリズムとプログラミングについて説明できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション，コンピュータの構成要素	ITパスポートに関して，IPAの公式ページを見ておくこと.
2:確率と統計，進数計算，AIと機械学習 機械学習に関するグループワークをします	第1章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第1章の過去問を10問以上解いておくこと.
3:ソフトウェア，ファイル管理，UI，マルチメディア	第2章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第2章の過去問を10問以上解いておくこと.
4:表計算(参照，関数，IF文)	第2章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第2章の過去問を10問以上解いておくこと.
5:システム構成，システムの信頼性，稼働率	第3章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第3章の過去問を10問以上解いておくこと.
6:システム評価，IOTシステム，ソリューションビジネス	第3章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第4章の過去問を10問以上解いておくこと.
7:ネットワークと通信プロトコル	第4章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第4章の過去問を10問以上解いておくこと.
8:IPアドレス，通信サービス，電子メール	第4章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第4章の過去問を10問以上解いておくこと.
9:脅威とサイバー攻撃	第5章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第5章該当範囲の過去問を10問以上解いておくこと.
10:情報セキュリティマネジメント	第5章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第5章該当範囲の過去問を10問以上解いておくこと.
11:暗号化技術とディジタル署名	第5章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第5章該当範囲の過去問を10問以上解いておくこと.
12:データの正規化	第6章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第6章の過去問を10問以上解いておくこと.
13:論理回路，整列と集計，トランザクション処理	第6章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第6章の過去問を10問以上解いておくこと.
14:アルゴリズムとデータ構造	第7章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第7章の過去問を10問以上解いておくこと.
15:プログラミング言語とマークアップ言語	第7章を事前に読み込んでおくこと. また授業終了後に第7章の過去問を10問以上解いておくこと.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
予習時間(90分)と復習時間(180分)を設けて，理解を深めるようにしてください．
単位修得のためには、準備学習時間270分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書：栢木先生のITパスポート教室(令和7年度版)
過去問URL：https://www.itpassportsiken.com/ipkakomon.php

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回の課題もしくは小テスト：40%(各課題の実施状況と小テストの成績を総合的に評価)
筆記試験：50%
受講態度・姿勢：10%(居眠り・私語の有無，発言量等を総合的に評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

本授業は，ITパスポート試験への受験を想定する方向けの授業であり，予習復習を徹底することで授業内容を理解できるように進めていきます．課題の実施状況について，Classroomなどで適宜フィードバックをします．

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
芸術の世界	LP52208	開講時期:	3・4期		
		形態:	講義	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	クリエイティブデザイン系関連科目		
杉森　映徳		履修要件他:	サービス系関連科目		
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	◎
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

・西洋美術、及び東洋美術(特に日本美術)の歴史を通して、其々の芸術的価値観の特性を学び、芸術表現の多様性を理解すると共に、現代社会に於ける芸術の必要性と「美」の意識を向上させることをねらいとする。
・日常生活における身の周りの「美」についての発見を促し、芸術の重要性、必要性について検証し、豊かな人間社会の基本的概念と形成を考察する。
・鑑賞力や表現力を養うため、グループ発表や講評会、美術展鑑賞を実施する。

Ⅲ. 学習成果

世界の芸術の歴史を学び、芸術的表現についての知識を深め、芸術的価値の理解や美意識の基盤を培うことができる。
身の周りの「美」の探索学習や美術作品鑑賞を通して、洞察力や鑑賞力を高めると共に、日常的な発見と感じたものごとを表現する力を養うことができる。
芸術の歴史からの学びを通して、芸術性豊かな「美」の要素を現代社会の日常の生活に取り入れ活用できるようになる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 芸術の世界について 授業の流れ等について説明する。世界の美術品等の紹介をする。	世界の「美」についての文献、写真資料等を収集する。
2: 西洋の美① 西洋の美術の歴史(紀元前～古代)について学ぶ。	西洋美術の歴史(紀元前～古代)文献、写真資料等をまとめる。
3: 西洋の美② 西洋の美術(中世～近現代)について学ぶ。	西洋美術の歴史(中世～近現代)文献、写真資料等をまとめる。
4: 東洋の美(日本の美)① 東洋の美術の歴史(紀元前～古代)について学ぶ。	東洋美術の歴史(紀元前～古代)文献、写真資料等をまとめる。
5: 東洋の美(日本の美)② 東洋の美術の歴史(中世～近現代)について学ぶ。	東洋美術の歴史(中世～近現代)文献、写真資料等をまとめる。
6: 機能美について アクセサリー、ファッション、時計など機能的な「美」について学ぶ。	機能美について学習したことについて文献、写真資料等をまとめる。
7: 日本の工芸の美 日本の陶芸、着物、彫金、刀剣など、工芸美術について学ぶ。	工芸美について学習したことについて文献、写真資料等をまとめる。
8: 日常の美① 身の周りの「美」についてグループセッションを行う。	日常美について発見したこと等について感想、写真資料等をまとめる。
9: 日常の美② 街中の「美」を感じるものをグループで探索する。	日常美についてグループワークの成果をまとめる。
10: 美しい生活構想① 「美しい街」づくりについてグループセッションを行い構想を考える。	「美しい街」の構想をイメージし、アイディアスケッチを行う。
11: 美しい生活構想② 「美しい街」のイメージをグループで絵画やコラージュ等で表現する。	「美しい街」をテーマに絵画、コラージュ等の作品を制作する。
12: 美しい生活構想③ 「美しい街」のイメージ作品を提示し、グループ発表する。	グループ発表の準備を行い、発表成果をまとめる。
13: 造形演習① 粘土を使用したアクセサリー等のアイディアスケッチを行う。	創作に必要な資料等を準備する。
14: 造形演習② 粘土を使用したアクセサリー等を制作し、造形を学ぶ。	創作活動での学びを感想、作品写真等でまとめる。
15: 美術館鑑賞 美術館を鑑賞し、美術作品についての知識を深める。	鑑賞を通しての学びや感想をレポートにまとめる。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・全15回の授業を通しての学びを一冊のファイルにまとめ資料を制作する。各回ごとの授業の事前、事後に参考資料等を準備、整理すること。・動画等による授業内容の説明など遠隔(ICT)を活用した事前事後学習を提示する場合がある。　単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント、参考資料等を適宜配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

試験(50%)、提出ファイル(20%)、レポート(20%)、学習の意欲(10%)　　試験、ポートフォリオファイル、レポートの提出及び受講態度、学習意欲を未提出作品がある場合、評価を不可とすることがある。再試験 有　レポート提出等。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

授業毎に400字程度のレポートを提出。提出物にについては其々にコメント等をフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語検定対策講座A	LP60201	開講時期:	1期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、読解力の強化をめざす
TOEIC頻出の文法事項を理解する

Ⅲ. 学習成果

TOEIC試験で目標スコアを獲得する
英語学習の方法を身につける
コミュニケーションで必要とされる英語能力を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: TOEIC試験についての説明 文法事項:動詞(Day8)	必須語彙を覚える 時制と態について復習する
2: 文法事項:代名詞(Day9)	必須語彙を覚える 代名詞について復習する
3: 文法事項:関係代名詞(Day9)	必須語彙を覚える 関係代名詞について復習する
4: 写真描写問題:人物の動作と状態(Day1) 写真描写問題:物の状態と位置(Day2)	必須語彙を覚える 写真描写問題を復習する
5: 応答問題:疑問詞を使った疑問文(Day3) 応答問題:基本構文と応答の決まり文句(Day4)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
6: 短文穴埋め問題:品詞(Day7) 品詞について、名詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
7: 短文穴埋め問題:品詞(Day7) 形容詞・副詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
8: 応答問題:YES/NO疑問文(Day5) グループワーク(ロールプレイ)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
9: 短文穴埋め問題:接続詞(Day10) 前置詞	必須語彙を覚える 接続詞・前置詞を復習する
10: 会話問題:日常場面での会話(Day12) グループワーク(ロールプレイ)	必須語彙を覚える 会話問題を復習する
11: 説明文問題:アナウンス・ツアー(Day16) シャドーイング	必須語彙を覚える 説明文問題を復習する
12: 読解問題:表・用紙(Day21)	必須語彙を覚える 読解問題を復習する
13: 読解問題:広告(Day22)	必須語彙を覚える 読解問題を復習する
14: 長文穴埋め問題:時制・代名詞・語彙問題(Day28) Part5復習(Day11)	必須語彙を覚える 長文穴埋め問題を復習する
15: まとめと復習	必須語彙の確認 全パートの復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単語集の語彙を完全に覚えるまで繰り返し勉強する
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:TOEIC　L&Rテスト書き込みドリル[全パート入門編]スコア500　早川幸治著　桐原書店
教科書:TOEIC　L&R　TEST　出る単特急　銀のフレーズ　TEX加藤著　朝日新聞出版
(教科書は必要です　必ず持参してください)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　60%
単語テスト　20%　授業参加度　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

TOEICテスト受験を考えている学生を対象とする
教科書は必要です　必ず持参してください
課題については次の授業で解説を行います

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Excel検定対策講座	LP60207	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Microsoft Excel は世界で最も普及している表計算ソフトであり、短大生や社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
この科目では、必修科目である情報リテラシーで学んだ Excel の基本操作を復習しながら、より高度な表計算機能について学びます。
そして、国際資格の一種である Microsoft Office Specialist Excel(以下、MOS Excel)に対応できる実力を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

・MOS Excel の出題範囲にある表計算機能の操作方法を身に付けることができる。
・MOS Excel Expert の出題範囲にある表計算機能の操作方法を身に付けることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: ワークシートやブックの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲1 確認問題
2: セルやセル範囲のデータの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲2 確認問題
3: テーブルとテーブルのデータの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲3 確認問題
4: 数式や関数を使用した演算の実行	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲4 確認問題
5: グラフの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲5 確認問題
6: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Excel の基本機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第1回模擬試験
7: 第1回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第2回模擬試験
8: 第2回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第3回模擬試験
9: 第3回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第4回模擬試験
10: 第4回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第5回模擬試験
11: 第5回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
12: ブックのオプションと設定の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
13: データの管理と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
14: 高度な機能を使用した数式およびマクロの作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
15: 高度な機能を使用したグラフやテーブルの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかるマスター MOS Excel 365対策テキスト&問題集」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310 円
参考図書:「よくわかる Microsoft Excel 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　60%　　課題提出　40%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Microsoft Office Specialist Excel の一般レベルまたは上級レベルの未取得者は、受験することを単位取得の条件とします。
・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。
・留学生がMOS Excelに合格するためには、かなりの日本語の読解力が必要となります。履修登録の前に、担当者に必ず相談してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Excel検定対策講座	LP60208	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
松田　かお梨		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

表計算ソフトExcelの基本操作は、必修科目の情報リテラシーで学習している。
この科目では、その復習を含め、より高度なレベルのExcel全般をマスターし、種々の検定試験の合格を目指します。

Ⅲ. 学習成果

MOS(Microsoft Excel Specialist)に合格できるスキルを身に付けることができます。
また、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級のレベルをマスターし、2級レベルの技能も、一通り学ぶことができます。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: MOS対策:基本関数と絶対参照、統計関数	Le61～Le70までの予習 授業で習った関数の復習
2: MOS対策:論理関数、文字列関数	Le71～Le76までの予習 授業で習った関数の復習
3: MOS対策:出題範囲1～3	Le1～L59までの予習 出題範囲1～3の問題の復習
4: MOS対策:出題範囲4～5	L61～L89までの予習 出題範囲4～5の問題の復習
5: MOS対策:模擬問題1(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
6: MOS対策:模擬問題2(練習モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
7: MOS対策:模擬問題3(本番モード)	正解できなかった問題を再確認して復習
8: Excel検定3級・2級対策(関数:ROUND、VLOOKUP、RANK、CHOOSE、DSUM、DATE、TODAY、NOW等)	Excel検定で出題される関数の復習
9: Excel検定3級・2級対策(ユーザー定義、ドーナツグラフ、複合グラフ等)	ユーザー定義、ドーナツグラフ、複合グラフなど、発展的問題の復習
10: Excel検定2級対策(マクロ、入力規則)	マクロ、入力規則など、発展的問題の復習
11: Excel検定2級対策(ピボットテーブル、ゴールシーク、データの統合等)	ピボットテーブル、ゴールシークなど、発展的問題の復習
12: Excel検定3級練習問題	3級練習問題の復習
13: Excel検定2級練習問題(実技問題1～3)	2級練習問題の復習
14: Excel検定2級練習問題(実技問題4～5・知識問題)	2級練習問題の復習
15: 【プレゼンテーション】グループ内で、問題の解説をする	プレゼンテーションの準備

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
十分できなかった問題は、各自で、再度復習する。1時間前後で、復習できると思われる。

Ⅴ. 教科書・参考図書

1.教科書:FOM出版　Excel 365対策テキスト&問題集　¥2,310(税込)
2.配布資料

Ⅵ. 評価方法と評価基準

課題:40%　単位認定試験(実技):60%
居眠り、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

提出した課題は、個別に採点する。提出期限に遅れた場合は、2回目の提出期限を定め、減点扱いで提出を受け付けます。
MOS(Microsoft Excel Specialist)、または、Excel表計算技能認定試験(サーティファイ主催)3級または2級を受験することを、単位取得の条件とする。
検定合格には、授業中の練習だけではなく、授業時間以外での個人練習も必要となります。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
Word検定対策講座	LP60204	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
復本　寅之介		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

Microsoft Word は世界で最も普及している文書作成ソフトであり、短大生や社会人が身に付けるべき基礎スキルのひとつです。
この科目では、必修科目である情報リテラシーで学んだ Word の基本操作を復習しながら、より高度な文書作成機能について学びます。
そして、国際資格の一種である Microsoft Office Specialist Word(以下、MOS Word)に対応できる実力を身に付けます。

Ⅲ. 学習成果

・MOS Word の出題範囲にある文書作成機能の操作方法を身に付けることができる。
・MOS Word Expert の出題範囲にある文書作成機能の操作方法を身に付けることができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 文書の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲1 確認問題
2: 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲2 確認問題
3: 表やリストの管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲3 確認問題
4: 参考資料の作成と管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲4 確認問題
5: グラフィック要素の挿入と書式設定	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲5 確認問題
6: 文書の共同作業の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 出題範囲6 確認問題
7: プレゼンテーション 【プレゼンテーション】Word の基本機能についての使い方を発表	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第1回模擬試験
8: 第1回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第2回模擬試験
9: 第2回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第3回模擬試験
10: 第3回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第4回模擬試験
11: 第4回模擬試験の解説	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること 教科書 第5回模擬試験
12: 文書のオプションと設定の管理	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
13: 高度な編集機能や書式設定機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
14: ユーザー設定のドキュメント要素の作成	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験
15: 高度なWord機能の利用	授業中に学んだ各操作・機能を確実に利用できるように復習すること ランダム試験

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
授業に欠席した場合、授業の内容や課題について各自で授業担当者や同じ受講生に確認して必ず対応すること。
授業で学習した内容の理解不足を解消するため、十分に準備学習を行うこと。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:「よくわかるマスター MOS Word 365対策テキスト&問題集」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)税込価格2,310 円
参考図書:「よくわかる Microsoft Word 2021 基礎 Office 2021/Microsoft 365対応」富士通エフ・オー・エム株式会社(FOM出版)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験(実技)　60%　　課題提出　40%
いねむり、私語、スマートフォンの使用は減点の対象とします。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・Microsoft Office Specialist Word の一般レベルまたは上級レベルの未取得者は、受験することを単位取得の条件とします。
・この授業では、学習習慣や社会人として必要な責任感を身に付けるために、指定された「期限」「様式」「提出方法」で課題提出できることを重視します。
提出期限に遅れた場合、提出を認めませんので十分に注意してください。以上のことは、授業の欠席者も同様です。
・制作したデータに関するフィードバックは、授業中に授業担当者から口頭で適宜行います。
・留学生がMOS Wordに合格するためには、かなりの日本語の読解力が必要となります。履修登録の前に、担当者に必ず相談してください。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
秘書検定2級対策講座	LP60205	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は秘書検定2級に合格するための検定対策講座です。秘書としての心構えや役割、要求される資質・能力について学びます。その後、秘書に必要な知識や社会常識について授業を進めていきます。学習することで、社会人として必要なマナー、常識を身につけ、適切な人間関係を保つ能力の育成を目的としています。
秘書検定2級の内容を学習し、受験、合格することで自信をもち、自己研鑽する意欲をもつことができます。

Ⅲ. 学習成果

1.秘書の役割や必要とされる資質について説明することができる。
2.社会人として必要なマナーや一般知識を身につけることができる。
3.秘書検定2級合格に求められている知識や技能を修得することができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:オリエンテーション 授業の進め方・評価方法説明／秘書とは、秘書検定について	シラバスの内容を事前に確認しておく。 秘書検定の過去問題①を解き、次回提出する。
2:秘書に必要とされる資質 秘書の心構え、秘書に必要な能力	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
3:秘書としての職務知識 秘書の機能と役割、秘書の職務、仕事の進め方	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
4:秘書に必要な知識　一般知識① ヒジネス用語の知識	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
5:秘書に必要な知識 一般知識② カタカナ用語・略語	秘書検定の過去問題②を解き、提出する。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
6:マナー接遇①　人間関係と話し方・聞き方　◆小テスト実施 職場での人間関係、話し方と聞き方、報告の仕方	小テスト(一般知識)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
7:マナー接遇②　敬語・接遇用語　〈記述問題対策〉 尊敬語・謙譲語・丁寧語、接遇用語	敬語の問題を解いて、不明な点を整理しておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
8:マナー接遇③　電話応対・来客応対 電話応対・来客応対の基本と取り次ぎ　／　ペアワークで課題に取り組む	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 応対について流れとポイントを復習する。
9:マナー接遇④　交際業務　〈記述問題対策〉 慶事・弔事、贈答のマナー　／　グループワークで課題に取り組み、発表する	慶事・弔事についてわからない用語を書きだしておく。 講義内容の演習問題を解き、自己添削して、傾向と対策を立てる。
10:技能①　会議、スケジュール管理　◆小テスト実施 会議の知識、スケジュール管理、出張の手配	小テスト(交際業務について)に向けて準備する。テキスト指定ページを予習する。 小テストの結果を確認し、間違った問題を復習する。
11:技能②　ビジネス文書の作成1　〈記述問題対策〉 社内文書、社外文書の種類と形式／社外文書の慣用語句	ビジネス文書を作成する。 秘書検定の過去問題③を解き、間違った問題を復習する。
12:技能③　ビジネス文書の作成2　〈記述問題対策〉 電子メール、伝言メモ、グラフの種類と作成	グラフの課題問題を解いておく。 秘書検定の過去問題④を解き、間違った問題を復習する。
13:技能④ 文書の取り扱い　◆小テスト実施　〈記述問題対策〉 文書の受発信、秘文書の取り扱い、郵便の知識	小テスト(伝言メモ・グラフ問題)に向けて準備する。 秘書検定の過去問題⑤を解き、間違った問題を復習する。
14:技能⑤ 文書・資料管理、環境整備 ファイリング、名刺の整理、カタログ整理	テキスト指定ページを予習して、問題を解いておく。 秘書検定の過去問題⑥を解き、間違った問題を復習する。
15:まとめ　模擬試験	第1回から第14回授業までのポイントを確認し、模擬試験に向け準備する。 模擬試験の結果を確認し、間違った問題を復習する。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・予習としてテキストの該当ページを読み、事前課題を記入してくること。このための予習は30分程度、授業後の復習は30分程度が目安です。 ・小テストを実施する際には、授業の終了時に範囲を伝えるので、復習をして小テストで8割は取るように学習してください。 単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:1.改訂2版　出る順問題集　秘書検定2級に面白いほど受かる本 佐藤一明　著 株式会社KADOKAWA　1,540 円
　　2.秘書検定2級実問題集2025年度版　公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版　1,760円
参考書:秘書検定2級集中講義 改訂新版 公益財団法人実務技能検定協会　早稲田教育出版
　　秘書検定2級パーフェクトマスター改訂版 公益財団法人実務技能検定協会編　早稲田教育出版

Ⅵ. 評価方法と評価基準

・単位認定試験　50%　　・小テスト30%　　・授業への取り組み(積極性、挨拶・返事、発表、提出物)　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1. 2月の秘書検定2級受験を単位認定の条件とし、検定合格を目指します。
2. 秘書検定2級を取得済みの人は、履修できません。 3. 授業は講義・ポイント説明→問題演習の順序で進めます。
4. テキスト以外に補足・過去問題プリントを配布しますので、ファイリングしてください。 5. 小テストや提出物は、次回の授業で返却します。
6. 検定問題は何度も繰り返し解くことで、知識を定着させることができます。間違った問題は繰り返し解いて、不得意分野をなくすよう取り組んでください。
7. 授業時の私語、居眠り、スマートフォン等の使用、テキスト等を忘れた場合は、減点の対象とします。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
英語検定対策講座B	LP60206	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	資格・検定支援科目		
挽田　雅子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	○
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化をめざす
TOEIC頻出の文法事項を理解する

Ⅲ. 学習成果

TOEIC試験で目標スコアを獲得する
英語学習の方法を身につける
コミュニケーションで必要とされる英語能力を習得する

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: TOEIC試験についての説明 短文穴埋め問題:「意味」だけでなく「形」に注目(L6)	必須語彙を覚える 動詞について復習する
2: 短文穴埋め問題:正しい時制を見抜く(L8) 長文穴埋め問題:時制	必須語彙を覚える 時制について復習する
3: 応答問題:5W＆How(L1) 写真描写問題:be動詞の直後を聞きとる(L2)	必須語彙を覚える 写真描写問題を復習する
4: 写真描写問題:写真と矛盾した要素を聞きとる(L3) 応答問題:「許可」「依頼」「提案」「申し出」(L4)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
5: 応答問題:「よくある」応答を押さえる(L5) 写真描写問題:「動作」と「状態」の違い(L7)	必須語彙を覚える 応答問題を復習する
6: 短文穴埋め問題:品詞(L9) 名詞・動詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
7: 短文穴埋め問題:品詞(L9) 形容詞・副詞	必須語彙を覚える 品詞について復習する
8: 短文穴埋め問題:動詞の変化形(L10) to do / doing / -ed	必須語彙を覚える 動詞の変化形について復習する
9: 会話問題,説明文問題(L12,L13,L14) グループワーク(ロールプレイ)、シャドーイング	必須語彙を覚える 会話問題・説明文問題を復習する
10: 短文穴埋め問題:代名詞(L17) 長文穴埋め問題:代名詞	必須語彙を覚える 代名詞について復習する
11: 短文穴埋め問題:形容詞節(L18) 長文穴埋め問題:形容詞節	必須語彙を覚える 形容詞節について復習する
12: 長文穴埋め問題:文章の展開パターン(L24)	必須語彙を覚える 長文穴埋め問題を復習する
13: 短文穴埋め問題:接続詞(L20) 長文穴埋め問題:接続詞	必須語彙を覚える 接続詞について復習する
14: 短文穴埋め問題:相関語句(L19) 長文穴埋め問題:相関語句	必須語彙を覚える 相関語句について復習する
15: 読解問題(L21) Scanningを身につけよう	必須語彙の確認 まとめと復習

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単語集の語彙を完全に覚えるまで繰り返し勉強する
単位修得のためには、上の準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:はじめてのTOEIC　L&Rテスト　きほんのきほん　石井洋祐/カール・ロズボルド/マイケル・マクドウェル著　スリーエーネットワーク
教科書:TOEIC　L&R TEST　出る単特急　銀のフレーズ　TEX加藤著　朝日新聞出版
(教科書は必要です　必ず持参してください)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

単位認定試験　60%
単語テスト 20%　授業参加度 20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

TOEIC受験を考えている学生を対象とする
教科書は必要です　必ず持参してください
課題については次の授業で解説を行います

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生論	LP61203	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
中濵　雄一郎		履修要件他:			
		アクティブラーニング科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

2018年度にライフプランニング総合学科内で活動する学生組織として「Koran Girls」を立ち上げた。設立の主な目的は、学内外で企画されたプログラムへ参加し、それぞれの課題をクリアすることにあるが、真の目的は、社会で通用する学生の育成にある。1年次に行ってきた様々な課題をどう乗り越えたのか、そこで自身はどう成長したのかを考えてもらう。また、就職活動でアピールする工夫を「Koran Girls」全体でシェアすることで、就職活動を有利に進め、希望する業界・職種から内定を受けることを目指す。

Ⅲ. 学習成果

①MEG-FLAPの考えやスキルを再度復習し、自分自身のスキルとしてアップグレードさせる。
②これまでの自分の活動を振り返り、言語化し、プレゼンテーション力の強化を図る。
③最終的な成果を発表し、今後の目標や次の課題を明確にする。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 今後の予定の確認	予習: 2,3,4期に配布した資料を整理しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
2: ファシリテーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: ファシリテーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
3: リーダーシップについて 復習 ※グループワークの実施	予習: リーダーシップについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
4: アサーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: アサーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
5: プレゼンテーションについて 復習 ※グループワークの実施	予習: プレゼンテーションについて復習しておくこと。 復習: 行動日誌の記入
6: 最終報告に向けたプレゼンテーションの準備① ※グループワークの実施	予習: 配布資料全てを整理し、何をプレゼンするか検討しておく。 復習: 行動日誌の記入
7: 最終報告に向けたプレゼンテーションの準備② ※グループワークの実施	予習: 他の人の意見を聞きつつ、最終報告に向けた準備をする。 復習: 行動日誌の記入
8: 最終報告会	予習: プレゼンの再チャレンジ/レポートの書き方の解説 復習: 振り返りレポートの作成・提出
9: ※プログラムの進捗状況により、上記は変更となる場合がある。	
10:	
11:	
12:	
13:	
14:	
15:	

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

・上記のスケジュールはあくまで、2021年1月段階のものである。よって、今後変更となる可能性は十分にある。変更となった場合は、後日周知する。
・準備学習も同様に変更が起こり得るが、行動日誌は毎日行うので、日々振り返りを行い、習慣化すること。単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書:プレゼンの大学　想いの力で心を動かす資料作成の新しい教科書　藤倉礼亜著　クロスメディア・パブリッシング(インプレス)
参考書:スーパー公務員直伝! 糸島発! 公務員のマーケティング力　岡　祐輔著　学陽書房
KP法 シンプルに伝える紙芝居プレゼンテーション　川嶋 直著　みくに出版
ニュータイプの時代　山口　周著　ダイヤモンド社

Ⅵ. 評価方法と評価基準

①毎回提出してもらう「行動日誌」と「振り返りレポート」を合わせて50%、学習の意欲　30%、その他 20%。
②上記①のその他とは、学内外で実施するプログラムへの参加や態度、提出書類等を総合して評価する。
③筆記試験は実施しない。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①本講座を受講できるのは、「Koran Girls」に所属する学生のみである。
②2025年度は、「Koran Girls」の追加募集は行わない。
③「地域創生入門」、「地域創生演習」の総決算として本講座を行う。これまでの資料を別途整理しておくこと。
④プレゼンテーション力の向上を軸に講義をするので、教科書を必ず購入すること。
⑤Google Classroomについて、主として授業外学習の促進のために使用することもある。提出課題がある場合は、コメントして返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生論	LP61203	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
井野　智一郎		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

福岡を、地域を良くしていきたいという想いを持った方々(企業やお店など)とコラボし、福岡の魅力を発信していきます。異なるバックグランドをもつ社会人の人たちとともに様々な企画を立案します。これまで学生が主体となって、カフェ巡りの冊子製作、クリスマスマーケットやたびマルシェなどの学外イベントの開催、オープントップバス貸切ツアーの催行、地域PR動画の制作などを行ってきました。本授業では、プロジェクトチームを結成し、チーム毎に"本気で取り組みたいこと"を考え、企画の立案まで行います。

Ⅲ. 学習成果

・プロジェクトについて頭の中だけで考えるのではなく、行動に移すことができる。
・社会人基礎力を身につけ、就職活動や将来のキャリアデザインに活かすことができる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: 授業ガイダンス(プロジェクト型学習について) グループワーク:レゴ®シリアスプレイ®でチームビルディング	振り返りシートを記入する 自分を表現するコラージュを制作する
2: プロジェクト・メンバーの紹介(自己PR) プロジェクトチームを決める	振り返りシートを記入する 福岡の現状と課題について調べる
3: 福岡の現状と課題 グループワーク:SWOT分析	振り返りシートを記入する SWOT分析の結果について自分なりの考えや意見をまとめる
4: 課題の整理とプロジェクトの目標設定 グループワーク:ディスカッション	振り返りシートを記入する 次回の授業に向けてプロジェクトに関する情報を探し、まとめる
5: 情報収集 グループワーク:統計データや新聞・本の活用、自分たちで調査	振り返りシートを記入する 次回の授業に向けてプロジェクトに関する情報を探し、まとめる
6: 課題の分析 グループワーク:集めた情報を整理(グルーピング)し、課題の分析を行う	振り返りシートを記入する 課題の解決策について自分なりの考えや意見をまとめる
7: 課題の解決策を考える グループワーク:ブレインストーミング	振り返りシートを記入する プレゼンテーションの準備をする
8: プロジェクトについて発表(プレゼンテーション)	振り返りシートを記入する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

準備学習は、各回30分以上行うこと。内容についてはその都度説明します。

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書は使用しません。教員が作成した資料等を配布します。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

毎回提出する振り返りシート　50%　グループワークの貢献度　30%　　学習の意欲　20%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

①受講者は16名を上限とします。定員を超えた場合は選抜を行います。グループワークで話し合いが多い為、留学生はN1以上が必須となります。
②本授業では、プロジェクトの企画立案まで行います。その後、プロジェクトを実行していきますが、7期から開講される「卒業研究」の授業内で進めます。
本授業を受講した学生は優先的に担当教員の「卒業研究」を受講することができますが、必ず受講しなければならないわけではありません。
③社会人基礎力を身につける授業内容となっているため、就職活動やキャリア形成に必ず役立ちます。受講者に対しては、授業外でも就職のサポートを行っていきます。学生の希望する就職先へ100%内定が獲得できるよう全力でサポートをさせていただきます。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生論	LP61203	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
岩本　久美子		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

1年次「医療保障制度」での病院研究を深め、地域の医療機関について、サービス向上等についての改善案を考え、発表できることを目標とする。
病院研究は、実際に各自で病院を見学し、ホームページや文献等で現状分析や他院との比較を行い、次にグループで意見をまとめ、発表を行う。
病院を研究することで、医療事務職や病院総合職での就職活動で必要な企業研究に結びつけることができる。

Ⅲ. 学習成果

・地域の医療機関について調査・研究することで、地域医療サービス向上についての提案ができる
・医療機関を研究することで就職活動で必要な業界研究・業種研究に活用することができる
・医療事務系に特化した就職セミナーを通して、医療機関の採用スケジュールや採用試験について理解を深め、就職活動を進めることができる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1: オリエンテーション　　授業の進め方・評価方法 病院研究について、医療機関の現状、就職活動、ペアワーク、グループワーク	シラバスを確認しておく テキストの指定ページの課題を解く
2: 医療事務職就職セミナー① 活動スケジュール、採用試験の傾向、定期採用と欠員採用、職種と仕事内容、求人情報収集方法　他	医療事務職の就職活動について疑問点を整理する 授業内容をまとめ、自分で活用できるよう資料を作成する
3: 医療事務職就職セミナー② 応募書類作成のポイント、適性検査、作文・小論文試験対策	配布書類の志望動機・自己紹介欄を作成しておく 配布書類の志望動機・自己紹介欄を完成させる
4: 医療事務職就職セミナー③ 面接試験対策、面接試験でよく出る質問、面接のポイント、マナー	配布資料の面接の質問について回答を考え、記述する 面接での一連の流れや必要なマナーについて、ポイントを整理する
5: 病院見学レポート作成	各自で興味のある地域の病院を1施設ピックアップして見学する 病院見学レポート提出できるようまとめ、完成させる
6: 病院研究・提案　調査 グループワーク:発表する病院をグループで決定し、情報収集しまとめる。	各自の病院研究レポートをメンバーに共有できるようポイントを整理する 決まったグループでの役割において情報収集する
7: 病院研究・提案　調査・発表準備 グループワーク:1病院についてグループでまとめ、発表に向けて準備する。	決まったグループでの役割において情報収集したものを分析する 全体発表に向けて、スライドを完成させる
8: 病院研究・提案　発表 グループでの発表	スライドを完成させ、発表に向けて準備する 他グループの発表を聞いて、感想・気づきをまとめて提出する

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

病院見学については各自で見学に行き、レポートをまとめます。レポート作成やグループでの企業研究などは、授業時間外の活動も必要です。
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書　1.「社会人へスタートアップ　″就活″はコミュニケーション力から」(西文社)　770円(税込)　　2.プリントを配布する
参考書
「改訂 病院のマネジメント 」(新医療秘書実務シリーズ 2)　医療秘書全国協議会 (建帛社)
「公衆衛生がみえる 2024-2025」(メディックメディア)

Ⅵ. 評価方法と評価基準

病院見学レポート作成・提出　30%　　グループワークでの病院研究・プレゼンテーション準備・発表・プレゼンテーション資料　50%　　学習の意欲　20%
グループ・ワークやディスカッションへの積極性、貢献度は重要な評価対象とする。
授業中の不必要なスマートフォンの使用や居眠り等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

1.第1回目の授業にて、この科目の目標・目的、課題の提出方法など詳しいことを説明するので、必ず出席してください。
2.教科書以外に補足プリントを配布しますので、A4のファイリング用品を用意してください。
3.課題は必要に応じて、添削・コメント記入後、次回授業で返却します。
担当教員は専門学校・短期大学で就職支援を22年しており、国家資格キャリアコンサルタント・国家資格2級キャリアコンサルト、産業カウンセラーの資格を取得しています。
※「医療保障制度」を履修済みの方のほうが病院研究、レポート作成などは取り組みやすいですが、「医療保障制度」の履修は必須ではありません。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域創生論	LP61203	開講時期:	1期		
		形態:	講義	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など	地域創生科目		
須藤　信		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本科目は，Art & Design 研究室に所属する学生が基礎的なゲーム・アプリケーション開発技術を学ぶための授業である．ゲーム・アプリケーション制作技術の習得を目指して，開発エンジンの操作方法，景観生成，プログラミングなどの制作技術を学ぶ．最終的にこれまで学んだ技術を活かして課題を制作する．本科目受講後に対外的な展示・発表を各受講生に行ってもらう．展示・発表活動をとおして，これまでに学んだ知識や技術を社会でどのように役立てていけるかをまとめる．

Ⅲ. 学習成果

・基礎的な開発エンジン(Unity)の扱い方を習得して，ソフトウェアを操作できる
・プログラミングによって，CGやUIにインタラクションを付与することができる
・ゲーム・アプリケーションに関するデジタルスキルの修得を通して，適切な形式でファイルを作成することができる
・自身の制作・研究活動を適切な形式・方法によって発表できる

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
1:イントロダクション ゲーム制作について，Unityの準備	次の時間までにUnityの設定を完了しておくこと.
2:地形の生成 Unityを用いた景観生成	次の時間までに景観作成を完了しておくこと.
3:型と変数，コンポーネント指向 Unityで用いるC#の理解	適宜復習をしてC#言語の理解を深めておくこと.
4:キャラクターの移動 ビジュアルプログラミングの実践	移動の復習をしてトランスフォームの理解を深めておくこと.
5:プレハブ化，ジェネレータ 大量生成の手法	適宜復習をしてプレハブの理解を深めておくこと.
6:スコアの実装とGUI ボタンの作成，数値の実装	ボタンやスコア実装の理解を深めておくこと.
7:最終調整 音楽やSEの設定方法．ゲーム開始と終了の設定	ゲーム・アプリケーションの最終調整に関する理解を深めておくこと.
8:自動販売機の制作 自動販売機アプリケーションの制作	作成が完了できなかった箇所は，課外時間で作成しておくこと.

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
学習内容の理解を深めるために、個別に60分以上の時間をかけて予習・復習を行うこと.
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した180分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

教科書・参考書:なし
適宜資料を配布します.

Ⅵ. 評価方法と評価基準

各回における課題:60%(課題の提出状況，提出内容を評価)
最終課題:30%(CG制作技術，適切な提出ができているか，表現力を総合的に評価)
授業姿勢・態度:10%(発言量や授業中の取り組み状況を評価)

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

・本講座の受講はArt & Design 研究室に所属する学生のみである.
・Unityを大学で運用することは難しいものの，経験として重要である．諦めずに取り組むこと.
・授業時間外においても活動してもらうため，その点を留意しておくこと.

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	2期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50% 報告レポートおよびプレゼンテーション 30% 学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	2期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
インターンシップ	LP62101	開講時期:	4期		
		形態:	実習	単位:	2単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
アドバイザー		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

本学科のインターンシップは、従来のこの就業体験を通して社会人としての基礎力を学ぶということ以外に、その就労により賃金を受け取る有償のインターンシップとして学生の生活支援も目的とする。更に、内定を得た企業が実施する在学中の研修も、この科目の適用範囲とする。

Ⅲ. 学習成果

1 就業体験を通して、社会や組織の仕組みについての知識を得る。
2 就職への意識が高まる。
3 社会人としてのマナーや言葉遣いが学べる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
1 説明会参加 2 事前指導 3 就業(90時間以上) 4 報告書提出	この科目は、入学時よりしっかりした履修計画をたてて、すべての履修科目について真摯に取り組むことが受講条件となる。 また、あらゆる規則や時間を遵守する習慣を身につけることも就業体験には重要な資質となるため、これらを意識した学生生活を心がけること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

Ⅴ. 教科書・参考図書

事前説明会においてプリント等を配布

Ⅵ. 評価方法と評価基準

企業からの評価 55%　報告書 30%　学習の意欲 15%を目安として、総合的に評価する。
インターンシップ参加の動機や今後の就職活動への意欲等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

この科目は学校が窓口となるインターンシップとは異なり、希望する企業の了解が得られない場合は履修ができないので、担当教員によく相談すること。
報告書の内容については、担当教員がフィードバックする。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
海外研修	LP62102	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	○
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	◎
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学科で定めた国で研修を行う。そのための事前オリエンテーション、研修後のレポートなどもこの科目に含まれる研修項目である。

Ⅲ. 学習成果

1 異文化への理解が深まる。
2 外国語を含むコミュニケーションの能力が上がる。
3 比較文化の視点が得られる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
①訪問国 学科で協議し、決定する。 ②研修期間 別途通知。11月または12月に3泊4日程度を予定。 ③費用 別途通知。 ④事前準備 a. 訪問国紹介 b. 研修内容紹介 c.パスポート取得指導 d. 研修組織編成 e. 訪問国研究 f. 海外旅行諸注意	訪問国についての情報を本、新聞、雑誌、インターネット等で積極的に収集することは研修の充実につながるので、可能な限り実践すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明

単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリント配布。
必要に応じて研修先の国に関する図書および資料等を紹介。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

研修50% 事前オリエンテーションの参加と必要書類提出期限の厳守20% 研修後のレポート20% 学習の意欲10%を目安として、総合的に評価。
研修先における行事への積極的な参加、訪問先での積極的なコミュニケーション等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

研修後の提出レポートは担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅠ	LP62103	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅡ	LP62104	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50% 報告レポートおよびプレゼンテーション 30% 学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅢ	LP62105	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅣ	LP62106	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅤ	LP62107	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
地域チャレンジⅥ	LP62108	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:	○	実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	◎
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が学外および学内の諸プログラムに参加することで獲得したポイントを合算し、単位が取得できる科目である。
各プログラムへの申し込み、説明会への参加、諸活動への参加、報告レポートの作成、プレゼンテーションの実施の全行程に参加することで定められたポイントが付与される。

Ⅲ. 学習成果

1 積極性、協調性、リーダーシップなどの社会人基礎力に関わる資質が養える。
2 学外の人と接することで、正しいマナーや言葉づかいが習慣化される。
3 プログラムでの体験が多くの科目でフィードバックされ、授業内容への理解が深まる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各プログラムについてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・各プログラムは学内で実施されるものと、学外で実施されるものがある。 ・それぞれのプログラムについては、担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。	・プログラムについてのスケジュールを確認すること。 ・説明会の内容を整理すること。 ・学内外での活動のために定められた諸注意を十分理解すること。 ・報告レポート作成およびプレゼンテーション実施のために、活動の記録をそのつどノートにまとめておくこと。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請にそなえること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

プリントおよび関連資料を配布する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

プログラム関与度 50%　報告レポートおよびプレゼンテーション 30%　学習の意欲 20%.
各回の活動記録のまとめ、学外担当者からのコメント等は「学習の意欲」の評価対象とする。

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

基本的に、ポイントの付与にはプログラムの全行程への参加が必要である。ただし、しかるべき理由によって不参加の行程が生じた場合には、参加した行程に応じたポイントを付与する場合がある。
報告レポートは、担当教員が添削して返却する。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅠ	LP62209	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など 履修要件他:			
専任教員		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅡ	LP62210	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅢ	LP62211	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅣ	LP62212	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅤ	LP62213	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している　○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1　選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2　学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3　学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4　幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5　生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授　業　内　容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。

科目名	科目ナンバリング	学科:	ライフプランニング総合学科	学年:	2年
検定チャレンジⅥ	LP62214	開講時期:	4期		
		形態:	演習	単位:	1単位
		履修方法:	卒業選択		
担当者		免許・資格など			
専任教員		履修要件他:			
		ｱｸﾃｨﾌﾞﾗｰﾆﾝｸﾞ科目:		実務経験教員科目:	

Ⅰ. 本科目と学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)との関連(◎は強く関連している ○は関連がある)

学科ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)	本科目との関連
DP1 選択したメジャーについての専門的知識と技能を有する	○
DP2 学内外の活動に積極的に参加し、社会人としての資質を備えている	◎
DP3 学習した内容の報告を作成し、IT技術を活用し発表できる	
DP4 幅広い分野を学修し、多様な価値観を理解できる	○
DP5 生涯学習に資する習慣を確立している	○
DP6	
DP7	

Ⅱ. 概要

学生が自発的に様々な検定試験に挑戦し合格することで獲得したポイントの合算で単位が取得できる科目である。
対象の検定および付与されるポイントは予め学生に呈示される。

Ⅲ. 学習成果

1 検定に合格することで、自分の学習の進度が分かる。
2 自己啓発の習慣がつく。
3 自らの学習の履歴を明示できる。

Ⅳ. 授業内容・準備学習(予習、復習)内容

授業内容	準備学習(予習・復習)内容
・各検定試験の合格についてはポイントが定められている。その合算が45ポイントになった時、自ら申請することで単位が認定される。 ・検定試験は本学で実施されるものと、認定団体が学外で実施するものがある。 ・それぞれの検定については、関連する科目の担当教員が告知する場合もあるが、学科掲示板で告知する。 ・直前対策講座が実施されるものもある。	・合格のための日々の学習を欠かさないこと。 ・疑問点は関連科目の教員に積極的に質問すること。 ・試験には受験料が必要なので、期日を守って納付すること。 ・学外で実施されたものは、その合格証のコピーを提出すること。 ・取得したポイントは自ら確認し、申請すること。

＊準備学習(予習・復習)についての補足説明
単位修得のためには、準備学習時間に自主学習を足した45分を毎回必要とします。

Ⅴ. 教科書・参考図書

担当者ごとに指示する。

Ⅵ. 評価方法と評価基準

検定合格 100%

Ⅶ. その他(課題に対するフィードバックについて、受講に際しての注意点、「実務経験教員科目」の場合どのような経験があり、どのような教育を行っているか等)

各検定試験に関しては関連する科目の担当教員に問い合わせること。